（通巻第36号）

令和７年度事業報告書

社会福祉法人　福　栄　会

目　次

法人事業報告（概況）　……　1
事務部事業報告　……　5
　総務課　……　１８
　栄養課　……　２４
高齢者福祉部事業報告　……　３７
　晴楓ホーム　……　３８
　東海ホーム　……　５１
　在宅サービス課　……　５９
　　東品川在宅介護支援センター・大崎在宅介護支援センター　……　６２
　　通所介護事業所（東品川・大崎・五反田）　……　６６
　　認知症対応型通所介護事業所（東品川・大崎）　……　７１
　　品川区ヘルパーステーション東品川　……　８３
　　東品川わかくさ荘　……　８５
障害者福祉部事業報告　……　８９
　第一しいのき学園　……　９１
　第二しいのき学園　……　９９
　品川区立西大井福祉園　……　１０７
　品川区立西大井つばさの家　……　１１７
　グループホーム金子山　……　１２０
　品川区立かがやき園　……　１２９
　南品川むつみ園　……　１４０
　品川区東品川障害者相談支援センター　……　１４８
　品川区東品川障害者計画相談支援事業所　……　１５３
　かもめ第一・第二・第三工房　……　１５６
　品川区精神障害者地域生活支援センター　……　１６４
　品川区東品川精神障害者相談支援センター　……　１６８
児童福祉部事業報告　……　１７３
　品川区立家庭あんしんセンター　……　１７５
　　品川区ひまわり荘　……　１７６
　　品川区子育て支援　……　１７９
　　品川区子育て短期支援事業　……　１８０
　　平塚ファミリー・サポート・センター　……　１８２
　　平塚きぼう荘　……　１８３
　品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設　……　１９８
　品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設　……　２０７
　品川区立就学前乳幼児教育施設　……　２１１

品川区立障害児者総合支援施設 …… ２１９
児童発達支援センター課 …… ２２１
相談支援課 …… ２３２
生活支援課 …… ２４５

令和７年度　法人事業報告（概況）

社会福祉法人福栄会は、高齢者福祉事業、障害者福祉事業及び児童福祉事業についての総合社会福祉施設としてサービスの質的向上を図る一方、健全な法人経営に努めつつ、利用者やご家族を始め地域の期待に応えられるよう、それぞれの事業分野において相互の連携を図りながら、サービスの充実に積極的に取り組みました。

令和７年度の主な成果

（１）利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりのため、「第三次福栄会３か年計画」に基づき事業を計画的に執行しました。

（２）地域社会から一層信頼される法人となるため、子ども食堂・町会ミニサロン・地域住民と利用者のためのイベントなどの地域貢献活動に取り組みました。

（３）諸物価高騰など厳しい経済環境のもと、法人運営の改善と経営能力の強化に取り組みました。

（４）区の防災計画に基づき、福栄会の防災計画として業務継続計画（ＢＣＰ）の見直しを進めました。また、利用者食料等の防災備蓄品の充実に努めました。

（５）人事・給与制度の見直しと「福栄会キャリアパス」に基づく体系的な研修等により、質の高い人材の確保・育成に取り組みました。また、引き続き女性の登用の場を拡げるとともに、アジア諸国からの人材の登用を図るなど、採用活動の強化を図りました。

（６）引き続き様々な感染症対策に全職員一丸となって取り組みつつ、堅実な法人運営を行うために、高齢者介護施設、障害者支援施設の利用率の安定・向上に努めました。

実績：特別養護老人ホーム	９８．０％	（目標値：９７％）
通所介護施設	７９．５％	（目標値：８５％）
障害者支援施設	８１．２％	（目標値：９５％）

事務部事業報告　　目次

事務部事業報告 …… 5
1．基本方針 …… 5
2．重点目標 …… 5
3．地域貢献活動について …… 5
4．会議について …… 6
5．研修について …… 8
6．防災計画について …… 9
7．施設設備管理の点検強化 …… １０
8．苦情解決について …… １０

総務課事業報告 …… １８
1．基本方針 …… １８
2．重点目標 …… １８
3．事務の執行 …… １８
4．地域貢献活動 …… １９
5．防災対策 …… １９
6．施設管理（営繕）体制 …… ２０
7．広報 …… ２０
8．職員について …… ２０

栄養課事業報告 …… ２４
1．基本方針の遵守 …… ２４
2．重点目標への対応 …… ２４
3．サービスの実際 …… ２４
4．各施設との連携 …… ２６
5．防災・その他非常時対策 …… ２６
6．連絡調整・諸会議 …… ２６
7．厨房設備等の更新 …… ２７
8．給食状況報告 …… ２８
9．特別献立実施状況 …… ３２
１０．給食委員会実施状況 …… ３３

事務部事業報告

１．基本方針

法人事業が、高齢者福祉、障害者福祉及び児童福祉等と多岐にわたる中、事務局としての機能を発揮し、各主管部が適正かつ効率的に事業を執行できるよう支援しました。

２．重点目標

（１）新型コロナウイルス等の感染症流行状況を注視しつつ、地域との交流や地域貢献活動に取り組みました。

（２）会計監査人による的確な監査の実施により、法人の経営能力の向上に取り組みました。

（３）積極的な広報活動と資格取得・研修制度や福利厚生の充実により、多様な福祉人材の確保に取り組むことで組織運営の安定と強化を図りました。また、人材確保策の一つとして外国人の採用に取り組みました。

３．地域貢献活動計画

（１）地域との相互交流について

感染症状況を注視しつつ予防対策を図りながら、第３０回福栄会まつりを開催しました。昨年同様、開催時間を短縮した中でしたが、たくさんの地域住民の方々に来場いただき交流が図れました。また、西大井地区のオータムフェスティバルやぐるっぽまつり、炊き出し訓練などの機会を通して地域との交流を深めました。

（２）各種講座等への参加呼びかけ

施設利用者を対象とした各種講座等に地域の方々の参加を呼びかけ、交流を図りました。

（３）ボランティアの受け入れ

ボランティアセンターと連携し、感染症対策を徹底した上でボランティア活動の受け入れに取り組みました。

（４）教員志望学生の体験学習や職場体験学習の受け入れ

教員免許取得希望学生や新規社会人の福祉施設での体験学習について、計画的な受け入れに取り組みました。

（５）社会福祉法人としての役割

地域の福祉ニーズに対して先駆的に取り組むため、関係機関と連携し、地域福祉の拠点として活動しました。

４．会議について

（１）理事会開催状況

第１回理事会　令和７年５月２９日（木）

第１号議案　第２０期理事候補者の選任について
第２号議案　第２０期監事候補者の選任について
第３号議案　品川区東品川精神障害者相談支援センター運営規程の制定について
第４号議案　組織管理規程の改正について
第５号議案　就業規則の改正について
第６号議案　経理規程の改正について
第７号議案　令和７年度第１回補正予算（案）について
第８号議案　令和６年度事業報告について
第９号議案　令和６年度指定管理業務事業報告について
第１０号議案　令和６年度決算について
第１１号議案　社会福祉法人福栄会会計監査人候補者の選任について
第１２号議案　令和７年度定時（第１１２回）評議員会の開催について
第１３号議案　社会福祉法人福栄会第１８期評議員選任にともなう候補者の推薦について
第１４号議案　社会福祉法人福栄会評議員選任・解任委員会委員の選任について
第１５号議案　役員等賠償責任保険契約について
報告事項①理事長及び業務執行理事（常務理事）業務執行状況報告
②令和７年度契約の締結について
③令和７年度職員採用計画について
④第三者評価について
⑤その他

第２回理事会　令和７年６月１９日（木）

第１号議案　理事長の互選について

第３回理事会　令和７年９月２５日（木）

第１号議案　経理規程の改正について①
第２号議案　経理規程の改正について②
第３号議案　経理規程細則の改正について
第４号議案　社会福祉法人福栄会　利用者預り金等取扱規程の改正について
第５号議案　育児・介護休業等に関する規則の改正について
第６号議案　就業規則の改正について
第７号議案　給与規程の改正について①
第８号議案　給与規程の改正について②
第９号議案　カスタマーハラスメント防止に関する基本方針（案）の策定について

第１０号議案　令和７年度第２回補正予算（案）について
第１１号議案　幹部職員の任免について
報告事項①令和７年度第１回苦情解決・サービス向上委員会について
②令和７年度第１回虐待防止対策委員会について
③その他

第４回理事会　令和７年１２月１９日（木）
第１号議案　令和８年度運営計画について（意見交換）
第２号議案　南品川むつみ園の賃貸借契約について（更新）
第３号議案　給与規程第１８条別表（３）諸手当支給表の改正について
第４号議案　幹部職員の任免について
報告事項①理事長業務執行状況報告
②令和７年度上半期実績報告について
③令和７年度第２回苦情解決・サービス向上委員会について
④令和７年度第２回虐待防止対策委員会について
⑤その他

第５回理事会　令和８年３月１２日（木）
第１号議案　品川区立かがやき園障害者支援施設事業運営規程の改正について
第２号議案　品川区立品川児童学園運営規程の改正について
第３号議案　品川区立障害児者総合支援施設　障害児日中一時支援事業運営規程の改正について
第４号議案　障害者福祉事業所の運営規程の改正について
第５号議案　障害者相談支援事業所の運営規程の改正について
第６号議案　令和７年度第３回補正予算（案）について
第７号議案　令和８年度事業計画（案）について
第８号議案　令和８年度指定管理事業計画（案）について
第９号議案　令和８年度当初予算（案）について
第１０号議案　令和８年度契約の締結について
第１１号議案　令和７年度第２回（第１１３回）評議員会の開催について
第１２号議案　幹部職員の任免について
報告事項①介護サービス事故に関わる損害賠償請求への対応について
②こども性暴力防止法について
③令和７年度職員採用試験の結果について
④その他

（２）評議員会開催状況
令和７年度定時評議員会　令和７年６月１９日（木）
第１号議案　第２０期理事の選任について

第２号議案　第２０期監事の選任について
第３号議案　令和６年度決算における計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録について
第４号議案　社会福祉法人福栄会会計監査人の選任について
報告事項①令和７年度第１回福栄会評議員選任・解任委員会審議結果について
②令和６年度事業報告について
③品川区東品川精神障害者相談支援センターの開設について
④その他

第２回評議員会　令和８年３月１９日（木）
報告事項①令和８年度事業計画について
②令和８年度当初予算について
③幹部職員の任免について
④その他

（３）会議開催状況

運営会議	毎月第１、３木曜日開催
係長・主任会議	毎月第１火曜日開催
安全衛生委員会	毎月第４水曜日開催
防災委員会	毎月奇数木曜日開催
給食委員会	毎月第１水曜日開催

５．研修について

法人研修では、集合研修、録画視聴及びオンラインによる研修と参加しやすい環境を作り職員の知識取得を図りました。また、外部研修等への参加のため、タブレット端末の貸し出しなど、人材育成を支援しました。資格取得に向けた研修会の実施や資格取得助成などの取り組みも積極的に実施しました。

（１）新任職員フォローアップ研修

令和７年度に採用した職員に対し、１０月１６日（木）、２１日（木）に福栄会本部と障害児者総合支援施設にて新任職員フォローアップ研修を行い、２４名の職員が参加しました。

（２）海外研修

３月１５日（日）から２１日（土）の間、オーストラリアで「オーストラリアにおける認知症支援について」の研修に高齢者福祉部の職員１名が参加し、研鑽を深めました。

（３）法人研修

①全職員を対象として、１２月１０日（水）、１１（木）、１５日（月）に虐待防止研修を行い、ZOOMと録画により多くの職員が参加できました。また、全職員対象の虐待防止チェックリストを年２回実施しました。

第１回　令和７年７月１日（火）から令和７年７月３１日（木）

第２回　令和８年２月５日（木）から令和８年３月　５日（木）

②全職員を対象とした感染症対策研修として、基礎知識　感染症専門家によるウイルスの特徴、症状などの解説、標準予防策、日常業務における注意点、「３つの密」を避ける工夫の研修を企画しました。

第１回　令和７年　７月３０日（水）

第２回　令和７年　８月１８日（月）

第３回　令和７年　９月１７日（水）

計３回の研修を行い、ZOOMと録画により多くの職員が参加できました。

③常勤職員を対象として、各事業所にて情報セキュリティ研修を実施しました。

④業績評価の作業にあたる管理・監督職を対象として、業績評価研修を実施しました。

第１回　令和７年１１月２８日（金）

第２回　令和７年１２月　５日（金）

（４）資格取得研修

介護福祉士	１１名合格	社会福祉士	１０名合格
精神保健福祉士	５名合格	保育士	１０名合格
介護支援専門員	１名合格	第一種衛生管理者	２名合格
上級救命講習	３月２４日（水）実施		
上級救命再講習	令和８年２月２日（月）、６日(金)午前・午後 ３月２日（月）午前実施。		

（５）新任職員研修

令和７年度中途採用職員研修	３月１１日（火）
令和８年度新採用職員全体研修	３月２５日（水）～２７日（金）
令和８年度新採用職員現場研修	３月３０日（月）～３１日（火）

６．防災計画について

新型コロナウイルス感染症が落ち着いていたことから、従前通りの防災訓練を毎月１回実施しました。防災機器の点検や緊急時の連絡方法の確認等も同時に行いました。

また、事業継続計画（ＢＣＰ）に基づき、利用者及び近隣住民の方々に参加いただき、「合同防災訓練」や「炊き出し訓練」を実施しました。

７．施設設備管理の点検強化

法人本部建物を始め、品川区より受託管理している各建物について、専門管理業者と共に適正な維持管理に努めました。

８．苦情解決について

利用者サービスの向上・充実を図るため第三者委員による内部検査を実施し、利用者の立場になって業務を点検し改善を図りました。令和７年７月３１日（木）、１１月２７日（木）に委員会を実施しました。令和７年度については、福栄会による苦情等受付の報告が５件、第三者委員へは０件となっています。

＜令和７年度苦情内容＞

施設名	苦情内容	対応
品川区障害児者総合支援施設（品川児童学園日中一時支援）	品川区障害者支援課から「日中一時支援利用の子どもの親から、特別支援学校で覚えたのか、家庭内で母親に対し電気あんまのようなことを要求してくるといった行動がみられるが、どこで覚えてきたのか調べて欲しい。との申し入れがあった。」との連絡を受ける。	品川区からの連絡を受け、日中一時支援事業苦情受付担当者が現場担当職員から聞き取り調査を実施。職員から「後ろから見て不適切な対応に見えたので注意した。」との報告を受けた施設長が、改めて職員からの聞き取りを実施。聞き取り調査の結果、施設内で不適切な支援があったことを確認した。その後、施設担当部長と施設長より、支援に関わった非常勤職員（６０代男性、既に退職）に対し面談を実施した。当該職員からは「当該児童とのかかわりの中で、くすぐりの要求を受けることがあり、そのかかわりの延長で内腿部分へ足でのくすぐりを行った。」との話があった。聞き取りの結果『当該児童とのかかわり遊びの一つとして電気あんまを行った』事実が確認された。当該職員は遊びの延長という認識であったが、他の職員からそのような行為はやめるよう指摘されたことから、それ以降は当該行為を行っていないとのことであった。また当該行為について、区から連絡が入るまで施設長等には報告がされていなかった。 以上から家族へ謝罪し、品川区へ事実関係を報告している。事業所として新たに雇用した非常勤職員に接遇研修・虐待防止研修を行っていなかったこと、上司へ報告がなかった事を重く受け止め、現在、業務改善中である。

品川区障害児者総合支援施設（品川区立品川児童学園）	品川区障害者支援課から、「利用の子どもの親から、昨日、帰宅した際に子の荷物の中に輪ゴムでくくった利用契約書が入っていたが、別の家庭の契約書も混在していた。個人情報だったのでショックである。品川区から午前中に電話をいただきたい。との申し入れがあった。」との連絡を受ける。	品川区からの連絡を受けた後、施設長が誤送付した先の当該利用者ご家族へ連絡し謝罪した。電話の後、家庭を訪問し改めて家族へ謝罪するとともに、誤送付した契約書及び重要事項説明書（誤送付となった他利用者の分）を回収している。その際、当該利用者ご家族より原因究明と再発防止策について文書で報告して欲しいとの話があった。その後、契約書及び重要事項説明書を誤送付してしまった家族へ施設長が家庭訪問し事故発生状況の説明と謝罪を行なったところ、理解を得られた。 ４月２３日に国の個人情報保護委員会に個人情報流失届（除個人番号）を速報として報告。翌月の５月２３日に同委員会に個人情報流失の確定報告を行っている。
品川区立障害児者総合支援施設（生活介護）	事業所で実施する健康診断について、今年から区民健診を活用できるとの事だが、区民健診の項目にないレントゲン・心電図については、選択制（有料）にすべきである。	過去の通所事業所は第一種社会福祉事業であり健康診断が義務付けられていた。総合支援法が施行され、通所事業所は第二種社会福祉事業となり、健康診断を事業所で行う必要は無くなったが、当時の家族会や障害者団体の要望を受け、これまでどおりレントゲン・心電図を含む健康診断を実費で希望者へ継続することとなった。 今回、区民健診を活用するにあたり、障害児者総合支援施設の利用者家族会からは「当施設の前法人は区民健診と心電図とレントゲンを有料選択制で実施していた」との話があった。 利用者の健康診断を委託している病院側に確認すると、「現在、施設の利用者が増えており区民健診に有料選択制の健診を併用する契約には対応致しかねます。」とのことであった。 以上の経過を説明し、先ずは他の家族から要望の上がった区民検診を導入する事から始めている事を伝えた。施設の運営事業者が福栄会に変わり、前の法人との対応の違いは出てくると思われるが、引続き利用者や家族に丁寧に説明をしていく。

第一しいのき学園（知的障害者　生活介護）	①施設長に関して、ご家族より要望を伝えるも話の最中から「できない理由・口実」を考えているようなそぶりが見えるとのこと。 ②苦情解決責任者が施設長であることは違和感がある。外部に苦情が出ず、内々で処理されてしまうのではないか？苦情解決責任者の変更はしないのか。	7月２５日（金）１１：００ 父親からモニタリング面談の際、主任（苦情受付担当者）に苦情の申し立てがあり、時間はいただくが苦情として対応していくと回答している。 ７月２８日（月） 午前中父親から総務課へ電話あり。苦情対応の総括者へ話があると言われている。総括は施設の解決責任者となっており「いない」と伝えるが、担当より電話が欲しいと伝言あり。午後も再度電話があり、しいのき学園の受付担当者（主任）にて、苦情受付票を作成し受付内容を確認し受け付けたこと伝えている。 ※苦情の主訴については品川区福祉部障害者支援課へ施設長から報告。 ７月２９日（火）１４：００ 事務局長、事務部長、施設長にて、対応と回答について検討をしている。回答内容を作成し法人内決裁後回答していくこととする。 ８月２５日（月） 夕方連絡ノートにて以下苦情回答をしている。 「日頃より円滑な施設運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。今回いただいたご要望についてですが、事業所及び法人内で情報共有を行いました。当施設では令和７年４月に品川区等からの要請もあり、多数の新規利用者の受け入れを行っています。すでに利用されている利用者を含め、全ての利用者にとって安心、安全な支援を提供することを第一に考え、利用者の活動内容の検討、職員の適正配置や業務分担、業務評価等を継続的に行っているところです。施設長についても、日頃の業務遂行状況や施設全体の運営状況等を踏まえた上で、任命しているところです。 今回のご要望については法人内で共有していきますが、苦情受付体制は組織職制として対応していますので、変更する予定はありません。尚、客観性

		を担保するという観点から「第三者委員」、「品川区福祉部障害者福祉課」などの、外部機関を通じた相談もできることをお伝え致します。」 同日　１７：３０ 父親から電話があり以下の話があった。 〇連絡ノートでの回答であり正式な文書として回答があって良いのではないか。 ⇒要望について確認している。 〇施設長の態度についてはどうなるのか？ ⇒今後は話をすぐに否定せず話を傾聴していく。 〇この回答内容は誰がどう作ったか、協議した人間と話したい。 ⇒法人内で決済した内容で回答している。苦情責任者と事務部で協議し回答している。協議した者の件については後日確認する。 〇第三者委員とは何か？福栄会とは関係ない人なのか？ ⇒利用開始時の資料で渡しており、直接連絡が出来ることになっている。 ８月２６日（火）１０：３０ 　昨日苦情の回答について父親から電話があった件について、事務局長、部長、総務課長、施設長にて共有する。 ※苦情について回答したこと等について、品川区福祉部障害者支援課へ施設長より報告している。品川区にも父親から同様の電話連絡があったとのこと。父親の話を傾聴し内部で検討し、第三者委員への相談が出来ることなどの情報提供をすると後日話があった。 ８月２７日（水） 　第三者委員へ利用者ご家族より直接電話あり。委員から福栄会総務課長へ電話で相談が入ったことの連絡を受ける。利用者ご家族からは回答についてなるべく早くほしい旨の希望。 ８月２８日（木）１４：００ 　今後の対応ついて協議（事務局長、事務部長、総務課長、施設長）。

		○施設長の態度についてはどうなるのか？について ⇒施設長の態度に関する部分については、抽象的であり内容がはっきりとしないため回答が出来ない。具体的な場面、内容、日時などを文書でもらい回答する方法も一つ。 ○回答内容（文書）は誰がどう作ったか、協議した人間と話したい。について。 ⇒法人内で協議したが（苦情解決責任者に対するものでも）苦情に対しての対応は、回答した通り組織体制として決まっており、（事務部等）他の者で聞く体制は作っていない。文章についても組織で決裁したものであり、事業所としての回答となる。 ○苦情解決責任者の変更はしないのか？について ⇒客観性を担保するため第三者委員制度、品川区など外部機関の窓口があるため、苦情解決責任者の変更は行わないことで整合性はとれていると解釈している。 ○第三者委員を通じて苦情を受け付けたことについては、早く連絡がほしいとのことで、本日中に総務課長から当該利用者のご家族へ電話をする。あくまで受付をした連絡であり個別の回答は出来ないことも伝える。 上記の内容含め回答書を作成し起案し回答する。 ９月８日（月） 総務課長より第三者委員へ、施設長より品川区へ、本日父親に回答すると連絡し、帰りの送迎にて回答書を主任より手渡している。 ※その後父親から連絡などなし。
第二しいのき学園（知的障害者　就労継続支援Ｂ型）	①以前から施設に対して、娘が特定の男性利用者からの言葉による性的な嫌がらせを受けていると相談しているが、対応をしてもらえていない。学園から報告はあるが、特別な対応をしてもらえず心配で娘	７月１４日（月）、当該利用者が男性利用者から「肩をマッサージしてほしい」「休みの日に遊びに行こう」などの発言を受け、嫌だったという相談が本人からある。そのため施設長、主任が同席して両利用者と話し合いを行っている。発言の有無について互いの

	を通所させられない。 ②通所しても支援員に対応してもらえていない。	主張は平行線で、事実関係は把握できなかった。事業所としても今後二人の作業場面を分離する、物理的に距離を置くなどの改善策を提案しているが、本人たちからは今後は気を付けるので今のままでよいとの発言を受け、様子を見ている。 ７月１７日（木）、男性利用者が通りすがりに当該利用者に声を掛けたところ、当該利用者が男性利用者に暴言や他害行為に及ぶ行為があり、施設長が両利用者と再び話し合いを行っている。これ以降は昼休み中の保安体制に準職員をこれまでより１～３名多く配置する、帰園時間に応じて両利用者が乗り合わせないようバス停までの見守りを行うなどの対応をとっていた。当該利用者のご家族からもこの件に関して、問い合わせがあり報告をしている。 １０月に至るまで事業所が把握している限り、両者の間では大きなトラブルには至っておらず、当該利用者のご家族からの連絡に対しても施設側から様子を見ている限り問題ない旨を伝えている。ただその間も当該利用者はご家族に男性利用者からの発言が嫌だった旨を伝えており、事業所としても完全に男性利用者が本人と接触して性的な発言を伝えていないことは確認できていなかった。 １０月７日（火）、東品川相談支援センター管理者より母親から苦情の申し立てがあった報告を施設長が受ける。（９月２６日に母親から相談支援センターに問い合わせがあり、不安や不満を傾聴。１０月２日、本人が欠席だったため状況確認のため相談支援センターが家庭への連絡。その際に家族より苦情の訴えがある。１０月６日、障害者福祉部長へ報告、解決に向けての指示を受ける。） 解決に向けサービス担当者会議の開催の調整を行う。 ※苦情の主訴については、品川区福祉

		部障害者支援課へ相談支援センター管理者より報告している。 １０月８日（水）、サービス担当者会議を開催。相談支援センター管理者、主任、学園施設長、主任、支援員出席。本人・家族の苦情内容について管理者から報告を受け、対応方法について検討。今後の改善策として以下を提案した。 ①当該利用者と当該男性利用者の活動場所の変更を行う。 当該利用者は集団活動へ入っていくことを苦手として登園後、1階エレベーター前でとどまる傾向がある。今後は男性利用者が１階で活動するため、互いの接触を防ぐ目的から本人を２階の活動に参加できるよう支援していく。 ②昼休みの保安体制を強化する。 約２時間の昼休みをこれまで準職員を中心に保安対応していたが、常勤職員の目が行き届いていないため、保安要員に常勤職員を配置する。 ③帰りのバスの見守りを行う。 当該利用者、男性利用者とも通園ルートで同じバスを利用するため、帰園時間が重なると同乗する可能性がある。そのため互いの帰園時間をずらすことや、バスの乗り込みまでの見守りを行う。 １０月９日（木）、男性利用者に活動場所の変更について説明を行い、了承を確認。その後、相談支援センター管理者と施設長とで男性利用者の家庭へ訪問。今回の経緯と今後の対応について男性利用者の母親へ説明と報告を行う。母親からは「女性とのトラブルはあってほしくない」「対応をお願いしたい」と了解を得る。当該利用者、家族への説明として相談支援センター管理者と施設長とで家庭訪問。当日本人は通所を欠席していたため、自宅では本人、父親、母親が対応。これまで相談を受けながら速やかな対応できなかったことへの謝罪と今回の苦情対応

		について（サービス担当者会議で決定した改善策の①～③を）説明。以下は本人、父母の反応。 本人…「男性利用者からいろいろ言われて嫌だった」「しいのきのようなところは好きではないけれど（行く）」 父親…「相手の男性にも知的障害があると思う」「今回の件で本人も支援者も問題から逃げずに対応を行ってもらいたい」 母親…「この間の怒りの感情はおさまらないが、男性利用者と接触しないように環境を変えることが分かったので、本人をもう一度通所させようと思う」 １０月１０日（金）、当該利用者・男性利用者の出欠を確認。当該利用者は２階での活動に参加。男性利用者は欠席の為、施設長が家庭訪問を行い、玄関先で母親に本人の様子を確認し、通所の促しを伝える。午後、相談支援センター管理者が男性利用者宅を家庭訪問している。 以降、当該利用者、男性利用者とも欠席などがあり、両利用者の登園がそろう日は限られていたものの、双方への新たな対応を行うことで、相談支援センターとも連携、それぞれの家族と適宜連絡を取りながら対応を継続している。

総務課事業報告

１．基本方針

高齢者福祉、障害者福祉及び児童福祉等の施設運営を行う総合福祉施設という特色を生かし、人事、給与及び会計等の事務処理や各諸問題について、各所と連携しながら総合的かつ効率的に執行しました。

２．重点目標

（１）積極的な広報活動に加え、資格取得支援、研修制度及び福利厚生の充実により、多様な福祉人材の確保、育成及び定着に向けた取り組みを強化しました。また、外国人介護人材の受け入れに関わる諸問題に、受け入れ施設と協議しながら取り組みました。

（２）会計監査人による監査について、的確な監査体制の整備と監査の実施により、法人の経営能力の向上に取り組みました。

（３）地域社会から一層信頼される法人となるため、福栄会まつり等の地域交流事業及び地域貢献活動を実施しました。

３．事務の執行

（１）総合的な福祉施設としての効率的な事務処理

高齢者福祉、障害者福祉及び児童福祉等の施設運営を行う総合福祉施設という特色を生かし、人事、給与及び会計等の事務処理について、総合的かつ効率的に執行しました。また、会計監査人による監査の実施などで法人の経営能力及び内部管理体制の強化に取り組みました。

（２）福利厚生事業の充実

①職員の健康管理について、定期健康診断、成人病予防検査、インフルエンザ予防接種及びメンタルヘルスチェック等を実施し健康管理に努めました。また、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが５類へ移行した後も、重度化リスクが高い高齢者福祉施設及び障害者福祉施設に対し、使い捨てマスク及びガウン等の衛生用品や検査キットの確保及び支給等に取り組みました。

②職員親睦会への助成及び共済制度の活用により職員の福利厚生を充実させるとともに、各催事や親睦会活動を通じて職員交流の充実を図りました。

（３）事務処理の迅速化

会計と経理、請求事務と出納事務、人事と給与など業務区分を明確にし、会計監査人及び給与計算事務会社との連携を通して迅速な事務処理を行いました。

（４）情報管理体制の強化

福栄会の情報管理安全対策として職員向け研修等を実施し、適正な管理及び運

用に努めました。

４．地域貢献活動

（１）関係機関及び団体等との連携

新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、品川区、福祉施設、福祉団体及び町会等と地域交流事業及び地域貢献活動の再開及び実施に向け連携を継続しました。

（２）施設機能の地域への提供

会議室の提供、地域行事への参加及び地域住民の施設行事への招待等について、感染予防を徹底した上で地域行事への参加や祭り等への招待を実施しました。

（３）行事等の実施

地域住民の法人運営に対する理解や協力への感謝、また法人施設への理解を一層深めていただくことを目的として、住民参加型の行事（地域交流事業や子ども食堂、認知症カフェ等）を、感染症予防を徹底した上で実施しました。

５．防災・感染予防対策

利用者の安全を確保するため、消防署と連携のうえ改正震災マニュアルに基づいた防災対策を実施しました。また、福栄会事業継続計画（ＢＣＰ）に基づき、自然災害及び感染症についての訓練・研修を実施しました。

（１）防火管理者の養成

甲種防火管理者や小規模社会福祉施設の防火実務講習会等の資格取得を進めました。また、防災機器の取り扱いについての講習会を実施し緊急時に備えました。

（２）消防避難訓練の実施

毎月一回、昼夜想定の消防避難訓練を実施し、マニュアルを検討して、各施設職員に周知徹底を図りました。

（３）福栄会事業継続計画（ＢＣＰ）に伴う訓練の実施

自然災害等が発生した際、安定した福祉サービスの提供を継続させる方針、体制、手順等を定めた事業継続計画（ＢＣＰ）に沿った避難訓練、参集訓練及び炊き出し訓練等を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等が発生した際、まん延防止のために迅速かつ適切な感染予防対策のための訓練を実施しました。訓練実施後の評価を通して、災害及び感染症関連の研修内容や実施計画の見

直しを行いました。

（４）救命講習（上級講習、自動体外式除細動器業務従事講習）

上級救命講習会を年１回、上級救命再講習会を年２回実施しました。なお自動体外式除細動器業務従事講習（ＡＥＤ）も併せて実施しました。

（５）近隣との協力

品川区職員待機寮入居職員及び地元町会との防災協定に基づき、防災対策を充実しました。

６．施設管理

経年劣化した法人建物を適切かつ効率的に管理するため、別表の建物保守管理計画を実施しました。

７．連絡調整・諸会議

他部課との連絡調整、品川区や法人各施設などと共に地域活動の連絡調整を行いました。

８．広報

（１）ホームページ及び採用パンフレットの更新を行い、多様な福祉人材確保に向けた広報活動の強化を行いました。

（２）法人の広報活動についてのあり方を幅広く検討し、福栄会についての情報発信をより推し進めました。

＜福栄会総合情報誌「ふくえいだより」発行計画　８ページ・１０００部発行＞

第１０１号・春号　　令和７年　４月　発行

第１０２号・夏号　　令和７年　９月　発行

第１０３号・冬号　　令和８年　２月　発行

9．職員について

（1）職員の配置状況　　＊（）内は準職員等数　　令和８年３月３１日現在

施設名	施設長	事務員	介支護援員員	看護師	栄養士	医師	OTPT	計	委託 運行
晴楓ホーム	1	(1) 1	(16) 34	(4) 1	1	(3)	1	(24) 39	
東海ホーム	1	1	(0) 5	1	1			(0) 9	
東品川在宅 サービス課	1	(2) 0	(21) 19	(3) 1			(3) 1	(29) 22	(1)
大崎在宅 サービス課	1	(2) 1	(18) 18	(3)				(23) 20	(2)
第一 しいのき学園	1	1	(8) 7	(2) 1		(2)		(12) 10	(2)
第二 しいのき学園	1	(1)	(15) 8					(16) 9	
福栄会障害者 相談支援センター	1		5					6	
西大井福祉園 （ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑを含む）	1	(1) 1	(24) 12	(2) 1		(1)		(28) 15	(1)
家庭 あんしんセンター	1	(3) 2	(17) 15			(1)		(21) 18	
かがやき園	1	(3) 2	(17) 18	(1) 1	1	(2)		(23) 23	
南品川むつみ園	1		(2) 2	(1)		(1)		(4) 3	
かもめ工房	1	(3)	(26) 15			(1)		(30) 16	
平塚・東品川高齢者 多世代交流支援施設	1	(4)	(16) 4					(20) 5	
就学前乳幼児教育施設 （ぷりすくーる西五反田）	1	(1)	(9) 25	1		(3)		(13) 27	
障害児者総合支援施設 （ぐるっぽ）	3	(2) 1	(55) 57	4	1	(12)	(7) 2	(76) 68	(6)
計	17	(23) 10	(244) 244	(16) 11	4	(26)	(10) 4	(319) 290	(12)

※品川区地域包括支援センター出向１名

（２）令和７年度の職員採用及び退職

令和７年度採用	４月　１日	介護福祉士	：　３名
		社会福祉士	：　２名
		精神保健福祉士	：　２名
		看護師	：　０名
		保育士	：　３名
		社会福祉主事	：　０名
		その他	：　２名
			合計１２名
令和７年度退職	３月３１日	介護福祉士	：　８名
		精神保健福祉士	：　１名
		社会福祉士	：　４名
		保育士	：１４名
		理学療法士	：　１名
		看護師	：　４名
		その他	：　３名
			合計３５名

（３）職員採用活動

令和７年度新規職員採用は、見学説明会やオンラインでの就職説明会等を実施し、品川介護福祉専門学校など１３学校や一般を含め２９名の受験があり、うち中途採用者を含め２５名を採用しました。これらの新規採用者については、５日間の事前研修を行い各施設に配属しました。

令和７年　５月　１日（土）	受験者　１名	内定者　０名	採用者１名	
令和７年　６月１４日（土）	受験者　２名	内定者　１名	採用者１名	
令和７年　７月２６日（土）	受験者　４名	内定者　２名	採用者２名	
令和７年　８月２３日（土）	受験者　２名	内定者　２名	辞退者１名	
令和７年　９月　６日（土）	受験者　４名	内定者　２名		
令和７年１０月　４日（土）	受験者　２名	内定者　１名	採用者１名	
令和７年１０月２５日（月）	受験者　１名	内定者　１名	辞退者１名	
令和７年１１月１５日（土）	受験者　１名	内定者　１名		
令和７年１１月２９日（土）	受験者　３名	内定者　１名	採用者２名	
令和７年１２月１３日（土）	受験者　１名	内定者　１名		
令和７年１２月２０日（土）	受験者　１名	内定者　１名	辞退者１名	
令和８年　１月２４日（土）	受験者　１名	内定者　１名		
令和８年　２月１４日（土）	受験者　３名	内定者　３名		
令和８年　３月１０日（火）	受験者　１名	内定者　１名		

令和８年　３月１９日（木）受験者　１名　内定者　１名
令和８年　３月３０日（月）受験者　１名　内定者　１名

合計	２９名	２５名

（４）職員親睦会について

新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら、令和７年度の職員親睦会活動を行いました。なお、職員親睦会総会については、福栄会本部２階どんぐり広場を使用し短時間での開催としました。

【日帰り旅行】

第１班	令和７年　７月１３日（日）	劇団四季　美女と野獣
第２班	令和７年　８月２０日（水）	バルバッコア高輪店ブッフェ
第３班	令和７年　９月１８日（木）	屋形船
第４班	令和７年１０月　５日（日）	千葉舘山日帰りバスツアー
第５班	令和７年１１月２８日（金）	品川プリンスホテルビュッフェ

【忘年会】

令和７年１２月１９日（金）　きゅりあん

【総　会】

令和８年　３月３１日（火）　福栄会本部２階どんぐり広場

栄養課事業報告

１．基本方針の遵守

利用者、各施設職員、調理スタッフ３者間におけるコミュニケーションの場として、東海ホーム利用者及び東品川在宅サービスセンター利用者との給食懇談会を実施し、利用者の意見を伺いました。

２．重点目標への対応

（１）利用者のニーズにあった食事の提供

喫食時の観察・声かけや残菜調査及び嗜好調査、給食委員会での意見交換、検食簿での評価等により利用者のニーズを把握し、献立に反映させることができました。

生活に潤いと日本の文化や季節を伝える行事食を年１７回実施しました。

（２）食品衛生管理の充実を図るため、給食施設における大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、毎朝礼時における調理従事者の服装・毛髪・手指のチェックや厨房全域・器具機材配膳車等の清掃・消毒を厳重に行うよう給食委託業者へ働きかけ、年間を通して食中毒予防に努めました。

（３）厨房設備、備品類は計画に基づき更新を図り、厨房作業環境の構築に努めました。

３．サービスの実際

（１）食事提供内容の充実と適切な食事習慣の育成等に向けた取り組みとして

①選択食の充実

ア　朝食は通常米飯食・粥食での提供、毎週日曜日と水曜日はパン食メニューで提供しました。

イ　昼食時、主食（麺）選択を年１７回、主菜選択を年１２回実施しました。障害児者総合支援施設でも選択食を再開しました。

②嚥下困難者への食事の提供として、状態に応じて刻み食、みじん切り食、ペースト食で対応しました。

（２）調理技術向上の取り組み

①給食委員会を本部施設、西大井地区、障害児者総合支援施設でそれぞれ１２回開催し、利用者のニーズの把握に努めました。

（３）食品衛生管理の充実

①定例給食委員会において食品衛生管理体制の確立を図りました。

②厨房清掃の徹底を図るため、調理スタッフへ衛生状況改善の働きかけを常時（毎朝礼や会議にて）行いました。また給食委託業者が実施している衛生管理書類の点検および確認を適宜行いました。

③調理従事者の健康管理

ア　検便を毎月１回、ノロウイルスの検査も１０～３月の間毎月１回実施しました。

イ　健康診断を年１回実施しました。

ウ　毎日、自己チェックと朝礼時の全体相互チェックを行いました。

（４）栄養管理

①栄養摂取基準量

令和７年４月１５日現在で、利用者個々の年齢・性別・基礎代謝量・生活活動強度により適正量を算出し、各施設の令和７年度目標栄養量を設定しました。

②①の栄養摂取基準量に基づき、食品構成表を作成しました。

③献立作成

②の食品構成に基づき、利用者の嗜好や歳時・季節感等を考慮しながら高齢者・知的障害者・児童向けにそれぞれバランスのとれた献立を作成しました。

④栄養ケアマネジメント

特別養護老人ホーム（晴楓ホーム）及び障害者入所施設（かがやき園）の各利用者に栄養ケアマネジメントを実施し、計画に沿ったサービスの提供により適正な栄養管理や肥満防止に努め、栄養管理体制の充実を図りました。

（５）食事の種類

①一般食（常食）

②摂食・嚥下機能に応じて軟菜食の一口大・刻み食・みじん切り食・ペースト食で対応しました。

③生活習慣病など医療的配慮を必要とする場合や、機能障害等に対応した療養食にも対応しました。

④アレルギーや禁忌食品に対応し代替食を実施しました。

（６）食事時間

朝食７：３０～８：３０まで、昼食１２：００～１３：００まで、夕食１７：４５～１８：４５まで、概ね時間通りに食事の提供を行いました。

（７）行事食等

①日本人の食文化や季節を伝える行事食を概ね毎月１回実施しました。

②ミニバイキングに代わるお楽しみ給食を年３回実施しました。

（８）配食サービス

八潮ミニサロンへのお弁当配食を１２回行いました。合計２４８食を提供しました。

（９）１食当たりの食材単価は下表により履行しました。

	高齢者部門	障害者部門	職員・外来	配　　食
朝　食	２４０円	２４０円	２４０円	―
昼　食	３９０円	３９０円	３９０円	３９０円
夕　食	３６０円	３６０円	３８０円	―

なお、行事食については別枠で行いました。

（１０）検食・保存食

①検食・・・栄養士及び各施設管理者が毎食実施し、記録しました。

②保存食・・１品５０ｇを２週間以上冷凍保存しました。

（１１）食事管理

献立と調理内容の適合、個別の食種コメント等のチェックを配膳前に行い盛り付けや食器の工夫など、食事環境面にも配慮しました。

４．各施設との連携など

（１）調査・研究

①嗜好調査・・・各施設職員の協力を得て嗜好調査を実施し、結果をもとに献立に反映させることができました。

②残菜調査・・・毎食ごとに残菜を確認し、喫食状況の観察とあわせて必要な栄養量が確保されているか確認しました。

（２）栄養指導・相談

医師・看護師・介護職員からの要請に応じて実施しました。

５．防災・その他非常時対策

（１）業務終了時におけるガス器具の元栓、電気器具の電源の点検と記録を確実に行いました。

（２）法人本部の防災訓練時に合わせ、課内初期消火訓練に取り組みました。

（３）非常食の有効利用を目的として、消費期限の直前に献立に取り入れて提供する等をし、使用分の補充も行いました。

６．連絡調整・諸会議

（１）課内連絡

朝礼を毎日実施し必要事項の確認等を行いました。

（２）他部門との連絡

①晴楓ホーム職員朝礼と事務部朝礼に栄養士が合流しました。

②給食委員会を毎月実施し、栄養士・調理師・各施設管理者及び給食委員が参加しました。

（３）利用者給食懇談会

東海ホーム利用者及び東品川デイサービス利用者との給食懇談会を各１回以上実施し、利用者の給食に関する意見などをお聞きしました。

７．厨房設備等の更新

施設厨房設備の更新を次のとおり実施しました。

（１）本部温冷配膳車４台の更新

（２）本部および大崎在宅サービスセンター厨房の備品補充

（３）西大井福祉園厨房のシンク更新

（４）障害児者総合支援施設厨房のシンク更新

8．給食状況報告

（1）福栄会本部

利用者（延食数）　R7.4.1～R8.3.31

施設 ＼ 食種・形態			晴楓	ショートステイ	東海	東品川S・C		しいのき			計(人)
						デイ	配食	第1	第2	むつみ園	
主食		米飯	15,633	5,345	37,370	9,319	248	9,523	10,053	1,610	89,101
		粥	62,514	2,257	11,057	1,195	0	750	0	0	77,773
		流動	6,443	0	0	0	0	0	0	0	6,443
計			84,590	7,602	48,427	10,514	248	10,273	10,053	1,610	173,317
一般食	常食	普通	5,066	3,520	32,928	8,060	248	5,598	9,248	1,610	66,278
		一口切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		みじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軟菜食	普通	1,532	224	2,834	368	0	53	0	0	5,011
		一口切	20,631	1,714	9,662	1,174	0	3,060	366	0	36,607
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		みじん	20,870	961	50	367	0	959	0	0	23,207
	ペースト食		23,988	509	0	52	0	0	0	0	24,549
	経管流動食		6,443	0	0	0	0	0	0	0	6,443
治療食	減塩食	普通	1,006	409	1,437	111	0	0	439	0	3,402
		一口切	1,634	0	1,516	106	0	0	0	0	3,256
		刻み	1,953	235	0	0	0	0	0	0	2,188
		ペースト	372	0	0	0	0	0	0	0	372
	糖尿病食	普通	0	0	0	102	0	235	0	0	337
		一口切	1,095	30	0	157	0	133	0	0	1,415
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		みじん	0	0	0	17	0	235	0	0	252
		ペースト	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一口切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貧血症	流動	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計			84,590	7,602	48,427	10,514	248	10,273	10,053	1,610	173,317

外来食

視察者	家族	ボラ	実習生	その他	体験利用	計
6	7	15	525	195	71	819

職員食

計
24,403

（2）西大井福祉園

利用者(延)　　R7.4.1～R8.3.31

食種・形態			西大井福祉園
主食		米飯	9,137
		粥	63
		ﾐｷｻｰ粥	193
計			9,393
一般食	常食	普通	8,102
		一口切	792
		刻み	0
		みじん	0
	軟菜食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	ペースト食		255
	流　動　食		0
治療食	減塩食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
	糖尿病食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	脂肪制限その他	普通	244
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
計			9,393

外来食

実習生	ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	ボランティア
129	0	0
研修	視察	計
0	0	129

職員食

計
3,738

（3）大崎在宅Ｓ・Ｃ

利用者(延)　　R7.4.1～R8.3.31

食種・形態			大崎在宅Ｓ・Ｃ
主食		米飯	10,122
		粥	1,117
		ﾐｷｻｰ粥	90
計			11,329
一般食	常食	普通	8,989
		一口切	1,778
		刻み	160
		みじん	0
	軟菜食	普通	1
		一口切	111
		刻み	1
		みじん	0
	ペースト食		90
	流　動　食		0
治療食	減塩食	普通	175
		一口切	1
		刻み	23
	糖尿病食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	蛋白制限その他	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
計			11,329

外来食

実習生	視察者	その他
20		
		計
		20

職員食

計
4,199

（4）かがやき園

利用者（延食数）　　R7.4.1～R8.3.31

施設 ＼ 食種・形態			入所者	ショート	計(人)
主食		米飯	28,764	1,081	29,845
		粥	1,094	0	1,094
		流動	0	0	0
計			29,858	1,081	30,939
一般食	常食	普通	13,744	970	14,714
		一口切	7,173	51	7,224
		粗刻み	7,847	43	7,890
		刻み	0	17	17
		みじん	0	0	0
	軟菜食	普通	0	0	0
		一口切	0	0	0
		粗刻み	0	0	0
		刻み	0	0	0
		みじん	3	0	3
	ペースト食		1,091	0	1,091
療養食	減塩食	普通	0	0	0
		一口	0	0	0
	糖尿病食	普通	0	0	0
		一口切	0	0	0
		刻み	0	0	0
		みじん	0	0	0
	糖・腎食	一口	0	0	0
		刻み	0	0	0
	糖・肝食	普通	0	0	0
	脂肪制限	普通	0	0	0
		刻み	0	0	0
計			29,858	1,081	30,939

外来食　　職員食

体験	家族	実習生	その他	計	計
0	0	239	0	239	4,908

（5）品川区立障害児者総合支援施設

利用者（延食数）　R7.4.1～R8.3.31

食種・形態＼施設			生活介護	就労B	ショート	児童学園	計(人)
主食		米飯	6,450	1,639	7,790	8,827	24,706
		粥	236	0	126	23	385
		流動	0	0	0	0	0
計			6,686	1,639	7,916	8,850	25,091
一般食	常食	普通	5,184	1,400	7,200	8,569	6,584
		一口切	704	239	388	212	943
		粗刻み	0	0	0	0	0
		刻み	220	0	99	46	220
		みじん	225	0	66	0	225
	軟菜食	普通	0	0	0	0	0
		一口切	0	0	0	0	0
		粗刻み	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0
		みじん	0	0	0	0	0
	ペースト食		236	0	126	23	236
療養食	減塩食	普通	0	0	0	0	0
		一口	0	0	0	0	0
	糖尿病食	普通	0	0	0	0	0
		一口切	117	0	0	0	117
		刻み	0	0	0	0	0
		みじん	0	0	0	0	0
	糖・腎食	一口	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0
	糖・肝食	普通	0	0	0	0	0
	脂肪制限	普通	0	0	37	0	0
		刻み	0	0	0	0	0
計			6,686	1,639	7,916	8,850	25,091

外来食

視察者	家族	ボ ラ	実習生	その他	体験利用	計
0	66	0	341	7	20	434

職員食

計
10,105

９．特別献立実施状況（本部　令和７年度）

◎…東海ホーム昼食　　◇…入所施設（高齢者、知的障害者）　△デイサービス

実施日			行事名	献立内容
4月	1日	火	新年度の祝い/昼食	ちらし寿司　鶏肉と冬瓜の旨煮　味噌汁　抹茶ババロア
5月	1日	木	開設記念日　/昼食	ちゃんぽん　焼き餃子　ストロベリーケーキ
	5日	月	こどもの日　/昼食	ちらし寿司　豚肉と冬瓜の旨煮　すまし汁　梅ようかん
6月	15日	日	◎お楽しみ給食	生とうもろこし御飯　椀盛り茶そば　天ぷら　新じゃが煮 茶碗蒸し　茄子とみょうがの浅漬け　赤だし　水まんじゅう
7月	7日	月	七夕　/昼食	七夕そうめん　かき揚　筑前煮　七夕ゼリー
	19日	土	土用の丑　/昼食	鰻と卵の二色丼　いかつみれと大根の煮物　うぐいす煮豆 すまし汁
9月	7日	日	◎お楽しみ給食	栗御飯　ぶりの柚庵焼　牛肉と里芋の煮物　春菊の菊花浸し 牛蒡ときのこの白和え　赤だし　２色羊羹
	15日	月	敬老の日　/昼食△ /夕食	鮭の混ぜ寿司　肉詰め稲荷と冬瓜の旨煮　味噌汁　うぐいす豆 赤飯　鯛の塩焼　天ぷら盛り合わせ　炊き合わせ　茶わん蒸し お吸い物　紅白ゼリー
	23日	火	秋分の日　/夕食	御飯　白身魚のもろみ焼き　じゃがいもの含め煮　すまし汁 おはぎ
10月	6日	月	十五夜　/昼食	月見肉うどん　さつま揚げと野菜の味噌炒め　お月見ゼリー
11月	3日	月	文化の日　/夕食	ねぎとろ丼　南瓜の煮物　味噌汁　沢庵
	23日	日	寿司の日　/昼食	ばらちらし寿司　筑前煮　春菊の菊花和え　赤だし　ぜんざい
12月	22日	月	冬至　/昼食	御飯　鮭の柚庵焼き　南瓜のいとこ煮　豚汁　みかん
	25日	木	クリスマス　/昼食	ケチャップライス ローストチキン コーンポタージュ　ケーキ
	31日	水	大晦日　/夕食	御飯　鶏肉と野菜の甘辛胡麻炒め　もやしの和え物　味噌汁 年越しそば
1月	1日	木	◇朝食　祝い膳	雑煮　紅白蒲鉾/伊達巻/黒豆/数の子/紅白なます　ヨーグルト
			◇昼食　（二の重）	赤飯　鯛塩焼/鶏肉の野菜巻き/日の出海老/煮〆/栗きんとん 赤だし
			◇夕食	御飯　松風焼き　菜の花の白和え　お吸い物　みかん
	2日	金	◇朝食　祝い膳	七福神雑炊　錦玉子/昆布巻/豆きんとん　かぶの菊花あん 牛乳
			◇昼食	海鮮ちらし寿司　ほうれん草のお浸し　りんごの赤ワイン煮 味噌汁
			◇夕食	御飯 中華盛り合わせ　大根の五色和え　中華スープ　杏仁豆腐
	7日	水	◇七草　/朝食	七草粥　がんもと里芋の含め煮　春菊の和え物　味噌汁　牛乳 のり佃煮
	11日	日	鏡開き　/昼食	御飯　鰆の味噌漬け焼き　炊き合わせ　すまし汁　ぜんざい
	15日	木	◇小正月　/夕食	小豆粥　鰤の煮付　鶏肉と青菜の炒め物　マンゴー缶　味噌汁
2月	3日	火	節分　/夕食	恵方巻　筑前煮　オクラの生姜浸し　昆布豆　鰯のつみれ汁
	15日	日	◎お楽しみ給食	天丼　がんもと茄子の煮物　茶碗蒸し　カニと胡瓜の酢の物 赤だし　フルーツポンチ
3月	3日	火	ひな祭り　/昼食	雛ちらし　豚肉と南瓜の含め煮　すまし汁　さくらゼリー
	20日	金	◇春分の日　/夕食	御飯 赤魚の煮付　魚ソーセージと野菜の炒め物　おはぎ すまし汁

１０．給食委員会実施状況(令和７年度)

開催地	福栄会本部（毎月第１水曜日）	かがやき園（毎月第１木曜日）	品川区立障害児者総合支援施設（毎月第２水曜日）
当該施設	晴楓ホーム・東海ホーム・しいのき学園 東品川在宅サービスセンター 大崎在宅サービスセンター	かがやき園・西大井福祉園	品川区立品川児童学園・生活介護
4月	給食委員会の主旨について 各施設での感染症対策の確認依頼 令和７年度利用者名簿の提出について	アレルギー食対応について確認（原則、利用者のみ対応） 令和７年度非常食の活用について 温冷配膳車利用者配置見直し	献立の振り返り・予定献立について 新年度の給食について
5月	東海ホームお楽しみ給食開催について 令和７年度食事摂取基準量について 給食懇談会の開催方法等についての相談 給食費値上げに伴う食事の質や職員食の必要性について 予定献立について	一富士フードサービス㈱関東支社献立作成部にて献立作成 西大井福祉園パン給食の導入について 令和７年度加重平均食事摂取量の見直しについて	献立の振り返り・予定献立について 令和７年度食育年間計画について 日中一時支援夏休みの給食について
6月	東海ホームお楽しみ給食開催について 感染症・食中毒対策について 予定献立について	ホシザキ食器保管庫試験モニターの依頼について 厨房熱中症指数計の設置について 栄養報告書提出（上半期）	献立の振り返り・予定献立について 令和７年度食事摂取基準量について 流しそうめん企画について
7月	6月東海ホームお楽しみ給食の振り返り 嗜好調査の実施方法変更についての相談 予定献立について	七夕そうめん企画について	献立の振り返り・予定献立について 日中一時支援の夏休みの給食について
8月	嗜好調査結果報告について 水分補給用茶葉の選定について デイサービス利用者の提供量変更について 選択食の減回要望について（一富士FSより） 予定献立について	食事伝票の作成共有について 西大井福祉園　納豆の提供につて 献立ミスについて（献立変更時の情報共有について）	献立の振り返り・予定献立について 適温給食、アレルギー食について 食物繊維量について（麦ごはんについて）
9月	敬老の日のメニューについて 東海ホームお楽しみ給食開催について 非常食納品に伴う設置場所の相談 予定献立について	栄養ケア計画書作成について（9月） ハロウィン行事食について	献立の振り返り・予定献立について パンの切り方について
10月	東海ホーム給食懇談会の結果報告 晴楓･東海にぎり寿司の提供について 敬老の日の振り返り 予定献立について	オータムフェスティバル実施について 栄養ケア計画書の報告 厨房機器の故障について	献立の振り返り・予定献立について 感染症の対応について
11月	晴楓･東海にぎり寿司の提供について 障害者部門利用者の体重測定値の入力依頼 予定献立について	西大井福祉園日帰り旅行について（11月～12月実施） クリスマス行事食について オータムフェスティバル総括	献立の振り返り・予定献立について 日中一時支援冬休みの給食について クリスマス献立について 年末年始について
12月	11月お寿司（ちらし）提供の振り返り 年末年始の行事予定について 第2回嗜好調査結果報告について 食形態変更の進捗報告	西大井福祉園の米飯に「押麦」追加の件 栄養報告書提出（下半期） 年末年始の行事食について	献立の振り返り・予定献立について 令和７年度（11月）食事摂取基準量について 年末年始について 成人の祝膳について
1月	年末年始行事食の振り返り 予定献立について	嗜好調査について 西大井福祉園給食グラタンの提供について	献立の振り返り・予定献立について 麦ごはんについて 食生活アンケートについて
2月	東海ホームお楽しみ給食開催について 第2回東海ホーム給食懇談会の結果報告 水分補給用茶葉の選定について（2回目） 予定献立について	かがやき園感染性胃腸炎拡大 かがやき園カロリー設定基準見直しについて①	献立の振り返り・予定献立について ひなまつりについて
3月	2月東海ホームお楽しみ給食の振り返り 東品川デイ給食懇談会の結果報告 食形態変更の再確認 予定献立について	かがやき園カロリー設定基準見直しについて② 嗜好調査結果報告 栄養ケア計画書作成について（3月）	献立の振り返り・予定献立について 食生活アンケートの報告 令和７年度児発の残食について報告

高齢者福祉部事業報告　　目次

高齢者福祉部事業報告 …… ３７

晴楓ホーム事業報告 …… ３８

東海ホーム事業報告 …… ５１

在宅サービス課事業報告 …… ５９

在宅介護支援センター事業報告 …… ６２
品川区東品川在宅介護支援センター
品川区大崎在宅介護支援センター

通所介護事業所事業報告 …… ６６
東品川在宅サービスセンター
品川区立大崎在宅サービスセンター
品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

認知症対応型通所介護事業所 …… ７１
東品川在宅サービスセンター
品川区立大崎在宅サービスセンター

品川区ヘルパーステーション東品川事業報告 …… ８３

東品川わかくさ荘事業報告 …… ８５

高齢者福祉部事業報告

１．基本方針

利用者の人権を尊重し、利用者に寄り添ったサービスを行いました。

また、利用者の健康維持に努め、感染症に対する予防及び罹患者発生時の対応に努めました。

大崎在宅サービスセンター及び東品川わかくさ荘の指定管理者公募型プロポーザルに応募し、再指定を受けました。

２．重点目標

（１）生活施設及び通所施設において利用者の安全を第一とし、安心して利用できるサービスの提供をしました。各通所施設及び訪問事業においては、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に留意した上で事業継続に努め、クラスターの発生はありませんでした。

（２）地域との連携を図り地域に根ざした施設運営を行うとともに、利用者それぞれの高齢化に伴う状態及び状況に対し、適切なサービスの提供を行いました。

（３）利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、既存事業の見直し、新たな事業展開、計画的な施設改修等について「福栄会３か年計画」に基づいて推し進めました。

東海ホーム浴室トイレ及び入り口床の改修工事を行い、安全で快適な環境を整備しました。

（４）各施設の利用実績

①晴楓ホーム

ホーム事業（８０床）	短期入所生活介護（８床）	合計利用率（８８床）
９７．５％	１０８％	９８．５％

※短期入所生活介護（ショートステイ）は空床利用（４床）を含めた数値。

②在宅サービス事業（通所介護・訪問介護・居宅介護支援）

東品川在宅サービスセンター	７３．１％
〃　認知症デイサービス	４６．１％
大崎在宅サービスセンター	８６．０％
〃　認知症デイサービス	５８．０％
五反田ふれあいデイホーム	６９．５％
ヘルパーステーション東品川	３６８．３時間

③東海ホーム（軽費老人ホームＡ型）

ホーム事業（５０名）	９８％

晴楓ホーム（特別養護老人ホーム・介護老人福祉施設）事業報告

１．事業実績報告

晴楓ホームとショートステイの年間合計利用率は、９８．５％でした。
（ホーム９７．５％・ショート１０８％）

令和７年度月別利用率の推移（定員：ホーム８０名・ショート８名 ）（単位％）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
ホ ー ム	93.3	95.8	98.8	99.1	98.1	95.8	97.1	100	98.2
ｼｮｰﾄｽﾃｲ	115	120.6	124.3	120.6	113.7	117.5	108.5	107.5	85.5
合計利用率	95.3	98	101	101	99.6	97.6	98	100.7	97

	１月	２月	３月	年間利用率	令和７年度年間利用率
ホ ー ム	99.5	97.4	97.3	97.5	97
ｼｮｰﾄｽﾃｲ	92.7	97.4	93.2	108	116.1
合計利用率	98.9	97.4	96.9	98.5	98.4

※小数点第二位四捨五入

２．重点目標報告

（１）利用者の健康管理に留意し、利用率の確保に努めました。

利用者の健康管理に留意し、嘱託医、ご家族と連携し、早期発見、早期対応に努め、晴楓ホームの利用率は、目標を上回る97.5%を達成しました。利用者のコロナウイルス及びインフルエンザ罹患もありませんでした。

（２）人材の確保及び育成に努めました。

新採用職員や経験の浅い職員がより確実に業務を取得し、人権を尊重した接遇、専門性を積み重ねることができるようにＯＪＴ研修を年間を通して行いました。

キャリアパス研修制度に基づいた外部研修や資格取得及びスキルアップを目的にした養成研修、講習会に計画的に参加しました。介護職員が２名、実務者研修を受け、介護福祉士国家試験に合格しました。

東京都の医療的ケア実地研修を職員３名が受講し認定を受けています。

外国人介護人材の採用を２名行い、生活支援や介護技術の習得を進めました。

事故防止対策として、リフト操作の実技勉強会を実施しました。また、緊急対応訓練を事業所内研修で行い、対応技術の向上を図りました。　また、捜索訓練の実践研修も実施しました。事故報告・ヒヤリハット報告書を再発防止に活用し、転倒防止用のセンサーマット（床用・ベッド用・車椅子用）等の活用を行いました。

利用者の安全及び職員の業務軽減を鑑み、眠りスキャンや見守りカメラ等のデジタル機器を活用し、生産性向上を意識して取り組みました。

（３）事業継続計画（自然災害及び感染症）に取り組みました。

安心で快適な生活空間を継続して提供するために、感染症及び地震、水害等自然災害発生時における事業継続訓練（ＢＣＰ）に取り組みました。　令和７年度は、それぞれの計画書の読み合わせを行い、計画内容の理解に努め、実践訓練（竈ベンチや簡易ベットの組み立て、ゾーニングやガウンテクニックの見直し等）も実施しました。

福祉避難所としての役割についても、地域の要援護利用者に安心いただけるように、品川区と連携し進めてまいります。

３．家族との連携・協力

感染症対策のため、家族への連絡は、令和７年度も書面等で行いました。１階のパブリックスペースでの面会（予約制）を法人内及び地域の感染症の蔓延の推移を見極めながら継続実施しました。

４．身体拘束廃止・虐待防止

（１）身体拘束廃止に向けた取り組み

随時、身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束の廃止に向けた取り組みとして、介護用品を活用し、センサーマットや立位時にブレーキが掛かる車椅子等の使用を調整しました

（２）利用者に対する人権擁護（虐待防止及び身体拘束）

利用者の人権を擁護するとともに、対人援助における介護者の精神的ストレスを軽減するため、チームでのケア「抱えない介護」の取り組みを行い、虐待を生まない施設作りを行いました。

ホーム内でも、委員会を定期的に開催し、法人の虐待防止研修、内部研修として、動画配信等を活用し、虐待防止（身体拘束）研修を実施しました。

法人の取り組みである虐待防止チェックを２度行い、その結果を基に事業所内で事例検討や意見交換等を行いました。

また、アンガーマネジメントに関する意見交換を行いました。

５．機能回復訓練の実施について

（１）個別機能訓練実施計画書に基づく機能訓練の実施

機能訓練指導員（理学療法士）・介護・看護チームと作成した個別機能訓練実施計画書に基づき、リハビリを実施し、利用者の身体機能の維持・向上に努めました。

（２）感染症対策に留意しつつ、各利用者の生活に必要なリハビリテーションを行いました。　感染症の影響でリハビリ室に誘導が困難な時期は、利用者に対して、フロアで離床時やベット周りでのリハビリの機会を増やしました。また、車椅子上の食事姿勢の安定を目的にするなど、より生活に関連するリハビリを実施しました。各利用者の生活上での問題点に着目し、車椅子やベッドでの安楽なポジショニング、クッションの置き方等の検討を介護職と連携して行いました。

ショートステイ利用者についても、感染症対策に留意したうえでリハビリプログラムを提供しました。

（３）職員の腰痛予防対策を一層推進しました。

機能訓練指導員が利用者の状態に合わせたリフト・シートの種類の選択、使用方法の確認を行いました。安全にも一層配慮し、退院後や骨折後の利用者のリフト移乗の確認を介護職員と一緒に行いました。リフト移乗による機能低下の可能性についても着目し、残存機能の評価を行い立位機能のある利用者には　トランスファーボード・ターンテーブル等の介護用具を使った移乗方法の検討も併せて行いました。

６．東京都福祉サービス第三者評価受審及び自己評価の実施

（１）福祉サービス第三者評価の受審

今年度は「第三者評価　利用調査」を受審し、現状のサービス内容の客観的評価を受けました。新年度の晴楓ホームの諸活動に活かすように努めます。

（２）施設サービス自己評価の実施

令和６年度に続き７年度も施設サービス自己評価結果（セルフチェック）に基づき、サービス向上計画を作成しサービスの質の向上に努めました。

晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業報告

１．事業実績報告

令和７年度晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業の年間利用率は、１０８％でした。

２．重点目標報告

特別養護老人ホーム　晴楓ホーム利用者の入院等で生じる空床利用を推進し、多くの利用者がサービスを利用できるようになりました。

入退所業務を担当する中堅職員の育成に努めることで、円滑な入退所業務を行うことができました。

キャンセル等の空床が生じた場合は、キャンセル待ちの利用者等に速やかに連絡するなど柔軟に対応し、利用者のニーズに応えるように努めました。

品川区、在宅支援センター等からの緊急の利用要請（年末年始を含む）に対しては、特養の空所ベットも活用し、可能な限り受け入れを行いました。

フロアで感染症発生時の利用のおいては、利用者様やご家族への説明を丁寧に行い、利用の判断をしていただきました。

ご家族や介護支援専門員の情報提供に基づき利用者の入所時のバイタルチェックを確実に行い、感染症対策に努めました。

３．晴楓ホーム実績資料

（１）利用者の入退所状況（入院退所・退院再入所を含む）

		入所者数				退所者数			1日付
		在宅	病院を退院	退院再入所	その他	入院	死亡	その他	在籍者数
４月	男	0	0	2	0	1	0	0	12
	女	3	0	3	0	6	0	0	64
	計	3	0	5	0	7	0	0	76
５月	男								12
	女	2		3	1	4			66
	計	2	0	3	1	4	0	0	78
６月	男					1			11
	女	1		1					68
	計	1	0	1	0	1	0	0	79
７月	男			2		1			12
	女	1		1		2			68
	計	1	0	3	0	3	0	0	80
８月	男								12
	女					2	1		65
	計	0	0	0	0	2	1	0	77
９月	男	1				1	1		11
	女	1	1			1		1	65
	計	2	1	0	0	2	1	1	76
10月	男			1					12
	女	1		3	3	3	1		68
	計	1	0	4	3	3	1	0	80
11月	男					1			11
	女	1				1			68
	計	1	0	0	0	2	0	0	79
12月	男			2		2			11
	女			2		2			68
	計	0	0	4	0	4	0	0	79
１月	男			1		1			11
	女	1		5		5			69
	計	1	0	6	0	6	0	0	80
２月	男			1					12
	女	1		4		7	1		66
	計	1	0	5	0	7	1	0	78
３月	男					1			11
	女			1		1			66
	計	0	0	1	0	2	0	0	77
７年度総計		13	1	32	4	43	4	1	
６年度総計		10	3	40	8	50	9	3	

※退所欄「その他」は在宅復帰者・一時利用（入所）契約の終了者等。
※入所欄「その他」は、軽費老人ホーム・老人保健施設、有料老人ホーム等からの入所。
※入院による退所は７日経過後の人数。（介護保険法上の規定）

［最近３年間の推移］

年度	入所者数	退所者数
5	66	67
6	62	62
7	50	48

（２）年齢分布等の構成

令和8年　３月３１日現在(以下同)

年齢区分	男　性		女　性		計	
	人数	構成比（%）	人数	構成比（%）	人数	構成比（%）
１００歳以上	0	0.0	3	4.7	3	3.8
９５～９９	0	0.0	14	21.9	14	17.5
９０～９４	5	45.5	16	25.0	21	26.3
８５～８９	3	27.3	24	37.5	27	33.8
８０～８４	3	27.3	7	10.9	10	12.5
７５～７９	0	0.0	4	6.3	4	5.0
７０～７４	1	9.1	0	0.0	1	1.3
６０～６４	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	12	109.1	68	106.3	80	100.0

（小数点第２位四捨五入）

平均年齢	89	最高年齢	104
男性	86	最低年齢	70歳
女性	90		

※過去平均年齢　令和４年度８８．５歳　令和５年度８７．７歳　令和６年度８７．８歳

男女比

性　別	人数	(%)
男　性	11	14.7
女　性	66	88.0
合　計	77	102.7

（３）認知症日常生活自立度状況（年度末現在）

認知レベル	5年度	6年度	７年度	%
自　立	1	0	1	1.3
Ⅰ（軽度）	5	3	3	3.8
Ⅱ（中度）	18	12	10	12.5
Ⅲ（重度）	36	39	42	52.5
Ⅳ（最重度）	16	15	16	20.0
M（治療対象レベル）	4	6	8	10.0
合　計	80	75	80	100

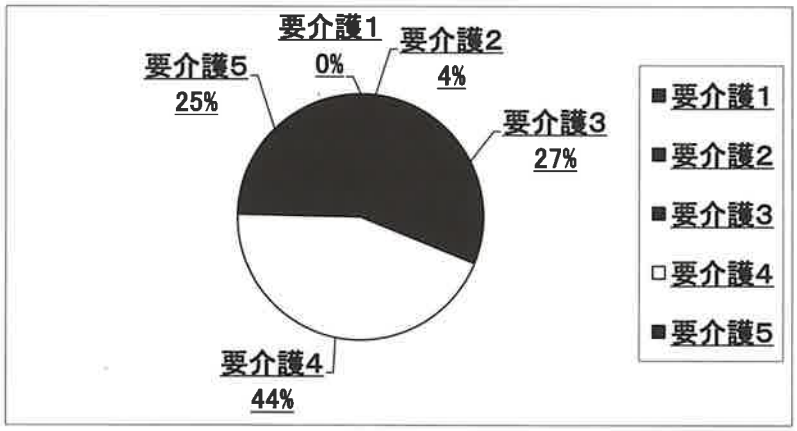
※Ⅱ・Ⅲは各々a・bに分かれるが一括して集計

※Ⅲ以上の割合：82.5%（6年度８０%）

（４）要介護度別分布

区　分	要　介　護　度　別　内　訳					計
	1	2	3	4	5	
人　　数	0	3	21	34	19	77
構成比（%）	0.0	3.9	27.3	44.2	24.7	100.0
令和６年度構成比	0.0	1.3	43.0	53.1	26.6	100.0

※４+５合計割合比率：４年度６２．１%　５年度６３．８%　６年度６５．４%



※平均要介護度：令和5年度3.8　同6年度3.9　同7年度3.9

（５）ホーム骨折件数及びインフルエンザ等感染症発生状況

月	日	年齢	発生部位	時　間	発生場所	入院期間	処　置
6	17	83	骨盤骨折	不明	居室	0	保存
8	22	89	胸骨骨折	不明	居室	0	保存
8	25	82	第12胸椎圧迫骨折	不明	居室	0	保存
						0	
						0	
						0	
合計	3		※令和6年度骨折件数2件				

・インフルエンザ罹患者（Ａ・Ｂ型）－０名・胃腸炎罹患者－０名

※インフルエンザ予防接種－７５名

・コロナウイルス罹患者－０名（入院者０名、施設内健康観察対応０名）

（６）ホーム救急車要請件数

月	日	年齢	症　状	時　間	場　所
4	9	88	意識レベル低下	14時20分	居室
4	14	88	SP02低下、発熱	9時15分	居室
4	28	95	転倒	6時15分	居室
5	15	88	意識レベル低下	8時06分	居室
6	27	94	誤嚥　SP02低下	16時25分	居室
7	29	92	SP02低下	8時30分	居室
9	11	94	嘔吐、SP02低下	19時00分	居室
9	16	87	SP02低下、発熱	21時25分	居室
10	3	92	SP02低下	3時45分	居室
10	17	97	SP02低下	16時08分	食堂
11	17	85	SP02低下	16時05分	居室
11	24	70	SP02低下	1時55分	居室
12	18	83	誤嚥　SP02低下	17時05分	居室
1	1	91	呼吸苦、SP02低下	7時20分	居室
1	14	88	吐血	9時40分	居室
1	26	90	SP02低下、発熱	0時07分	居室
2	3	95	SP02低下	4時55分	居室
2	10	90	意識レベル低下	1時20分	居室
3	27	84	SP02低下、発熱	3時25分	居室
合計	19		※令和6年度救急車要請２３件		

※夜間・早朝時間帯オンコール件数１７件（オンコール：看護職員との２４時間連絡体制）

※（５）（６）ショートステイは救急車要請　２件　骨折事故０件

（7）　ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

※受診・治療にいたらなかったもの

	ホーム	ショート	合計
4月	9	1	10
5月	10	4	14
6月	9	2	11
7月	14	3	17
8月	8	3	11
9月	5	1	6
10月	7	3	10
11月	12	4	16
12月	10	4	14
1月	13	7	20
2月	5	1	6
3月	10	2	12
合計	112	35	147
5年度	100	25	125
6年度	120	27	147

事故報告状況（感染症含む）

※受診・治療を行ったもの

但し、感染症はホーム内療養者含む。

	ホーム	ショート	合計
4月	6	1	7
5月	3	2	5
6月	6	0	6
7月	3	0	3
8月	4	0	4
9月	5	0	5
10月	7	0	7
11月	3	1	4
12月	3	2	5
1月	6	0	6
2月	5	0	5
3月	5	0	5
合計	56	6	62
5年度	54	6	60
6年度	46	8	54

（8）　医療器具使用者等医療状況

項　目	令和７年度末人数	割合（対在籍７７名）	令和６年度末人数
胃瘻実施者	6	8.0%	8
痰吸引者	4	5.3%	1
バルン挿入者	2	2.7%	3
ペースメーカー	3	4.0%	2
Ｂ・Ｃ型肝炎	1	1.3%	2
ＭＲＳＡ・緑膿菌保菌	0	0.0%	0

（９）防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓　　練　　内　　容
4	24	木	夜間出火想定（火点：４階）
5	22	木	夜間出火想定（火点：５階）
6	26	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム６階）晴楓職員消火担当参加
7	24	木	夜間出火想定（火点：４階）机上訓練
8	21	木	夜間出火想定（火点：５階）
9	25	木	夜間出火想定（火点：わかくさ荘）晴楓職員消火担当参加
10	23	木	昼間出火想定（火点：１階　クリーニング室）
11	2	日	事業継続訓練（火点：４階）消火、避難、参集訓練
12	25	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム７階）晴楓職員消火担当参加
1	22	木	夜間出火想定（火点：５階　屋内消火栓操作訓練）
2	26	木	夜間出火想定（火点：４階　消火訓練、簡易ﾍﾞｯﾄ組み立て）
3	26	木	夜間出火想定（火点：５階）消火、避難訓練、水防訓練

（10）職員研修・見学参加状況

（外部研修）

主催	研修名	実施日	人数
（株）ツクイスタッフ	イーケアラボ（動画研修視聴）	テーマ別動画配信	全職員対象
東京都福祉保健財団	喀痰研修（実地研修のみ3人）	7月～	3
東京都社会福祉協議会	ＤＷＡＴ登録研修会	10月15日	1
東京都社会福祉協議会	ショートステイ情報交換会	10月16日	1
株式会社TEN	介護福祉士試験対策講座	11月19日～全10回	2
三幸カレッジ	実務者研修	12月～	2
東京都福祉保健局	介護支援専門員更新研修	10月～オンライン研修	1
東京都福祉保健財団	高齢者虐待防止研修防止研修	12月～オンライン研修	2
東京都福祉保健財団	認知症のある人の意思決定支援研修	12月～オンライン研修	2
東京都高齢者福祉施設協議会	令和７年度高齢協学習会「ともにケアを担うパートナーとして」	2月27日	1
知識環境研究会教育会	医療的ケア教員講習会	3月18日	1

（内部研修）

主催	研修名	実施日	人数
晴楓ホーム（ＢＣＰ・身体拘束・虐待防止）	ＢＣＰ読み合わせ（自然災害編・感染症編、実践研修、虐待防止・身体拘束）※実践研修は、簡易ベットの組み立て方、簡易トイレの使用方法	8月28日、9月25日、26日、10月30日、31日、11月27日 ※一部職員感染症予防のため書類回覧	全介護職員対象
晴楓ホーム（事故防止研修）	緊急対応訓練	4月14日～8回開催	全介護職員対象
晴楓ホーム	外国人材に関する勉強会	6月7日～7回開催 ※一部の職員書類回覧	全介護職員対象
法人本部	認知症介護基礎研修	9月2日	２名
晴楓ホーム	法人内交換研修（他部所現場研修）東海ホーム	12月７～８日	１名
法人本部	虐待防止研修	12月10日、11日、15日 ※一部の職員時短勤務のため書類回覧	全職員
晴楓ホーム（感染症研修）	感染症予防研修（ＢＣＰ研修：実技、ガウン、ゾーニング対応等）	10月1回、11月2回、12月2回 2月2回（一部職員書類回覧）	全職員
法人本部	情報セキュリティ研修	9月～10月（一部職員書類回覧）	全職員
法人本部（感染症研修）	感染症予防研修（座卓ガウンテクニック、吐しゃ物処理等）	7月30日、8月18日、9月17日	8
晴楓ホーム	虐待防止・身体拘束研修	7月1回、8月2回実施（一部職員書類回覧）	全職員
晴楓ホーム（事故防止研修）	リフト勉強会（リフトリーダー研修受講者による実技勉強会）	全2回実施	8
法人本部	新採用職員フォローアップ研修	10月16日、21日	4
法人研修（事故防止研修）	無断外出者捜索訓練	9月～6回実施	24
公益財団法人東京都福祉保健財団	痰の吸引等の実施のための研修	全13回	3
		12月20日	2
		2月10日	1

(11) 行事等実施状況

月	日	行事名等	内　　容	備　　考
4	1	辞令交付		新採用職員2名
	22	首都医校社福学科見学会		
	24	防災訓練（４階火点）		
5	1	福栄会開設記念日		
	2	菖蒲湯週間		
	11	福栄会まつり		
	22	防災訓練(５階)		
6	7	町内祭礼	お御輿来園	8日も
	23	利用者健康診断	採血・心電図等	
	26	防災訓練（東海火点）		
7	7	七夕	短冊作り・飾りつけ	
	13	お盆/迎え火		
	16	お盆/送り火		
	22	品川区社会福祉協議会　実習	社会福祉士養成コース(～３１日まで)	
	24	防災訓練（４階）		
8	2	町内祭礼参加	洲崎町まつり	
	21	物故者慰霊法要	１階ロビー・中庭にて慰霊札安置供養	
	21	防災訓練(５階)		
9	4	花火を楽しむ会	１階中庭（４・５階利用者合同）	
	11	長寿を祝う会		
	18	利用者調査実施		計４名
	25	防災訓練(わかくさ荘火点)		
	28	宿場祭り		
10	5	国勢調査開始		
	16	新採用職員フォローアップ研修		３名参加
	21	新採用職員フォローアップ研修		１名参加
	21	インフルエンザ予防接種		７５名接種
	23	防災訓練(クリーニング室)	消火班にて参加	
	26	晴楓ホーム運動会	各フロアーで実施	
11	9	合同防災訓練(火点４階)	ＢＣＰ参集訓練実施	火点４１０号室
	13	BCP炊き出し訓練	焼き芋、豚汁、アルファ米おにぎり	竈ベンチ説明
	20	東海中学校職業体験	21日も来園	２名参加
12	22	ゆず湯週間		
	25	防災訓練（東海火点）		
	28	年末大会	利用者忘年会（各フロアーで実施）	
	31	大晦日	年越しそば	
1	1	元旦・高齢者福祉部長挨拶	祝膳行事食(１、２日)	
	7	七草粥		
	11	鏡開き	昼食ぜんざい	
	11	新年会	各フロアーで実施	
	22	防災訓練（５階）		
	23	東海中学校職場訪問(７年生)		
2	1	節分行事	各フロアーで実施	
	26	防災訓練(４階)	屋内消火栓実地訓練	
3	3	ひな祭り	行事食　甘茶	
	26	防災訓練（５階火点）	机上訓練、水防訓練も実施	
	27	新採用職員部署別研修開始		
	31	退職辞令		

(12)晴楓ホームの利用者状況経過　　※入所・退所者実数は退院再入所・入院退所者を含む。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入所者実数	45	64	68	67	90	74	49	54	62
退所者実数	51	56	71	74	80	67	54	50	62
平均年齢	89.0	89.9	90.6	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	89.2
男性数(3月末)	14	13	14	10	7	8	9	11	10
女性数(3月末)	64	67	63	62	64	71	68	65	69
平均要介護度	3.73	3.50	3.60	3.60	3.60	3.60	3.70	3.70	3.80
特養利用率	94.2%	95.7%	96.9%	93.7%	95.0%	97.8%	97.7%	95.9%	95.0%
ショート利用率	136.9%	127.0%	128.3%	109.1%	114.4%	109.0%	96.0%	92.8%	107.0%
合計利用率	97.7%	98.5%	99.7%	95.1%	96.1%	98.8%	97.5%	95.4%	96.1%

	29年度	30年度	令和元年度	２年度	３年度	４年度	5年度	6年度	7年度
入所者実数	53	71	52	65	51	80	69	58	50
退所者実数	53	70	54	61	69	75	67	59	48
平均年齢	88.0	88.4	89.8	88.7	88.5	87.7	87.9	90.4	89.0
男性数(3月末)	8	7	8	10	8	12	14	11	11
女性数(3月末)	71	73	70	70	58	68	16	64	66
平均要介護度	3.71	3.85	3.95	3.90	3.90	3.76	3.80	3.90	3.90
特養利用率	99.0%	98.7%	99.3%	97.4%	95.1%	94.0%	96.4%	97.0%	97.5%
ショート利用率	119.0%	118.7%	117.3%	113.4%	114.1%	123.4%	127.4%	116.1%	108.0%
合計利用率	100.8%	100.5%	100.9%	98.9%	96.8%	96.5%	99.2%	98.4%	98.5%

東海ホーム（軽費老人ホームＡ型）事業報告

１．重点目標への対応

（１）利用者がその人らしい生活を送れるように、健康状態及び要介護状況などのニーズを踏まえて、介護サービスを利用しながら、個別サービス計画書に基づいた支援と見直しを行いました。

（２）感染症対策を継続し、介護予防活動や行事、クラブ活動などのプログラムの充実を図りました。また、地域との交流を深めるため、近隣保育園、小中学校等との交流事業等、地域で支え合う関係つくりを進めました。

（３）利用者が快適な生活を送れるように、住環境の施設設備(畳交換や障子交換)等、また滝の湯・岩の湯のトイレ及び入り口床の修繕、洗濯機、乾燥機の故障時の交換・購入など計画的に進めました。

２．家族・後見人との連携体制

利用者の家族・後見人との信頼関係を育み、利用者がその人らしい生活を送れるように連携し、医療面、介護面など一体的に対応しました。家族懇談会は、参加人数も少しずつ増え、懇談会後にお楽しみ給食の昼食会を開催し、有意義な意見交換の場となりました。

３．虐待防止・身体拘束防止

（１）虐待防止規程に基づき、利用者の人権を擁護するとともに、対人援助における支援者の精神的安定により虐待を生まない施設作りをしました。東京都や品川区の外部研修への参加や、虐待防止チェックリストを実施し、職員一体となって虐待防止に対する意識の向上に取り組みました。

（２）身体拘束廃止に関する指針に基づき、職員会議などで研修を実施、拘束廃止に対する意識の向上に取り組みました。

４．地震等災害対策の充実

利用者が落ち着いて行動できるよう、月１回の訓練を実施しました。火災想定の訓練に合わせて、地震想定や津波想定の訓練等を重ねることで、利用者、職員の訓練意識の向上に繋がりました。

利用者外出時には、「緊急連絡カード」の携帯を推進しました。

５．東海ホーム実績資料

（１）利用者の入退園状況

月		入園者数			退園者数		
		家庭から	その他	病院から	特養ﾎｰﾑへ	その他へ	ご逝去
4月	男						1
	女					1	
	計					2	
5月	男		1				
	女	2			1		
	計		3				
6月	男						
	女	1					
	計		1				
7月	男						
	女	1					
	計		1				
8月	男						
	女					1	
	計					1	
9月	男						
	女	1					
	計		1				
10月	男						
	女						
	計						
11月	男						
	女						
	計						
12月	男						
	女					1	
	計					1	
1月	男						
	女	1				1	
	計		1			1	
2月	男						
	女		1				
	計		1				
3月	男						
	女						1
	計					1	
総計	男		1				1
	女	6	1		1	5	1
計			8			8	

※入園その他とは、老人保健施設・有料老人ホーム等

※退園その他とは、老健・病院・有料老人ホーム等

（2）年齢構成等　　［令和8年3月31日現在］

年齢区分	男性 人数	（18名） 構成比(%)	女性 人数	（32名） 構成比(%)	合　計 人数	構成比(%)
100歳以上	0		0	0%	0	0%
95～99	0		1	3.0%	1	2.0%
90～94	1	6.0%	6	17.8%	7	14.0%
85～89	5	31.0%	12	35.6%	17	34.0%
80～84	4	24.5%	3	9.0%	7	14.0%
75～79	4	24.3%	5	14.8%	9	18.0%
70～74	2	12.0%	5	14.8%	7	14.0%
65～69	0	0.0%	1	3.0%	1	2.0%
60～64	0		0		0	
合計	16	98%	33	98%	49	98%

平均年齢　82.8 歳
男性　82 歳　　男性最高年齢　90歳（昭和10年生）
女性　83.5 歳　　女性最高年齢　97歳（昭和2年生）

（3）在籍期間　　［令和8年3月31日現在］

	1月以内	1月～6月以内	6月～1年以内	1年～3年以内	3年～5年以内	5年～10年	10年以上
男	0	0	1	2	3	5	5
女	0	2	5	7	7	7	5
合計	0	2	6	9	10	12	10

※最長　平成13年12月入所　23年在籍（男性）
※平均　6年4ケ月

（4）介護度状況・ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰ利用状況（人）　　［令和8年3月31日現在］

区分	人数	ﾎｰﾑﾍﾙﾊﾟｰ利用状況 生活援助	身体介護	デイサービス・リハビリ等利用状況	訪問看護	訪問リハ 単リハ	訪問診療
なし	7	0	0	0	0	0	0
総合事業	3	0	0	2	0	0	0
要支援１	6	6	3	4	2	1	1
要支援２	11	12	8	8	3	6	6
要支援合計	17	18	11	12	5	7	7
要介護１	13	11	9	12	0	1	1
要介護２	6	6	6	7	2	1	1
要介護３	2	2	2	2	0	1	0
要介護４	1	1	0	1	0	0	0
要介護５	0	0	0	0	0	0	0
新規調査中	0	0	0	0	0	0	0
区分変更中	0	0	0	0	0	0	0
要介護合計	22	20	17	22	2	3	2
合計	39	38	28	34	7	10	9

※生活援助（洗濯・外出同行等）
※身体介護（通院・外出介助等）

（5）要介護者の主な職員介助内容　　［令和8年3月31日現在］

介助内容	人数	備考欄
入浴	6	見守り・声掛け含む
喫食	7	声掛け・誘導
通院	3	職員通院同行者　＊生活保護受給者含む
服薬	19	居室セット含む
排泄	5	トイレ誘導・オムツ交換

（6）身体障害者手帳所持状況　　［令和8年3月31日現在］

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
1種	1	0	1	0	0	0	2
2種	0	0	1	1	0	0	2

（7）愛の手帳所持状況　　［令和8年3月31日現在］

	1度	2度	3度	4度	計
人数	0	0	2	3	5

（８）利用料別内訳

［令和 ８年３月３１日現在］
４９在籍

①本人負担額（平成１２年７月１日以降に入所の方）

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	54, 230	10, 000	64, 230	36
2	54, 230	13, 000	67, 230	2
3	54, 230	16, 000	70, 230	2
4	54, 230	19, 000	73, 230	2
5	54, 230	22, 000	76, 230	1
6	54, 230	25, 000	79, 230	
7	54, 230	30, 000	84, 230	2
8	54, 230	35, 000	89, 230	2
9	54, 230	40, 000	94, 230	1
10	54, 230	45, 000	99, 230	1
11	54, 230	50, 000	104, 230	
12	54, 230	57, 000	111, 230	
13	54, 230	64, 000	118, 230	
14	54, 230	71, 000	125, 230	
15	54, 230	78, 000	132, 230	
16	54, 230	85, 000	139, 230	
17	54, 230	93, 000	147, 230	
18	54, 230	101, 000	155, 230	
19	54, 230	109, 000	163, 230	
20	54, 230	117, 000	171, 230	
21	54, 230	119, 100	173, 330	
			合計	49

②本人負担額

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	35, 550	0	35, 550	
2	38, 950	0	38, 950	
3	41, 250	0	41, 250	
4	43, 250	0	43, 250	
5	45, 250	0	45, 250	
6	47, 250	0	47, 250	
7	49, 250	0	49, 250	
8	51, 250	0	51, 250	
9	53, 250	0	53, 250	
10	55, 850	0	55, 850	
11	58, 550	0	58, 550	
12	61, 250	0	61, 250	
13	63, 850	0	63, 850	
14	64, 230	0	64, 230	
			合計	

※本人負担額＝生活費＋サービスの提供に要する費用＋冬季暖房費

※冬季暖房費・本人負担額（１１月～３月）　一室を一人で利用しているもの　２，１３０円(月額)

注１）平成１２年６月３０日以前入所者で、前年の対象収入が１２６万円以下の者は、②の表を適用する。

注２）対象収入(利用料算出の基になる収入)とは、前年の収入(社会通念上収入として認定することが適当でないものを除く)から租税、社会保険料、医療費等必要経費を控除した後の収入をいう。

（9）ヒヤリハット・事故報告状況

ヒヤリハット状況報告				
	6階	7階	その他	合計
4月	1			
5月	1	1		
6月	1	1		
7月	1	1		
8月	2	1		
9月	1			
10月		1		
11月	1	1		
12月	1			
1月				
2月	3	2		
3月				
合計	12	8	0	20
令和6年度	29	5	0	34
令和5年度	14	5	0	19

＜内訳＞転倒（１１）・椅子より転落（1）・禁食提供未遂（1）・尻もち（2）・鍋焦がし（1）・
無断外出（1）・連絡ミス（1）・座り込み（1）

事故報告状況			
	6階	7階	合計
4月			
5月			
6月			
7月	2		
8月			
9月	1	1	
10月			
11月			
12月			
1月			
2月	1		
3月			
合計	4	1	
令和6年度	5	3	8
令和5年度	6	5	11

＜内訳＞転倒（4）・無断外出（1）

（１０）結核・インフルエンザ・感染性胃腸炎・新型コロナウイルス感染症（疑い含む）発生状況

	結核	インフルエンザ	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス感染症
令和4年度	0	0	0	6
令和5年度	0	1	0	10
令和6年度	0	2	0	9
令和7年度	0	3	0	2

インフルエンザワクチン予防接種日：　10　月　3日

（１１）救急対応　７件
発熱（2）、呼吸苦（3）、誤嚥性肺炎（1）、頭部外傷（1）

（１２）防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓練内容　（火　点　等）	利用者参加
4	24	木	6階・7階設備点検・職員の動き	不参加
5	19	月	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：７階　東海ホーム物品室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
6	23	月	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：６階　６１２号室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
6	26	木	法人訓練　夜間出火想定・消火避難誘導（火点：６階　東海ホーム物品室）設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
7	25	月	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：７階　洗濯室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
8	25	月	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：６階　６０３号室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
9	18	木	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：７階　来客用男性トイレ） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
10	23	木	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：６階　東海ホーム物品室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
11	9	日	法人合同防災訓練（火点：５階　５１１号室） 避難誘導	参加
11	21	金	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：７階　東海ホーム物品室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
12	25	木	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：７階　７１３号室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
1	21	水	夜間出火想定・消火避難誘導（火点：６階　６０８号室） 設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練	参加
2	14	火	地震・夜間出火想定・消火避難誘導（火点：７階　物品室） 身を守る行動・設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練・水防訓練	参加
3	19	木	地震・夜間出火想定・消火避難誘導（火点：6階　物品室） 身を守る行動・設備点検・消火訓練・通報訓練・避難訓練・水防訓練	参加

※新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、日程/訓練内容を変更し、利用者参加を見合わせることがあった。

（１３）法人・外部研修参加状況

主催	実施日	研　修　名	受講職員職種
法人キャリアパス研修	6月25日	てんかん基礎講座	看護職員
東京都福祉保健局	7月22日	社会福祉事業従事者人権研修【I】	介護職員１名
法人研修	12月11日・15日	虐待防止・身体拘束防止研修	介護・看護職員全員
東京都福祉保健財団	12月1日～2月28日	高齢者虐待防止研修　意思決定支援研修	施設長
東京都社会福祉協議会	11月19日	軽費老人ホームの職員のための研修会	介護職員１名
東京都社会福祉協議会	2月5日	カスタマーハラスメント研修	生活相談員
法人内他部署間研修	1月～2月	しいのき学園・東品川サービスセンター	介護職員２名

（１４）職業体験等受入れ・福祉専門学校等実習生の受入れ・地域交流等

地域交流	みずなら保育園	敬老訪問：踊り（エイサー）の披露	令和7年10月29日（水）
地域交流	大森北6丁目保育園	暑中見舞い、年賀はがきプレゼント、敬老訪問：歌・ダンス披露等	令和7年11月27日（木） 令和8年2月16日（月）
地域交流	東海中学校敬老訪問	敬老メッセージカードプレゼント	生徒２名来所
地域交流	品川消防少年団	掲示物のプレゼント	令和7年9月7日（日）
地域交流	自治体八潮　地域サロン	令和７年度　年４回実施	職員２名派遣
夏の体験ボランティア	近隣高校生、中学生	クラブ活動補助（介護予防、書道、カラオケ等）	計３日間３名
招待	品川法人会彩ふれあい寄席	落語とコント・モノマネとマジックショー他	利用者２名参加

（１５）事業実施報告

月	日	行事・活動名	内　容	備　考
4	7・16	書道クラブ		茶話会中止
	8	花まつり甘茶		
	12・21	創作クラブ		
	13・20	介護予防		
	28	利用者集会・体重測定	事業計画・事業報告についてお知らせ	
5	1	開設記念日		
	4・18	介護予防		
	5	菖蒲湯		東京マックス美容中止
	5・20	創作クラブ		
	6・16	書道クラブ		
	11	福栄会祭り		
	28	利用者集会・体重測定		
	28	八潮サロン		
6	7	町会祭り	中庭にて洲崎神輿・東親会神輿見物	シャワー浴開始
	8・15	介護予防		
	9・20	書道クラブ		ボランティア懇談会中止
	11・28	創作クラブ		
	9・15	書道クラブ		
	16	不在者投票		
		アミカボランティア（手話ダンス）	３階食堂にて実施	
	25	東海ホーム利用者健診		
	30	利用者集会・体重測定	害虫駆除についてお知らせ	
7	6・27	介護予防		
	9・18	創作クラブ		１セットバー中止
	11	不在者投票		東海中清掃ボランティア中止
	12・16	書道クラブ		音楽療法中止
	13	お盆入り		ビューティークラブ中止
	16	お盆明け		
	23	八潮サロン		
	26	ウクレレC	食堂にて実施	
	31	利用者集会・体重測定	洲崎町祭りについてのお知らせ	
8	2	洲崎町祭り		
	4・30	書道クラブ		
	6・28	創作クラブ		
	14・19	カラオケクラブ		
	17・24	介護予防		
	21	物故者慰霊法要		
	27	利用者集会・体重測定	長寿を祝う会についてお知らせ	
	27	花火大会7階		
9	3	花火大会6階		
	7	品川消防少年団来所	お花と色紙のプレゼントあり。	
		家族懇談会・お楽しみ給食	食事ありの懇談会を実施。	ミニバイキング⇒お楽しみ給食に変更
	7・14	介護予防		
	11	長寿お祝いの会	卒寿：３名　米寿：６名のお祝い	
	12	東海中敬老の祝い訪問		
	12・17	カラオケクラブ		
	13・19	創作クラブ		
	20	お彼岸入り		
	22・24	書道クラブ		
	24	八潮サロン		
	26	お彼岸明け		
	28	東海敬老の集い（ソーラン節）	各階分かれて職員からの出し物を実施	
	29	利用者集会・体重測定	赤い羽根共同募金についてお知らせ	
	30	給食懇談会		
10	3	インフルエンザワクチン集団接種		
	10・18	創作クラブ		
	12・26	介護予防		
	13・21	書道クラブ		東京マックス中止
	19・30	カラオケクラブ		
	27	利用者集会・体重測定		
11	2	福祉サービス第三者評価	6階・7階利用者調査実施	
	9	合同防災訓練		
	9・16	介護予防		
	10・28	カラオケクラブ		
	12・29	創作クラブ		

月	日	行事・活動名	内　容	備　考
11	13	炊き出し訓練		さんま祭りを中止し炊き出し訓練実施
	14・25	書道クラブ		
	23	ビデオ鑑賞会６階		
	24	ウクレレC		
	26	八潮サロン		
	26	利用者集会・体重測定	年末年始のお知らせ	
	30	ビデオ鑑賞会６階		
12	5・13	書道クラブ		
	6	紅葉ドライブ		
	7・8	カラオケクラブ		
	12・24	創作クラブ		
	14・21	介護予防		
	17	東海ホーム利用者健診		
	22	冬至・ゆず湯		
	26	利用者集会・体重測定	収入申告についてお知らせ	
	28・29	大掃除・環境整備	洗濯室・浴室掃除	
1	1	元旦ご挨拶		
	5・6	書道クラブ		
	11・18	介護予防		
	16・28	創作クラブ		
	19・20	カラオケクラブ		
	23	利用者集会・体重測定		
	25	新年の集い(寸劇・手話・合唱)	各階分かれて職員からの出し物を実施	
	26	給食懇談会		
	28	八潮サロン	手紙のプレゼントあり。	
2	3	節分		
	6	不在者投票		
	8・15	介護予防		
	9～15	東海作品展７階		
	13・14	書道クラブ		
	15	お楽しみ給食		
	16～22	東海作品展６階		
	17・23	創作クラブ		
	21・22	カラオケクラブ		
	25	利用者集会・体重測定	第三者評価利用者調査の結果について報告	
3	3	ひなまつり		
	8・15	介護予防		
	11・12	書道クラブ		
	17	彼岸入り・創作クラブ		
	7・22	書道クラブ		
	21・22	カラオケクラブ		
	23	お彼岸明け・創作クラブ		
	25	利用者集会・体重測定	来年度の職員体制について	
	25	八潮サロン		
	28	家族懇談会		
	28	お花見ドライブ		
	30	ウクレレC	３階食堂にて実施	
	31	大掃除・環境整備	今年度の書類整理、次年度準備等	

（１６）入所選考委員会実施状況

月	日	委員会
9	2	第1回入所選考委員会～3階会議室にて開催。
		今年度も、待機者は十分だったため、1回のみの実施。

在宅サービス課事業報告

１．基本方針【在宅サービス課共通】

地域包括ケアシステムの深化・推進を目指し、認知症の方や単身高齢者、医療ニーズが高い中重度の高齢者を含め、「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」ことが実現できるよう、質の高いケアマネジメントや必要なサービスを安定的かつ継続的なサービス提供を行いました。

２．重点目標【在宅サービス課共通】

（１）施設の安全性・サービスの質の向上を図り、利用率及び利用者満足度の向上に努めました。

（２）感染症や災害への対応力を強化し、安定的に事業を継続しました。

①「業務継続計画（感染症・災害)」の見直しを行いました。

②「業務継続計画（感染症・災害)」について、年１回以上の研修・訓練を実施（参加）し、訓練の実施に当たっては、地域住民との連携に努めました

③感染症防止委員会にて検討、(感染症の予防及び蔓延防止の為の対策等）した内容については、職員へ周知徹底を図りました。

（３）虐待の発生防止・早期発見などに努め、高齢者虐待防止を推進しました。

①「虐待防止」について、年１回以上の研修を実施（参加）しました。

②虐待防止委員会にて検討（虐待の発生防止・早期発見などの対応等）した内容については、職員へ周知徹底を図りました。

（４）地域住民やボランティア団体との交流に努め、地域との連携を強化しました。

東品川・大崎エリア（各在宅サービス課）ごとに地域貢献活動を計画・実施しました。また、ご希望のあったボランティアの受け入れを行いました。

（５）事業所情報の「書面掲示」規制の見直しに対応しました。

事業所の重要事項説明書等について、「書面掲示」に加えて「ウェブサイト（ホームページ等)」への掲載・公表を行いました。

在宅サービス課職員研修報告（東品川在宅介護支援センター／東品川在宅サービスセンター）

※区分　①法人　②品川区　③東京都・社協　④その他（事業所外）　⑤事業所内

区分	研修名	内容	実施日	参加者
東品川在宅介護支援センター				
④	品川福祉カレッジケアマネジメント講座	「適切なケアマネジメント手法について学ぶ	5月12日6月13日10月21日	3名
④	品川カレッジ「虐待防止研修」	価値、倫理を基盤とした本質的な支援の理解	5月15日	1名
②	ACPeラーニング	ACPについて学ぶ	7月1日	1名
④	ケアマネジメント支援部研修	現場で使えるリハビリの知識	7月24日	4名
④	ケアマネジメント支援部研修	適切なケアマネジメント手法疾患別ケア（認知症）	8月12日・1月23日	1名
⑤	エコリンク研修	エコリンク運用マニュアル活用・環境プログラム等の共有と理解を図る	8月15日	10名
⑤	感染症予防研修	感染症に関する知識や対応方法等について学ぶ結核について	7月30日・8月18日・9月17日・11月22日	10名
④	品川カレッジ「虐待防止研修」	虐待・グレーゾーンについての理解	8月21日	1名
③	都入退院時連携強化研修	医療・介護関係者との連携・情報共有の強化を図る	9月11日	1名
⑤	情報セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策について理解する	9月19日	10名
④	在宅医療研修会	在宅緩和医療医が日々考えている事を学ぶ	9月26日	3名
③	東京都地域包括支援センター現任研修	地域包括支援センターの適切な運営及び更なる機能強化を図る	10月7日	1名
③	介護支援専門員更新研修（専門Ⅱ）	資格更新	1013日・16日	1名
③	主任介護支援専門員研修	資格取得	10月15日他12日	1名
①	虐待防止研修	職員の権利意識を高め、利用者を中心とした施設運営に寄与する。福祉施設職員としての虐待防止に向けた役割を理解する。	12月10日・12月15日	8名
①	法人経営研修	経営方針等について学ぶ	10月9日・11月6日	2名
⑤	感染症予防研修	防護服の着脱等について学ぶ	10月17日	10名
④	ケアマネジメント支援部研修	高額医療費・高額介護サービス費を踏まえて	11月28日	2名
④	品川カレッジ新任職員向け基礎研修	事例から学ぶカスターマーハラスメント	11月18日	1名
④	ケアマネジメント支援部研修	ケアプラン：リハビリの目標設定～そして展開へ	12月9日	3名
②	医療と介護の多職種連携研修会	身よりなき問題～制度の間を埋める地域の連携力～	12月15日	3名
②	品川区自立支援研修	自立支援・重度化防止のために～改めて「自立」を考える～	1月19日	2名
②	地域包括ケアシステムの理解と地域包括支援センターのミッション～求められる役割と期待～	地域包括ケアシステムの役割と期待を理解する	2月16日	2名
⑤	BCP研修	平常時の備えと有事の行動について（災害・感染症）	2月20日	10名
②	多職種合同研修会	専門チームコンサル事業事例報告会	3月13日	1名
東品川在宅サービスセンター				
①	ジョブメドレーアカデミー	各種ＷＥＢ研修	4月1～3月末日	非常勤含む全職員
②	異動職員対象ＯＪＴ研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	4月1日～6月30日	1名
③	BCP進めるための次の一歩	BCP（事業継続計画）を学ぶ	6/24・8/23. 11/3	7名
④	情報セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	9月1日～	常勤全員
⑤	虐待防止研修①	虐待チェックリストを基に、各個人の対応について振り返り	7/12. 8/19. 12/17. 3/12	40名（常勤：非常勤）
⑥	上級救命講習	緊急時の応急手当方法の取得	2/1. 2	3名
⑦	感染症研修	感染症の基礎知識を学ぶ	5/31. 8/23. 10/1. 11/28	8名
⑧	BCP訓練（災害）	緊急時の対応方法のシミレーション訓練	11月2日	近隣職員
⑨	虐待防止研修②	その人らしさを大切にしたケアを目指して	6/27. 7/18. 9/26	10名（常勤：非常勤）
⑩	入浴研修	入浴方法、緊急対応	3/11. 12. 13	14名（常勤：非常勤）
ヘルパーステーション東品川				
⑤	ジョブメドレーアカデミー	各種ＷＥＢ研修	4月1～3月	7名非常勤含む全職員
③	東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修	基礎研修と実地研修を行い学ぶ	6月1～3月	3名
③	強度行動障害支援者養成研修	強度行動障害の理解と支援	7月1～9月	1名
③	知的障害者移動支援従事者養成研修	知的障害者の理解と支援	8月23日・30日・31日	1名
①	情報セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	8月	7名非常勤含む全職員
①	感染症研修	感染症対策の基本を学ぶ	9月17日	7名非常勤含む全職員
⑤	BCP研修	BCP内容の説明（シュミレーション）と訓練	9月23日	7名非常勤含む全職員
③	指定更新事業者研修会	指定更新に必要な書類等の整備について学ぶ	11月13日	1名
①	決算分析研修	事業所決算書について勉強会	12月26日	1名
③	高齢者虐待防止研修・高齢者権利擁護	虐待防止と権利擁護について学ぶ	12月	1名

在宅サービス課職員研修報告（大崎在宅介護支援センター／大崎在宅サービスセンター／五反田保育園ふれあいデイホーム）

※区分　①法人　②品川区　③東京都・社協　④その他（事業所外）　⑤事業所内

区分	研修名	内容	実施日	参加者
大崎在宅介護支援センター				
②	認定調査員新規研修	介護保険認定調査の技術について学ぶ		対象者なし
②	品川区総合支援システム操作研修会	ケアマネジメントシステムの操作方法を学ぶ		対象者なし
③	令和7年度主任介護支援専門員更新研修	資格更新の為		受講者なし
③	令和7年度主任介護支援専門員研修の参加	資格取得の為		受講者なし
③	品川福祉カレッジケアマネジメント講座	「適切なケアマネジメント手法について」学ぶ	5月12日・6月13日・10月21日	2名
④	しながわ多職種勉強会	品川区の認知症施策について学ぶ	5月23日	2名
③	令和7年度介護支援専門員更新研修	資格更新の為	①6月20日～8月26日②6月20日～8月28日③12月8日、12日	2名
②	今から考える、明日への備え（ACP）	ACPについて学ぶ	7月1日	2名
③	認知症患者を地域でみていくためには	認知症患者を地域でみていくために必要な現状の認知症の知識を深め、応用できるようにすること	7月29日	3名
①	感染症予防研修	感染症に関する知識や対応方法等について学ぶ	7月30日・8月18日・9月17日・11月22日	11名
⑤	認知症事業所内研修	認知症の方や家族等を地域で支援していくために認知症の知識を深める	8月5日	11名
②	家族も支える支援、どう届ける？	家族介護の多様性を理解する	8月6日	2名
②	令和7年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修	在宅における身体拘束事案への対応について	9月5日	1名
⑤	情報セキュリティ研修	福栄会の情報管理安全対策について理解する	9月16日	11名
④	しながわ多職種勉強会	在宅緩和医療が日々考えていることを理解する	9月26日	5名
⑤	品川エコリンク研修	品川区のエコリンクについて理解を深める	9月30日	11名
③	東京都地域包括支援センター職員研修（現任者研修）	地域包括支援センターの役割を知り、知識や技術向上を図る	10月28日	1名
②	令和7年度　第2回ケアプランサポート研修	ケアマネジメントの質の向上を図る	10月28日、29日	1名
③	東京都認知症地域対応力向上研修	区市町村において認知症の人への支援に関わる専門職の支援技術等の向上を図る事を目的とする	12月14日	1名
①	虐待防止研修	職員の権利意識を高め、利用者を中心とした施設運営に寄与する。福祉施設職員としての虐待防止に向けた役割を理解する。	①10月30日②12月10日・11日・15日	11名
①	法人経営研修	経営方針等について学ぶ	11月6日	1名
⑤	BCP研修(自然災害)	自然災害発生時の行動等について学ぶ	12月23日	11名
⑤	BCP研修(感染症)	感染症発症時の行動等について学ぶ	12月23日	11名
②	しながわ防災学校	要配慮者支援の制度に対する理解を深める	1月15日	1名
②	自立支援・重度化防止のために～改めて「自立」を考える～	総合事業についての再確認と、自立を目指したケアプランなどについて学びを深める	1月19日	1名
②	地域包括ケアシステムの理解と地域包括支援センターのミッション～求められる役割と期待～	地域包括ケアシステムの役割と期待を理解する	2月16日	2名
①	オーストラリア認知症支援視察研修2026	オーストラリアの認知症施策ついて学ぶ	令和8年3月15日～21日	1名
大崎在宅サービスセンター				
⑤	新任職員対象ＯＪＴ研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	1月5日～6月30日	1名
⑤	事故防止・リスクマネジメント研修	介護現場におけるリスクマネージメント（資料回覧）	1月12日～1月17日	9名
③	東京都認知症実践者研修	認知症の方のケアのあり方について	5月23日～7月10日 7月 8日～9月 8日	2名
①	BCP訓練（災害編）	BCP（事業継続計画）の確認	11月2日	3名
①	法人経営研修	経営方針等について学ぶ	11月6日	1名
①	法人感染症研修	感染症の基礎知識を学ぶ	11月22日	8名
⑤	身体拘束防止研修	身体拘束防止への取り組みについて	12月1日～12月6日	9名
⑤	入浴研修	入浴サービスに関する安全知識を深める	12月8日	9名
④	認知症介護基礎研修	認知症介護基礎研修の受講（動画視聴）	1月13日	1名
④	上級救命講習	緊急時の応急手当方法の取得	2月2日・2月6日	2名
④	東京ケアウィーク展示会への参加	最新福祉機器の情報収集	2月27日	1名
⑤	BCP研修（災害編）	BCP（事業継続計画）の確認	3月21日	9名
五反田保育園ふれあいデイホーム				
⑤	事故防止・リスクマネジメント研修	事故防止及びリスクマネジメントについて	4月3日	2名
⑤	非常災害研修	介護現場における非常災害について学ぶ	5月1日	2名
⑤	食中毒について	食中毒及び予防について	6月5日	2名
⑤	身体拘束について	身体拘束について学ぶ	7月5日	2名
⑤	プライバシー保護研修	プライバシーについて学ぶ	8月2日	2名
⑤	認知症研修	認知症を予防できる生活習慣について学ぶ	9月3日	2名
⑤	エコリンク研修	環境について学ぶ	10月4日	2名
⑤	感染症予防研修	感染症予防について理解する	11月7日	2名
⑤	虐待防止研修	認知症ケア現場での虐待について学ぶ	12月5日	2名
⑤	事故防止・緊急対応研修	施設における事故防止・緊急対応について学ぶ	1月10日	2名
⑤	非常災害研修	介護現場における非常災害について学ぶ	2月7日	2名
⑤	食中毒について	食中毒及び予防について	3月5日	2名

在宅介護支援センター事業報告

１．基本方針【共通】

支援を必要とする方のニーズと社会資源を結びつけ、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援しました。予防から介護まで包括的・継続的な支援を行い、一体的・効果的なサービス提供を行いました。

２．重点目標【共通】

（１）地域包括支援センター・在宅介護支援センター機能の充実

①制度改正への適切な対応

介護保険法改正の動向を注視し、その対応について指定居宅管理者である品川区と協議を図り、また、第９期品川区介護保険事業計画の内容を踏まえた適切な支援を継続しました。

②多職種連携の推進

品川区高齢者相談支援システムを効果的に運用するとともに、品川区及び各関係機関との連携を強め、地域の身近な相談窓口として、さまざまな介護相談に迅速かつ適切に対応しました。

③ケアマネジメントの質の向上・職員の育成

さまざまなケースに適切に対応できるよう、外部研修等を活用し、介護支援専門員のスキルアップを図りました。また、主任介護支援専門員取得に努めるとともに、ＯＪＴの流れを整理し、事業所全体で新任職員の育成にあたりました。

④高齢者虐待の防止

高齢者虐待を防止するため、高齢者保護のための措置、高齢者の養護者の負担

軽減を図る支援を、関係機関と連携を密にとり適切に行いました。

⑤「生活支援記録法」の会得

令和３年度より品川区高齢者福祉課が採用した「生活支援記録法」を職員全員が会得し、適切に記録できるように取り組みました。

（２）地域ネットワークづくりへの取り組み

①外出に不安がある高齢者及び認知症高齢者の支援

品川区高齢者探索支援システム「くるみプラン」を生活状況や必要度に応じて情報提供を行い、申請を促しました。区と連携しながら、安心して生活ができる地域づくりを目指しました。

②地域ニーズの把握

地域の会議（ふれあいサポート会議等）に積極的に参加し、各地域内に

おいて、民生委員や町会等との情報共有・連携の強化を図りました。また、品川区介護支援専門員協議会（ケアマネジメント支援部）へも参加し、事業所間のネットワークづくりに努めました。

③認知症高齢者への支援

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らすことができる社会を目指し、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催（感染症予防対策を行い）し、認知症サポーターを養成しました。

④地区ケア会議の充実

個別のケース検討を通し、他機関・多職種が協働して課題解決にあたり、地域の問題解決力の向上を図るとともに、地域課題を明らかにし、地域づくりについても検討しました。

⑤高齢者・障害者包括支援相談体制構築について

これまで以上に高齢者・障害者それぞれの相談員が情報を共有し、地域共生社会の実現に向けて包括的な相談体制を構築しました。

３．各支援センター目標

（１）東品川在宅介護支援センター

①事業所間連携の強化

東品川在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営を行いました。

②地域貢献活動の充実

ア　ちえのわ教室

毎月第１土曜日に開催していた「ちえのわ教室」と毎月第４土曜日に開催している「わかやぐ」と同時形式を取り入れながら再開しました。高齢者の方を対象に脳トレ、介護予防体操等も行いました。

イ　アットホームカフェ

毎月第４土曜日に開催している「わかやぐ」と同時に「アットホームカフェ」を継続して実施する事で地域のニーズに対応しました。ポスターでの事前周知や開催日当日の看板設置を行うなど集客に力を入れました。また、相談に加えて関係事業所の協力によるイベントも開催し、内容の充実に努めました。

ウ　品川区立東品川わかくさ荘（品川区立高齢者住宅・５０室）の継続支援及び「東品川身体障害者住宅」（２室）居住者への援助。

品川区の指定管理を受けて、東品川在宅介護支援センターと同一建物内にある上記高齢者住宅の居住者に対し、緊急対応も含め、必要な生活支援を行いました。また、防災意識の向上のため、防災訓練を年４回計画し、実施しました。

（２）大崎在宅介護支援センター

①事業所間連携の強化

大崎在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営を行いました。

②地域貢献活動「大崎ふくふく」

大崎在宅サービスセンター及び五反田保育園ふれあいデイホームと協働して開催しました。脳トレや介護予防体操等、参加者が楽しめる内容を提供し、気軽に参加できるよう努めました。

在宅介護支援センター利用状況

東品川在宅介護支援センター

項　目 ／ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数（新規）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定調査件数（更新）	12	29	9	11	13	12	12	9	10	12	10	4	143
認定調査件数　合計	12	29	9	11	13	12	12	9	10	12	10	4	143
実態把握ｱｾｽ予防給付・予防事業	7	9	3	10	6	11	2	8	8	10	5	3	82
実態把握ｱｾｽ介護給付	4	4	4	6	8	6	8	7	5	8	6	2	68
アセスメント等件数合計	11	13	7	16	14	17	10	15	13	18	11	5	150

予防給付（要支援１）	60	57	58	56	59	59	57	53	56	57	60	59	691
予防給付（要支援２）	133	130	126	128	124	128	127	125	121	121	116	117	1,496
総合事業対象者	21	19	17	19	18	20	22	22	24	23	24	23	252
予防給付特高　合計件数	214	206	201	203	201	207	206	200	208	201	200	199	2,446
介護給付（要介護１）	34	36	37	39	42	42	45	47	48	48	51	52	521
介護給付（要介護２）	36	37	35	37	39	42	42	43	43	43	46	48	491
介護給付（要介護３）	24	26	26	29	25	25	26	25	24	24	23	26	303
介護給付（要介護４）	16	15	14	14	14	14	15	16	14	14	9	9	164
介護給付（要介護５）	10	8	9	10	9	11	11	8	8	8	8	8	108
介護給付合計	120	122	121	129	129	134	139	139	137	137	137	143	1,587
予防+介護給付　合計件数	334	328	322	332	330	341	345	339	345	338	337	342	4,033

ちえのわ教室利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日	26	24	28	26	23	27	25	22	20	24	28	28	12
参加者人数	4	7	6	6	6	3	6	5	7	8	9	4	71

大崎在宅介護支援センター

項　目 ／ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数（新規）	1	0	3	0	2	1	0	0	0	2	1	0	10
認定調査件数（更新）	16	22	12	18	10	6	18	10	14	19	14	16	175
認定調査件数　合計	17	22	15	18	12	7	18	10	14	21	15	16	185
実態把握ｱｾｽ予防給付・予防事業	13	18	22	17	8	6	15	5	12	17	10	16	159
実態把握ｱｾｽ介護給付	12	15	15	16	13	7	16	8	10	13	13	8	146
アセスメント等件数合計	25	33	37	33	21	13	31	13	22	30	23	24	305

予防給付（要支援１）	81	81	81	77	76	77	73	70	68	66	68	69	887
予防給付（要支援２）	185	193	192	197	194	193	193	188	182	187	184	184	2,272
総合事業対象者	16	17	16	16	15	17	19	18	18	19	18	18	3,159
予防給付特高　合計件数	282	291	289	290	285	287	285	276	268	272	270	271	3,366
介護給付（要介護１）	54	58	63	61	64	63	57	61	60	62	57	55	715
介護給付（要介護２）	50	52	51	54	54	57	58	60	62	57	59	61	675
介護給付（要介護３）	19	20	21	26	27	27	28	27	24	22	26	22	289
介護給付（要介護４）	13	10	9	9	12	12	14	15	15	14	14	14	151
介護給付（要介護５）	8	10	8	8	8	8	7	6	4	3	3	2	75
介護給付合計	144	150	152	158	165	167	164	169	165	158	159	154	1,905
予防+介護給付　合計件数	426	441	441	448	450	457	449	445	433	430	429	425	5,274

通所介護事業所事業報告

１．基本方針【共通】

利用者の人としての尊厳を大切にし、その人らしさを意識しながら、心豊かな暮らしが実現できるよう努めました。利用者の状態を的確に把握し、根拠に基づいた介護サービスを提供し自立を支援しました。また、介護者である家族等への支援を行いながら、在宅生活の継続に主眼を置いたサービス提供を行いました。

２．重点目標【共通】

（１）魅力ある施設づくりを行い、目標利用率を達成を目指しました。

利用者のニーズを的確に捉え、多種多様なレクリエーション・創作活動の提供などにより魅力ある施設づくりに努めました。サービス・利用者満足度の向上をもって、利用率の向上を図り、関係機関等への広報活動も積極的に行い、利用に繋がるように努めました。

（２）自立支援・重度化防止への取り組みを進めました。

自立支援に主眼を置いたサービス提供を行いました。また、科学的介護を推進する観点から、LIFEの入力方法・事務負担等を確認し、それに伴う必要な準備・検討を行いました。

（３）事故防止に努め、安全かつ快適なサービスを提供しました。

計画的に内部研修を実施し、リスクマネジメント力の向上を図りました。また、事故・ヒヤリハット事例の検証を迅速に行い、再発防止策の徹底を図ることで施設の安全性向上に努めました。

３．各施設目標・サービス提供内容

（１）東品川在宅サービスセンター（総合事業、通常規模型通所介護）

①介護予防に重点を置いて、自立支援を促し、中重度の高齢者及び医療的ケアの必要な方についても柔軟に受け入れを行いました。また、認知症ケアにおいては、さまざまな生活機能（心身機能・活動・参加）全体を捉えながら、認知症予防や利用者の能力の最大活用ができるようにサービス提供を行いました。

②機能訓練サービス

ア　生活している環境や状況に配慮し、利用者個々の身体機能に合わせた　リハビリの提供を施設内の機能訓練指導員で協力し合い、行いました。

イ　介護予防事業において、感染症対策を行いつつ、虚弱高齢者でも運動が行えるように個々の状態に合わせた運動を行いました。また、自宅などで行える運動プログラムを提案し、事業修了後の運動継続を促しました。

元気高齢者に対してはボランティア活動などを勧めました。

ウ　利用者が安全にリハビリを行えるよう、設備・備品については、日々の点

検及び必要な安全対策を行い、老朽化している物は計画的に更新しました。

＜サービス提供体制＞

リハビリ	サービス提供時間	職員体制(1日当たり)
①運動療法 （立位・歩行訓練等） ②温熱療法 ③福祉用具相談等	午前／ ９時３０分～１１時３０分 午後／ １３時３０分～１６時００分	常勤機能訓練指導員２名 (SC1名・晴楓各１名) 非常勤機能訓練指導員 非常勤介護士等数名

③地域貢献活動（ミニサロン）について

新しい生活様式の中で、安心して参加者が楽しめるよう、在宅介護支援センターと東海ホームと共同で順次開催しました。

④事故・ヒヤリハット事例の検討

利用者の事故を防止するため、事故・ヒヤリハット事例の検討を迅速に行いました。防止策については、朝礼等で職員全体での情報共有を徹底するとともに、業務マニュアル・手順書についても適宜更新しました。

⑤人材育成について

令和５年度から行ってきたウェブ研修を引き続き設定し、各自時間の有効活用を図り、周りの職員と声を掛け合って個別に実施してきました。これによりすべての介護職員に研修実施が出来、全体研修にも参加することでスキルの向上につなげました。

（２）大崎在宅サービスセンター（総合事業、通常規模型通所介護）

①サービス向上に向けた取り組みについて

ア　認知症ケアの向上を図りました。認知症の症状に合わせたケア計画を立て、定期的な個別事例の検討を行いました。また、認知症ケアに関する勉強会（１回／年）を実施する等で、認知症のチームケアを構築しました。７年度は東京都認知症実践者研修に２名、認知症介護基礎研修１名受講しました。

イ　大崎在宅介護支援センターとの連携を強化します。介護職員が、定期的（最低でも、ひと月に１回は参加）に支援センターの利用者確認会議へ参加し、利用者の利用状況報告や、情報交換をこまめに行いました。また、認知症の進行のある方などの情報を共有し、通所介護から認知症対応型通所介護への円滑な移行に努めました。

ウ　「いきいき活動プログラム（予防通所事業）」の内容充実に努めました。ボランティアの受け入れを積極的に行う等、多種多様なプログラムを提供しました。対象となる利用者へプログラムを実施することで、「認知機能」・「心身機能」の維持・向上を図りました。

※「いきいき活動プログラム」とは、予防通所事業と組み合わせて実施す

る、介護予防や自立支援を目的とした２．５時間以上のプログラムです。

エ　「にやりほっと報告書」（目標：年５０件以上）を作成し、利用者の「できること」に着目した支援を行いました。目標件数５０件を上回り５２件作成しました。「にやりほっと報告書」の内容は、職員全体で情報共有し、利用者の意欲向上・自立支援の具体的な対応に繋げました。必要に応じて、家族やケアマネ―ジャへも情報共有を行いました。「にやりほっと集」を作成し、利用者、ご家族に配布しました。

※「にやりほっと報告書」とは、利用者の「できること」・「好きなこと」などを発見し、それを共有し、具体的な支援策に結びつけることを目的とした報告書です。

オ　ヒヤリハット報告事例の検討を積極的に行いました。施設内の危険を予見し、検討後の対応策を周知徹底することで安全性向上に努めました。

②人材育成について

ア　新任職員・異動職員へのOJT研修については、「業務手順書」の他、配属より３カ月で習得する「OJT業務チェックリスト」をもとに研修を実施しました。OJT担当職員の他、職員全員で重層的な関わりをもって対応を行いました。また、管理者による定期面談を実施し、業務の習得状況等を丁寧に確認しました。良かった点や、強みを評価する欄を設け、職員の意欲的な勤務継続を支援する教育体制を構築しました。

イ　職員の介護技術向上を目的に次世代介護機器（可動式リフト）を購入しました。今後も研修や福祉用具の活用などにより、より安全な介護方法を取り入れました。

ウ　法人内の事業所の職員を受け入れ、研修を実施しました。

③目標利用率の達成に向けて

ア　利用者アンケートの評価・意見を事業運営へ反映させることで、利用者満足度の向上（目標満足８０％以上）に努めました。

※年２回実施（７月・１月）

（利用者アンケートの回答について）

「サービス全般について」評価を問う設問に対し、８４．５％の方に満足以上（うち大いに満足３１．３％）の回答をいただきました。

イ　空き情報や活動報告などを、近隣関係事業所へ情報提供しまし、事業所パンフレットを新規契約・見学等で活用しました。

ウ　見学等で使用している「利用ご案内」について、更新（年１回以上）を行い、新規契約・見学等で、施設サービスについて分かりやすい説明を行いました。

（３）品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム（地域密着型通所介護　）

①　居宅支援事業所へ月１回発行している活動報告や、地区ケア会議への参加等で、事業所の特色（充実した創作活動・手厚い支援体制など）を、積極的に

アピールしました。また、さらなるサービスの充実を目指して、法人内の職員相互研修を実施（年間１名以上）しました。他事業所の良い点を学び、サービスへ反映しました。

② ヒヤリハット報告事例の検討を積極的に行いました。施設内の危険を予見し、検討後の対応策を周知徹底することで安全性向上に努めました。

③「にやりほっと報告書」（目標：年２０件以上）を作成し、利用者の「できること」に着目した支援を行いました。目標件数２０件を上回り４３件作成しました。「にやりほっと報告書」の内容は、職員全体で情報共有し、利用者の意欲向上・自立支援の具体的な対応に繋げました。必要に応じて、家族や担当の介護支援専門員へも情報共有を行いました。

※「にやりほっと報告書」とは、利用者の「できること」・「好きなこと」などを発見し、それを共有し、具体的な支援策に結びつけることを目的とした報告書です。

④ 介護予防や自立支援を目的とした「いきいき活動プログラム」などを推進しました。手芸等の創作活動など様々な活動を通して利用者の心身機能の維持・向上に努めました。

⑤ 保育園児との交流を継続しました。高齢者としての役割が持て、心身共に充実が図れるように努めました。

７年度は東京都認知症実践者研修に１名受講しました。

（４）一般介護予防事業

お申し込みをいただいた方（６５歳以上の全ての区民が対象）に、効果的な介護予防教室を開催しました。早期に介護予防に取り組んでいただくことで自立を支援しました。

① 東品川在宅サービスセンター

ア　マシンでトレーニング（月曜日／定員―８名）

イ　身近でトレーニング　（水・土曜日／定員―各１２名）

② 大崎在宅サービスセンター

ア　身近でトレーニング（木曜日／定員―６名）

（５）介護者教室

東品川在宅サービスセンターと、大崎在宅サービスセンター協同開催で、在宅介護者の方々へ介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術が習得できるような教室を開催しました。また、参加者同士の自由な意見交換の場として、日頃の介護の悩みや・不安の軽減に繋がるよう努めました。

４．家族介護者との関わり・連携（意見・要望の収集など）

（１）戸別訪問の実施（随時）※サービス担当者会議、通所介護計画更新時等

（２）利用者・家族アンケートを実施（６月）しました。そこで出た意見・要望を集約（回答を数値化）し、事業運営に反映しました。

（３）利用者アンケートの意見報告・ご意見に対する施設の業務改善策について集計内容を書面化し、利用者集会等で説明しました。

（４）意見箱や、サービス提供中の会話等で、施設へのご意見を伺うように努め、寄せられた意見・要望に対しては、誠意を持って回答・対応しました。

５．地域との交流・連携、ボランティアの受け入れ促進

（１）地域貢献活動について

①東品川エリア（東品川在宅サービス課）

地域貢献事業として、折り紙教室「海岸通り」（第４金曜日）を継続して実施しました。また、地域貢献活動として、「自治八潮会サロン」（毎月第４水曜日）を、地域の実情を踏まえながら開催しました。

②大崎エリア（大崎在宅サービス課）

地域貢献活動「大崎ふくふく」を定期的（年４回）に開催しました。実施については、法人内の大崎在宅介護支援センター・五反田保育園ふれあいデイホームと協同して開催しました。

（２）行事や施設開放を通じて地域との交流を行いました。また、町会・自治会や近隣の保育園・小学校等の地域活動にも積極的に参加し交流を深めました。

（３）プログラムメニューを工夫し、ボランティアの方々が短時間でも活動しやすい体制を作るなど、ボランティアの受け入れを促進しました。

認知症対応型通所介護事業報告

1．基本方針

少人数で温かく居心地のよい環境を提供し、認知症の方の心に寄り添い、深い洞察力と適切な関わりをもって専門的なサービス提供に努めました。利用者のニーズを的確に把握し、その方に合った認知症ケアを実践しました。

2．重点目標

（1）認知症ケア・サービスの質の向上を図りました。

①認知症の方が有する能力に応じた日常生活を営むことが出来るよう、内部・外部研修等を通じて、実践的な知識・技術を取得し、事業所の支援力を強化しました。東京都認知症介護実践者研修を受講（年１名以上※各課）し、認知症高齢者への支援のあり方を学び、他職員へも学びを共有し事業所全体の支援力向上に努めました。

②品川区・他事業所と連携し、認知症対応型通所介護のサービス提供のあり方等を見直し、利用者ニーズの把握、ニーズがより充足できるようなサービス提供に努めました。家族支援にも力をいれた事業運営を行い、介護方法や認知症状の対処方法を助言しました。

3．各施設目標・サービス提供内容

（1）東品川在宅サービスセンター「福栄会の家　なごみ」

①ケアプランに則し、個々のプログラムの構築など、より個々の利用者の有する能力に応じた支援を提供しました。

②サービス内容に対する取り組み

ア　個別対応を重要視し、個々にあったサービスを実施しました。
入浴・排泄・食事等の工夫を行い、それらを家族と共有しました。

イ　利用者の能力を最大限引き出し、余暇活動や創作活動など自己決定（選択）できる環境を整え、活動に幅や楽しみが持てるように取り組みました。

ウ　通常デイサービスを利用している方で本人の状態変化（認知症や精神疾患）があった際には、本人・家族・相談支援事業所と相談し、認知症デイサービスにスムーズに移行して頂きました。

（2）大崎在宅サービスセンター「福栄会の家　ほのぼの」

①利用者が楽しめる活動内容の充実を図りました。担当職員にて、月間活動スケジュール等を計画し、その内容に基づきサービスを提供しました。季節行事・外出・レクリエーション・創作活動等をバランスよく計画・実施しました。

②散歩や、ドライブなどの外出活動に力を入れ、利用者が心身ともにリフレッシ

ュできる活動を提供しました。外出活動がより充実したものとなるよう、予算を計画的に執行しました。外出活動の充実により、通所介護とのサービス内容の差別化を強化しました。

② 「にやりほっと報告書」（目標：年３０件以上）を作成し、利用者の「できること」に着目した支援を行いました。目標件数３０件を上回り３５件作成しました。「にやりほっと報告書」の内容は、職員全体で情報共有し、利用者の意欲向上・自立支援の具体的な対応に繋げました。必要に応じて、家族やケアマネジャーへも情報共有を行いました。にやりほっと集を作成し、利用者、ご家族に配布しました。

（３）運営推進会議を開催（６か月に１回以上）し、利用者・家族・地域住民の代表者等へ、日頃のサービス内容を説明しました。また、広く意見を求めることで地域に開かれた施設を目指し、サービスの質の向上を図りました。

（４）介護者教室や認知症家族懇談会を通して、認知症介護から生じるさまざまな問題や課題を理解し、家族同士が交流の場を持つことで、不安やストレスの軽減を図るなど家族支援にも取り組みました。

〔別紙①〕在宅課年間行事

①東品川在宅サービスセンター・支援センター・ヘルパーステーション

月	日	行事名等	内　容
4		自治八潮会サロン（東支援）	以降毎月第１金曜日開催
		お花見ドライブ	季節行事
		うんどう教室（北浜公園）	一般介護予防事業、以降毎月第１・３木曜日実施
		係長・主任会議	以降毎月第１火曜日実施
		給食委員会	毎月第１週の水曜日実施
		東海ミーティング（東支援）	以降毎月第１水曜日実施
		東品川地区ケア会議	以降毎月第２月曜日に実施
		居宅介護支援事業所連絡会（東支援）	以降毎月第２水曜日実施
		支援職員会議（東支援）	以降毎月第２金曜日実施
		茶話会（お誕生会）週間	以降毎月第３週に実施
		ヘルパーミーティング（東支援）	以降毎月第４月曜日開催
		アットホームカフェ（東支援）	以降毎月第４土曜日実施
		法人防災訓練	以降毎月第４木曜日開催（机上訓練、機器作動確認）
5		開設記念日	
		菖蒲湯週間	
		福栄会まつり	
		わかくさ荘指定管理説明会	
6		品川介護実習1名	
		荏原神社例大祭	
		社会福祉士実習5名	
		介護者教室	夏場の熱中症対策
7		身近でトレーニング（土曜日）開始	一般介護予防事業、以降毎週土曜日実施
		マシンでトレーニング開始	一般介護予防事業、以降毎週月曜日実施
		昭和看護実習3名	
		身近でトレーニング（水曜日）開始	一般介護予防事業、以降毎週水曜日実施
8		教員ボランティア受け入れ	毎週3～5名程度、以降、翌年2月まで
		洲崎町会納涼祭	
		わかくさプロポーザル	
		運営推進会議	第1回（年2回開催）
9		介護者教室	高齢者の食事
		センター祭り	
10	9	法人経営基礎研修	
		地域ケアブロック会議	年2回
	21	桜咲く未来保育園来所11名	
	27	センター運動会	
11	9	参集訓練	法人行事
	12	炊き出し訓練	法人行事
	24	紅葉ドライブ	季節行事
12	20	介護者教室	
	24	クリスマス会	
1	6	初詣ドライブ	季節行事
	29	品川学園体験学習2名	
	27	理事長ヒヤリング	
2	2	上級救命	
	21	アットホームカフェ	
	25	運営推進会議	年2回開催
3	27	新任研修	配属先での研修
	31	親睦会総会・歓送迎会	

②大崎在宅サービスセンター・支援センター・五反田保育園ふれあいデイホーム

月	日	行事名等	内　容
4		照屋三線ファミリー演奏ボランティア（大崎）	不定期
		品川区有償ボランティア（大崎）	月１回～２回　阿波踊り体操・歌謡ショー
		八潮ウクレレボランティア（大崎）	不定期に開催
		フラメンコボランティア（大崎）	毎月２回程度開催
		リコーダーボランティア（大崎）	不定期に開催
		落語・コカリナ演奏ボランティア（大崎）	毎月１回開催
		麻雀ボランティア（大崎）	毎週金曜日
		利用者集会（大崎）	年1回開催
		居宅支援事業所連絡会（大崎支援）	偶数月第2水曜日に実施
		管理者会（大崎支援）	奇数月第3水曜日に実施
		五反田ぷりすくーる・大崎さくら保育園園児訪問（大崎）	不定期（年３回～４回）
		大崎地区ケア会議（大崎支援）	毎月第2金曜日に実施
		利用者確認会議（大崎支援）	毎週火曜日に実施
		大崎在宅介護支援センター職員会議(大崎支援)	毎月最終火曜日に実施
		係長主任会議	以降毎月第１火曜日に実施
		給食委員会	以降毎月第１水曜日に実施
		五反田保育園ふれあいデイホーム職員会議（五反田）	以降毎月１回実施
		西五反田地区ケア会議（五反田）	以降月１回開催
		上大崎地区ケア会議（五反田）	以降月１回開催
		台場地区ケア会議（五反田）	以降月１回開催
		在宅課ミーティング	以降毎月最終火曜日に実施（適宜対面開催）
		大崎ＳＣ職員会議	以降毎月１回実施（適宜書面開催）
5		福栄会まつり	年1回（法人全体）
		保育園との交流会開始（五反田）	毎日、献立発表・午後の活動参加　※園児2名
		菖蒲湯（大崎）	1週間程度
	23	東京医療保健大学看護学科実習（大崎支援）	5月23日、26日(2日間)
6		貴船神社祭礼	
	2	品川介護福祉専門学校（大崎）	2日～6日（5日間）1名
	2	入江広場ユリ鑑賞ドライブ	2日～7日（6日間）
		認知症サポーター ステップアップ講座（大在支）	令和8年3月5日　大崎地区西品川地区の民生委員を対象に実施
	9	東京医療保健大学看護学科実習（大崎支援）	6月9日、10日(2日間)
		大崎ウィズタワー全館防災訓練（大崎・大支援）	年2回実施（6・11月）
	13	東京福祉専門学校実習（五反田）	11～13日　3名
		東京福祉専門学校実習（大崎）	11～13日　3名
	13	大崎館内清掃(大崎)	年4回実施
	21	介護者教室	「夏場の熱中症対策」
	25	三事業所合同消防訓練（五反田）	毎年2回開催
	25	支え愛活動会議（大崎・大崎支援―管理者）	6月・12月
7		地域貢献事業「ふくふく」（大崎支援・大崎・五反田）	年4回開催（7月・９月・１１月・２月）
	1	昭和大学付属付属看護専門学校実習（五反田）	1～24日（各週2名づつ）
		夏祭り（大崎デイ）	29・30日実施
		東京都介護支援専門員実務研修実習	7月15日(火)、16日(水)
8	4	教員介護等体験ボランティア(五反田)	（～2月、各週2名づつ）
	18	利用者集会（五反田）	18～23日
	25	夏祭り（五反田）	25～30日開催
		運営推進会議（大崎認知デイ）	年2回開催
9		介護者教室	「高齢者の食事」
	26	運営推進会議（五反田）	年2回開催
10	11	保育園運動会（五反田）	保育園運動会へ招待され参加
	17	東京医療保健大学看護学科実習（大崎支援）	10月17日、20日(2日間)
		ハロウィン（大崎）	30～31日開催
		さくら大崎保育園ハロウィン交流訪問	
	20	運動会(五反田)	20～25日
11	13	炊き出し訓練	法人行事
	12	昭和大学付属付属看護専門学校実習（大崎支援）	11月12日、13日(2日間)
	17	昭和大学付属付属看護専門学校実習（大崎支援）	11月17日、18日(2日間)
	17	紅葉ドライブ（五反田）	25～29日
		介護者教室	リハビリ健康づくり
12	11	昭和大学付属付属看護専門学校実習（大崎支援）	12月11日、12日(2日間)
	17	昭和大学付属付属看護専門学校実習（大崎支援）	12月17日、18日(2日間)
		ゆず湯週間（大崎）	21～24日実施
		大掃除週間（大崎）	22～28日実施
		大崎SCクリスマス会	20～21日実施。
		クリスマス会（五反田）	季節行事（保育園と合同）　22～27日まで
		年末年始休業	12月28日～1月4日まで

月	日	行事名等	内　容
1	13	新年会（五反田）	季節行事　13～17日
	19	七福神巡り初詣ドライブ（五反田）	19～24日実施
	27	保育園展（五反田）	保育園の作品展に見学
2		節分（大崎）	
	16	池上梅園ドライブ（五反田）	16～21日
		運営推進会議(大崎認知デイ)	年2回開催
	26	ひなまつり会(大崎)	3日実施
3		節分の会(五反田)	季節行事　2～7日
		お花見散歩・ドライブ（大崎）	季節行事
	5	認知症サポーターステップアップ講座（大崎支援）	大崎地区、西品川地区の民生委員を対象に実施
	9	三事業所合同消防訓練（五反田）	年2回開催
	23	お花見ドライブ（五反田）	23～28日実施
	24	運営推進会議（五反田）	年2回開催

［別紙②］　年間利用状況

東品川在宅サービスセンター　　1）利用率　　小数点第２位四捨五入
2）利用率算出式　　延利用数÷（稼動日数×１日定員）
3）東品川在宅サービスセンターの個別機能訓練については、機能訓練実施状況に記載

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
	稼働日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307
１．通常規模型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	56	59	59	61	61	64	65	61	59	56	55	77	733
	総合事業 実利用者数	40	41	44	42	39	36	36	35	40	39	38	36	466
	要介護 延利用数	465	502	472	509	509	535	548	489	480	470	471	646	6,096
	総合事業 延利用数	255	273	243	271	238	236	257	227	238	246	254	211	2,949
定員４０名	利用率%	69.2	71.8	71.5	72.2	71.8	74.1	74.5	65.0	74.8	74.6	75.5	76.0	72.6
２．認知症対応型 通所介護 （ぽかぽか）	要介護 実利用者数 総合事業 実利用者数 要介護 延利用者数 総合事業 延利用者数	６年度から１単位なごみのみとなる。												
定員１２名	利用率%													
３．認知症対応型 通所介護 （なごみ）	要介護 実利用者数	15	12	17	19	16	15	15	15	15	14	13	20	186
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 延利用者数	139	149	152	168	145	141	140	143	131	122	119	169	1,718
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定員１２名	利用率%	44.6	46.0	50.7	51.9	46.5	45.2	43.2	47.7	45.5	42.4	41.3	47.4	46.0
４．入浴	延利用数	592	627	595	667	619	639	661	592	593	564	570	676	7,395
５．給食サービス	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
６．訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
７．送迎サービス	延利用数	811	875	816	886	831	851	884	799	791	787	796	885	10,012
８．相談件数	延利用数	50	61	58	56	41	57	46	40	33	40	38	36	556
９．介護者教室	参加者数			10			12			7		2		31.0
10.身近でトレーニング ※全２４回開催 ※週２回開催・各回12名定員	実利用数													0
	延利用者数													0
11.マシンでトレーニング ※全２４回開催	実利用数	28	21	34	27	25	24	32	28	27	25	26	17	314
	延利用者数													0
12.自治会懇談サロン （月1回開催）	実利用数	9	11	11	10	10	9	7	10	8	12	12	12	121
13.折り紙教室 （月2回開催）	実利用数													0

大崎在宅サービスセンター　　1）利用率　　小数点第２位四捨五入
2）利用率算出式　　延利用数÷（稼動日数×１日定員）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
	稼働日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307
１．通常規模型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	50	55	55	56	51	52	52	54	57	59	59	60	660
	総合事業 実利用者数	40	43	40	42	42	44	44	42	40	38	38	35	488
	要介護 延利用者数	453	489	468	524	487	488	505	492	476	494	519	581	5,976
	総合事業 延利用者数	276	308	253	285	275	292	298	267	244	243	236	237	3,214
定員３５名	利用率%	80.1	84.3	82.4	85.6	83.7	85.7	85.0	86.7	85.7	87.7	89.9	89.9	85.6
２．認知症対応型 通所介護 （ほのぼの）	要介護 実利用者数	16	16	15	16	17	18	18	20	18	18	19	15	206
	要支援 実利用者数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	3	2	10
	要介護 延利用者数	183	189	164	183	191	204	229	196	174	179	174	172	2,238
平成26年6月1日開所	要支援 延利用者数	0	0	0	0	0	0	9	8	8	16	22	27	90
定員１２名	利用率%	58.7	58.3	54.7	56.5	61.2	65.4	70.7	65.3	60.4	62.2	60.4	55.1	60.7
３．入浴	延利用数	712	777	701	780	759	800	825	769	728	765	771	825	9,212
４．個別機能訓練	延利用数	636	682	633	707	678	692	734	692	650	673	693	753	8,223
５．給食サービス	延利用数	895	961	860	965	928	958	1004	941	885	908	921	978	11,204
６．訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
７．送迎サービス	延利用数	1,737	1,873	1,683	1,895	1,818	1,881	1,953	1,813	1,698	1,726	1,745	1,892	21,714
８．相談件数	延利用数	68	68	57	68	79	61	67	64	50	54	97	78	811
９．介護者教室	参加者数			10			12			7		2		7.8
10．予防事業 身近でトレーニング （定員10名）	実利用者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	延利用者	16	28	23	26	23	13	20	13	16	20	15	20	233
11．地域貢献事業 （大崎ふくふく）	延利用数				13		14		5			8		40

品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム　　1）利用率　　小数点第２位四捨五入
2）利用率算出式　　延利用数÷（稼動日数×１日定員）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
	稼働日数	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292
１．地域密着型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	14	15	15	16	17	16	14	15	14	14	14	12	176
	総合事業 実利用者数	10	10	11	10	9	9	8	8	7	8	9	10	109
	要介護 延利用者数	103	108	108	127	135	120	117	100	97	99	62	78	1,254
	総合事業 延利用者数	59	58	59	66	52	49	47	40	39	42	50	60	621
定員１０名	利用率%	64.8	69.2	66.8	74.2	74.8	70.4	63.1	60.9	56.7	59.6	50.9	55.2	63.9
２．給食サービス	実利用数	24	25	26	26	26	25	22	23	21	22	23	22	285
	延利用数	162	166	167	193	187	169	164	140	136	136	112	138	1,870
３．送迎サービス	延利用数	309	314	312	351	345	303	294	258	256	249	188	240	3,419
４．相談件数	延利用数	37	40	70	79	94	63	58	64	64	90	76	81	816

［別紙③］　過去の各事業の推移

小数点第２位四捨五入　　実利用数は月平均数
延利用数÷（稼働日数×１日定員）　　延利用数は年間合計数

ア　東品川在宅サービスセンター

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備　考
1　．基本事業	平均実利用数	142.1	142.8	131.8	130.7	123.8	112.3	107.0	108.0	117.0	116.6	99.5	99.9	平成13年1月より定員数を、基本25名から40名に変更。
一般デイサービス	延利用数	10,707	10,851	10,360	10,843	10,208	9,432	9,092	9,769	10,838	10,844	9,758	9,045	
	平均利用率（%）	87.0	88.9	84.9	85.8	83.0	76.8	73.0	79.3	88.8	89.5	74.7	72.6	
2　．認知症対応型	平均実利用数	35.6	30.2	31.9	33.0	32.8	28.8	29.0	26.5	22.6	20.0	18.5	15.9	平成24年12月1日より２単位目「なごみ」開始に伴い、定員数を12名から24名に変更 令和6年から1単位「なごみ」定員１２名に変更
デイサービス	延利用数	3,712	3,323	3,621	3,447	3,463	3,214	3,292	3,070	2,521	2,265	1,825	1,718	
	平均利用率（%）	50.0	45.7	48.6	47.5	46.9	43.6	44.0	41.5	34.9	30.8	52.7	46.0	
3　．入浴(介助浴)	延利用数	4,906	5,080	4,507	5,801	5,601	5,047	5,887	6,151	6,477	6,230	5,005	4,858	
4　．入浴(機械浴)	延利用数	2,983	2,858	2,696	3,379	3,545	3,413	2,957	2,639	2,899	2,871	2,584	2,537	
5　．機能回復訓練	平均実利用数	194.0	191.4	194.0	198.0	176.0	145.5	164.0	179.0	178.5	182.4	135.0	118.0	平成20年11月1日より認知症デイ機能訓練請求開始
	延利用数	14,343	14,600	14,921	15,965	14,212	13,033	12,615	14,110	14,692	12,001	11,173	10,451	
6　．給食サービス	平均実利用数	161.8	170.0	158.7	171.4	154.9	140.4	136.0	135.0	140.0	136.8	133.0	113.0	
	延利用数	14,227	13,874	13,921	14,290	13,601	12,603	12,382	11,651	13,084	12,925	10,923	10,422	
7　．訪問給食	平均実利用数	11.4	4.9	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	令和5年度で廃止
	延利用数	956	151	498	307	89	95	99	0	0	0	0	0	
8　．送　　迎	延利用数	27,119	27,391	26,897	26,688	25,945	23,955	22,924	24,448	25,130	24,929	20,832	20,024	片道送迎を1回としてカウント
9　．相談件数	年間相談件数	1,293	1,369	1,632	1,546	1,235	1,086	1,136	1,053	1,092	783	705	556	
10　．介護者教室	総参加者数												31	

イ　大崎在宅サービスセンター

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備　考
1　．基本事業	平均実利用数	104.1	106.5	109.9	114.0	104.5	95.8	84.2	77.8	90.5	100.5	89.6	95.7	平成13年1月より定員数を基本25名から35名に，平成15年8月より定員数を基本35名から30名に、平成19年11月より定員数を基本30名から35名に変更。
一般デイサービス	延利用数	8,974	9,292	9,667	10,202	9,461	8,924	8,485	7,962	8,706	9,581	7,992	9,003	
	平均利用率（%）	83.5	85.5	88.8	83.4	87.9	82.8	78.8	73.8	81.1	88.7	76.0	85.6	
2　．認知症対応型	平均実利用数	15	19.5	20.4	16.8	22.8	21.1	18.7	18.1	17.8	18.2	16.9	18	平成15年8月より認知デイ開設（定員10名）。平成19年11月より認知デイ休止。平成26年6月より認知デイ定員12名で開始。
デイサービス	延利用数	1,375	1,773	1,911	1,191	2,144	2,243	2,382	2,293	2,079	1,942	2,240	2,214	
	平均利用率（%）	45.1	47.8	51.2	39.8	58.3	60.7	64.5	61.8	56.2	52.9	61.3	60.7	
3　．入浴（介助浴）	延利用数	5,388	5,848	5,348	5,595	6,264	6,661	5,854	5,870	6,789	7,520	6,804	7,583	平成26年6月より認知デイ開始。（個浴を含む）
4　．入浴（機械浴）	延利用数	2,989	3,452	3,828	3,164	3,334	2,595	3,028	2,591	2,202	1,891	1,472	1,629	平成22年度より[illegible]設置。平成26年3月よりチェアイン[illegible]
5　．機能回復訓練	平均実利用数	98	102	107.2	95	127	117	103	96	108	118	108.9	113.6	
	延利用数	8,111	8,667	9,581	8,307	9,314	8,850	9,411	9,083	9,027	9,106	7,808	8,223	
6　．給食サービス	平均実利用数	117.1	126	130	112	126.5	115	110	93.9	103.6	117	104	113	
	延利用数	10,330	11,329	11,578	10,012	11,480	12,350	10,721	10,021	10,517	11,285	10,087	11,204	
7　．訪問給食	平均実利用数	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	延利用数	63	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8　．送　　迎	延利用数	20,419	21,779	22,610	20,890	22,854	21,441	20,866	19,663	20,733	22,065	19,602	21,714	片道送迎を1回としてカウント
9　．相談件数	年間相談件数	1,369	1,321	1,321	989	846	1,108	953	999	1,151	1,052	1,060	811	
10　．介護者教室	総参加者数												31	令和２年度より令和５年度，新型コロナウイルス感染拡大により中止

ウ　品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備　考
1　．基本事業	平均実利用数	27.0	27.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	24.7	31.6	29.2	27.0	23.7	平成18年度から運営受託（品川区より）・定員数を8名から10名に変更。平成19年5月より土曜日開設
一般デイサービス	延利用数	1,937	1,196	2,371	2,640	2,413	2,035	1,919	2,051	2,497	2,162	2,030	1,870	
	平均利用率（%）	66.6	60.8	81.2	91.5	82.7	70.5	65.5	70.1	85.1	73.5	69.5	63.9	
2　．給食サービス	平均実利用数	27.0	20.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	24.7	30.6	30.6	25.7	23.7	
	延利用数	1,937	1,196	2,371	2,592	2,413	2,035	1,919	2,051	2,469	2,134	2,022	1,870	
3　．送　　迎	延利用数	3,504	2,385	4,216	4,257	4,113	3,579	3,334	3,520	3,911	3,412	3,450	3,419	片道送迎を1回としてカウント
4　．相談件数	年間相談件数												816	

［別紙④］　防災訓練実施状況

ア　東品川在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓　練　内　容
令和7年	4	24	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	5	22	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	6	26	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	7	24	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	8	21	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	9	25	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	10	23	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	11	2	日	総合防災訓練、自主点検、参集訓練
	12	25	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
令和8年	1	22	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	2	26	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	3	26	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練

イ　大崎在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓　練　内　容
令和７年	4	14	月	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	5	20	火	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	6	28	水	防災機器等、自主点検、机上訓練 ※6月　大崎ウィズタワー総合防災訓練
	7	17	水	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	8	15	金	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	9	22	金	日中想定　消火・避難・通報訓練　※30日自衛消防訓練実施
	10	25	木	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	11	28	火	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	12	17	水	日中想定　消火・避難・通報訓練 ※12月　大崎ウィズタワー総合防災訓練
令和8年	1	15	金	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	2	20	金	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練
	3	21	水	防災機器等、自主点検、避難訓練、消火訓練

ウ　五反田保育園ふれあいデイホーム

年	月	日	曜日	訓　練　内　容
令和7年	4	21	月	日中想定　消火・避難・通報訓練
	5	20	火	日中想定　消火・避難・通報訓練
	6	18	水	日中想定　消火・避難・通報訓練
	7	17	木	日中想定　消火・避難・通報訓練
	8	15	金	日中想定　消火・避難・通報訓練
	9	20	土	日中想定　消火・避難・通報訓練
	10	30	月	日中想定　消火・避難・通報訓練
	11	18	火	日中想定　消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	12	17	水	日中想定　消火・避難・通報訓練
令和8年	1	15	木	日中想定　消火・避難・通報訓練
	2	20	金	日中想定　消火・避難・通報訓練
	3	21	土	日中想定　消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)

エ　東品川在宅介護支援センター(東品川わかくさ荘)

年	月	日	曜日	訓　練　内　容
令和7年	6	13	金	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練
	9	25	木	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練
	11	2	日	総合防災訓練
令和8年	2	20	金	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練

［別紙⑤］令和7年度　ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

	東品川在宅ＳＣ	大崎在宅ＳＣ	五反田保育園ふれあいＤＨ
4月	0	1	0
5月	0	1	1
6月	2	0	1
7月	0	1	1
8月	0	0	0
9月	2	0	0
10月	1	0	2
11月	1	0	0
12月	0	0	0
1月	1	0	0
2月	0	0	1
3月	2	0	0
合計	9	3	6

［内訳］

大崎ＳＣ　服薬管理１件、入浴１件、転倒１件

東品川SC　誤薬1件・無断外出2件・入浴2件・その他4件

事故報告状況

医療機関を受診し治療・入院等に至ったもの

	東品川在宅ＳＣ	大崎在宅ＳＣ	五反田保育園ふれあいＤＨ
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	1	0
7月	0	0	0
8月	0	※1	0
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	※1	0
12月	0	0	0
1月	0	※2	0
2月	1	0	0
3月	1	0	0
合計	2	5	0

※医療機関を受診したが、診察または検査のみで治療を伴わないもの／医療機関を受診することなく、軽微な治療のみで対応したもの

［内訳］

大崎ＳＣ　　＊転倒４件、転倒１件

東品川ＳＣ　転倒2件

機能訓練実施状況

個別リハビリ利用者数（上段：実人数(登録数)　下段：延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
日数	26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307	26
基本デイ	75	74	73	72	67	60	58	55	59	59	56	55	763	64
	450	499	470	497	517	528	542	461	480	448	462	478	5,832	486
予防デイ	33	36	34	34	36	36	35	38	37	34	35	36	424	35
	241	225	238	270	240	284	253	205	230	232	253	252	2,923	244
認知デイ（ぽかぽか）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知デイ（なごみ）	24	20	21	19	18	20	19	18	19	16	15	15	224	19
	139	157	148	162	150	139	140	143	131	121	119	147	1,696	141
マシンでトレーニング	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96	8
	42	38	37	40	32	32	32	26	27	25	26	23	380	32
身近でトレーニング	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	22	285	24
	63	72	65	68	61	46	88	88	67	71	74	54	817	68
単独リハビリ	11	11	11	11	11	11	11	11	10	9	9	9	125	10
	34	60	48	61	52	49	32	28	31	32	26	37	490	41
晴楓ホーム	84	85	83	85	90	88	83	89	84	87	84	82	1,024	85
	380	361	345	408	399	348	421	374	320	344	316	334	4,350	363
ショートステイ	38	40	45	46	42	47	45	45	43	43	43	47	524	44
	53	65	52	54	51	43	42	46	30	34	37	39	546	46
実人数合計	297	298	299	299	296	294	283	288	284	280	273	274	3,465	289
延べ人数合計	1,402	1,477	1,403	1,560	1,502	1,469	1,550	1,371	1,316	1,307	1,313	1,364	17,034	1,420
一日の利用者数平均	54	55	56	58	58	57	57	55	55	54	55	52		55

高齢者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
大崎在宅サービスセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症流行以降実施していない。

障害者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
しいのき学園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西大井福祉園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かがやき園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者福祉部計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症流行以降実施していない。

品川区ヘルパーステーション東品川事業報告

１．基本方針

利用者がいつまでも住み慣れた地域で生活していけるよう、訪問介護サービスの充実に取り組みました。

２．重点目標

（１）地域の関係事業者と連携したサービスの提供

法人内及び近隣の居宅介護支援事業所・通所介護事業所・短期入所生活介護事業所等と協力してサービスを提供しました。利用者とご家族の相談内容を踏まえ、訪問、通所、短期入所の各事業と連携した生活支援を行いました。

（２）大規模多機能施設としての機能を活かす

①総合福祉法人の強みを活かし、法人内の居宅介護支援事業所・通所介護事業所等と日常的に情報交換等を行い、利用者とご家族のニーズを迅速に把握し、臨機応変に対応しました。

②障害者等の地域における自立生活と社会参加を促すことを目的に、移動支援事業を引き続き実施しました。また、移動支援・同行支援研修に参加し障害者への理解を深めました。

（３）利用者の自立支援に努める

法人のサービス方針である「自立の援助」と「相互援助」に基づき、利用者の人間性と生きてきた過程を尊重し、専門的知識を活かして一人ひとりの生きがいのある生活を支援することで、利用者のADLの維持・向上に努めました。

３．サービス提供体制

（１）サービス提供責任者及び訪問介護員の配置について、常に事業所として必要とされる適正な人員を配置しました。

サービス提供責任者	２名
常勤職員・登録ヘルパー	５名

（２）サービス提供にあたっては懇切丁寧に利用者及びそのご家族に対応しました。また、サービス提供方法等について、分りやすく説明しました。

（３）感染症対策に努め、サービス提供を行いました。

(3) 利用状況及び過去の推移

ア　訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）　—令和７年度—　（令和７年４月～令和８年３月）

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年度合計	月平均
利用実人数	介護	14	14	14	17	17	18	18	20	21	18	17	18	206	17.1
	予防	35	39	42	43	42	42	41	42	42	41	40	39	488	40.6
	生活	7	5	5	7	6	7	6	6	5	6	8	8	76	6.3
利用延人数	介護	65	68	68	95	109	127	123	87	92	104	89	119	1146	95.5
	予防	172	203	191	226	214	206	211	196	190	187	189	214	2399	199.9
	生活	32	24	26	18	20	22	22	20	15	16	22	26	263	21.9
派遣時間数	介護	84.1	72.55	69.5	89.5	108.4	139.4	114.35	85.4	86.15	91	82.45	113	1138.3	94.8
	予防	158.55	184.45	173.45	204	188.45	182.3	183.15	172.15	166.3	166.3	169.15	191.45	2142.1	178.5
	生活	22.45	16	17	17	18.45	19.3	19.45	18.15	13.3	13.3	20	23.45	219.8	18.3

イ　訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）　—令和６年度—　（令和６年４月～令和７年３月）

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年度合計	月平均
利用実人数	介護	24	24	24	24	22	22	22	21	20	20	19	17	259	21.6
	予防	21	21	21	21	23	24	24	24	26	29	30	30	294	24.5
	生活	5	5	5	6	6	7	7	6	6	6	7	7	73	6.1
利用延人数	介護	300	303	284	275	258	242	259	249	186	173	164	159	2852	237.7
	予防	129	142	115	120	110	119	115	123	138	128	135	161	1535	127.9
	生活	26	25	19	27	25	26	30	23	19	23	22	37	302	25.2
派遣時間数	介護	244.25	240	227	235.75	223.75	208	217.25	215	179.4	168	157.5	154	2469.9	205.8
	予防	126.75	140.5	112.75	117.5	108.5	117.75	112	120.75	135.15	125	128.5	152.75	1497.9	124.8
	生活	24	23	18	26	23.5	23.5	25.75	20	16.5	21.5	19	27.75	268.5	22.4

ウ　品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）　—令和７年度—　（令和７年４月～令和８年３月）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年度合計	月平均
利用実人数	2	3	4	4	3	4	4	4	5	4	5	5	47	3.9
(居宅介護)	0	2.5	38	40	26.25	22	21.25	25.25	32.5	21.75	25.5	32.25	287	23.9
(移動支援)	16.5	11.5	38.5	32.5	36	34.65	33	39	27.5	31	30	22.5	334	27.8
派遣時間数	16.5	14	76.5	72.5	62.25	56.65	54.25	64.25	60	52.75	55.5	54.75	640	53.3

エ　品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）　—令和６年度—　（令和６年４月～令和７年３月）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年度合計	月平均
利用実人数	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	28	2.3
利用延人数	7	7	6	4	4	4	4	4	5	4	3	8	60	5
派遣時間数	26	26	28.5	27	26.5	21.5	24	22	31	24.25	11.25	30.25	298	24.8

オ　介護保険外サービス（通院の品川区特別給付・自費利用）　—令和７年度—

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	年度合計	月平均
利用実人数	10	5	8	9	10	5	12	10	10	8	7	4	98	8.1
利用延人数	18	13	15	17	17	12	41	18	17	15	14	11	208	17.3
派遣時間数	16.75	8	11	13.5	13.5	8.5	34.5	14.5	12.5	12.5	9.5	6.5	306	25.5

品川区立東品川わかくさ荘事業計画

1．基本方針

居住者が安心した生活を営めるよう、安全性の高い建物設備の維持管理を区所管課とともに行いました。また、日常生活上の相談に丁寧に対応するとともに、緊急時には法人内の他施設と連携して迅速に対応するなど多面的な支援体制を構築しました。

2．重点目標

（1）安心・安全な生活の確保

①緊急通報システム（生活リズムシステム）や朝夕の巡回などにより、居住者の安全確認を行い、事故防止に努めました。また、緊急時には病院等の関係機関と迅速な情報共有を図る必要があるため、適宜、居住者情報の更新を行いました。

②健康状態の確認を含めた声掛けや、日常生活における様々な困りごとに対する相談を受ける事により、居住者が居室内で孤立しないように、心身共に健康で過ごせるように支援を行いました。

③防犯対策を強化するため、防犯カメラを適切に運用しました。また、施設内掲示板等を活用し、居住者の防犯意識の向上に努めました。

④施設管理職員が建物機械設備を適切に維持管理しました。また、専門業者による定期点検を実施し、適切な建物管理を実施しました。

（2）防災対策への取り組み

高齢者住宅での火災発生に備え「迅速な避難」を第一に居住者対象の防災訓練を実施しました。近隣町会との合同防災訓練も含め、年４回訓練を実施しました。また、チラシでの周知や声掛けにより、居住者の訓練への参加を促しました。

（3）利用者の意見、要望の調整

日常会話や相談窓口で収集した居住者の意見・要望について、状況確認・調整等を速やかに行いました。また、対応困難な事例は区所管課へ報告し、対応を協議しました。居住者の理解を得られるよう努めました。

＜東品川わかくさ荘管理体制概要＞

職　　員	配置数	担　当　業　務
常勤職	１名	防火管理、建物管理者
常勤職（支援センター）	１名	相談業務、一部ワーデン業務
準職員（支援センター）	１名	一部ワーデン業務
常勤職（総務課）	１名	経理、施設管理、一部ワーデン業務
防災宿日直（法人本部職員）	１名	夜間帯の見回り・緊急対応等

令和8年3月末現在　単位：(人)

		全体	女性	男性	非該当		支援１		支援２		介護１		介護２		介護３		介護４		介護５	
					女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
年齢関係 要支援 要介護度	高齢者平均年齢	84	85	82																
	高齢者最年少年齢	74	75	74																
	高齢者最年長年齢	95	95	92																
	高齢者年齢比（６５～６９代）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者年齢比（７０～７９代）	10	4	6	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者年齢比（８０～８９代）	25	16	9	12	8	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	高齢者年齢比（９０～）	8	7	1	3	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
居室関係 （合計５２室）	高齢者枠当年度入居者数	4	3	1																
	高齢者枠当年度退居者数	7	3	4																
	高齢者枠当年度末入居者数（５０	43	27	16																
	高齢者平均居住年数	8	8	7																
	障害者当年度入居者数																			
	障害者当年度退去者数																			
	障害者枠当年度末入居者数（２室）																			
緊急対応 （4月～3月）	高齢者日中緊急対応（件数）	1	1	0																
	高齢者夜間緊急対応（件数）	2	1	1																
	障害者夜間緊急対応（件数）	0	0	0																
その他の対応 （4月～3月末）	生活相談・環境整備・近隣トラブル等への個別対応（件数）	262			備考															
	健康管理面・ナースコール・生活リズムセンサーへの対応（件数）	41			備考															

障害者福祉部事業報告　　目次

障害者福祉部事業報告 …… ８９

第一しいのき学園事業報告 …… ９１

第二しいのき学園事業報告 …… ９９

品川区立西大井福祉園事業報告 …… １０７

品川区立西大井つばさの家事業報告 …… １１７

グループホーム金子山事業報告 …… １２０

品川区立かがやき園事業報告 …… １２９

南品川むつみ園事業報告 …… １４０

品川区東品川障害者相談支援センター事業報告 …… １４８

品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告 …… １５３

かもめ第一・第二・第三工房事業報告 …… １５６

品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告 …… １６４

品川区精神障害者相談支援センター …… １６８

障害者福祉部事業報告

１．基本方針

人間尊重の精神を基本とし、利用者が安心で安全な生き生きとした地域生活を送る事ができるよう、品川区及び関係機関との連携のもと障害者福祉事業所が一体となり、ライフステージに沿った切れ目のない支援を提供しました。

２．重点目標

地域における障害児者福祉事業の環境変化に対応しつつ、地域ニーズに的確に応えるため、以下の３点について重点的に取り組みました。

（１）障害者福祉事業の充実

品川区立障害児者総合支援施設と連携しながら、積極的な人材確保と育成活動に継続に取り組むとともに、事業所間及び関係機関との連携強化に努めました。また、地域生活支援拠点機能を高めるため、事業所間連携による研修機会等を通じ、部内全体の価値・知識・技術の向上を図りました。

（２）業務合理化とサービス向上に向けたＩＣＴ化

業務の合理化と利用者サービスの向上を目指しＩＣＴの活用に取り組みました。これまでに整備したＩＴ機器、ネットワーク環境及びシステムを活用し、さらなる業務改善を図っていきます。

（３）感染症対策の継続と堅実な事業所運営

全職員一丸となって感染症対策に取り組む中、地域の障害者に対し積極的に福祉サービスの利用を働きかけることで、引きこもりがちな障害者や高齢化している保護者等の介護負担軽減に努めました。

３．サービス支援体制

（１）相互の協力体制

総合福祉施設として、運営や支援面におけるメリットを発揮しつつ、障害者福祉部の協力体制により、相互に連携した活動を展開しました。

（２）各施設の利用実績

事業・施設名	障害者自立支援法に基づく事業、施設	定員	利用率※(%)
第一しいのき学園	生活介護	４０	76.9%
第二しいのき学園	就労継続支援Ｂ型	６０	69.2%
区立西大井福祉園（多機能型）	生活介護	３０	91.7%
	就労継続支援Ｂ型	１０	100%
区立西大井つばさの家	共同生活援助	9	81.0%
グループホーム金子山（含む森前ユニット）	共同生活援助	１６	83.0%
区立かがやき園	施設入所支援	３０	93.4%
	生活介護	３０	100.1%
	短期入所	3	72.3%
南品川むつみ園	生活介護	２０	35.4%
かもめ第一工房	就労継続支援Ｂ型	２５	57.9%
かもめ第二工房	就労継続支援Ｂ型	２０	75.9%
かもめ第三工房	就労継続支援Ｂ型	２０	75.1%
品川区精神障害者地域生活支援センター	相談支援事業・地域活動支援センター		—
品川区東品川障害者相談支援センター	相談支援事業・地域拠点相談支援センター		—
品川区東品川障害者計画相談支援事業所	相談支援事業		—

※利用率は、実開園日数に対しての利用率です。

第一しいのき学園事業報告（生活介護）

１．重点目標

（１）日中活動の充実

調理活動、近隣への外出活動などを再開し、第二しいのき学園と合同での季節行事や、障害者部合同で二十歳を祝う会を実施するなど、利用者の日中活動の充実を図りました。また、看護師を中心に利用者の体調に留意し、家族との情報交換や必要に応じて受診をするなど、健康維持が出来るよう努めました。

（２）作業等の生産活動の提供

ペットボトルキャップの仕分けや紙のシュレッダー、館内トイレの補充等の作業を提供し、社会参加が出来るよう取り組みました。今後も就労継続支援事業所等との連携を行い、作業種目、環境を提供し幅広い利用者ニーズに対応していきます。

（３）職場環境の改善

職員会議や終礼等を通じて支援方針や支援内容を職員間で確認し、嘱託医や他専門職との相談を行い、適切に利用者支援が出来るようにしました。日々の感染症対策や清掃、環境整備等を計画的に行い、施設環境の向上と支援職員の介護負担軽減を図りました。

２．家族・支援者との協力体制

家族連絡会、懇談会は４月と１０月、３月に実施し、活動報告や意見交換等を行いました。利用者の日々の様子等については、個別支援計画の作成やモニタリング報告などを中心に、面談を実施し情報交換を行いました。また、送迎や学園へのご家族お迎えの際に直接伝えること、利用者や家族の健康問題など緊急性の高いケースについては、適宜連絡や訪問等を実施するなど、相談支援センターとも連携し対応しました。

３．地域交流及び貢献活動

（１）体験利用等の受入れ

地域の特別支援学校や特別支援級からの見学や体験実習、家族からの見学も随時受入れを行いました。

（２）子ども食堂運営の協力

東親会町会等と合同で、第四土曜日を基本に年１２回開催しました。また、令和７年度より福栄会２階（どんぐり広場）を使用し、地域の子ども達に温かい食事の提供や寄付物品の配布等を行い、地域貢献事業として実施しました。

４．事故防止・虐待防止

（１）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は別表実績資料のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員会議や終礼等で意見交換や対応の検討、施設の環境整備等を行いました。

（２）虐待防止

虐待防止規定に基づいた研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組む他、ケース会議の際に行動障害等への適切な対応について検討し、支援の質の向上に取り組みました。

５．防災対策

防災訓練実施計画に基づき火災想定及び地震想定の防災訓練について、通報訓練・消火訓練・避難訓練の流れを確認しながら実施しました。また、事業継続計画（ＢＣＰ計画）を作成しており、職員間で内容を確認し、対応の共有、対策の検討を行いました。

〔第一しいのき学園実績資料〕

（令和８年３月３１日現在）

１．利用者人員と入退所状況

（１）利用者人員

定員	現員	内訳			
		男	比率%	女	比率%
４０名	４０名	２７名	６７	１３名	３３

注）内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

（２）入退園状況（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）　（人）

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	２５	5	3	２７
女	１２	1	0	１３
計	３７	6	3	４０

２．年齢状況

（１）年齢構成　（人）

施設	第一しいのき学園			
年齢(歳)	男	女	計	%
～１９	3	1	4	１０
２０～２９	6	0	6	１５
３０～３９	8	5	１３	３３
４０～４９	4	4	8	２０
５０～５９	5	3	8	２０
６０～６９	1	0	1	2
７０～	0	0	0	0
人数計	２７	１３	４０	１００
最年少	１９	１９		
最高齢	６１	５９		

（２）平均年齢

区　　分	男	女	平均
平均年齢	３６．４歳	４１．１歳	３７．９歳

注）内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

３．障害状況

（１）愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	１度			２度			３度			４度			非該当			合　計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第一	0	1	1	23	10	33	4	1	5	0	1	1	0	0	0	27	13	40
構成比	２．５			８２．５			１２．５			２．５			０．０			１００％		

（２）身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況

（人）

愛の手帳 所持人数		１度	２度	３度	４度	非該当	合　計
		1	３４	4	1	0	４０
身障手帳	１級	肢体１	肢体１				肢体２
	２級		肢体１ 体幹１		肢体１		肢体２ 体幹１
	３級		肢体２ 視覚１				肢体２ 視覚１
	４級						
	５級						
	計	1	6	0	1	0	8

（３）障害支援区分の状況

（人）

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0	0	2	１９	9	１０	0	４０

４．通園状況

（１）利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 （定員×開所日数）	出席者延べ人数	利用率
２５６日	１０，２４０	８，６８２人	８４．８％

（２）通園方法

（人）

通園方法	車両送迎	家族送迎	自力通所	その他	備考
行き	３３	7	0	0	
帰り	３５	5	0	0	

※主な通所方法。臨時対応は除く。

５．支援概要

（１）グループ編成　　（人）

	A			B		
	男	女	計	男	女	計
第一しいのき学園	７	７	１４	２０	６	２６
	合計					
	男		女		計	
	２７		１３		４０	

（２）余暇活動の実施状況

活　動	内　　容
音楽レクリエーション	主に火、木曜日の午後に講師のもと、楽器や歌などを通し身体を動かしたり、歌をうたったりするなどの活動を行いました。
ドライブ	マイクロバス等の車両を使用し、ドライブを行いました。
外出活動	展示会の見学や運動、散策などのため外出を行いました。
創作活動	カレンダーや季節に応じて様々な飾りや作品を作成しました。

※各活動についての参加人数については、利用者本人の希望やその日の体調等を考慮し、状況に応じ変更しています。

（３）年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
４	１０日（木）	新利用者を迎える会	第一・第二合同
５	１１日（日）	福栄会まつり	法人全体
６	２４日（火）	しいのき学園健康診断	希望者のみ
７	８日（火） １７日（木） ３０日（水）	七夕 プール活動※～９月５日まで スイカ割り	 希望者のみ 合同
８	２０日（水）	夏まつり	第一・第二合同
１０	２４日（木）	ハロウィン茶話会	
１１	１３日（木）	秋の収穫祭	法人合同
１２	２５日（木）	クリスマス忘年会	第一・第二合同
１	１５日（木）	二十歳を祝う会	法人合同
２	４日（水）	節分	第一・第二合同
３	２５日（水）	慰労会	第一・第二合同

６．家族とのかかわり

（１）学園連絡会の開催状況

区　分	実施日	内　　容
第１回学園連絡会	４月２５日(金)	令和７年度事業計画・職員体制について
第２回学園連絡会	１０月３１日(金)	上半期事業報告・下半期事業について
家族懇親会	３月１８日(水)	令和７年度事業活動報告等について

（２）しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
４月	施設長挨拶　新年度の職員紹介
５月	新利用者を祝う会
６月	福栄会まつり報告　健康診断のおしらせ
７月	活動報告・健康診断の実施状況
８月	七夕行事　第一プール活動　第二外出活動報告
９月	スイカ割り　夏まつり報告
１０月	障害者作品展への出品作製　第二作業風景
１１月	ハロウィン仮装の様子
１２月	障害者作品展への参加　調理クラブ　第二外出活動報告
１月	新年のあいさつ　合同クリスマス会報告　第二外出活動報告
２月	二十歳を祝う会　第一調理クラブ、外出活動報告
３月	節分行事報告　第二いちご狩り報告

（３）地域とのかかわり

子ども食堂（福栄みらい塾）実施状況　（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
参加数	33	20	24	18	14	17	15	23	22	29	19	22	256

※基本第４土曜日に実施（１２月のみ第３土曜日に実施）

※令和７年度より弁当等の配布から、どんぐり広場にて食事の提供を再開。

７．実習・研修生の受け入れ状況(第一、第二年間受け入れ合計人数)

区　分	人数	備　　考
専門学校・大学・企業等	８９人	社会福祉士、介護福祉士、保育士現場実習等

８．職員外部研修参加状況

（１）外部研修　　（人）

実施機関・主催	研修名・内容	日　　程	参加人数
公益財団法人　東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	８月　７日(木) ９月１２日(金) １０月２２日(水)	1 1 1
	虐待防止研修	８月２１日(水)	1
東京都福祉局	サービス管理責任者更新研修	１０月１４日(火)	1
三幸福祉カレッジ	介護福祉士実務者研修	１０月～１１月 全７日間	1
	虐待防止研修	１２月１１日(木)	1
東京都福祉局	サービス管理責任者実践研修	２月４、５日	1

（２）法人内部研修　　（人）

研　修　内　容	日程	参加人数
てんかん基礎講座	６月２５日（水）	1
障害者施設で求めれる接遇マナー	７月　９日（水）	3
感染症予防研修	９月１７日（水）	4
新規採用職員フォローアップ研修	１０月　１日（火）	1
虐待・身体拘束防止研修	１２月１０日（木）	4
交換研修（大崎在宅サービスセンター）	１月７、２０日	1
会計研修	１２月２６日（金）	2
事故防止研修	２月１６日（月）	2
中途採用職員新人職員研修	３月２５～２７日	1
文書管理研修	３月３０日（月）	2

９．サービス実施状況

（１）家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況　（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数	12	11	12	11	11	12	10	10	10	10	10	10	129
延べ人数	138	138	147	142	128	119	141	114	135	128	119	141	1590

※家族等から希望があり１７時以降対応の利用者数

（２）入浴サービスの実施状況　（人）

対象者／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
一般浴（独歩）	22	22	22	24	22	27	28	26	22	22	24	25	286
機械浴（車椅子）	14	13	10	14	13	10	14	12	13	11	11	14	149
合計	41	27	27	26	24	29	30	19	23	22	34	35	435

※一般浴対象利用者５名、機械浴対象利用者２名

１０．ヒヤリハット・事故発生状況

（１）ヒヤリハット報告状況　（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	16	3	8	3	5	7	5	6	6	8	5	0	７２

・他害（４５件）　・送迎（０件）　・所在不明（１０件）　・服薬（１件）
・転倒（１３件）　・異食（１件）　・食事（０件）　・怪我（０件）
・器物破損（２件）　・その他（件）

（２）事故報告状況　（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3

・他害（１件）　・発作（１件）　・車両（０件）　・器物破損（１件）
・その他（０件）

１１．感染症発生状況　（人）

インフルエンザ	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス
3	0	3

第二しいのき学園事業報告（就労継続支援Ｂ型）

１．重点目標への対応

（１）壮年期を迎えた利用者への対応と新規利用者獲得の取り組み

今年度は障害の高齢化や重度化に伴い、数名の利用者が退園となりましたが、いずれも法人内をはじめとした生活介護事業所へと移行されています。利用者支援においては、健康や行動面の課題から個別対応を必要とするケースが増加し、受診同行や家庭訪問など相談支援や短期入所などの事業所とも連携して支援にあたりました。また新規利用者獲得の取り組みとして、区内や近隣の特別支援学校などからの実習生を受け入れ、個別を含む見学会の開催を積極的に行いました。

（２）利用者サービスの向上

毎月のサービス担当者会議については安定して実施できています。今年度は個別面談においてもサービス管理責任者に加え、現場の職員が同席し、家族との関係強化に意識して対応しました。また、さらなる支援力の向上を図るため、法人内部や外部研修への積極的な参加をし、専門職とも連携して取り組みました。令和７年度の平均工賃月額は２７，５６７円となり、目標とする金額（２６，５００円）を達成することができました。園内の行事では第一しいのき学園と合同で、夏まつりやクリスマス会、慰労会などのイベントを開催しています。一方外出活動としては、７月に工場見学と秋の遠足に加え、３月にはいちご狩りを実施しました。

（３）職場環境の整備

第三次クリーニング設備修繕計画に基づき、令和７年度はクリーニング室の空調パッケージを更新しています。暑さ対策を講じたことで夏季においても利用者、職員ともに快適に作業ができる環境を整えました。また製菓作業を行う自主生産室の空調設備を増設し、作業環境の整備を図りながら自主製品の品質維持に努めました。

２．家族・支援者との協力体制

家族連絡会は４月と１０月に実施し、活動報告等を行いました。３月は家族と現場職員との交流を図るため懇親会と施設見学を実施しています。また、利用者の日々の様子等については、必要に応じて報告や相談を行うとともに面談や家庭訪問を実施しました。利用者が必要とするサービスの

調整や緊急対応については、相談支援事業所や法人内外の他事業所と連携し対応しています。

３．地域交流及び貢献活動

毎月第四土曜日開催の地域交流サロン「わかやぐ」は、(地域行事参加のため９月を除き）年間１１回実施しています。地域のイベントとしては、５月の福栄会まつりをはじめとして運河まつり、ふくしまつり、オータムフェスティバル、ぐるっぽまつり、さくら会まつり、春光会まつり、会館まつりなど自主製品の販売や模擬店の出店をすることで地域住民との交流を図りました。

４．事故防止策・虐待防止対策

（１）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は別表９のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し、職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

（２）虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、担当者会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

５．防災対策

防災訓練実施計画に基づき毎月１回火災想定及び地震想定の防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。また、事業継続計画（ＢＣＰ計画）を作成しており、職員間で内容を確認し、対応の共有を図りました。

〔第二しいのき学園実績資料〕

（令和８年３月３１日現在）

１．利用者人員と入退所状況

（１）利用者人員　（人）

定員	現員	内訳			
		男	比率％	女	比率％
６０	４９	３１	６３％	１８	３７％

注）内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

（２）入退園状況（令和７年４月１日～令８年３月３１日）　（人）

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	３３	1	3	３１
女	１８	0	0	１８
計	５１	1	3	４９

２．年齢状況

（１）年齢構成　（人）

施設	第二しいのき学園			
年齢(歳)	男	女	計	％
～１９	1	0	1	２．０％
２０～２９	9	2	１１	２２．５％
３０～３９	8	3	１１	２２．５％
４０～４９	5	6	１１	２２．５％
５０～５９	6	6	１２	２４．５％
６０～６９	2	1	3	６．０％
７０～	0	0	0	０％
人数計	３１	１８	４９	１００％
最年少	１９	２０		
最高齢	６８	６３		

（２）平均年齢　（歳）

区　分	男	女	平均
平均年齢	３７．８	４４．５	４０．３

注）内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

３．障害状況

（１）愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	１度			２度			３度			４度			非該当			合　計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第二	0	0	0	9	3	12	15	10	25	7	5	12	0	0	0	31	18	49
構成比	０％			２４．５％			５１％			２４．５％			０％			１００％		

（２）身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況　（人）

愛の手帳所持人数		１度	２度	３度	４度	非該当	合　計
		0	１２	２５	１２	0	４９
身障手帳	１級						
	２級						
	３級			体幹１			体幹１
	４級			視覚１			視覚１
	計	0	0	2	0	0	2

（３）障害支援区分の状況　（人）

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0	10	14	10			15	49

４．通園状況

（１）利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数（定員×開所日数）	出席者延べ人数	利用率
２５６日	１５，３６０	１０，２９０	６６．９％

（２）通園形態　（人）

通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	6	3	9
	交通機関	１４	１０	２４
	その他	1	5	6
	小計	２１	１８	３９
家庭介護通園等	徒歩等	4	0	4
	交通機関	2	1	3
	その他	3	0	3
	小計	9	1	１０
合　計		３０	１９	４９

５．支援概要

（１）グループ編成　　（人）

Ｃグループ	合計		
	男	女	計
	２１	１１	３２
Ｄグループ	合計		
	男	女	計
	１０	7	１７

（２）余暇活動の実施状況

コロナ禍より感染症拡大防止の観点から余暇活動はすべて中止としていましたが、今年度は外出活動の充実を図りました。余暇活動の充実については次年度の課題として取り組んでまいります。

（３）年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
4	１０日(木)	新利用者の迎える集い	第一合同 対象者１名
5	１１日(日)	福栄会まつり	規模縮小
6	２４日(火)	しいのき学園健康診断	希望者のみ
7	３日（木） １０日（木） １７日（木） ３０日（水）	外出活動（八天堂・マヨテラス） スイカ割り	 第一・第二合同
8	２０日（水）	夏まつり	第一・第二合同
１１	１１日（火） １９日（水） ２６日（水）	外出活動（よこすか満喫きっぷの旅、カップヌードルミュージアム）	
１２	２日（火） ３日（水） ２５日(木)	外出活動（よこすか満喫、藤子不二雄ミュージアム） クリスマス忘年会	 第一・第二合同
1	１５日(木)	二十歳を祝う会	法人合同 対象者５名
2	４日(水) １７日（火）	節分 外出活動（いちご狩り）	事業所ごと
3	３日（水） １０日（木） ２５日(水)	外出活動（いちご狩り） 慰労会	 第一・第二合同

（４）作業実施内容

作業種目	内　　容
クリーニング（集荷・納品を含む）	・区内保育園１２ヵ所のシーツ、白衣、掛けカバー、エプロンなどの洗濯、たたみ ・同法人施設（高齢・障害・児童）のオムツ、タオル、リネン類、私物、予防衣、シーツ、エプロン、おしぼり等の洗濯およびたたみ ・同法人の制服の洗濯 ・区内高齢者施設の私物、タオル、おしぼり等の洗濯、たたみ ・図書館の風呂敷の洗濯 ・区内公共施設のリネン類の洗濯 ・他区の公共機関のリネン類の洗濯 ・区内宿泊施設のリネン類の洗濯 ・区内中学校の白衣の洗濯
清掃作業	・区内公園１７ヶ所の清掃 ・同法人高齢者施設の館内清掃 ・同法人障害者施設の館内清掃 ・同法人児童施設の館内清掃 ・同法人本部建物共有部の館内清掃 ・同法人本部建物外周部の清掃
軽作業	・新聞納品（塗装資材） ・内職（封入、チラシ折り、シール張り等） ・ナッツ類のパック詰め、ネジ
お菓子 自主製品作り	・喫茶海岸通り販売用お菓子製造、販売 ・同法人高齢者施設、誕生日会用ケーキ、おやつの製造 ・贈答用お菓子の製造、販売
リサイクル	・法人内機密文書等の処理 ・古紙回収 ・小型家電の回収・解体 ・エコキャップ運動（ペットボトルキャップの回収）
喫茶実習	・喫茶「海岸通り」での喫茶作業（接客・掃除・金銭の授受等）

（５）工賃支給状況

A 年間総支給額	１３，２９８，２００円
B 開所日１日当たりの平均利用者数	４０．２人
A/B/12　月平均工賃（１人）小数点以下四捨五入	２７，５６７円

６．家族とのかかわり

（１）学園連絡会の開催状況

区　分	実施日	内　　容
第１回学園連絡会	４月２５日(金)	令和７年度事業計画・職員体制について
第２回学園連絡会	１０月３１日(金)	上半期事業報告・下半期事業について
家族懇親会	３月１８日(水)	令和７年度事業活動報告について 家族と職員との懇親会、事業所見学等

（２）しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
４月	施設長挨拶　新年度の職員紹介
５月	新利用者を祝う会
６月	福栄会まつり報告　健康診断のおしらせ
７月	活動報告・健康診断の実施状況
８月	七夕行事　第一プール活動　第二外出活動報告
９月	スイカ割り　夏まつり報告
１０月	障害者作品展への出品作製　第二の作業風景
１１月	ハロウィン仮装の様子
１２月	障害者作品展への参加　調理クラブ　第二外出活動報告
１月	新年のあいさつ　合同クリスマス会報告　第二外出活動報告
２月	二十歳を祝う会　第一調理クラブ　外出活動報告
３月	節分行事報告　第二いちご狩り報告

（３）地域とのかかわり

地域交流事業・わかやぐ 土曜喫茶実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日	26	24	28	26	23	－	25	22	20	24	28	28	１１

毎月第４土曜日開催、9 月は地域のイベントに出店のため開催はしていません。12 月は年末のため第 3 週目に振替を行い、今年度は合計 11 回実施しました。

７．実習・研修生の受け入れ状況(第一、第二しいのき年間受け入れ合計人数)

区　分	人数	備　　考
専門学校・大学・企業等	８９人	社会福祉援助技術、保育現場実習等

８．職員外部研修参加状況

（１）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日　　程	参加人数
東京都社会福祉協議会	社会福祉法人会計入門研修	６月 Zoom	１人
東京都社会福祉協議会	新任職員の定着・育成入門研修	６月 Zoom	１人
東京都福祉局	サービス管理責任者基礎研修	７月３１日	１人
品川福祉カレッジ	虐待・グレーゾーンの理解	８月２１日	４人
東京都生活衛生営業指導センター	クリーニング師研修（継続）	１０月８日	１人
東京都福祉局	サービス管理責任者更新研修	１０月１８日	１人

（２）法人内部研修

研修名・内容	日　　程	参加人数
超短時間雇用促進事業説明会	４月１６日（水）	８人
感染症予防研修	９月１７日（水）	９人
法人経営者研修	１１月６日（木）他	２人
虐待・身体拘束防止研修	１２月１０日（水）他	８人
会計研修	１２月２６日（金）	２人
事故防止研修	２月１６日（月）	３人

９．　ヒヤリハット・事故発生状況

（１）ヒヤリハット報告状況　　（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	3	4	1	1	1	0	3	4	0	1	2	1	２１

・他傷/他害行為（１０件）　・転倒（１件）　・所在不明（９件）
・その他（１件）

（２）事故報告状況　　（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	4

・他傷/他害行為（１件）　・服薬（１件）　・転倒（１件）　・その他（１件）

１０．感染症発生状況

新型コロナウイルス感染予防として、検温、マスクの着用、手洗いの励行のほか、職員の出勤時抗原検査の実施、館内消毒の徹底など取り組みました。

インフルエンザ	感染性胃腸炎	コロナウイルス（人）
1	0	2

品川区立西大井福祉園事業報告
（生活介護・就労継続支援Ｂ型）

１．基本方針

利用者が地域社会で日常生活を営むため、西大井福祉園における日中活動の内容を充実させ、生活介護と創作及び生産活動、社会参加の機会を提供しました。

２．重点目標

（１）生活介護サービス・就労継続Ｂ型サービスの提供

生活介護事業では個別支援計画に基づき、一人ひとりにあった介護や訓練、社会参加を提供しました。散歩などの外出活動を積極的に取り入れたほか、夏季には体育館を使用するなど運動の機会を増やしました。また、ハロウィン行事やクリスマス行事では、イベントに合わせた食事の提供の他、ゲームやお菓子作りなどを楽しまれていました。

その他、グループでの日帰り旅行の実施や園外での活動も含めた季節行事等、余暇活動の充実に取り組みました。

就労継続Ｂ型事業では生産活動を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。チラシ折り作業や割り箸袋入れ作業、ビーズを使用したクラフト作業やシュレッダー作業に加え、ECサイトでの販売等を行う作業（シール貼り・梱包・配送など）や子供服の仕分け作業、塩ビ糸通し作業を新たに受託し、作業の安定化を図るなど作業工賃向上に努めました。

令和７年度　目標工賃　１７，８５０円

令和７年度　実績工賃　１９，５６０円

（２）西大井つばさの家への協力

西大井地区で運営する西大井つばさの家、グループホーム金子山・森前ユニットと連携を図り、グループホームで生活されている利用者の健康状態等の観察を行い、感染症予防対策に努めました。また、西大井福祉園の職員がグループホームでの宿直業務を実施することで、日中夜間共に安心して生活が送れるよう支援しました。

（３）地域事業への参画

感染予防対策を徹底しながら地域行事等に参加し、地域の方々との交流を深めました。具体的には、オータムフェスティバルの開催や鹿嶋神社例大祭（富士見ヶ丘児童遊園）への出店、ウェルカムセンター原での原まつりや品川区商店街連合会の主催する大商業まつりに出展

し、地域参画を進めました。

３．家族・支援者との協力体制

園での様子、家庭での様子など情報交換を常に行い、必要に応じて面談、家庭訪問を実施しました。また、利用者家族とのコミュニケーションチャネルとして、LINE WORKS を効果的に活用し円滑な運営に努めました。

家族懇談会を年３回開催し、支援方針に対する理解を得て、施設との協力体制を作り相互理解に基づく施設運営に努めました。

４．地域交流及び貢献活動

大井消防署の協力のもと、令和８年３月に富士見ヶ丘児童遊園で西大井四丁目町会・西大井五丁目伊藤町会・西大井六丁目町会との近隣３町会合同総合防災訓練を実施し、災害発生時等の緊急事態に備えて地域との協力体制を構築し、地域の防災力強化に努めました。

また、西大井地区の法人施設及び家族会と協力し、オータムフェスティバルを開催するなど、地域住民との交流を図りました。

５．事故防止・虐待防止

（１）事故防止

転倒、誤嚥等の事故防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。また、ヒヤリハット報告及び事故報告への対応については職員会議で１ヶ月後の振り返りを実施することで、再発防止に努めました。

送迎業務に携わる全職員対象に安全運転研修を実施し、安全運転の心構えや運転者及び添乗者の業務マニュアルの再確認、危険予知トレーニングなど、安全対策と事故防止の徹底を図りました。

（２）虐待防止

全職員を対象に年２回虐待防止チェックリストを実施し、自己点検など業務の振り返りを行いました。

法人開催の虐待防止研修への参加や事業所内で開催する虐待防止検討委員会で指針の見直し等を行うなど、権利擁護に対する意識を施設全体で高めるよう努めました。

６．防災対策

（１）防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき、毎月１回火災想定及び地震想定の防災訓練を実施しました。

（２）ＢＣＰ計画に基づき、参集訓練や炊き出し訓練等を実施し、防災に対する意識向上に努めました。

（３）大井消防署協力のもと、近隣３町会合同防災訓練を実施し、災害発生時等の緊急事態に備えて地域との協力体制の確認を行いました。

〔　西大井福祉園　実績資料　〕

１．利用者人員と入退所状況（令和８年３月３１日現在）　　（人）

事業名	定員	性別	年度当初	増	減	年度末現員	比率
生活介護	３０名	男	２１	０	０	２１	７０.０%
		女	９	０	０	９	３０.０%
		計	３０	０	０	３０	１００%
就労継続支援Ｂ型	１０名	男	９	０	２	７	８０.０%
		女	４	０	０	４	２０.０%
		計	１３	０	２	１１	１２０%
合　　計	４０名	男	３０	０	２	２８	７２.５%
		女	１３	０	０	１３	３２.５%
		計	４３	０	２	４１	１０５%
人員増減理由		新規通所による増					

２．年齢状況（令和８年３月３１日現在）　　（人）

年齢(歳)	男	女	計	%
１８～１９	１名	０名	１名	２．３%
２０～２４	０名	０名	０名	０．０%
２５～２９	０名	０名	０名	４．８%
３０～３４	２名	５名	７名	１４．２%
３５～３９	５名	５名	１０名	２４．０%
４０～４４	９名	０名	９名	２１．４%
４５～４９	４名	２名	６名	２１．４%
５０～５４	６名	０名	６名	７．１%
５５～５９	１名	１名	２名	４．８%
６０～	０名	０名	０名	０．０%
人数計	２８名	１３名	４１名	１００%
最年少	１９歳	３０歳	２５歳	－
最高齢	５８歳	５６歳	５７歳	－
平均年齢	４３歳	３８歳	４１歳	－

３．障害状況（令和８年３月３１日現在）

（１）愛の手帳による利用者の障害状況および身体障害者手帳の併所持状況

		１度	２度	３度	４度	合計（人）
愛の手帳	男	０	１８	１０	０	２８
	女	０	９	２	２	１３
	計	０	２７	１２	２	４１
身体障害者手帳	１級		視覚１			
	２級		肢体１			
	５級			肢体１		
	計	０	２	１	０	３

（２）障害支援区分の状況（令和８年３月３１日現在）　（人）

区分	なし	１	２	３	４	５	６	合計	平均
生活介護	０	０	０	２	１８	１０	０	３０	４．２
就労支援	０	０	１	８	２	０	０	１１	３．１
合　計	０	０	１	１０	２０	１０	０	４１	３．９

４．通園状況（令和８年３月３１日現在）

（１）利用者の出席状況（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

年間開所日数 256 日	要出席者延べ人数	出席者延べ人数	出席率
生活介護	７，６８０人	７，１２１人	９２．７％
就労支援	２，８１６人	２，４６８人	９６．４％
合　計	１０，４９６人	９，５８９人	９３．６％

（２）通園形態、送迎車両運行及び利用者状況

通園形態		男	女	計	所要時間	対応車種
送迎車両	ﾘﾌﾄ・ｺｰｽ	6	3	9	90 分	ﾘﾌﾄ付ﾏｲｸﾛﾊﾞｽ
	ｷｬﾗﾊﾞﾝ・ｺｰｽ　（２便運行）	3	3	6	70 分	ｷｬﾗﾊﾞﾝﾁｪｱｷｬﾌﾞ NV350
	西大井ﾁｪｱ・ｺｰｽ（２便運行）	6	3	9	90 分	ｷｬﾗﾊﾞﾝﾁｪｱｷｬﾌﾞ
	小計	15	9	21		
家庭介護通園（徒歩等）		9	3	13		
自力通園	徒歩	2	3	5		
	交通機関	0	0	0		
	小計	11	6	18		
合計		26	15	41		

5．支援概要

（1）グループ編成

（人）

	生活介護				就労継続B	合計
	1班	2班	3班	計	4班	
男	6	7	8	21	7	28
女	4	3	2	9	4	13
計	10	10	10	30	11	41

（2）クラブ活動の実施状況（生活介護事業）

活動名	内　容
ドライブ	一部合同にて、東京タワー周辺・羽田空港・お台場・平和島・等々力渓谷・城南島・池上梅園方面へ出かけました。
カラオケ	新型コロナウイルス感染予防対策として専用のカバーを使用し、参加利用者に偏りが生じないよう順番に活動しました。
室内運動	新型コロナウイルス感染予防対策のため班ごとに分かれて、音楽に合わせた体操やストレッチ、背筋や腹筋、バランスボールを使って体を動かす室内運動を実施しました。
芸術	墨と筆を使って字や絵を書く、色鉛筆を使った絵画を実施しました。仕上がった作品は館内に展示しました。
体育館運動	新型コロナウイルス感染予防対策のため班ごとに分かれて、毎週火曜日の午前にウエルカムセンター原にて、講師の指導の下に体を動かしました。７・８月は木曜日も実施を増やしました。

（3）生産活動支援状況

清掃作業・軽作業は作業の拡充を図り、工賃向上に努めました。

①生産活動の内容

作業種目	内　容
クラフト作業（自主製作品）	・ビーズ製品…携帯ストラップ、メガネチェーン・指輪 ・牛乳パックリサイクル製品…押し花はがき、しおり
軽作業	・割箸袋入れ、チラシ折、袋詰め、子供服の値付け、塩ビ ・通販（ECサイト）商品のシール貼り・梱包・配送等
清掃作業	・近隣区立公園５ヶ所の清掃 ・森前障害者施設清掃　・一般企業の清掃

②自主製作品の販売状況

シンフォニーとして地域の各種イベント、近隣企業等の社会貢献活動の協力による自主制作品の販売等へ出店しました。その他、テルベ・区内の図書館での販売、西大井福祉園内での保護者への販売も随時実

施しました。

（４）年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	10	新利用者を迎える集い	11	25	2班日帰り旅行（葛西臨海水族園）
6	－	プラネタリウム鑑賞会（2回）	11	26	3班日帰り旅行（横浜・八景島シーパラダイス）
7 8	－	プール（24回）	12	16	就労班日帰り旅行（国立科学博物館）
			12	24	クリスマス会
8	－	かき氷大会（各班１回以上）	1	－	初詣
9	－	フレンチトースト等（各班１回以上）	2	3	節分豆まき
11	1	オータムフェスティバル	2	19	炭火で焼いて食べよう
10	30	ハロウィンイベント			
11	19	１班日帰り旅行（新江の島水族館）			

※毎週火曜日（午前）：体育館での講師による運動

※その他　年間を通して余暇活動を実施

６．家族とのかかわり

（１）家族参加行事等の開催状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

（２）園連絡会等の開催状況

○令和７年度第１回園連絡会

令和７年４月24日（木）13時30分～14時30分　22名参加

○令和７年度第２回園連絡会

令和７年10月23日（木）13時30分～14時30分 23名参加

○令和７年度第３回園連絡会

令和８年 3月24日（火）13時30分～14時30分　21名参加

（３）西大井福祉園だよりの編集内容

発行月	主な内容	発行月	主な内容
４月	１年の振り返り	１０月	日中活動
５月	新利用者迎える集い	１１月	フレンチトースト作り
６月	創作活動（あじさい等）	１２月	日帰り旅行
７月	プラネタリウム	１月	クリスマス会
８月	プール活動	２月	お正月（初詣等）
９月	かき氷大会	３月	節分・炭火で焼いて食べよう

７．地域とのかかわり

（１）ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内　容
生活介護 就労継続支援	４	４月～	生活介護の活動手伝い 就労作業の手伝い

（２）利用者実習生の受け入れ状況(年間延べ人数)　（人）

区　分	人　数
港特別支援学校実習生	４

（３）職員実習生受け入れ状況　（人）

区　分	人　数
社会福祉士実習	１０
保育士実習	１５
介護等体験	５
介護福祉士実習	６
看護師	６

８．職員研修・訓練参加状況

実施団体	研修名	実施時期	人数
（福栄会法人内部）	ＯＪＴ研修	４月～６月	１
（福栄会法人内部）	てんかん基礎講座	６月２５日	１
カイゴジョブアカデミー	介護職員初任者研修	６月～７月 ７月～９月	２
社会福祉法人品川区社会福祉協議会	公園清掃事業者研修会	６月	２
公益財団法人 東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	７月～１０月	２
（福栄会法人内部）	施設で求められる接遇とマナー講座	７月９日	１
公益財団法人 東京都福祉保健財団	虐待防止・権利擁護研修	７月～８月	１
東京都社会福祉協議会	採用力・広報力研修	８月～１０月	１
（福栄会法人内部）	ＢＣＰ（自然災害・感染症）研修	５月９日	２１

（福栄会法人内部）	身体拘束等適正化研修	７月１７日	２６
（福栄会法人内部）	虐待防止研修	①　９月１１日～１０月３１日 ②　１２月１０日～１５日	２６ ２７
（福栄会法人内部）	感染症予防研修	①　９月１日～３０日 ②　１月～２月	２６ ２６
（福栄会法人内部）	情報セキュリティー研修	９月１６日	１２
（福栄会法人内部）	新規採用職員フォローアップ研修	１０月２１日	1
（福栄会法人内部）	法人経営者研修	１０月９日	1
東京都立港特別支援学校	摂食研修会	１０月３０日	1
（福栄会法人内部）	業績評価　評価者研修	１２月５日	2
公益財団法人 総合健康推進財団	サービス管理責任者基礎研修	１０月～１２月	1
公益財団法人東京福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	１１月 ２月	2
高崎福祉医療カレッジ	社会福祉士実習指導者講習会	３月	1

実施団体	訓練名	実施時期	人数
（福栄会法人内部）	ＢＣＰ訓練 総合防災・参集・備蓄品確認	１１月９日 ３月７日	4 １０
（福栄会法人内部）	感染症対応訓練（ガウンテクニック・手洗いチェッカー）	７月　１０日 １０月９日	２６ ２５

９．防災訓練の実施状況

回	実　施　日	内　　容
1	4月29日	火災想定による避難訓練
2	5月27日	火災想定による避難訓練
3	6月27日	地震・火災想定による避難訓練
4	7月28日	火災想定による避難訓練
5	8月27日	火災想定による避難訓練
6	9月25日	地震・火災想定による避難訓練
7	10月21日	火災想定による避難訓練
8	11月28日	火災想定による避難訓練
9	12月23日	地震・火災想定による避難訓練
10	1月28日	火災想定による避難訓練
11	2月23日	火災想定による避難訓練
12	3月25日	地震・火災想定による避難訓練

１０．家族支援事業「トワイライトステイ」実施状況　　（件）

内　　訳	件数	１７：１５～１８：１５	１７：１５～１９：００
利用件数合計	２３	２３	０

１１．ヒヤリハット・事故件数

（１）ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	2	4	4	0	4	1	（件）
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
件数	0	0	3	0	6	1	２５

※ヒヤリハット：他害行為、職員への暴力、所在不明等（多い順）

（２）事故報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	0	1	1	0	1	0	（件）
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
件数	0	0	1	0	0	0	4

※事故：不適切行為、利用者送迎時の車両事故、職員への暴力、転倒による救急対応

品川区立西大井つばさの家事業報告
(外部サービス利用型共同生活援助)

1．基本方針

入居者が住み慣れた地域で生活する主体者として、家庭的な雰囲気の中で共同し自立した日常生活を営むため、一人ひとりの状況に応じた最適なサービスを提供しました。

2．重点目標

（1）関係機関との連携

日中活動施設で感染症が流行した時は感染拡大防止のため、日中活動施設への登園（通園制限）調整を行いました。また、日中活動施設を利用後は、検温等の体調確認を行い、感染予防に努め、新型コロナウイルス感染症の陽性者は発生しませんでした。体調等に変化があった際は、日中活動施設及び相談支援センターと情報共有を行い、迅速に対応することで共同生活の安定を図りました。

年３回品川区知的障害者グループホーム連絡会を実施し、品川区より障害者施策についての行政説明会や他施設での取り組み内容の報告を行うなど、区内グループホームでの情報共有を図りました。

（2）地域社会との共生

近隣町会と合同で防災イベントや交通安全運動に参加し、地域の方々と施設利用者が交流する場を提供しました。

その他、町内祭礼や地域施設のイベントなどに模擬店を出店し、地域の方々と交流を図るなど、地域の行事に積極的に参加し、地域社会との共生に取り組みました。

（3）グループホームのバックアップ体制について

西大井福祉園やかがやき園、その他法人内施設より職員が防災宿直の応援に入るなど、円滑に施設運営を行いました。また、体調不良等で日中施設を休まれた利用者に対して、西大井福祉園の職員が体調確認などを行い、日中夜間を通して安心して過ごせるよう利用者支援に取り組みました。

法人内グループホーム共同で、日帰り旅行やクリスマス会などを実施し、グループホーム同士での交流を図りました。

3．家族・支援者との協力体制

年２回の家族連絡会を開催し、家族の協力と理解を得て利用者の生活支

援に取り組みました。また、随時家族と連絡を図り、相互協力による支援を行いました。

誕生日月を基準とした６か月ごとの個別支援計画のモニタリング及び面談を実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行時には事前に必要書類を送付し電話連絡にて行う等出来る限りの連携に努めました。

４．地域交流及び貢献活動

令和８年３月に近隣３町会合同防災訓練を実施し、西大井地区にある３つのグループホーム利用者を各町会応援者の方々が避難誘導して頂く等、地域の防災力強化に努めました。

また、オータムフェスティバルの開催や鹿嶋神社例大祭（富士見ヶ丘児童遊園）、ウェルカムセンター原での原まつりなど地域行事にも積極的に参加し、地域の方々との交流を行いました。

地域の方々に施設や障害者に対する理解を深めること、利用者の権利擁護、施設の透明性の確保及びサービス提供の質の確保を目的に、利用者や家族、地域の関係者等が参加して、地域連携推進会議を実施しました。

５．事故防止・虐待防止

（１）事故防止

転倒、誤嚥等の事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。

（２）虐待防止

法人の全職員を対象とした虐待防止チェックリストを年２回実施しました。法人開催の虐待防止研修への参加や事業所内で開催する虐待防止検討委員会で指針の見直し等を行うなど、権利擁護に対する意識を施設全体で高めるよう努めました。

６．防災対策

（１）防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき、火災想定及び地震想定の防災訓練を実施しました。

（２）BCP 計画に基づき、参集訓練や炊き出し訓練等を実施し、防災に対する意識向上に努めました。

（３）大井消防署協力のもと、近隣３町会合同防災訓練を実施し、災害発生時等の緊急事態に備えて地域との協力体制の確認を行いました。

７．支援内容

（１）食事提供

食事の提供については、食材配達業者を利用継続しながら、法人施設で調理したパンやオードブルなどを活用し献立のバリエーションを豊かにするなど工夫しながら、朝夕の２食を原則として提供しました。

（２）健康管理

一日二回、バイタルチャックを行い健康に留意しました。また、通院の同行や予防接種等必要に応じ対応しました。

（３）金銭管理

利用者の金銭（貯金・給与等）は自主管理を原則としますが、金銭の浪費や紛失防止等のために適宜点検、相談等必要な支援をします。

（４）日常生活

利用者相互の自主性を基本としつつ、掃除・洗濯等の日常生活に必要なことについては助言・支援を行いました。また、利用者の申し出や必要に応じて社会生活上必要な知識、技術の習得について学習を行いました。

グループホーム金子山事業報告
（介護サービス包括型共同生活援助）

１．基本方針

新型コロナウイルス感染症に留意しながら入居者が住み慣れた地域で生活する主体者として、家庭的な雰囲気の中で共同し、自立した日常生活を営むため、一人ひとりの状況に応じた最適なサービスを提供しました。

２．重点目標

（１）関係機関との連携

日中活動施設で感染症が流行した時は感染拡大防止のため、日中活動施設への登園（通園制限）調整を行いました。

また、日中活動施設を利用後は、検温等の体調確認を行い、体調等に変化があった際は、日中活動施設及び相談支援センターと情報共有を行い、迅速に対応することで共同生活の安定を図りました。

年３回品川区知的障害者グループホーム連絡会を実施し、品川区より障害者施策についての行政説明会や他施設での取り組み内容の報告を行うなど、区内グループホームでの情報共有を図りました。

（２）地域社会との共生

近隣町会と合同で防災イベントや交通安全運動に参加し、地域の方々と施設利用者が交流する場を提供しました。

その他、町内祭礼や地域施設のイベントなどに模擬店を出店し、地域の方々と交流を図るなど、地域の行事に積極的に参加し、地域社会との共生に取り組みました。

（３）法人内西大井地区の連携

西大井地区で運営する西大井つばさの家、森前ユニットと一体的な運営を実施するとともに、グループホーム管理施設である西大井福祉園、バックアップ施設であるかがやき園との連携を密に図りました。

また、西大井福祉園及びかがやき園等の職員による夜間宿直の応援体制を構築し、円滑に施設運営を行いました。

３．家族・支援者との協力体制

年２回の家族連絡会を開催し、家族の協力と理解を得て利用者の生活支援に取り組みました。また、随時家族と連絡を図り、相互協力による支援を行いました。

誕生日月を基準とした６か月ごとの個別支援計画のモニタリング及び面

談を実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行時には事前に必要書類を送付し電話連絡にて行う等出来る限りの連携に努めました。

4．地域交流及び貢献活動

令和８年３月に近隣３町会合同防災訓練を実施し、西大井地区にある３つのグループホーム利用者を各町会応援者の方々が避難誘導して頂く等、地域の防災力強化に努めました。

また、オータムフェスティバルの開催や鹿嶋神社例大祭（富士見ヶ丘児童遊園）、ウェルカムセンター原での原まつりなど地域行事にも積極的に参加し、地域の方々との交流を行いました。

地域の方々に施設や障害者に対する理解を深めること、利用者の権利擁護、施設の透明性の確保及びサービス提供の質の確保を目的に、利用者や家族、地域の関係者等が参加して、地域連携推進会議を実施しました。

5．事故防止・虐待防止

（１）事故防止

転倒、誤嚥等の事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。

（２）虐待防止

法人の全職員を対象とした虐待防止チェックリストを年２回実施しました。法人開催の虐待防止研修への参加や事業所内で開催する虐待防止検討委員会で指針の見直し等を行うなど、権利擁護に対する意識を施設全体で高めるよう努めました。

6．防災対策

（１）防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき、火災想定及び地震想定の防災訓練を実施しました。

（２）BCP 計画に基づき、参集訓練や炊き出し訓練等を実施し、防災に対する意識向上に努めました。

（３）大井消防署協力のもと、近隣３町会合同防災訓練を実施し、災害発生時等の緊急事態に備えて地域との協力体制の確認を行いました。

7．支援内容

（１）食事提供

食事の提供については、法人施設で調理したパンやオードブルなど

を活用し献立のバリエーションを豊かにするなど工夫しながら、朝夕の２食を原則として提供しました。

（２）健康管理

一日二回、バイタルチャックを行い健康に留意しました。また、通院の同行や予防接種等必要に応じ対応しました。

（３）金銭管理

利用者の金銭（貯金・給与等）は自主管理を原則としますが、金銭の浪費や紛失防止等のために適宜点検、相談等必要な支援をします。利用者の希望等により、預金通帳、印鑑を法人規定「利用者預かり金等取扱規定」に基づき管理しました。

（４）日常生活

利用者相互の自主性を基本としつつ、掃除・洗濯等の日常生活に必要なことについては助言・支援を行いました。また、利用者の申し出や必要に応じて社会生活上必要な知識、技術の習得について学習を行いました。

〔　西大井つばさの家　実績資料　〕

１．利用者人員と入退所状況（令和８年３月３１日現在）

（１）利用者人員　（人）

事業名	定員	現員	内訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	９名	９名	９名	１００%	０名	０%

注）内訳の構成率は、原因に対する比率を示します。

（２）入退園状況（令和７年４月１日より令和８年３月３１日）　（人）

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	９名	０名	０名	９名	
女	０名	０名	０名	０名	
計	９名	０名	０名	９名	

２．年齢状況

（１）年齢構成　（人）

年齢	男	女	計	%
１８～１９	０	０	０	０
２０～２４	０	０	０	０
２５～２９	１	０	１	１１．１%
３０～３４	０	０	０	
３５～３９	１	０	１	１１．１%
４０～４４	２	０	２	２２．２%
４５～４９	０	０	０	０
５０～５４	２	０	２	２２．２%
５５～５９	２	０	２	２２．２%
６０～	１	０	１	１１．１%
人数計	９	０	９	１００%
最年少	２５	－	—	—
最高齢	６０	－	—	—

（２）平均年齢　（歳）

区　分	男	女	平均
平均年齢	４８．０	－	４８．０

３．障害状況

（１）愛の手帳による利用者の障害状況

１度			２度			３度			４度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	1	0	1	5	0	5	3	0	3	9	0	9

（２）障害支援区分の状況

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	０名	４名	２名	２名	０名	０名	１名	９名

４．日課表

日課	時間	備考
起床	６：００～ ７：００	朝食　６：３０頃から随時
就寝	２１：００～	夕食　１８：００頃から随時
門限	１９:００	施錠　２１：００ 開錠　６：００
入浴	順次	毎日

５．日中活動事業所　（人）

通園施設	男	女	計
しいのき学園	1	0	1
ふれあい作業所	7	0	7
福祉工場	1	0	1
合　計	9	0	9

６．年間行事等の実施状況

月	行事内容	備　考
７月	食事会	各グループホーム実施
１０月	日帰り旅行	合同にて実施
１２月	クリスマス会	各グループホーム実施
１月	新年会	各グループホーム実施
２月	合同防災訓練	合同にて実施

7．家族とのかかわり

内容	実施日	内　　容
第１、２回 家族懇談会	令和７年４月２６日（土） 令和７年７月　５日（土）	令和７年度事業計画 令和６年度会計報告 実費精算
地域連携推進会議 施設見学	令和８年３月１７日（火）	地域との連携 サービスの透明性と質の確保 権利擁護

8．職員研修参加状況

（１）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	参加人数
株式会社アイディ 東京都委託	障害者グループホーム従事者基礎研修	1

（２）法人内部研修

研　修　内　容	参加人数
虐待防止・権利擁護研修	５（世話人含む）

9．ヒヤリハット・事故発生状況

（１）ヒヤリハット報告状況　　（件）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	2	0

（２）事故発生状況　　（件）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

〔　グループホーム金子山　実績資料　〕

１．利用者人員と入退所状況（令和８年３月３１日現在）

（１）利用者人員　（人）

事業名	定員	現員	内訳			
			男	比率％	女	比率％
共同生活援助	１６名	１６名	１０名	６２．５％	６名	３７．５％

（２）入退園状況（令和７年４月１日より令和８年３月３１日）（人）

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	１０名	０名	０名	１０名	
女	６名	０名	０名	６名	
計	１６名	０名	０名	１６名	

２．年齢状況

（１）年齢構成　（人）

年齢	男	女	計	％
１８～１９	０	０	０	０
２０～２４	０	１	１	６．２５
２５～２９	０	０	０	０
３０～３４	０	１	１	６．２５
３５～３９	１	２	３	１８．７
４０～４４	３	０	３	１８．７
４５～４９	０	０	０	０
５０～５４	６	１	７	４３．７
５５～５９	０	１	１	６．２５
６０～	０	０	０	０
人数計	１０	６	１６	１００％
最年少	３９	２３	—	—
最高齢	５４	５６	—	—

（２）平均年齢　（歳）

区　分	男	女	平均
平均年齢	４６．９	３９．６	４４．１

３．障害状況

（１）愛の手帳による利用者の障害状況　（人）

１度			２度			３度			４度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
０	０	０	３	１	４	６	２	８	１	３	４	１０	６	１６

（２）障害支援区分の状況　（人）

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	０	４	７	２	１	０	２	１６

４．日課表

日課	時間	備考
起床	６：００～ ７：００	朝食　６：３０頃から随時
就寝	２１：００～	夕食　１８：００頃から随時
門限	１９:００	施錠　２１：００ 開錠　６：００
入浴	順次	毎日

５．日中活動事業所　（人）

通園施設	男	女	計
第二しいのき学園	1	0	1
西大井福祉園	6	2	8
ふれあい作業所	2	0	2
福祉工場しながわ	1	1	2
アリストランプ	0	1	1
一般就労	0	2	2
合　計	１０	6	１６

６．年間行事等の実施状況

月	行事内容	備　考
７月	食事会	各グループホーム実施
１０月	日帰り旅行	合同にて実施
１２月	クリスマス会	各グループホーム実施
１月	新年会	各グループホーム実施
２月	合同防災訓練	合同にて実施

7．家族とのかかわり

内容	実施日	内　　容
第１、２回 家族懇談会	令和７年４月２６日（土） 令和７年７月　５日（土）	令和７年度事業計画 令和６年度会計報告 実費精算
地域連携推進会議 施設見学	令和７年１１月２１日（金）	地域との連携 サービスの透明性と質の確保 権利擁護

8．職員研修参加状況

（１）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	参加人数
株式会社アイディ 東京都委託	障害者グループホーム従事者基礎研修	2

（２）法人内部研修

研　修　内　容	参加人数
虐待防止研修	１０（世話人込む）

9．ヒヤリハット・事故発生状況

（１）ヒヤリハット報告状況　　（件）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

（２）事故発生状況　　（件）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

品川区立かがやき園事業報告
（施設入所支援・生活介護・短期入所）

１．基本方針

利用者が地域社会で日常生活を営むため、かがやき園における日中活動の内容を充実させ、生活介護と創作及び生産活動、社会参加の機会を提供しました。

２．重点目標

（１） 重度化・老年期の利用者への適切な支援

これから老年期を迎える利用者の介護予防に取り組むと共に、利用者のライフステージ・健康状態に見合った活動を組み立て、老化防止にむけた活動の充実を品川区と協議しながら進めました。

地域移行

月	年齢	性別	移行先
８月	３０代	女性	区内
１１月	５０代	男性	区内
３月	５０代	女性	区外

（２） 暮らしやすい生活環境の提供

開設から２０年が過ぎ、施設のハード面及びソフト面において更新の時期を迎えています。そのため、順次更新工事等を実施することでより過ごしやすい環境作りを目指しました。

住環境

場所	内容
居室	間仕切り兼タンスの更新（３か所）　※複数人数部屋 タンスの更新（５か所）　※単身部屋

※その他、軽微な補修等については随時対応して、環境を整えました

（３） 地域と施設のより強い信頼関係の構築

これまでも地域にむけた行事の開催や、配食サービスを兼ねたサロンの実施により、地域の方々同志また地域の方々とかがやき園の顔の見える関係作りに努めてきました。それにより園への理解をいただいています。今後も、地域推進連絡会議等の開催をしつつ、より強い地域との結びつきに努めていきます。

主だった活動等

	内容
活動	日帰り旅行（全９コース）

行事	福栄会まつり　都議選　参議院選　ふくしまつり 品川納涼祭　オータムフェスティバル　ボッチャ SHINAGAWA CUP 等
サロン	西大井六丁目サロン（年間） 自治会サロン（年間）
地域連携推進会議	１１月に開催をして、地域の代表者との意見交換を行いました。

３．事故・虐待防止策

（１）事故防止について

①施設内委員会を設置し、サービスの質の向上・事故防止（リスクマネジメント）への取り組みを行い、事故予防のリスクマネジメントを推進し、事故予防に努めました。

②使用する機器類を定期点検等に取り組みました。

③適宜マニュアルの点検と更新を行いました。

（２）虐待防止について

①研修・チェックリストを活用した人権意識の向上を図りました。

②施設内委員会を設置し、虐待防止・サービス向上に向けた委員会を定期的に開催しました。

③準職員との意見交換、家族会の開催等を実施し、風通しのよい施設運営を心がけました。

④労働環境の点検と改善を行い、職場環境の健全化を図り職員のストレス軽減に努めました。

４．家族・支援者との協力体制

充実した地域生活を実現していくために、園での生活の情報提供や家族との外出時の様子などの情報交換や面談を行い、家族と園との協力体制を構築し相互理解に基づく施設運営を行いました。

また、家族との連絡会や懇談会を定期的に開催し、支援方針に対する理解を得ながらサービス提供を行いました。

５．地域交流及び貢献活動

（１）地域行事に積極的に参加し地元との地域交流を図りました。

（２）地域住民が気軽に参加できるよう行事やイベントを開催しました。

（３）地域住民、実習受け入れ校等とボランティア活動を通じて交流を図りました。

６．防災対策

（１）消防計画及び震災対応事業継続計画に基づいて、通報訓練、避難訓練、夜間想定訓練及び消火訓練を定期的に実施しました。

（２）３月７日、品川区立西大井福祉園主催、消防署・消防団・近隣町会等参加の合同防災訓練に、区営住宅入居の参加者と共に参加しました。

（３）近隣町会との相互応援協定の実現を所轄消防署の指導のもとに取り組み、地域と一体的な防災対策を進めました。

品川区立かがやき園実績資料

（１）利用者の入退所状況

＜施設入所支援＞　　令和８年３月３１日現在　単位：人

		入所者数			退所者数			月末在籍数
		病院その他から	グループホーム他施設から	区内通所施設から	地域移行	他施設入所	入院・死亡	
4月	男	18	0	0	0	0	0	18
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	30	0	0	0	0	0	30
5月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
6月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
7月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
8月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	1	0	11
	計	0	0	0	0	1	0	29
9月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
10月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
11月	男	0	0	0	0	1	0	17
	女	0	1	0	0	0	0	12
	計	0	1	0	0	1	0	29
12月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	29
1月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	29
2月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	29
3月	男	0	0	1	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	1	0	11
	計	0	0	1	0	1	0	29
総　計		30	1	1	0	3	0	29

※入所「区内通所施設から」は、在宅利用者を示す。
「病院　その他から」には年度当初に契約したかがやき利用者数を含む。
※退所「地域移行」は、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ・自宅を示す。
「他施設入所」には他の障害者支援施設・高齢者施設を示す。

＜生活介護＞　　令和８年３月３１日現在　単位：人

		契約者数			退園者数			月末在籍数
		生活介護利用者	家庭から新規	家庭からその他	他事業所へ	入　院	死　亡	
4月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	34	0	0	0	0	0	34
5月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	34	0	0	0	0	0	34
6月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	34	0	0	0	0	0	34
7月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	13	0	0	0	0	0	13
	計	34	0	0	0	0	0	34
8月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	13	0	0	1	0	0	12
	計	34	0	0	1	0	0	33
9月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	13	0	0	1	0	0	12
	計	34	0	0	1	0	0	33
10月	男	21	0	0	0	0	0	21
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	33	0	0	0	0	0	33
11月	男	21	0	0	1	0	0	20
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	33	0	0	1	0	0	32
12月	男	21	0	0	1	0	0	20
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	33	0	0	1	0	0	32
1月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	32	0	0	0	0	0	32
2月	男	20	0	0	0	0	0	20
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	32	0	0	0	0	0	32
3月	男	20	1	0	0	0	0	21
	女	12	0	0	1	0	0	11
	計	32	1	0	1	0	0	32
総　計		399	1	0	5	0	0	395

（２）利用者状況

（施設入所支援・生活介護）　　令和8年3月31日現在

①障害状況　　（人）

愛の手帳	男性	女性	計	%
１度	1	1	2	6.1
２度	15	5	20	60.6
３度	5	5	10	30.3
４度	0	1	1	3.0
合計	21	12	33	100.0

（人）

障害支援区分	男性	女性	計	%
区分１	0	0	0	0.0
区分２	0	0	0	0.0
区分３	0	0	1	3.0
区分４	10	3	13	39.4
区分５	6	6	12	36.4
区分６	5	2	7	21.2
計	21	11	33	100.0

平均障害支援区分	区分	備考
生活介護	4.8	
施設入所支援	4.7	

②年齢構成　　（人）

年齢（歳）	男性	女性	計	%
15～19	0	0	0	0.0
20～24	0	0	0	0.0
25～29	0	0	0	0.0
30～34	1	0	1	3.0
35～39	2	1	3	9.1
40～44	4	0	4	12.1
45～49	2	3	5	15.2
50～54	5	3	8	24.2
55～59	3	2	5	15.2
60～64	2	3	5	15.2
65～70	2	0	2	6.1
70以上	0	0	0	0.0
合計	21	12	33	100.0

（才）

平均年齢	男性	女性	平均
	50.0	53.0	51.2

（３）地域生活移行の状況

令和８年３月３１日現在　　単位：（人）

年度 / 地域生活移行者		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	合計
グループホームへの転居	人数	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	1	12
	か所数	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	1	11
アパートへの転居		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自宅への帰宅		1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	8
小計		1	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	2	1	20
他施設		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	1	2	0	0	2	10
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
計		1	4	4	3	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	2	3	2	3	33
利用者現員	男性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18	17	18	18	
	女性	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12	12	11	
合計		30	30	30	30	30	29	29	30	30	30	30	30	28	29	30	30	30	30	30	29	30	29	

（4）在園者の健康相談・通院状況（延べ人数）

令和8年3月31日現在　　単位：人

	内科	外科	整形外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	泌尿・婦人	精神科	神経内科	脳外科	歯科	合計
4月	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	34
	0	0	7	0	1	0	0	1	0	0	2	11
5月	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	39
	0	0	6	1	0	1	0	0	0	3	0	11
6月	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	39
	0	2	15	2	1	0	0	1	0	1	1	23
7月	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	29
	8	0	3	0	4	0	1	0	0	0	1	17
8月	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	34
	11	1	3	0	0	0	0	1	0	0	1	17
9月	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	38
	2	0	5	0	1	0	0	0	0	0	1	9
10月	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	14
	1	0	5	0	1	1	1	0	1	1	1	12
11月	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	51
	10	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	15
12月	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	56
	2	0	4	0	0	0	1	0	0	0	2	9
1月	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	29
	10	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	13
2月	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	42
	2	0	6	0	0	0	0	1	0	0	1	4
3月	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	43
	5	0	6	2	1	0	1	0	0	0	0	15
合計	187	0	0	0	0	0	0	0	0	0	288	475
	51	3	64	5	10	3	4	5	1	6	11	163

※上段:施設内相談数　　475 名　　下段：施設外診療数　　163 名

※季節性インフルエンザ予防接種状況：11/12・22　計　31名接種（利用者のみ）

※新型コロナウィルス予防接種状況：なし

入院者状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	9

原因　○頭部外傷後遺症による頭蓋内出血

　　○右大腿部内側皮下出血及び血腫

（5）行事等実施状況

月	日	行事名等	内　　容
4	20	おやつ作り	ペッパーランチ
	25	豪華おやつ	ミスタードーナツ
	30	防災訓練・利用者集会	
5	11	福栄会まつり	福栄会本部にて
	16	豪華おやつ	パン選択
	19	誕生日外食	4月誕生日利用者
	23	防災訓練・利用者集会	
	25	おやつ作り	パフェ
6	4	東京都障害者作品展作品作り	
	7	町内祭礼	品川区立障害児者総合支援施設にて
	8	合同防災訓練	
	16	誕生日外食	6月誕生日利用者
		東京都議会議員選挙期日前投票	17日,19日,20日実施
	20	豪華おやつ	ケーキ
	21	第1回園連絡会	
	21	夏物衣類販売	
	22	おやつ作り	ホットケーキ
	27	避難訓練・利用者集会	
7	6	会館まつり	品川区立心身障害者福祉会館にて
	6	流しそうめん大会	
	18	誕生日外食	7月誕生日利用者
	18	豪華おやつ	シュークリーム（コージーコーナー）
	20	おやつ作り	餃子皮ピザ
	25	防災訓練・利用者集会	
8	16	旧盆送り火	
	20	すいか割り	
	22	豪華おやつ	クリームソーダ
	24	おやつ作り	フレンチトースト
	29	防災訓練・利用者集会	
9	10	誕生日外食	8月誕生日利用者
	19	豪華おやつ	カステラ
	21	おやつ作り	クレープ
	22	花火大会	
	24	誕生日外食	9月誕生日利用者
	26	防災訓練・利用者集会	
	27	ふくしまつり	中小企業センターにて
	29	誕生日外食	9月誕生日利用者
10	4	品川納涼祭	西大井広場にて
	8	日帰り旅行①	長瀞（うどん作り体験）
	11	くつろぎまつり	品川区立中延特別養護老人ホームにて
	11	オータムコンサート	品川区立障害児者総合支援施設にて
	15	豪華おやつ	三角チョコパイ（マクドナルド）
	17	日帰り旅行②	群馬サファリパーク
	19	おやつ作り	焼きそば
	22	日帰り旅行③	鴨川シーワールド
	25	第2回園連絡会	
	25	冬物衣類販売	
	26	ぐるっぽまつり	品川区立障害児者総合支援施設にて
	29	日帰り旅行④	マザー牧場
	30	誕生日外食	9・10月誕生日利用者
	31	防災訓練・利用者集会	
11	1	オータムフェスティバル	西大井六丁目ふれあい広場にて
	7	日帰り旅行⑤	国営武蔵丘陵森林公園
	12	日帰り旅行⑥	ザ・ヒロサワ・シティ ユメノバ
	13	炊き出し訓練	
	20	誕生日外食	10・11月誕生日利用者
	21	日帰り旅行⑦	箱根
	21	豪華おやつ	肉まん
	26	おやつ作り	おでん大会
	28	避難訓練・利用者集会	
12	3	日帰り旅行⑧	東京ディズニーランド
	5	日帰り旅行⑨	鎌倉
	7	障害者週間記念のつどい	きゅりあんにて
	18	クリスマス会	
	22	誕生日外食	12・1月誕生日利用者
	24	防災訓練・利用者集会	
1	15	障害者部二十歳の集い	品川区立障害児者総合支援施設にて
		※感染症拡大に伴い1月15日～1月26日まで行事等自粛	
2	5	節分	
	6	衆議院議員選挙期日前投票	
	15	おやつ作り	たまごサンドイッチ
	20	防災訓練・利用者集会	
	20	豪華おやつ	プリン
	20	塗り絵展	大崎サービスセンターにて
	23	誕生日外食	2月誕生日利用者
3	4	授産グループ外食活動	回転寿司
	7	ボッチャSHINAGAWA CUP	戸越体育館にて
	12	ぐるっぽクラシック2026	品川区立障害児者総合支援施設にて
	20	豪華おやつ	ロールケーキ
	21	第3回園連絡会	
	22	おやつ作り	パスタ（2種）
	25	誕生日外食	3月誕生日利用者
	27	防災訓練・利用者集会	

（6）施設入所支援、生活介護　ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	10	13	13	12	9	5	6	14	6	4	4	4	100
施設入所	6	5	7	7	8	8	5	4	0	1	3	9	63
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

興奮、自傷、暴力、転倒、誤薬等（多い順）

事故報告状況

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
施設入所	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	5
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2

器物破損件、怪我・傷件、転倒件、その他件

（7）研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
東京都社会福祉協議会	令和7年7月10日	『高齢知的障がい者への支援の在り方』	1名
東京都社会福祉協議会	令和7年7月17日～10月30日	令和7年度東京都強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	4名
社会福祉法人大田幸陽会	令和7年7月19日～7月21日	知的障害者ガイドヘルパー養成研修(移動支援従事者養成研修)	1名
東京都社会福祉協議会	令和7年8月8日～8月25日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修令和7年度中堅職員研修	3名
公益財団法人東京都福祉保健財団	令和7年8月22日	東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	1名
東京都社会福祉協議会	令和7年9月3日～9月4日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修令和7年度チームリーダー研修	1名
東京都社会福祉協議会	令和7年9月4日	人事管理研修～法人の価値を高める人事管理と経営戦略～	1名
品川介護福祉専門学校	令和7年1月20日	令和7年度　品川福祉カレッジ認知症ケア専門コース　優しさを伝えるケア技術　ユマニチュード	1名
東京都社会福祉協議会	令和7年1月22日	『高齢知的障害者の認知症とその支援』	1名
東京都社会福祉協議会	令和8年2月25日～3月6日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修令和7年度初任者研修	3名
東京都社会福祉協議会	令和8年3月6日・3月13日	令和7年度強行アドバンス研修実践報告会	2名

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
かがやき園	令和7年4月～6月	OJT研修	3名
法人	令和7年5月19日～5月23日	令和7年度派遣研修	2名
法人	令和7年6月25日	職員キャリアパス研修（てんかん基礎講座）	8名
法人	令和7年7月9日	職員キャリアパス研修（施設で求められる接遇とマナー講座）	2名
法人	令和7年7月30日～9月17日	感染症予防研修	15名
法人	令和7年9月30日	令和7年度法人経営者研修	1名
法人	令和7年10月9日，11月6日	令和7年度法人経営基礎研修	3名
法人	令和6年10月16日，10月21日	新規採用職員フォローアップ研修	3名
かがやき園	1回/月	ABA（応用行動分析）研修	全職員
法人	令和7年12月10日～12月15日	虐待・身体拘束防止研修	21名
法人	令和8年3月4日	SST研修	1名
法人	令和8年3月30日	個人情報の取扱いとケース記録のファイル保存の方法	2名

8）防災訓練実施状況

年	月	日	曜日	訓練内容
7	4	30	水	日中想定　［火点：２階宿直室］
	5	23	金	日中想定　［火点：２階宿直室］
	6	27	金	日中想定　［火点：２階北側］
	7	25	金	日中想定　［火点：１階食堂］
	8	29	金	日中想定　［火点：２階北側］
	9	26	金	夜間想定　［火点：２階機械室］
	10	31	金	日中想定　［火点：１階洗濯室］
	11	9	日	参集訓練
	11	19	水	日中想定　［火点：２階宿直室］
	12	22	月	日中想定　［火点：１階会議室］
8	1	23	金	コロナの影響により机上訓練
	2	20	金	日中想定　［火点：２階洗濯室］
	3	7	土	合同防災訓練（西大井地区）
	3	27	金	日中想定　［火点：２階夜勤室］

西大井六丁目複合施設防火管理関係構成員

事業所名	管理権原者	防火管理者	使用階等
西大井六丁目第三区営住宅	品川宅建センター取締役	宅建センター防火管理者	3階～6階
品川区立かがやき園	福栄会理事長	施設長	1階～2階
統括防火管理者		施設長	

（9）実習・研修生受入状況（年間受け入れ人数）

	受入学校数	人数	備考
保育実習	9	20	保育士
福祉実習	4	9	介護福祉士・社会福祉士
計	13	29	

南品川むつみ園事業報告（生活介護）

１．重点目標

（１）利用者サービスの向上

利用者の高齢化、重度化及び多様化する利用者ニーズに合わせた対応を図るため、必要に応じて専門職・関係機関との連携を図ってまいりました。また、内部研修などにも参加しました。

（２）日中活動の充実

集団での活動を行いながら、利用者個々の状況に併せてその都度個別に対応しつつ、利用者のニーズを取り入れながら運動及び外出、余暇的活動などを行いました。今後も日中活動の更なる充実を図ってまいります。

（３）生活の場の整備

利用者が安心、かつ快適に利用できるよう今年度は椅子の交換を行いました。引き続き快適に過ごしていただけるよう空間づくりや職場環境の整備を実施し、向上に努めていきます。

２．家族・支援者との協力体制

利用者の方の状況などについては随時家庭との情報交換などを行い、報告を行ってまいりました。また園連絡会については５月と３月の２回開催し園での様子や活動状況の報告などを行いました。

また、利用者や家族が必要としているサービスや相談などがあった際には、各相談支援センターやその他関係機関と連携を取りながら対応しました。

３．地域交流及び貢献活動

運動時や外出活動時に地域や公共の施設利用を行い、地域の方や施設の方との交流を図りました。また、長距離運動の際にも地域住民の方や、保育園の方などとの交流も行いました。

４．事故防止・虐待防止

（１）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表１０）のとおりです。

事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備

等の点検を行いました。

（２）虐待防止

虐待防止規程に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組みました。今後も職員の支援への質の向上に取り組んでまいります。

５．防災対策

防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき毎月１回火災想定及び地震想定の防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔南品川むつみ園実績資料〕

（令和８年３月３１日現在）

１．利用者人員と入退所状況

（１）利用者人員

（人）

定員	現員	内訳			
		男	比率％	女	比率％
20	7	6	86	1	14

注）内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

（２）入退園状況

（人）

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	7	0	1	6
女	1	0	0	1
計	8	0	1	7

２．年齢状況

（１）年齢構成

（人）

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～29	2	0	2	29
30～39	3	1	4	57
40～49	0	0	0	0
50～59	1	0	1	14
60～	0	0	0	0
人数計	6	1	7	100
最年少	26	30		
最高齢	56	30		

（２）平均年齢

（歳）

区　　分	男	女	平均
平均年齢	34.3 歳	30 歳	33.7 歳

注）内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3．障害状況

（1）愛の手帳による利用者の障害状況　（人）

1度			2度			3度			4度			合　計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	5	0	5	1	1	2	0	0	0	6	1	7

（2）身体障害者手帳の併所持・主な合併症状をもつ利用者の状況　（人）

愛の手帳所持人数		1度	2度	3度	4度	非該当	合　計
		0	5	2	0	0	7
身障手帳	1級						
	2級						
	3級						
	4級						
	計	0	5	2	0	0	7

（3）障害支援区分の状況　（人）

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0	0	1	5	1	0	0	7

4．通園状況

（1）利用者の出席状況　（人）

開所日数	要出席者延べ人数（定員×開所日数）	出席者延べ人数	利用率
256日	5,120	1,614	31.5%

（2）通園形態　（人）

通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	0	0	0
	交通機関	0	0	0
家庭介護通園	徒歩等	0	0	0
送迎車両利用		6	1	7
合　計		6	1	7

（3）送迎車両運行及び利用者状況　（人）

送迎車両	利用人数	主なコース	所要時間	対応車種
コミューター	7	品川区内	90分	ハイエース
合　計	7			

５．支援概要

（１）活動の実施状況

活動名	内　　容
散歩 ウォーキング 外出活動	散歩では３０分～４５分程度近隣の公園や運河などまでウォーキング活動を実施しました。外出活動では車で行ける距離の大きい公園や公共施設、寺社仏閣などに行き園内の散策や施設見学を実施しました。
ドライブ	活動時間（午後）にお台場や横浜、東京スカイツリーなど都内を２時間弱程度で行ける距離へドライブを実施ました。
創作	月曜日や火曜日の午後にちぎり絵の作品でカレンダー作りを実施しました。また、塗り絵や季節の飾り作成なども実施して室内に掲示しました。また、毛筆やペン習字なども実施しました。
喫茶利用	福栄会の『喫茶海岸通り』やぐるっぽの『みんなのテーブル』などに行き、地域交流や社会体験の場としました
室内運動	南品川むつみ園にてストレッチやカラオケ機器で音楽をかけながら体操等を中心に室内運動を実施しました。

（２）地域交流活動状況

活動名	内　　容
地域交流	公共施設利用時に館内の職員等との関り 近隣散歩時に近隣住民との関り

（３）年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	備　考
４	２５	誕生日会	
５	１１ ２４ ３０	福栄会まつり 第１回家族連絡会 誕生日会	
６	２４ ２７	利用者健康診断 誕生会	希望者のみ
７	３０ ３１	スイカ割大会 誕生日会	第一・第二 しいのき学園と合同
８	２０ ２９	夏祭り 誕生日会	第一・第二 しいのき学園と合同
９	２６	誕生日会	
１１	２８	誕生日会	
１２	２５	クリスマス会	
１	１５	目黒七福神巡り	

2	２７	誕生日会	
3	3 １９ ２１	ひな祭り茶話会 日帰り旅行(八天堂) 第２回家族連絡会	

６．家族とのかかわり

（１）園連絡会の開催状況

区分	実施日	内　　容
第１回	令和７年５月２４日	令和７年度職員体制・事業計画・提出書類について
第２回	令和８年３月２１日	令和７年度活動報告・職員配置・給食費について

（２）園報の発行内容

発行月	発行内容
４月	外出活動報告　新年度挨拶　職員挨拶
５月	外出活動報告
６月	外出活動報告
７月	外出活動報告
８月	外出活動報告
９月	外出活動報告
１０月	外出活動報告
１１月	外出活動報告
１２月	外出活動報告
１月	外出活動報告
２月	外出活動報告
３月	外出活動報告

７．実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区　分	人数	備　　考
専門学校・大学・企業等	０名	
特別支援学校	１名	

８．職員研修参加状況

（１）法人内部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日　　程	参加人数
福栄会本部	感染症予防研修	９月１７日（水）	２名
福栄会本部	法人経営者研修	１１月６日（木）	１名
福栄会本部	虐待・身体拘束防止研修	１２月１０日（水）	２名
福栄会本部	会計研修	１２月２６日（金）	１名
福栄会本部	事故防止研修	２月１６日（月）	１名

９．トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

内　　訳	件数	１７:１５～１８：１５	１７:１５～１９:００
利用件数合計	２４	5	１９

１０．ヒヤリハット・事故発生状況

（１）ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	1月	2月	3月	合計
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3

・転倒（２件）・その他（１件）

（２）事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

１１．防災訓練の実施状況

回	実　施　日	内　　容
1	令和７年　４月３０日	日中想定による避難訓練　火災
2	令和７年　５月３０日	日中想定による避難訓練　火災
3	令和７年　６月３０日	日中想定による避難訓練　火災
4	令和７年　７月３１日	日中想定による避難訓練　火災
5	令和７年　８月２９日	日中想定による避難訓練　地震・火災
6	令和７年　９月３０日	日中想定による避難訓練　火災
7	令和７年１０月３１日	日中想定による避難訓練　火災
8	令和７年１１月２７日	日中想定による避難訓練　火災

９	令和７年１２月２６日	日中想定による避難訓練　地震・火災
１０	令和８年　１月３０日	日中想定による避難訓練　火災
１１	令和８年　２月２７日	日中想定による避難訓練　火災
１２	令和８年　３月２７日	日中想定による避難訓練　火災

１２．感染症発生状況

新型コロナウィルス	インフルエンザ・感染性胃腸炎
０名	０名

品川区東品川障害者相談支援センター事業報告

１．　重点目標への対応

（１）地域生活支援拠点事業についての対応

基幹相談支援センター・サービス提供事業所との連携。自立支援協議会を中心に地域課題の整理、取り組み方法の検討を行い、相談、緊急時の対応、体験の機会の調整・地域の体制づくり等に努めました。

（２）障害者相談支援センターとしての体制・力量の整備

在支併設型事業所や区内相談支援事業所と連携をとり、相談件数を適切に調整し、地域生活拠点事業の体制を整えました。

また、品川区主催のスキルアッププロジェクトや福祉カレッジをはじめ、障害・高齢・医療・権利擁護などの各種研修への参加や国家資格の取得を行い、相談支援専門員としての専門性や質の向上を目指しました。

（３）高齢障害者や家族の高齢化等への対応

基幹相談支援センター、品川区東品川障害者計画相談支援事業所やその他の在支併設型事業所との連携を取りながら、利用者の相談にあたりました。

研修や各種資格取得を通して、介護保険制度や医療保険制度の知識の習得を行い、利用者の生活の質の向上に繋げました。

（４）令和３年より努力義務となった、市町村主体で進められている避難行動要支援者の個別避難計画の作成に取り組みました。

また、品川区主催の「防災学校」等の受講し、防災に関する知識および技術の習得に努めました。あわせて、防災区民組織・福栄会本部との連携を図りながら、災害時における避難支援体制の整備を進めました。

２．相談支援実績

（１）地域生活移行に関する取り組みについて

品川区自立支援協議会の重点項目である入所施設利用者の地域生活移行について、品川区所管課および区内の相談支援事業所、入所施設、通所事業所と連携しながら地域生活への円滑な移行に向けた取り組みを進めました。

今年度は５名の方が移行に向けてグループホーム等の見学や体験利用など具体的な取り組みを進め、そのうち１名がグループホームへ移行しました。

移行に向けては、品川区が設置する「品川区障害児者総合支援施設」

と連携し、自立生活体験室を活用することで、共同生活援助や一人暮らしに向けた体験の機会および場の提供を行いました。

（２）緊急時の受け入れ・対応への取り組みについて

介護者の入院等、主介護者の対応困難時には通所事業所と情報共有を図り、２１名、延べ１２８５日間の区内短期入所事業所への受け入れ調整等を行いました。

（３）実績統計

計画相談件数

計画相談　　１５０件

モニタリング　３１７件

＜相談内訳＞

（１）利用している障害者等状況

	障害別	延　数
障害別相談数	身体障害	３７７
	知的障害	１６２５
	精神障害	７８
	発達障害	０
	その他	９

（２）支援方法

支援方法	延　数
訪　問	１２０４
来　所	１７７
同　行	４３２
電　話	１１４９
メール	５
個別支援会議	３４
関係機関	２６５８
その他	３１８

令和7年度　地域生活支援事業実績報告　相談支援統計

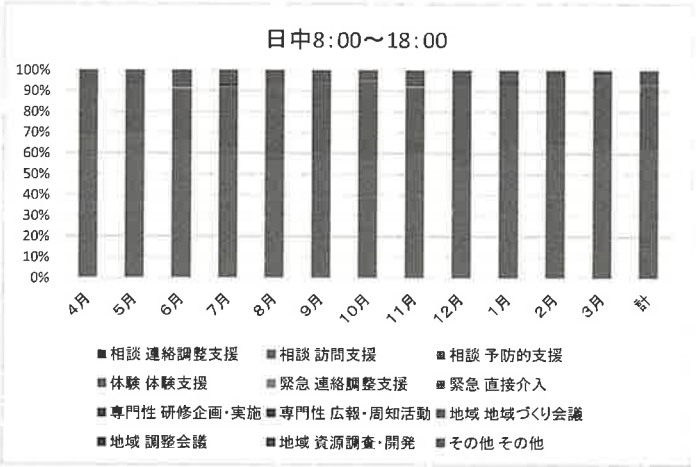
【コーディネート活動内容】＜日中8：00～18：00＞

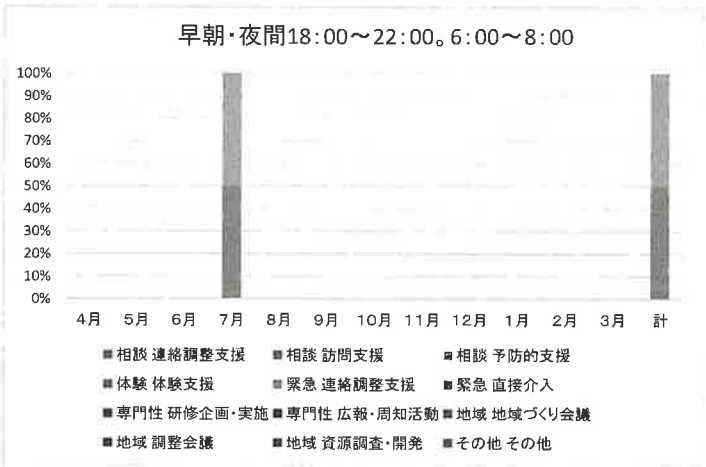
【拠点名】東品川障害者相談支援センター

機能	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	連絡調整支援	289	344	306	345	283	278	407	334	340	350	228	270	3774
	訪問支援	92	107	112	144	165	145	247	162	229	157	116	128	1804
	予防的支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体験	体験支援	0	2	3	14	16	9	31	11	5	0	0	4	95
緊急	連絡調整支援	0	0	3	1	1	1	3	3	1	0	1	1	15
	直接介入	1	1	3	1	0	1	1	3	0	0	0	1	12
専門性	研修企画・実施	0	0	1	6	1	2	0	4	1	3	2	2	22
	広報・周知活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域	地域づくり会議	0	0	1	0	0	3	1	0	0	5	1	1	12
	調整会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資源調査・開発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	その他	34	38	35	37	36	21	34	37	45	27	5	4	353

【コーディネート活動内容】＜早朝・夜間18：00～22：00。6：00～8：00＞

機能	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	連絡調整支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防的支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体験	体験支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急	連絡調整支援	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	直接介入	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
専門性	研修企画・実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報・周知活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域	地域づくり会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調整会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資源調査・開発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0





令和7年度　品川区東品川障害者相談支援センター　相談支援統計

相談支援を利用している障害者等の人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	64	67	64	60	67	62	68	52	69	58	52	52	735
身体障害	28	32	27	39	28	23	34	29	28	47	28	34	377
重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	123	132	137	144	140	123	191	115	161	141	109	109	1625
精神障害	16	9	7	1	11	4	2	3	9	8	5	3	78
発達障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	1	9

支援方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	68	74	75	100	100	86	154	108	157	103	84	95	1204
来所相談	11	24	30	16	14	12	19	5	13	11	6	16	177
同行	14	10	10	28	51	47	74	52	59	43	26	18	432
電話相談	86	99	100	113	98	88	103	111	107	108	67	69	1149
電子ﾒｰﾙ･文書	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	5
個別支援会議	1	1	3	4	0	5	6	0	2	1	5	6	34
関係機関	202	247	208	246	202	186	301	234	237	239	156	200	2658
その他	34	38	35	37	36	21	30	19	32	27	5	4	318

支援内容

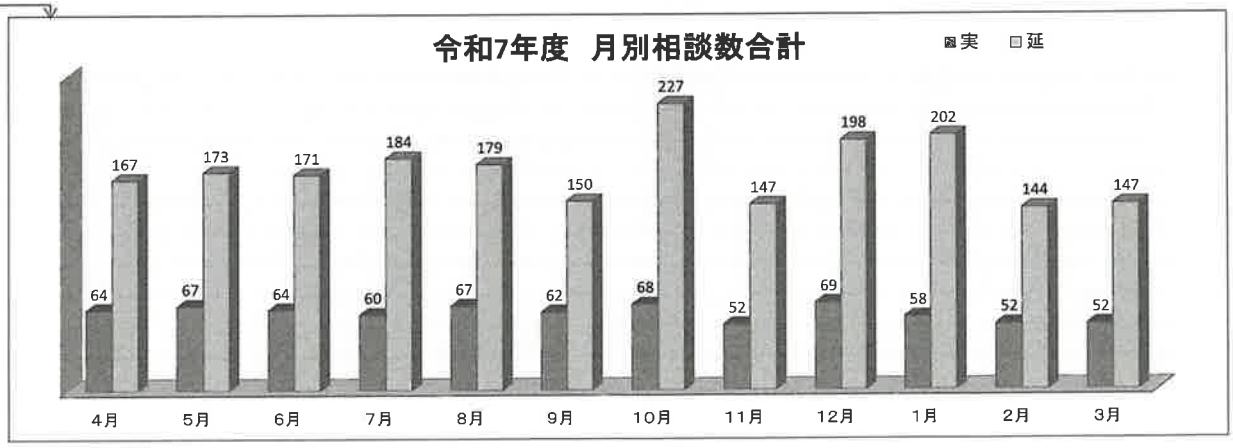
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉ｻｰﾋﾞｽの利用等	136	109	123	156	140	131	188	132	165	155	130	140	1705
障害や病状の理解	54	61	63	82	74	78	101	80	91	100	62	60	906
健康・医療	47	50	40	56	42	42	35	30	51	44	32	35	504
不安の解消･情緒安定	67	61	55	81	65	33	87	67	84	75	51	49	775
保育・教育	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
家族関係･人間関係	64	84	81	92	81	82	118	84	109	74	67	77	1013
家計・経済	5	3	8	17	12	5	14	7	6	5	3	3	88
生活技術	8	8	8	18	5	12	8	10	6	4	4	3	94
就労	2	1	3	9	8	11	4	3	3	7	5	3	59
社会参加･余暇活動	9	12	14	18	10	8	30	19	24	20	17	16	197
権利擁護	2	6	2	4	5	2	16	20	21	18	15	19	130
その他	45	54	50	58	48	29	51	37	45	29	6	6	458

相談合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実	64	67	64	60	67	62	68	52	69	58	52	52	735
延	167	173	171	184	179	150	227	147	198	202	144	147	2089

計画相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	11	13	14	12	12	18	11	16	11	14	6	12	150
モニタリング	31	19	22	29	33	28	28	17	18	31	29	32	317



令和7年度相談支援課研修報告（令和7年４月～令和8年3月）

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
厚生労働省	5/7	東京都障害支援区分認定調査員研修	1
品川区	5/16	品川スキルアッププロジェクト　自立訓練	1
東京都福祉保健財団	7/16	介護支援専門員更新研修	1
品川区	7/18	品川スキルアッププロジェクト　失業支援	2
上大崎在宅介護支援センター	7/20	ICT・事例検討会	1
品川区高次脳機能障害者と家族の会	7/27	高次脳機能障害関係機関交流会	3
東京都	9/11	権利擁護（虐待防止）	1
東京都	9/11	東京都再犯防止に関する研修会（Web）	1
厚生労働省	9/17・30	認定調査員フォローアップ研修	3
品川区	9/30	品川福祉カレッジ　強度行動障害（Web）	2
品川区	11/18	品川福祉カレッジ　カスタマーハラスメント	1
品川区	11/21	品川スキルアッププロジェクト　成年後見制度	1
品川区高次脳機能障害者と家族の会	11/23	高次脳機能障害講演会	3
品川区	12/19	高次脳症例検討会	2
品川区	1/13	拠点連絡会（事例検討・岡部式）	2
品川区	1/16	品川スキルアッププロジェクト　意思伝達装置	2
東京都社会福祉協議会	1/18	アサーティブコミュニケーション（Web）	2
品川区	1/27	品川スキルアッププロジェクト（事例検討）	1
品川区	2/10	拠点連絡会（事例検討・岡部式）	1
品川区	2/18	品川福祉カレッジ　意思決定支援	2
品川区	2/25	品川スキルアッププロジェクト（事例検討）	1
たいむ	3/6	事例検討会	1
品川区	3/10	品川福祉カレッジ　強度行動障害（Web）	2
品川区	3/10	拠点連絡会（事例検討・岡部式）	1
品川区	3/19	支援者向け難病専門講演会（個別避難計画）	2

②法人研修

主催	日程	内容	
法人	6/25	てんかん研修（品川区障害児者総合支援施設）	1
法人	7/9	職員キャリアパス研修（接遇・マナー）	2
法人	7/30・8/18・9/17	感染症研修	5
法人	10/9	法人経営基礎研修	2
法人	11/6	現任職員研修	1
法人	12/11・12・15	虐待防止・身体拘束防止研修	4
法人	12/26	会計研修	2
法人	2/6・3/2	上級救命講習（再講習）	4
法人	3/30	文章取り扱い（品川区障害児者総合支援施設）	3

品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告

１．重点目標への対応

（１）基本圏域の在宅介護支援センターならびに、品川区地域生活支援拠点事業の役割を担う東品川障害者相談支援センターと一体的に連携し、地域における高齢障害者への対応を行いました。

（２）品川区のモデル事業として、高齢障害者および高齢の家族等の豊かな生活の実現を目的に、障害者福祉施策と高齢者福祉施策の適切な活用を図りつつ、実績の検証およびフィードバックを行い、事業の質的向上に努めています。

２．相談支援体制

職種	職務	人員
管理者（兼務）	事業所全体の管理	１名
相談支援専門員（専従）	アセスメント、サービス等利用計画の作成、モニタリング、サービス調整等	１名

３．相談支援実績

（１）介護保険制度の適用となる６５歳到達前から関わりを持ち、障害福祉サービスから介護保険制度への円滑な移行に向けた事前準備（制度の説明や介護保険サービス事業所との連携等）を行い、切れ目のない支援の調整に努めています。

また、区内の在支併設型事業所による定期連絡会に参加し、関係機関との連携強化を図るとともに、支援の質の向上に努めています。

（２）老障介護世帯（介護者が６５歳以上で、子が障害者である世帯）については、介護支援専門員および拠点相談支援センターと連携を図り、障害特性や家庭環境に応じた適切かつ迅速な対応を行うことで、包括的な家族課題の解決に努めています。

（３）実績統計

計画相談件数

計画相談　　２９件

モニタリング　６５件

＜相談内訳＞

（１）利用している障害者等状況

	障害別	延　数
障害別相談数	身体障害	１９１
	知的障害	４３
	精神障害	１６
	発達障害	０
	その他（高次脳機能障害等）	６８

（２）支援方法

支援方法	延　数
訪　問	３６４
来　所	９
同　行	５８
電　話	３４１
メール	７９
個別支援会議	３０
関係機関	９５３
その他	２

令和７年度　品川区東品川障害者計画相談支援事業所　相談支援統計

相談支援を利用している障害者等の人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	29	18	25	25	27	23	27	28	27	27	31	31	318
身体障害	16	10	12	13	12	14	14	18	19	20	23	20	191
重症心身障害	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
知的障害	3	2	4	4	6	3	2	3	5	3	4	4	43
精神障害	2	1	1	3	1	1	2	1	1	1	0	2	16
発達障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高次脳機能障害	4	2	2	2	3	2	4	3	2	2	3	4	33
その他	3	3	5	3	5	3	4	2	0	1	1	1	31

支援方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	48	26	27	50	25	22	32	25	35	20	28	26	364
来所相談	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	4	9
同行	5	7	10	5	5	5	5	3	10	1	1	1	58
電話相談	45	20	28	26	25	36	26	18	23	34	34	26	341
電子ﾒｰﾙ･文書	15	0	7	6	7	5	12	7	5	6	6	3	79
オンライン相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	4	3	2	2	1	2	4	2	1	0	4	5	30
関係機関	110	60	70	109	80	95	75	83	73	57	71	70	953
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

支援内容

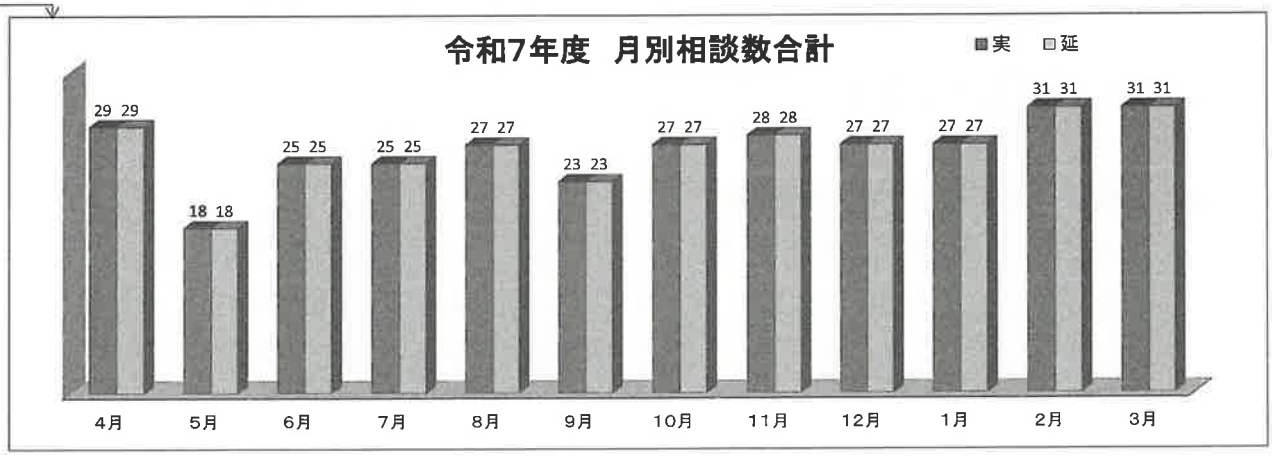
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉ｻｰﾋﾞｽの利用等	89	64	80	97	77	80	91	88	62	69	73	68	938
障害や病状の理解	5	4	3	6	4	13	2	4	2	4	3	4	54
健康・医療	41	33	32	34	19	24	24	18	23	24	21	19	312
不安の解消･情緒安定	2	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	8
保育・教育	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
家族関係･人間関係	16	4	3	10	4	3	8	4	12	3	8	10	85
家計・経済	16	1	8	14	17	9	5	5	9	5	5	5	99
生活技術	17	5	14	24	12	13	7	6	9	4	4	6	121
就労	19	2	1	4	6	6	3	1	10	2	4	9	67
社会参加･余暇活動	5	0	0	4	2	6	4	4	3	0	3	4	35
権利擁護	4	0	1	1	0	1	4	4	4	1	3	3	26
その他	15	4	0	2	4	8	6	4	13	6	21	7	90

相談合計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実	29	18	25	25	27	23	27	28	27	27	31	31	318
延	29	18	25	25	27	23	27	28	27	27	31	31	318

計画相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	2	2	1	2	1	3	4	4	2	3	3	2	29
モニタリング	6	5	6	7	5	7	6	6	5	6	6	0	65



かもめ工房事業報告（就労継続支援Ｂ型）

１．重点目標

（１）利用者支援の向上（安定した利用者支援）

障害の多様化等に伴い、職員の利用者支援に必要な知識や技術の習得を行うため、研修等に参加しました。今後も他職員等へフィードバックを行い、利用者支援に活かします。新規利用者等については、安定した利用に繋がるよう受け入れを行いました。

また、事業所間で利用者支援に関わることについて検討を行い、安定した利用に繋がるよう努めました。

（２）作業体制の見直し

作業等の生産活動が安定して提供出来るように、利用者に合った種目の確保や工程を見直し、職員が適切に支援出来るよう対応しました。製菓作業については、新たな製品開発に取り組むとともに、受注先の販路拡大につなげました。軽作業については、新たな事業者からの受注が増え、利用者の作業意欲の向上に努めました。その他、新規で建物清掃業務を受託しました。また、各作業の時間給アップと繁忙期手当を支給し、工賃の増額に向けて取り組みました。

＜工賃実績＞

施　設　名	令和７年度目標額	令和７年度実績額
かもめ第一工房	２８，７２８円	２８，８９７円
かもめ第二工房	３２，０００円	３１，２７５円
かもめ第三工房	３１，５００円	３４，４６９円

（３）かもめ工房３所の今後の展望についての検討

利用者数は回復の傾向がみられている事業所と、就労移行支援や超短時間就労へ移行する利用者が増えたことにより、事業所としては減少しているところがありました。利用者の個別支援について充実を図り、通所意欲が高まるような取り組みや工賃向上等について引き続き検討していきます。

２．家族・支援者との協力体制

利用者や家族の高齢化に伴い、親子双方の自立支援が課題となっており、介護申請や在宅介護支援センターなどの関係機関と連携をとり対応しました。一人暮らしの利用者については体調不良時の対応を含め、自立生活が維持、継続できるように関係機関等との連携を図りました。

３．地域交流及び貢献活動

地域活動への参加、実習生の受け入れ継続、ボランティアの受け入れを再開しています。地域の方々に喜んでいただけるよう、お祭りなどの地域行事等へ参加し、交流を図りました。

４．事故防止・虐待防止・身体拘束

精神症状によるところで、思わぬ事故に繋がることがあります。障害特性を理解することが事故防止に繋がることを認識し、職員間で情報共有をしており、大きな事故の発生はありませんでした。

虐待防止・身体拘束については利用者の人権擁護の観点から、職員間で意識し研修等に参加しました。

５．サービス支援体制と支援の方向性

（１）支援体制

事業所名称	第一工房	第二工房	第三工房
管　理　者	１名	１名	１名
サービス管理責任者	１名	１名	１名
支　援　員	利用者状況に応じて配置		
定　　員	２０名	２０名	２０名
活 動 内 容	・生産活動を中心とした活動の提供 ・就労支援や自立を目指した支援 ・行事や余暇活動等の提供		

※管理者、サービス管理責任者は兼務あり

（２）支援の方向性

① かもめ第一工房

ア自主製品の販売価格等の見直し

安定した受注が出来るように、作業体制の見直しを行うとともに、利用者の作業の幅を拡げ、支援の充実に繋げました。

イ関係機関との連携

保健センターや相談支援事業所と連携し、新規利用者を受け入れました。また家庭生活のアセスメントを深め、二―ズに応じて訪問看護等関係機関との連携を強化しました。利用者の希望に寄り添いながら超短時間雇用促進事業への登録へ繋げ、就労支援にも力を入れました。一名の利用者が就労に繋がり継続して働いています。

② かもめ第二工房

ア 作業体制の見直し

品川区と連携し、新たな焼き菓子として「ハタチの龍馬クッキー」「しあわせ多彩区クッキー」の商品を開発することが出来ました。新商品の影響で受注先も増え販路拡大に繋がりました。軽作業において新規作業の受注があり、利用者の意欲向上を図りました。

イ 高齢化への備えやステップアップに対応する体制強化

家庭の状況に応じて通院同行や家庭訪問を行いました。希望する利用者には、超短時間雇用促進事業への登録へ繋げ就労支援にも力を入れました。

③ かもめ第三工房

ア 作業体制の見直し

昼食の調理で使用している厨房で、新たに飲食店営業の許可を取得し、弁当や菓子を製造して販売作業の導入に取り組んだことで、生産活動の収入増加に加え、地域の方との交流機会となりました。軽作業では新たな作業の受注を増やし、利用者の意欲向上を図りました。

イ 設備改修等の実施

老朽化した空調設備の更新工事を行いました。クリーニング機器で不要な機器は廃棄にむけての作業を進め、安全でよりよい作業環境を提供できるように努めました。

6．防災対策

震災や火災等の災害に備えマニュアルを見直しました。施設内の点検を定期的に行い、消防署等の指導を受けて避難訓練を実施するとともに、ＢＣＰ計画に基づいた対策や備品などの確認等についても実施しました。

7．支援内容

（1）生産活動内容

作業名	作業内容	事業所
公園清掃	区内公園の清掃、屋外作業	全事業所
館内清掃	法人内・法人外施設の清掃	全事業所
製菓等作業	クッキー、マドレーヌの焼き菓子等	全事業所
手工芸品製作	雑巾・たわし・クラフト製品等製作	全事業所
軽作業	折込発送、パッケージ、組み立て等	全事業所

クリーニング	区内保育園、その他リネン洗濯等	第三工房
イベント販売	シンフォニー製品の接客販売	全事業所
ラウンジ販売	シンフォニー製品・雑貨等の販売	第二工房

８．各所利用状況（令和８年３月３１日現在）

（１）利用者人員

施　設	定　員	在籍者数	内　訳			
			男	比率％	女	比率％
第一工房	２０名	２２名	１２名	５５％	１０名	４５％
第二工房	２０名	２６名	１４名	５４％	１２名	４６％
第三工房	２０名	２２名	１２名	５５％	１０名	４５％

（２）入退所状況

施設	在籍数（年度初）	増	減	在籍数（年度末）	退所者理由
第一工房	２４名	２名	４名	２２名	就労　１名　他サービス　０名 状態悪化　３名　死亡　０名 その他　２名　転居　０名
第二工房	２６名	２名	２名	２６名	就労　０名　他サービス　０名 状態悪化　０名　死亡　０名 その他　２名　転居　０名
第三工房	２５名	１名	４名	２２名	就労　２名　他サービス　１名 状態悪化　０名　死亡　１名 その他　０名　転居　０名

（３）年齢構成

施設／年齢		１０代	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代
第一工房２２名	男	０	１	２	６	２	０	１
	女	０	０	４	４	２	０	０
第二工房２６名	男	０	０	２	１	７	３	１
	女	０	１	２	２	６	０	１
第三工房２２名	男	０	０	２	２	３	５	０
	女	０	０	１	４	４	１	０

（４）年齢

施設/年齢	男（平均）	女（平均）	平均年齢	最年少者	最高齢者
第一工房	４６．０	４３．４	４４．８	２８	７０
第二工房	５５．０	４８．０	５１．８	２２	７６
第三工房	５４．９	４９．４	５２．４	３３	７０

（５）精神障害者福祉手帳等取得状況　　※複数所持あり

施設／等級	１　級	２　級	３　級	他障害手帳等	なし	合　計
第一工房	０	１３	５	４	２	２４
第二工房	０	１９	５	１	２	２７
第三工房	０	１３	４	１	１	１９

（６）生活状況

施設／状況	障害年金受給	老齢年金受給	無年金	生活保護受給	家族同居	単身者
第一工房	１５	1	6	7	１４	8
第二工房	１９	1	7	8	１３	１３
第三工房	１１	2	9	9	１３	9

（７）利用状況（実開所）

施設/状況	開所日数	年間延べ人数	月平均人数	一日平均人数	利用率
第一工房	２４９日	3,６３５人	３０３人	１４．６人	７３.０％
第二工房	２５１日	3,４９１人	２９１人	１３．９人	６９.５％
第三工房	２４４日	2,９１８人	２４３人	１１．９人	５９.７％

９．作業状況

（１）館内清掃

	施設名称	作業ｽｹｼﾞｭｰﾙ	分担
1	北品川つばさの家	平日毎日	第一工房
2	品川区立西大井福祉園	平日毎日	第二工房
3	品川区立かがやき園	週１回　※５月～	第二工房
4	西大井六丁目第三区営住宅	月１回	第二工房
5	ぷりすくーる西五反田	平日毎日	第三工房

（２）公園清掃

施　　設	内　　容
第一工房	区内１４カ所の清掃　※他に神社清掃あり
第二工房	区内１３カ所の清掃
第三工房	区内１６カ所の清掃

（３）クリーニング作業

区立保育園３０園のシーツやカバー、他数ヶ所より受注

（４）製菓等作業

施　設	販　売　商　品
第一工房	ミックス・コーヒー・ナッツのクッキー、ブラウニーなど
第二工房	えごま・ルシアンクッキー、マドレーヌ（プレーン・抹茶）、新商品：ハタチの龍馬・しあわせ多彩区クッキー
第三工房	菓子、弁当など

地域の団体、大学、専門学校、区役所関係等より受注

（５）自主製品イベント販売

地域祭り等（計２０回）

かもめ第二工房 ラウンジ外販売　（年５回）

かもめ第三工房 １階外販売　（年１１回）

学研販売　毎月第１水曜日(計１２回)：かもめ第三工房

ニコン販売　（年１回）　：かもめ第二工房

たいむの地域交流行事、夕食会販売（年２回）：かもめ第三工房

（６）令和７年度工賃支給実績

施　　設	年間総支給額	支給対象 延人数	平均工賃金額
第一工房	５，６２７，７３０円	２８１人	２８，８９７円
第二工房	５，２１６，６７６円	２８６人	３１，２７５円
第三工房	４，９２２，１９２円	３０８人	３４，４６９円

１０．運営状況

（１）ボランティア受け入れ状況

施　　設	作業補助	昼食作り	行　　事
第一工房	２名	０名	０名
第二工房	４名	０名	０名
第三工房	３名	０名	０名

（２）実習生受け入れ状況

依頼先機関	延　数	依頼先機関	延　数
東京福祉大学	４５名	聖徳大学	２２名
日本福祉教育専門	１６名	都立荏原看護専門学校	１６名
東京医療保健大学	１５２名	昭和大学付属看護	１６名
東京福祉専門学校	２４名	品川介護専門学校	５名
		合計	２９６名

１１．ヒヤリハット・事故報告状況

	ヒアリハット報告			
	第一	第二	第三	合計
４月	0	0	0	0
５月	1	0	0	1
６月	0	0	0	0
７月	0	0	1	1
８月	1	0	0	1
９月	0	0	0	0
10 月	0	0	2	2
11 月	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0
１月	0	0	2	2
２月	0	0	0	0
３月	0	0	0	0
合計	2	0	5	7

	事故報告			
	第一	第二	第三	合計
４月	0	0	0	0
５月	0	1	0	1
６月	0	0	0	0
７月	0	0	1	1
８月	0	1	0	1
９月	0	0	0	0
10 月	0	0	0	0
11 月	0	1	2	3
12 月	0	0	0	0
１月	0	0	1	1
２月	0	0	0	0
３月	1	0	0	1
合計	1	3	4	8

＜ヒヤリハット内訳＞

・パニック－０件　・自傷他害－０件
・器物破損－０件・車両関係－０件
・転倒転落－４件　・体調不良－０件
・作業関係－０件　・異物混入－１件
・感染症等－０件
・そ の 他：　・移動時接触－１件
・書類の差し違え－１件

＜事故内訳＞

・パニック－０件　・自傷他害－１件
・器物破損－０件　・車両関係－５件
・転倒転落－０件　・体調不良－０件
・作業関係－０件　・異物混入－０件
・感染症等－０件
・そ の 他：　・独居死亡－１件
・鍵の紛失－１件

品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告

１．重点目標報告

障害者総合支援法に基づき、福祉サービス利用者に対し計画相談を実施し、地域活動支援センターＩ型の事業者として、次の重点目標を計画し実施しました。

（１）地域活動支援センターの活動の充実

開設２０周年を迎え、多くの利用者やボランティアが参加し、記念の壁面創作作品を作成し障害者作品展に出展しました。全館空調工事や面談室の床の張替え工事など環境整備がすすみ、快適に利用できる環境が整いました。半面、工事期間中は一部で地域活動支援センターにおいて利用時間等の制限がありました。

（２）退院支援へ関わりと地域生活の移行への支援

令和７年度は、長期入院（５年以上）の方の退院支援、地域移行支援を１件終了し、地域生活の安定に向けて退院後も支援継続中です。今後においても医療機関・品川区・関係機関等と連携し、利用者のニーズに沿って支援できるよう体制を整えていきます。

２．相談支援体制

職　種	常 勤	非常勤	合 計	職 務 内 容
管 理 者	１名		１名	施設運営上の管理及び調整、生活相談、サービス等利用計画作成及び相談支援（相談支援専門員兼務）
相談支援専門員	３名		３名	生活相談、サービス等利用計画作成及び相談支援
地域移行支援員				地域移行支援（病院訪問・同行・調整等）
指 導 員	１名	２名	３名	地域活動支援センター事業の業務全般事務補助等

2．サービス内容

相談支援事業	相談支援（サービス等利用計画を含む）	特定相談（計画相談）	（1） 対象者：障害福祉サービス利用者 （2） 実　績（サービスの重複含）　合計１０２件 ① 介護給付（居宅介護・通院等介助・生活介護）　１９件 ② 訓練等給付（自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援・共同生活援助・自立生活援助　８３件 （2）内　容 ① アセスメント・サービス利用計画作成　１１４件 ② カンファレンス　４３１件（延数） ③ 区分認定調査　４８件 ④ モニタリング（月１回～年１回）　１９８件（延数）
		一般相談	＜地域移行支援＞ （1） 対象者：区内在住で、精神科病院等に入院している方 （2） 内　容：精神科病院等からの退院支援 （退院終了）１件　（支援中断）０件　（支援継続）０件 （3） 支援延件数 訪問相談（病院）１２件　同行支援　８件
		一般的な相談	（1） 対象者：区内在住の精神障害者 （2） 内　容：生活・就労・健康・福祉サービス等の各種相談 （3） 方　法：面接、電話、訪問等による相談支援、その他、関係機関との調整・会議等 ※相談件数は、相談内訳に含まれています。 ＊生活や体調面、制度利用等の相談を受けています。相談内容から制度利用となった場合には特定相談で引き続き支援します。
		専門相談（顧問医）	実施実績：毎月１回（第１金曜日）　合計　年１０回 （1） 利用者・家族・関係機関の相談　年　3回　１０名（延数） （2） 所内や区内の事業所と合同の事例検討　年　7回　５６名（延数） ＊１回は、事例検討のスキルアップ目的で、他事業所よりファシリテーターの講師を招き開催しました。

相談内訳　（1）利用している障害者等状況

	障害別	延　数
障害別相談数	身体障害	２５
	知的障害	１７３
	精神障害	２，９１１
	発達障害	３５１
	その他	６

（2）支援方法

支援方法	延　数
訪　問	５３４
来　所	３４９
同　行	３０
電　話	１，４００
メール	２
個別支援会議	４３１
関係機関	２，３４４
その他	１１

地域活動支援センター事業	交流促進（交流の場と居場所の提供）	（1）交流室利用者数　１，７９４名（延数）　年間２５５日開所日 （2）自主活動：参加人数　９８５名（延数）　年間２３５回実施 （非常勤・ボランティアによる運営　実施内容　以下①～⑤） ①パソコンクラブ　週１回、　④おはなしクラブ　隔週 ②創作クラブ　週２回　⑤体操クラブ　隔週 ③レククラブ　週１回　⑥読み合いクラブ　月１回 （3）たいむミーティング：３７名（延数）　年間１４回開催 月１回、様々なテーマで意見交換をしたり、交流室での活動についての希望などを聞いたり、話し合いをしました。 （4）たいむりぃＮＥＷＳの発行　（毎月１回　２０５部発行） 月の予定や自主活動の様子、利用者からの投稿を毎月紙面にして発行し、区役所・保健センターや医療機関、関係する事業所に送付しました。メール機能の活用などを行い、紙面での発送を減らしました。
	生活支援	（1）食事の利用：４４名利用（延数） かもめ第３工房の昼食サービスを利用しました。 （2）入浴サービス：８０名利用（延数） 自宅入浴設備がない方が主な利用者。
	ピアカウンセリング	（1）対象者：たいむ登録者 （2）内　容：個別、グループ相談等（年間１１回２４名（延数）） 個別での相談及びグループミーティング形式で行いました。

	地域交流事業	地域交流会　　参加数　　１１名（延数） 地域の方々にも参加して頂ける交流会を開催。 年１回　　１２月：『獅子飾りを作ろう』（１１名） ＊全館空調工事のため、１回のみ実施。

３．ヒアリハット・事故発生状況

（１）ヒアリハット報告状況　　０件

（２）事故報告状況　　０件

品川区東品川精神障害者相談支援センター事業報告

1．重点目標報告

（1）精神障害者相談支援センターの開設

令和７年６月の開設に向けて、新規事業について出向研修や関係機関への訪問や新規事業の主旨説明を行うなどの準備を進めました。また、品川区東品川精神障害者相談支援センターとして、特定相談（計画相談）、一般相談（地域移行支援）などの相談事業を中心に円滑に事業を進めることができました。

品川区精神障害者地域生活支援センターとは、居住する地域で移管が適切と思われる利用者は引継ぎを行い移行するなど、協力や連携体制を整えました。

（2）退院支援へ関わりと地域生活の移行への支援、居住支援

新規事業となる精神障害者の退院・居住支援コーディネート事業について品川区と協議し適切な進行管理体制の構築を行いました。

地域移行支援は、品川区と連携し都内を中心に精神科病院へ訪問し積極的に退院支援や地域移行支援のＰＲを行いました。地域移行支援は、目標件数を達成し長期入院者の地域生活への移行を進めることができました。退院支援コーディネート事業については、退院に向けて入院者支援を円滑に進めることができました。

（3）事業所の支援員等の人材育成

品川区主催のスキルアッププロジェクトや、福祉カレッジをはじめとする各種研修に参加しました。業務で得た知識は事業所内で共有し、事業所全体でのスキルアップを行い、相談支援専門員・支援員として支援の質の向上を図りました。

2．職員体制

<table>
<tr><th>職　　種</th><th>常 勤</th><th>非常勤</th><th>合 計</th><th>職　務　内　容</th></tr>
<tr><td>管　理　者</td><td>１名</td><td></td><td>１名</td><td>施設運営上の管理及び調整、生活相談サービス等利用計画作成及び
及び相談支援（相談支援専門員兼務）</td></tr>
<tr><td>相談支援専門員</td><td rowspan="2">２名</td><td></td><td rowspan="2">３名</td><td>生活相談、サービス等利用計画作成及び相談支援</td></tr>
<tr><td>地域移行支援員</td><td>１名</td><td>地域移行支援
（病院訪問・同行・調整等）</td></tr>
</table>

3．サービス内容

相談支援事業	特定相談（計画相談）	（1） 対象者：障害福祉サービス利用者 （2） 実　績（サービスの重複含）　　合計　２７件 ① 介護給付（居宅介護・通院等介助・短期入所）　　３件 ② 訓練等給付（自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援・共同生活援助・自立生活援助　　２５件 （3） 内　容：障害福祉サービスを利用するための手続き支援を行います。 ①アセスメント・サービス等利用計画作成　　３４件 ②カンファレンス　　４６件 ③モニタリング　　１０件
	一般相談	＜地域移行支援＞ （1） 対象者：区内在住で、精神科病院等に入院している方 （2） 内　容：精神科病院等からの退院支援。 （退院終了）３件　　（支援中断）０件　　（支援継続）０件 （3）支援延件数 訪問相談（病院）６件　　同行支援　１３件
	一般的な相談	（1） 対象者：区内在住の精神障害者 （2） 内　容：生活・就労・健康・福祉サービス等の各種相談 （3） 方　法：面接、電話、訪問等による相談支援、その他、関係機関との調整・会議等 ※相談件数は、相談内訳に含まれています。 ＊生活や体調面、制度利用等の相談を受けています。相談内容から制度利用となった場合には特定相談で引き続き支援します。

相談内訳　　（1）利用している障害者等状況

	障害別	延 数
障害別相談数	身体障害	1
	知的障害	3
	精神障害	３３
	発達障害	5
	その他	0
実利用者数		３８

（2）支援方法

支援方法	延 数
訪　問	６４
来　所	2
同　行	7
電　話	５０
メール	6
個別支援会議	２６
関係機関	２７
その他	２５

<table>
<tr><td rowspan="3">相談支援事業</td><td colspan="2">品川区委託事業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">退院支援・居住支援コーディネート</td><td>＜退院支援コーディネート事業＞
（1）　対象者：区内在住で、精神科病院に概ね１年以上入院している方
（2）内　容：精神科病院から退院に向けて一緒に考え、準備します。
（3）支援延件数
訪問相談（病院）　７０件　　同行支援　２５件
関係機関連携　４１０件</td></tr>
<tr><td>＜居住支援コーディネート事業＞
（1）対象者：区内在住で区内での居住を希望される方
（2）内　容：物件の内見への同行、転居に伴う手続き支援等、必要に応じて支援を行います。
（3）支援延件数
訪問相談（病院）　９件　　同行支援　０件
関係機関連携　１０３件</td></tr>
</table>

４．ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況　　０件

（2）事故報告状況　　０件

児童福祉部事業報告　　目次

児童福祉部事業報告 …… １７３

品川区立家庭あんしんセンター事業報告 …… １７５

品川区ひまわり荘事業報告 …… １７６

品川区子育て支援事業報告 …… １７９

品川区子育て短期支援事業事業報告 …… １８０

平塚ファミリー・サポート・センター事業報告 …… １８２

平塚きぼう荘（障害者住宅）事業報告 …… １８３

品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告 …… １９８

品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業報告 …… ２０７

品川区立就学前乳幼児教育施設ぷりすくーる西五反田事業報告 …… ２１１

児童福祉部事業報告

１．基本方針

児童福祉部は、「子どもの最善の利益」を基本に、各施設の専門機能や社会資源を活用し地域の子どもやその家族の支援に取り組みました。また、地域の人々とのつながりを大切にし、高齢者から子育て世代まで、また障害の有無に関わらず多様な世代が交流する機会を提供することで、共生社会の実現に向け取り組みました。

２．重点目標

（１）品川区の子ども・子育て支援施策を踏まえつつ、地域や利用者のニーズに応えるため、品川区の子ども家庭支援センターや児童相談所と連携を取りながら、家庭あんしんセンターを中心として適切な福祉サービスの提供に努めました。

（２）感染症予防に留意しつつ、地域や多世代間の交流を図ることで施設の利用向上に努めました。

（３）研修等により福祉人材の育成を図ることで、専門知識に基づいたより質の高い保育・教育・子育て相談等のサービスが提供できるよう取り組みました。

３．児童福祉部事業内容

品川区立家庭あんしんセンター事業内容

	施設・事業種別	定員等
第一種社会福祉事業	母子生活支援施設　　品川区ひまわり荘	２０世帯
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 短期入所事業（子どもショートステイ）	５名
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 夜間養護事業（トワイライトステイ）	２０名
第二種社会福祉事業	平塚ファミリー・サポート・センター 子育て援助活動支援事業	大崎・荏原 地区担当
公益事業	品川区子育て支援事業 育成相談、地域組織化事業 品川区育児支援ヘルパー派遣事業 養育支援訪問事業	

平塚高齢者多世代交流支援施設（平塚ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定　員
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業（ポップンルーム）	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	１２名
公益事業	高齢者多世代交流・介護予防・施設貸出事業	

東品川高齢者多世代交流支援施設（東品川ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定　員
第二種社会福祉事業	老人福祉センター	
公益事業	高齢者多世代交流・子育て交流支援・介護予防・施設貸出事業	

就学前乳幼児教育施設（ぷりすくーる西五反田）事業内容

	施設・事業種別	定　員
第二種社会福祉事業	公立保育園	４６名
公益事業	認可外保育事業（幼児教育施設）	５４名
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業 ふれあい交流室（ポップンルーム）	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	６名

品川区立家庭あんしんセンター事業報告

1．基本方針

「子どもの最善の利益」を基本に、施設を利用する子どもやその家族に対して相談及び支援を行います。また、施設の専門機能や社会資源を活用した援助・助言を併せて実施すると共に、地域の人々とのつながりを大切にし、施設の特性に配慮しつつ、開かれた施設運営を行いました。

2．重点目標

（1）区内利用者、広域利用者の受け入れの充実

児童福祉法第23条第3項に規定する所管外区域の母子生活支援の受け入れについては、区・子ども家庭支援センターの自立支援員の要請に基づき対応しました。

（2）子育て短期支援事業の利用者の拡大

地域でニーズのあるサービスとして、幅広い周知活動等により利用の促進を図りました。また、利用する児童の年齢や人数、特性に合わせ、「児童には安心・安全の保障」を「保護者には安心の保障」を目指し、適切な人員配置や室内環境づくりを行いました。

（3）子ども家庭支援センターとの連携強化

子ども家庭支援センターを中核とした品川区における児童虐待防止体制に寄与するよう、また、品川区児童相談所との協力体制の構築を目指しました。

3．品川区立家庭あんしんセンター事業内容

	施設・事業種別	定員等
児童関連施設	母子生活支援施設　　品川区ひまわり荘	２０世帯
児童関連施設	品川区子育て短期支援事業 短期入所生活援助事業（ショートステイ）	５名
児童関連施設	品川区子育て短期支援事業 夜間養護事業（トワイライトステイ）	２０名
児童関連事業	品川区育児支援ヘルパー派遣事業 子育て世帯訪問支援事業	
児童関連事業	育成相談、地域組織化事業 （品川区子育て支援事業）	
児童関連事業	品川区ファミリー・サポート・センター （平塚ファミリー・サポート・センター）	

品川区ひまわり荘事業報告

１．基本方針

様々な理由により地域で生活することが困難な状況にある母子に、安心して生活できる場を提供すると共に、子育てをはじめとして、生活全般にわたる支援・援助を行い、母と子の生活の安定と児童の健全な育成を目指しました。

また、関係機関との連携を強化し、施設だけでは解決が困難な課題を持つ利用者の自立支援の充実を図りました。

２．重点目標

（１）品川区との連携強化

母子生活支援施設を必要とする地域の母子世帯や、区外広域事業の利用者も随時受け入れができるように　子ども家庭支援センターとさらなる連携を強め、受け入れについての提案を行いました。

（２）利用者支援の充実

①母親支援の充実

地域生活で必要となるスキルを学ぶ機会や、精神的な安定を維持できるように、職員等との面談などを積極的に導入します。持っている能力及び自立への意識が高まるように支援しました。

②子ども支援の充実

互いが育ち合う場と個々に直接アプローチする場面を設け、子どもの健全な育ちを支援し、また、児童自立支援計画においては、退所後の生活を見据えた支援に努めました。

③退所後のアフターケア継続と充実

退所後も自立した生活が安定的に維持できるよう関係機関と連携し、アフターケアの充実を図りました。

３．サービス提供体制

職　名	人数	主な担当業務	保有資格
施設長	1	事業運営・管理に関すること	福祉施設長資格
母子支援員	3	母子の支援に関すること	保育士・社会福祉士等
少年指導員	2	子どもの支援に関すること	保育士・社会福祉士等
保育士	1	幼児等の保育に関すること	保育士
個別対応職員	1	個別の特別な支援に関すること	社会福祉士等
（自立支援充実職員）	(1)	母子の自立支援・相談	社会福祉士等

心理療法担当職員	1	母子の心理療法等	公認心理師等
調理等	1	調理及び事務に関すること	調理員等
嘱託医	1	利用者の健康管理に関すること	医師

4．支援の具体的内容

（1）生活の支援

①入所前の事前情報・入所後のアセスメント及び、日常的な会話や生活場面から母親と子どもの意向をくみ取り、課題やニーズを適切に把握し、精神面での支援を積極的に導入しました。

②「寄り添い」・「共に行う」・「見守り」を基本とし、品川区の子育て応援課を含めた三者面談で課題を聴取し、自立支援計画に基づいた支援を行いました。

③「子育てに関する事」・「日常生活で役立つ事」などの情報提供や、毎月の互助会において情報交換・学びの機会を提供しました。

④家事や育児、基本的な生活習慣などの日常の生活支援を行いました。また、必要に応じて債務整理の解決や、面会交流・養育費の取り決め・心理・健康面についての相談、就労、住宅確保等について、利用者と各関係機関との関係を保てるように支援しました。

⑤健康診断を年に２回実施し、必要に応じて専門医療機関への紹介や同行を行いました。

⑥退所後も地域で安心した生活が送れるよう母親、子どもと話し合い、支援計画を作成し、アフターケアを実施しました。

（2）子どもの支援

①「児童自立支援計画」に基づいた一貫した自立支援

入所前の情報や、日頃の関わりや遊びの中等で、その子どもの課題・ニーズを洗い出し、退所後を見据えた「児童自立支援計画」を作成しました。ひまわり荘内での支援の流れ（PDCAサイクル）を全職員が共有し、様々な場面で個々の子どもの支援を行いました。

②子どもの育ちの課題を直接アプローチする支援

子どもとの面談を実施し、個々の心身の状況を把握しながら、基本的な生活習慣から学習面など、育ちの課題に取り組みます。退所後の生活を見据えた支援を母親と子どもと相談し利用者の自己決定を大切にしながら実施しました。

自尊感情・自己コントロールを高める ～個別場面での支援～	社会性を高める ～集団場面での支援～
①個別支援 ・学習支援 （ひまわり荘学童内） ②学童相談室 ・言葉で、自分の気持ちを、表現できる場	① 月々の行事 ・季節の行事 ②地域の場 ・児童センターとの連携 ・すまいるスクールとの連携 ・各学校との連携 ・各関係機関との連携

（3）緊急一時事業

配偶者などの暴力、遺棄等で、緊急的な避難が必要な母子に対して必要な保護を実施し、利用者に応じた支援を行い、安心・安全な生活作りを行いました。

5．関係機関との連携

（1）子ども家庭支援センター・品川区児童相談所・生活福祉課と連携し利用者支援を行いました。

（2）医療機関・保健センターと連携し、利用者の健康増進に努めました。

（3）子どもの育ちの支援の為、学校・保育園等と連携し、必要な情報交換を行いました。

（4）法テラスをはじめ、その他の専門機関と連携して個別課題の解決を支援しました。

6．事故防止策・虐待防止・防災対策

（1）虐待防止への取り組み

ア　虐待防止規程に基づく虐待防止研修への参加や、業務・虐待チェックリストを活用した取り組みを実施し、人権意識の向上に取り組みました。

イ　利用児童の安全確保を図るため、マニュアルに基づいた対応を職員間で周知徹底を図りました。

（2）事故防止の取り組みとして、ヒヤリハット事例の検討、危険箇所の点検、事故発生時の迅速な再発防止策の検討、業務マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。

（3）災害などに備え、毎月１回の防災避難訓練、及び年１回の荏原消防署立会での防災避難訓練を行い、防災対応に万全を期しました。また、大災害などが発生した場合は事業継続計画（ＢＣＰ）に基づき行動し、利用者の安全確保・事業継続に必要な対応を迅速に行えるようにしています。

（4）建物の保守管理を実施し、品川区と協議し適切な維持管理に努めました。

品川区子育て支援事業報告

1．基本方針

子どもと家庭に関する総合相談、子ども家庭在宅サービス（子どもショートステイ、トワイライトステイ事業、育児支援ヘルパー派遣事業）の提供・サービス調整及び地域組織化活動（子育て活動の援助等）等の事業により子育て家庭を支援しました。

また、要保護児童対策地域協議会の活動機関として、子ども家庭支援センター及び品川区児童相談所と連携し、児童虐待防止のための区内ネットワーク作りを行い、子どもの最善の権利と安全を図る専門支援機関としての活動を目指しました。

2．重点目標

（1）主に品川区内、地域の子育て支援機関として、子ども家庭支援センターと連携し、児童福祉法に基づく育児等支援サービスの充実を図りました。

3．サービス提供（支援）体制

（1）子育て支援事業

職　名	人数	主な担当業務（下票参照）	保有資格
子ども家庭支援ワーカー（常勤）	2	子育て相談・広場事業等	社会福祉士 臨床心理士 精神保健福祉士 保育士 公認心理師 等
子ども家庭支援ワーカー兼専門相談員（非常勤）	2	子育て相談等	
地域活動ワーカー兼訪問支援員（非常勤）	1	相談・広場事業等	

（2）子育て世帯訪問支援事業

専門支援員（常勤）	2	訪問等	社会福祉士・保育士等

4．支援の具体的内容

（1）育成相談その他の子育てに関する相談

子育て支援事業では、子育て相談事業を実施しながら、子ども家庭支援センターと緊密に連携し、必要な場合には適切に相談機関に繋ぐことにより、虐待の未然防止・早期発見に努めました。

（2）親子の関わりを重視した子育て広場の運営

親子のかかわり遊びの時間を設け、親子で遊びの楽しみを体験できる時間をつくると共に、子どもとの関わり方のスキルの獲得を支援することで児童虐待予

防の一助となるよう努めました。

（3）地域組織化活動

地域の親子への虐待防止の啓発および相談機関の紹介（特に子ども家庭支援センターの役割について）を行いました。

（4）虐待予防の取り組み

虐待予防や虐待の重篤化防止を目的として子育て世帯訪問支援事業、及び育児支援ヘルパー派遣事業に取り組みました。

5．事故防止策・虐待防止・防災訓練

（1）虐待防止の取り組みとして、虐待防止規程に基づき人権意識の向上に取り組みました。

（2）職員はマニュアルに沿った対応を身につけられるように努めました。

品川区子育て短期支援事業報告

1．基本方針

保護者と子どもが安心して利用できる短期入所生活援助事業・夜間養護事業の運営を目指し、お預かりする子どもの精神的安定や健康管理に努めました。

育児疲れ、育児不安や養育困難等の事由での利用については、虐待予防の観点から子ども家庭支援センター等の関係機関と連絡をとり、子どもや家庭の状況に応じた利用の働きかけを行いました。施設内においても各事業所と連携して取り組みました。

2．重点目標

（1）子育て短期支援事業の利用要件拡大への対応

利用者年齢や人数、特性を考慮した人的・物理的環境の整備を進め、また、電話での問い合わせや面談時の対応については、子ども家庭支援センターと連携し組織的な対応を行いました。「育児疲れ」による利用理由が増えている為、面談時において家庭状況の確認を強化し、適正な利用に努めました。

（2）各関係機関との連携強化

日々の業務内容について、各関係機関と連携を図り、利用の際、虐待が疑われる状況を確認した場合は、品川区児童相談所、及び子ども家庭支援センターへ速やかに対応するように努めました。

３．サービス提供体制

職　名	人数	主な担当業務
子育て短期生活援助事業相談員	５	利用相談及び子育て短期の運営
臨時非常勤職員	１５	子育て短期の業務全般

４．支援の具体的内容

短期入所事業	定員	５名
	１回の利用期間	原則６泊７日以内（１泊２日からの宿泊を伴う利用）
	１回の利用時間	３６時間（午前８時から、翌日の午後８時の間）
	利用料金	１泊２日　６，０００円(減免制度あり) （２泊目以降は１日につき３，０００円を加算）
	対象児童	品川区に住所のある１歳以上１５歳以下の子ども
夜間養護事業	定員	２０名
	利用期間	１日から１年程度の利用　延長可能
	利用時間	午後５時から午後１０時
	利用料金	１回　１，２００円（減免制度あり）
	対象児童	品川区に住所のある１歳以上１５歳以下の子ども
	その他	送迎あり（迎えのみ）1回　３００円

（１）支援内容

①おやつを含めた食事の提供と身の回りのケア。

②学習及び遊びの援助。

③通園及び通学の援助。

④その他必要とする援助。

５．事故防止策・虐待防止・防災対策

（１）虐待防止への取り組み

①虐待防止規程に基づく虐待防止研修への参加や業務・虐待チェックリストを活用した取り組みを実施し、人権意識の向上に取り組みました。

②利用児童の安全を確保するため、「安全確保マニュアル」に基づいた対応を職員間で周知徹底しました。

③事故・ヒヤリハット報告の検討を迅速に行い、必要な対応を職員間で周知徹底しました。

④安全な室内環境づくりを行うとともに、定期的な確認を行いました。

⑤業務開始前の打ち合わせで利用児童の特性を確認し、安全に留意した対応を行いました。

（2）事故防止の取り組みとしてスタッフの保育技術の向上を目指しました。また、ヒヤリハットの活用、危険箇所の点検、事故発生時の報告・分析と再発予防、マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。

（3）利用者の安全を確保するため防災避難訓練を行ないました。また、震災対策として、震災マニュアルに基づき行動できるよう防災対応に万全を期しています。

平塚ファミリー・サポート・センター事業報告

1．基本方針

地域で子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と、子育ての支援を行いたい方（提供会員）が会員組織をつくり、地域の中でお互いに助け合いながら子育て出来るよう総合援助活動を行うことで、子育ての支援と児童福祉の向上を図りました。

2．重点目標

新規提供会員登録の拡大と内容の充実

新規提供会員登録の拡大を目指すと伴に、マイスター制度の導入について、子育てを援助する提供会員に、子育てに関する研修の充実を行い、受講した提供会員に対して報酬の上乗せを行うことで、提供会員の質と量の確保を目指しました。その他、預かり場所拡大などのルール作りについて、子ども家庭支援センター及び両ファミリー・サポート・センター（大井・平塚）とで事業内容の共有を図りながら実施しました。

3．サービス提供体制

職　名	人数	主な担当業務	保有資格
アドバイザー	2	会員登録・コーディネート、訪問等	社会福祉主事・社会福祉士等

4．事業内容

（1）提供会員の養成講座及び依頼会員加入時の説明及び登録等

（2）会員間の相互援助活動の調整及びトラブル等の調整助言

（3）相互援助活動を進めるための会員の交流会及び講習会の実施

（4）事業内容の広報活動

（5）関係機関との連絡調整

（6）事故への迅速な対応

（7）緊急対応（活動）

５．関係機関との連絡調整

依頼内容及び会員状況により、保健センター・保育園・幼稚園・子ども家庭支援センター等と情報交換を行い、連携しながら会員をサポートしました。

６．事故防止対策と事故後の対応

（１）安全チェックリスト表を活用しました。

（２）事故事例を記録し、事例の分析やリスクの発見、再発の防止に取り組みました。

（３）「ヒヤリ・ハット」事例を活用して、事故防止・改善に役立つ情報を提供会員の研修会や交流会等で取り上げ、危険察知の目を養うなどに取り組みました。

（４）職員のスキルアップのため、積極的に研修に参加しました。

（５）サービス向上のため、他区との情報交換を行いました。

平塚きぼう荘（障害者住宅）

併設されている平塚きぼう荘の設備管理を行うとともに、居住者の緊急時などに必要な支援を行いました。

居住室数　２室

各事業年間等

＜別表①＞　ひまわり荘日課表

時間	業務内容	
７：３０	早番出勤　　警備・宿直者から早番職員への申し送り	
８：００	警備員：退勤	
８：３０	事業ゴミ出し・事務所待機・電話・利用者対応	
	玄関開錠	
	宿直者業務終了	
８：４５	日勤職員出勤	
	駐車禁止チェーン解除	
９：００	＊朝礼（事業全体）・必要に応じ施設内保育（未入園児・病児・補助）	
１０：００	遅Ｂ職員出勤	
１０：３０	３・４階巡回	
１１：００	遅H職員出勤　＊ひまわり荘打ち合わせ	
１２：００	早・日勤職員休憩	
１４：００	遅H職員休憩	
１５：００	学童保育準備	
１５：３０	学童の学習指導・学童保育開始	
１６：３０	早番退勤	
１７：４５	日勤退勤	
	学童の学習指導・学童保育終了	
１８：３０	施設内保育終了	
１９：００	警備への申し送り	警備員：引き継ぎ・警備開始
	各階談話コーナー環境整備	
	遅Ｂ職員退勤	
１９：３０	宿直者への申し送り	警備員：細密巡回　宿直待機開始
	１階事務所清掃	
２０：００	遅H職員退勤　宿直者館内待機	
２１：４５	宿直者、帰荘確認	警備員：在所者確認
２２：００	宿直者警備員施錠前状況確認	警備員：玄関施錠
２３：００	１F・２F機械警備開始	警備員：館内巡回・外周巡回
１：００		警備員：予防巡回
６：００	１F・２F機械警備解除	警備員：細密巡回・外周巡回
７：１５	家庭ゴミ出し	

＜別表②＞　ひまわり荘年間表

月	重点項目	母子の行事 ◎乳幼児の行事	学童の行事等	健康・衛生・安全	住宅・手当て等
4	・自立支援計画目標立て ・健康管理（健康相談）	春を呼ぶ会	学童面談 在籍校へ挨拶	連絡票作成	
5	・定期面談 ・クリーン週間	端午の節句 母の日行事	映画鑑賞会	空調設備点検 定期清掃・害虫駆除	都営（家族向け等） 児童扶養手当
6	・梅雨時期の健康・衛生 ・自立支援計画見直し		食育行事	定期健康診断 （嘱託医）	児童育成障害手当
7	・住宅確保 （都営母子特別割当）	七夕	外出行事	消防設備の点検	都営･公社特別割当 児童扶養手当
8		◎保育月間	社会体験行事	カーテン洗濯	都営ポイント方式
9	・健康管理（健康相談）	秋まつり	防災行事		児童扶養手当
１０		秋の遠足（全体）	秋の遠足（全体） 学童面談	定期健康診断 （嘱託医）	児童育成障害手当
１１	・定期面談 ・クリーン週間 ・自立支援計画見直し	◎保育月間 ※冬あそび	映画鑑賞会 在籍校へ挨拶	定期清掃 空調設備点検	都営（家族向け） 児童扶養手当
１２	・感染症の予防と配慮 ・共用部分の環境衛生	年末お楽しみ会 （全体）	年末お楽しみ会 （全体）	害虫駆除（消毒） 館内大掃除	
1	・住宅確保（都営申込）	新年を祝う会 （全体）	新年を祝う会 （全体）	消防設備の点検	都営･公社特別割当 保育園入園継続申請 児童扶養手当
2	年度内の計画について、 反省と新年度の計画	節分	制作行事	定期清掃	都営ポイント方式 児童育成障害手当
3	・進入学･進級準備 ・自立支援計画評価 ・新年度計画決定 ・マニュアルの見直し	ひなまつり	外出行事 新1年生学童体験		児童扶養手当

＜別表③＞　ショートステイ・トワイライトステイ日課表

時　間	ショートステイ	時　間	トワイライトステイ
６：３０	起　床		
	検温・健康確認		
７：００	朝　食		
８：００	保育園・幼稚園・学校等、		
	所属機関への子どもの送り		
１０：００	※所属機関が休み(所属無)		
	の場合の保育(保安)		
	自由遊び・自主学習		
１１：３０	手洗い・うがい・水分補給		
１２：００	昼　食		
	午　睡(必要に応じて)		
	着替え		
１５：００	手洗い･うがい		
	水分補給・補食		
	自由遊び・自主学習		
１６：００	保育園・幼稚園・学校等、		
	所属機関への子どもの迎え	１６：００	保育園・幼稚園・学校等、
１７：００	検温・健康チェック		所属機関への子どもの迎え
	手洗い･うがい	１７：００	検温・健康確認
			手洗い･うがい
１８：００	夕　食		※来所の子どもの受け入れ開始
	自由遊び・自主学習	１８：００	夕　食
２０：００	入浴・歯みがき・着替え		自由遊び・自主学習
	健康確認		～帰りの準備～
２１：００	就寝準備・就寝		保護者の迎え時間により順
	(子どもの年齢・体力により		次行う
	就寝時間は変更あり)		保護者迎えへ申し送り
		２２：００	トワイライトステイ終了

＜別表④＞　子育て支援事業　地域組織化活動

事業名：目的	実施予定	備考
親子交流事業 親子の関係構築	場所：フラっと広場 毎月２回　月曜日 時間：10：30～11：15 イベントでは、製作活動、音楽遊び等を企画し、実施する。 場所：フラっと広場	母子同室 近隣の児童センターや保健センターに日程表を載せたちらしを掲示する。 また法人ホームページにも予定を掲載する。 （ちらしにQRコードを掲載）
広場開放 フラっと広場	毎週：月～土曜日 時間：10時～12時／13時～16時 （その他、会議など休業あり） 場所：フラっと広場	親子の交流の場

＜別表⑤＞　ファミリー・サポート・センター年間事業表

月	行　事　名	備　考
5	１回目　提供会員養成講座	大井ファミサポ担当
9	２回目　提供会員養成講座	平塚ファミサポ担当
11	３回目　提供会員養成講座	大井ファミサポ担当
1	４回目　提供会員養成講座	平塚ファミサポ担当

＜別表⑤＞　品川区家庭あんしんセンター会議

（1）家庭あんしんセンター会議

	会　　議	予　定	時　間	出席者
家庭あんしんセンター全体	所内連絡会	随時	適宜	所長、係長、主任
ひまわり荘	職員会議	毎月	１１：３０～	全職員
	学童担当者会	毎月	適宜	学童担当、心理職員
	母子担当者会	毎月	適宜	相談員 母子担当、心理職員
	区との連絡会	第２（金）	１３：３０～	子育て応援課、生活福祉課、所長 母子担当
	互助会 （講座含む）	毎月	時間は応相談	利用者、所長 母子担当、学童担当、心理職員
	子ども会	毎月	１５：３０～	学童担当
	申し送り	毎日	１１：００～	全職員
	ケース カンファレンス	隔月	午後	全職員 スーパーバイザー
	職員定期面談	随時	適宜	所長、係長、主任、全職員
子育て短期	SS. TS担当者会	毎日		SS, TS担当者 非常勤職員
	子ども家庭支援センターとの定例会	毎月	１３：３０～	所長、及び係長、主任、担当者、関係機関
ファミリー・サポート・センター	子家との定例会	随時	適宜	所長、及び係長、主任、担当者、関係機関

＜別表⑥＞　防災訓練報告

（1）家庭あんしんセンター防災訓練

月	想定時間帯	状況想定	訓練内容	備考
4	日中／夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
5	日中／夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
6	日中／夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
7	日中／夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
8	日中／夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
9	日中／夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
１０	日中／夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
１１	日中／夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
１２	日中／夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
1	日中／夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
2	日中／夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
3	日中／夜間	総合防災訓練	総合訓練	消防署立会

＊３月の総合訓練時は利用者にも参加を呼びかけて行いました。

防火管理者：施設長

状況に応じ日中の指揮者：１階職員　　通報者：１階職員

夜間発生時：指揮者：宿直者　　通報・誘導：警備員

＜別表⑦＞　研修報告

（1）法人による研修

事務部事業計画内に記載の通り

（2）家庭あんしんセンターによる研修

研修テーマ	実施時期等	対象職員
利用者の支援に必要な専門知識・技術・研究	随時	全員
施設内勉強会・内部及び外部講師による	随時	全員

（3）外部機関による研修

実施機関	実施時期等	対象職員
品川区社会福祉協議会	随時	全員
東京都社会福祉協議会	随時	全員
児童・障害関係各団体等	随時	全員

令和7年度　品川区立家庭あんしんセンター　　実績報告

	項　目		４月	５月	６月	７月	８月	９月	小計	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	小計	合計	内　容
来館者	保護者	父親	44	26	43	57	29	29	228	48	27	41	33	25	34	208	436	父親来館数
		母親	165	132	177	171	149	152	946	153	118	111	109	117	123	731	1677	母親来館数
		その他	17	17	11	13	6	10	74	10	6	11	6	8	2	43	117	上記以外の保護者来館数（ひまわり荘来館者・児含む）
		小　計	226	175	231	241	184	191	1248	211	151	163	148	150	159	982	2230	
	子ども	乳幼児	142	104	143	184	149	163	885	140	120	133	106	110	136	745	1630	乳幼児来館数（ショート・トワイライトステイを含む）
		小学生	66	63	56	49	42	47	323	46	42	46	39	33	42	248	571	小学生来館数（ショート・トワイライトステイを含む）
		中学生・高校生	2	2	2	1	1	2	10	2	1	1	2	1	9	16	26	中学生・高校生来館数
		小　計	210	169	201	234	192	212	1218	188	163	180	147	144	187	1009	2227	
	その他		71	50	47	82	67	108	425	119	75	56	54	70	58	432	857	上記以外の来館者数（関係機関等）
			507	394	479	557	443	511	2891	518	389	399	349	364	404	2423	5314	

ひまわり荘

	項　目		４月	５月	６月	７月	８月	９月	小計	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	小計	合計	内　容
ひまわり荘	入所状況	継続入所	9	9	11	11	10	9	59	9	11	11	11	11	10	63	122	前月より継続入所世帯数
		新規入所	0	2	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	1	4	6	新規入所世帯数
		小　計	9	11	11	11	10	9	61	11	6:N17)	12	11	11	11	56	117	
	在所期間	６ヶ月未満	1	3	3	2	2	2	13	2	2	3	3	3	4	17	30	在所年数世帯数
		～１年未満	4	4	4	5	4	1	22	3	3	3	2	2	2	15	37	
		１年～２年未満	2	2	2	2	3	6	17	6	6	6	6	6	5	35	52	
		２年～３年未満	2	2	2	2	1	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9	
		３年～４年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		４年～５年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		５年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計	9	11	11	11	10	9	61	11	11	12	11	11	11	67	128	
	母親の状況	～１９歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	母親の年齢人数
		２０～２４	0	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	1	6	11	
		２５～２９	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	12	
		３０～３９	5	6	5	5	5	4	30	5	5	6	5	4	3	28	58	
		４０～４９	3	3	4	4	3	3	20	3	3	3	3	4	5	21	41	
		５０～５９歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6	6	
		６０歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計	9	11	11	11	10	9	61	11	11	12	11	11	11	67	128	
	子どもの状況	０歳	1	2	1	1	1	1	7	1	0	0	0	0	0	1	8	子どもの年齢階層人数
		１歳	2	3	4	4	4	4	21	4	5	6	3	2	2	22	43	
		２歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	3	10	10	
		小　計　１～２歳	3	5	5	5	5	5	28	5	5	6	6	6	5	33	61	
		３歳	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	12	
		４歳	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	0	0	4	10	
		５歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3	3	
		小　計　３～５歳	2	2	2	2	2	2	12	3	2	2	2	2	2	13	25	
		６歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5	5	
		７歳	2	2	2	2	1	1	10	1	0	1	1	1	2	6	16	
		８歳	1	1	0	0	0	0	2	1	2	2	1	1	1	8	10	
		９歳	1	1	2	2	2	2	10	2	2	2	2	1	1	10	20	
		１０歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	8	8	
		１１歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計　６～１１歳	4	4	4	4	3	3	22	5	6	7	6	6	7	37	59	
		１２歳	1	1	1	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	
		１３歳	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
		１４歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計　１２～１４歳	1	1	1	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	
		１５歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		１６歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		１７歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計　１５～１７歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		１８歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		１９歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		２０歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計　１８～２０歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計	10	12	12	12	11	10	67	13	13	15	14	14	14	84	151	
	退所状況	結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	退所世帯数
		復縁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		実家に同居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		公営住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		民間アパート・住込	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	0	1	3	5	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小　計	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	1	0	1	3	5	
	緊急一時保護	新規世帯数	0	1	0	0	0	1	2	1	1	1	0	1	1	2	4	
		継続世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		延べ人数	0	1	0	0	0	1	2	3	5	1	0	1	1	11	13	

家庭あんしんセンター

区分相談			4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
子育て相談	健康	月間延件数	0	4	1	0	0	0	5	1	0	1	0	0	0	2	7	
		うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	2	病気治療・予防接種
		同一相談で2度以上面接した件数	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	家庭・生活習	月間延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夫婦・祖父母・近隣との関係・友人等
		同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発育・発達	月間延件数	4	8	4	3	6	0	25	4	0	0	0	2	0	6	31	
		うち、専門機関を紹介した件数	0	0	1	2	1	0	4	1	0	0	0	0	0	1	5	身体・知性・性格・言葉・態度・くせ等
		同一相談で2度以上面接した件数	0	2	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	1	4	
	養育不安	月間延件数	6	0	11	8	5	8	38	3	4	2	2	0	3	14	52	
		うち、専門機関を紹介した件数	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	子育てに関する漠然とした不安・焦燥感等
		同一相談で2度以上面接した件数	1	0	2	1	0	1	5	0	0	1	0	0	1	2	7	
	虐待	月間延件数							0							0	0	
		うち、専門機関を紹介した件数							0							0	0	
		同一相談で2度以上面接した件数							0							0	0	
	基本的生活習慣	月間延件数	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	3	
		うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	食事・睡眠・排せつ・遊び等
		同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	教育・しつけ	月間延件数	0	1	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	4	5	
		うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	学校・塾・進学・育児法・しつけ等
		同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
	その他	月間延件数	13	44	92	15	55	55	304	36	28	23	57	49	29	222	526	
		うち、専門機関を紹介した件数	1	0	1	1	0	0	3	3	4	0	2	2	1	12	15	
		同一相談で2度以上面接した件数	3	4	6	8	7	7	35	7	6	7	10	9	4	43	78	
	再掲	月間延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	再掲（再掲はカウントしない）
		同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	保育所などの社会施設利用等の問い合わせ
	合計	月間延件数	25	57	108	36	66	63	375	49	32	27	59	52	32	251	626	
		うち、専門機関を紹介した件数	1	0	3	4	1	0	9	5	4	2	2	3	1	17	26	
		同一相談で2度以上面接した件数	5	7	8	9	8	8	45	8	6	8	10	10	5	47	92	

項目			4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内容
地域組織化	子育て支援事業	子育て広場　（利用人数）	83	41	60	84	96	60	424	68	45	41	48	41	61	304	728	フラっと広場の利用人数
		親子交流事業　（開催回数）	0	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	0	5	10	
		親子交流事業　（参加人数）	0	2	2	2	8	3	17	4	0	2	6	4	0	16	33	
		夜間講座　（開催回数）	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2	出前講座等の区民への講座・関係者への依頼講座
		各種講座参加者数	0	0	0	0	0	0	0	0	99	0	0	0	0	99	99	子育て応援講座・子育て出前講座参加者数
	【実施内容】	【実施内容】＊１２時から１３時は室内消毒、清掃、及て、玩具の入れ替えを行う。入室確認番号カードで利用状況を把握している。 ＜フラっと広場＞ 親子交流事業:月2回第2、第4月曜開催（10:30～11:15）　4月は新年度準備の為、開催無し ＜夜間講座＞ ①「アンガーマネジメント」11月19日（18:30～20:00）　参加者：50 名　　②「発達障害への理解・対応」11月26日（18:30～20:00）　参加者：49 名																

項目			4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
子育て世帯訪問支援事業	児童虐待の予防的支援	養育支援訪問事業(実世帯件数)	2	2	3	3	3	3	16	3	4	1	7	7	7	29	45	養育支援訪問対象世帯数
		養育支援訪問事業(延世帯件数)	9	12	13	14	16	11	75	13	12	10	19	21	25	100	175	1カ月に利用した世帯の延べ数（妊婦や子どもの成長が懸念される家庭への訪問しての相談・
		養育支援訪問事業(実子ども人数)	5	5	8	8	8	8	42	8	9	9	13	13	13	65	107	養育支援訪問対象児童数
		養育支援訪問事業(延べ子ども人数)	24	33	36	37	48	29	207	36	38	25	39	49	60	247	454	1カ月に利用した児童の延べ数
		内訳：専門相談　　世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	養育支援訪問分類 確認
		専門相談　訪問回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・専門相談（専門相談員が訪問し保護者の相談に応じた場合）
		生活支援　世帯数	2	2	3	3	3	3	16	3	4	4	7	7	7	32	48	・生活支援（専門相談員・支援員等が家事・育児・学習等の支援をした場合）
		生活支援　訪問回数	9	12	13	14	16	11	75	13	12	10	19	21	25	100	175	・混合相談（専門相談・生活支援を同時に行った場合）
		専門相談・生活支援併用　世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		専門相談・生活支援併用　訪問回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・併用の家庭。専門相談と生活支援を同日に行うこともあれば、片方の場合もある
		専門相談　訪問回数（併用家庭含	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・併用の家庭に専門相談と生活支援の両方を１回の訪問で相談員１人、支援員１
		生活支援　訪問回数（併用家庭含	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人、計２人で実施した場合、専門相談と生活支援それぞれに１ずつカウントする。
		養育支援訪問事業（新規数）	2	0	1	0	0	0	3	0	1	1	3	0	0	5	8	

子育て短期支援事業

	項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内　容
ショートステイ	**実人数**	16	9	7	6	1	5	44	4	2	3	2	1	3	15	59	・１年間に利用した児童の数
	内訳　（幼児）	10	7	6	5	0	4	32	4	1	2	2	1	2	12	44	※１年間の内、複数の利用がある児童も『1』とカウントする。Aちゃんが4月に利用した場合4月に『1』とし、5月以降は利用があってもカウントしな
	内訳　（小学生）	6	2	1	1	1	1	12	0	1	1	0	0	0	2	14	
	内訳　（中学性）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	食物アレルギー（実人数）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
	実施件数	16	15	17	16	12	19	95	14	18	20	16	17	13	98	193	
	内訳　（幼児）	10	11	15	11	6	15	68	11	15	17	13	13	8	77	145	
	内訳　（小学生）	6	4	2	5	6	4	27	3	3	3	3	4	4	20	47	
	内訳　（中学性）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	
	食物アレルギー（実施件数）	0	0	1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	0	6	10	
	延べ実施件数	16	15	19	19	12	21	102	19	19	24	16	17	14	109	211	・１カ月に利用した児童の延べ数
	内訳　（幼児）	10	11	17	13	6	17	74	11	15	19	13	13	8	79	153	※１カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。
	内訳　（小学生）	6	4	2	6	6	4	28	3	4	3	3	4	4	21	49	
	内訳　（中学性）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	
	食物アレルギー（延べ実施件数）	0	0	1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	0	6	10	
	延べ宿泊数	25	21	18	27	21	34	146	34	32	27	19	15	31	158	304	・１泊２日の利用の場合、『１』とカウントする。
	内訳　（幼児）	14	13	16	18	6	25	92	13	22	24	14	10	15	98	190	
	内訳　（小学生）	11	8	2	9	15	9	54	8	10	4	5	5	11	43	97	
	内訳　（中学性）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	
	食物アレルギー（延べ宿泊数）	0	0	1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	0	6	10	
	延べ日数（①+②+③+④）	41	34	37	46	31	53	242	53	48	51	31	31	45	259	501	・１泊２日の利用の場合、『２』とカウントする。
	内訳①　（２歳未満（慢性疾患児除く）	2	6	8	12	2	8	38	10	12	11	2	6	3	44	82	
	内訳②　（２歳以上（慢性疾患児除く）	39	28	29	34	29	45	204	24	36	39	29	25	42	195	399	
	内訳③　（慢性疾患児（２歳未満））	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳④　（慢性疾患児（２歳以上））	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	食物アレルギー（延べ日数）	0	0	2	2	2	2	8	4	2	2	2	2	0	12	20	
	送迎利用件数	31	20	16	31	23	48	169	22	31	41	15	14	41	164	333	
トワイライトステイ	実人数	30	11	10	7	5	8	71	4	2	3	2	4	3	18	89	**・１年間に利用した児童の数**
	内訳　（幼児）	15	5	6	6	4	4	40	3	2	5	0	2	2	14	54	※１年間の内、複数の利用がある児童も『1』とカウントする。Aちゃんが4月に利用した場合4月に『1』とし、5月以降は利用があってもカウントしな
	内訳　（小学生）	15	6	4	1	1	4	31	1	0	0	2	2	1	6	37	
	内訳　（中学性）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	食物アレルギー（実人数）	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	3	
	実施件数	30	30	36	38	22	36	192	36	31	36	21	27	33	184	376	**・１カ月に利用した児童の数**
	内訳　（幼児）	15	15	20	25	15	22	112	21	19	22	12	16	22	112	224	※１カ月の内、複数の利用がある児童も『１』とカウントする。
	内訳　（小学生）	15	15	16	13	7	14	80	15	12	10	9	11	11	68	148	
	内訳　（中学性）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	食物アレルギー（実施件数）	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	3	
	延べ利用日数	75	82	89	110	75	90	521	132	66	111	48	59	77	493	1014	・延べ利用日数＝延べ実施件数（１カ月に利用した児童の延べ数
	内訳（幼児）	38	38	45	77	55	64	317	52	40	53	29	37	53	264	581	（１カ月の内、複数の利用がある児童は複数回カウントする。））
	内訳（小学生）	37	44	44	33	20	26	204	26	26	31	19	22	24	148	352	
	内訳　（中学性）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	食物アレルギー（延べ利用日数）	4	0	0	7	0	0	11	0	0	0	0	0	1	1	12	
	送迎利用件数	63	67	72	81	56	73	412	60	48	73	38	47	58	324	736	

育児支援ヘルパー

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
すこやかサポート	実施件数	12	6	25	16	24	28	111	30	26	24	27	25	30	162	273	
	内訳　（第１子）	2	2	21	16	19	20	80	20	20	20	16	5	18	99	179	※第1子が多胎児の場合もこの欄に計上
	内訳　（多胎児を含む第2子以降）	15	4	4	0	5	8	36	10	7	4	15	30	17	83	119	
	（多胎児）件数	5	0	0	0	0	0	5	0	1	0	4	10	5	20	25	
	（多胎児）世帯数	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	1	5	6	
	（多胎児）時間数	10	0	0	0	0	0	10	0	2.5	0	8	21	10	41.5	51.5	
	（若年出産）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延べ利用日数	12	6	25	16	24	28	111	30	26	24	27	25	30	162	273	
	延べ利用時間数	22.5	10.5	49	31	46.5	55	214.5	61	51.5	46	52.5	47	60	318	532.5	

ファミリー・サポート・センター

項　目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内　容
提供会員	月末会員数	157	157	158	158	158	161		161	161	161	164	164	163			
依頼会員	月末会員数	1824	1832	1844	1850	1868	1879		1888	1900	1908	1924	1935	1945			
両方会員	月末会員数	3	3	3	3	3	4		4	4	4	4	4	4			
活動件数		255	214	211	245	181	246	1352	290	237	262	253	241	220	1503	2855	
交流会等開催状況		0	1	4	1	0	2	8	0	0	1	1	1	0	3	11	※養成講座・交流会・研修会

【実施内容】
・提供会員養成講座　　大井主催　6/7，9　参加者：8名（登録者：7名）　　平塚主催　9/18，24　参加者：5名（登録者：3名）　　大井主催11/26，27　参加者：7名（登録者：6名）　　平塚主催1/17，19　参加者：5名（登録者：4名）
・提供会員研修会　　5/24参加者6名　　7/4　参加者2名　　12/13　参加者3名　　3/5　参加者9名　・スキルアップ研修会6/11　参加者10名　　2/20　参加者11名
・マイスター講習会　10/8、10/15、10/22

令和７年度　品川区立家庭あんしんセンター　別表２　年度別実績推移

児童家庭相談実績（延数）		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養護	児童虐待	666件	971件	1,434件	1,854件	908件	1,144件	1,053件	1,204件	2,386件	4,710件	7,305件	6,104件	1,638件	150件	6件	4件	3件	0件
	その他	934件	2,377件	2,142件	1,717件	1817件	1,880件	1,989件	2,811件	3,819件	5,248件	5,257件	3,927件	3,134件	250件	14件	0件	0件	0件
保健		6件	9件	5件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	7件	0件	0件	0件	0件	5件	4件	0件	0件
障害	知的/ 言語発達	28件	12件	8件	16件	8件	6件	2件	0件	0件	0件	2件	16件	2件	0件	0件	0件	0件	0件
	自閉症等	37件	19件	31件	2件	3件	0件	0件	0件	15件	0件	0件	19件	13件	0件	0件	0件	0件	0件
	肢体不自由/ 視覚/重度心障	7件	6件	61件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
非行	ぐ犯行為/触法行為	5件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	22件	0件	91件	2件	0件	0件	0件	0件	0件
育成	不登校/適性	509件	66件	85件	23件	36件	6件	27件	31件	63件	30件	14件	7件	31件	0件	0件	0件	0件	0件
	性格行動/育児・しつけ	770件	839件	777件	598件	710件	456件	447件	628件	814件	948件	1,031件	903件	1,045件	313件	262件	187件	132件	98件
その他		2件	0件	2件	1件	0件	0件	0件	42件	0件	0件	1件	1件	0件	1件	112件	186件	188件	526件
合　計（延数）		2,889件	4,300件	4,547件	4,211件	3,482件	3,492件	3,519件	4,716件	7,097件	10,965件	13,610件	11,068件	5,865件	714件	399件	381件	323件	624件

※児童虐待の相談や対応は、令和4年度から区（品川区児童相談所、及び、子ども家庭支援センター）が窓口となっています。　※発達相談事業は平成20年度に品川児童学園に移転しました

ショートステイ実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用者数（件数）	41人	44人	38人	21人	20人	27人	10人	11人	22人	34人	57人	52人	59人	105人	163人	196人	205人	211人
宿泊数（延数）	70泊	74泊	97泊	77泊	84泊	79泊	31泊	33泊	57泊	125泊	130泊	96泊	99泊	173泊	325泊	323泊	293泊	304泊

トワイライトステイ実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
利用者数（件数）	483人	405人	318人	364人	435人	476人	453人	360人	385人	498人	492人	434人	135人	134人	260人	389人	446人	376人
利用回数（延数）	3,559回	2,905回	2,176回	2,768回	3,524回	3,663回	3,176回	1,938回	1,984回	2,016回	1,656回	1,637回	560回	543回	1,030回	1,054回	1336回	1014回

ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄ実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
提供会員登録者	199人	222人	255人	234人	229人	257人	255人	229人	236人	224人	203人	190人	155人	161人	164人	159人	163人	163人
依頼会員登録者	1,035人	1,247人	1,417人	1,581人	1,708人	1,953人	2,103人	2,386人	2,342人	2,424人	2,517人	2,579人	2,453人	2,292人	2,213人	2,162人	2,033人	1945人
活動件数（延数）	3,591件	3,516件	3,643件	3,746件	3,532件	2,766件	3,299件	3,878件	2,920件	2,614件	2,550件	2,907件	1,311件	1,811件	1,377件	1,978件	2,438件	2855件

※　平成19年10月　大井ファミリー・サポート・センター開設

ひまわり荘	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
入所世帯数	8	9	8	5	6	4	11	3	5	7	1	8	6	4	6	9	7	5	6
退所世帯数	8	10	9	6	7	9	3	7	7	8	4	4	8	4	6	5	7	6	5
年度末世帯数	18	17	16	15	14	9	17	13	11	10	7	11	8	10	8	12	10	9	11

〈別表３〉

家庭あんしんセンター職員研修実施報告

１．法人による研修

法人による研修は、事務部事業報告に記載の通り。

２．家庭あんしんセンターによる内部研修

研修	研修テーマ	実施時期	職員数
部署内研修	事業計画、及び、重点テーマ等の確認	４月	全職員
	防犯対策研修	防犯意識の向上を図る。	
	多様なニーズを持つ保護者への理解と対応	２月	１１名
	子育て応援夜間公開講座 ①アンガーマネジメント ②発達障害理解・対応について	１１月１９日 １１月２６日	合計９９名

３．外部機関による研修　（ひまわり荘）

実施機関	研修名	時期	人数
東京都社会福祉協議会	母子生活支援施設の新任職員に期待すること	５月	２名
東京都ひとり親家庭支援センター	離婚前後の法律手続き・法律知識	５月	１名
NPO法人パルレ	基礎から学ぶ発達障害	５月	１名
東京都社会福祉協議会	コーチング研修	６月	１名
東京ウィメンズプラザ	区市町村相談員養成講座（相談員・職員の為の基礎講座）	６月	１名
東京都ひとり親家庭支援センター	子の利益を最優先する「親子交流の支援」	６月	１名
東京都社会福祉協議会	母子世帯支援事例学習会	６月	１名
神奈川県精神保健福祉センター	自死遺族等支援研修	６月	１名
NPO法人パルレ	自閉症スペクトラム症　診断告知	７月	１名
全国母子生活支援施設協議会	母子生活支援施設のこれから	７月	１名
東京ウィメンズプラザ	性暴力被害者への適切な支援のために	８月	１名
東京都社会福祉協議会	新任研修　発達が気になる子どもの理解と支援	９月	１名
NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ	見えない困りごとに、応える力を育てよう	９月	１名
東京都福祉局	BCP策定支援事業①	９月	１名
東京都ひとり親家庭支援センター	思いがけない妊娠によりそう支援	９月	１名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成研修①	１０月	１名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成リーダー研修	１０月	１名
東京都福祉局	被措置児童等の権利擁護に関する説明会	１０月	１名
東京都福祉局	BCP策定支援事業②	１０月	１名
東京都ひとり親家庭支援センター	相談支援の基本	１０月	１名

東京都社会福祉協議会	発達に課題を抱える利用児・者への支援について	１０月	１名
東京都医学総合研究所	エビデンスのある妊娠期からの併走型支援	１０月	１名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成研修②	１１月	１名
東京都社会福祉協議会	自分自身の心のセルフマネジメント	１１月	１名
東京都社会福祉協議会	子どもの育ちとアタッチメント	１１月	１名
東京都福祉人材センター	保育・児童分野におけるリスクマネジメント研修	１２月	１名
東京ウィメンズプラザ	配偶者暴力の被害者に気づき支援の輪につなぐ	１２月	１名
東京都社会福祉協議会	発達が気になる子どもの支援	１月	１名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成研修②	２月	１名
東京都ひとり親家庭支援センター	改正民法施行前に確認しておきたい制度の基礎知識	３月	１名

４．外部機関による研修

（育成相談等子育て支援事業：ファミリー・サポート・センター事業：子育て短期事業）

実施機関	研修名	時期	人数
東京都社会福祉協議会	令和７年度接遇・マネー研修	６月	３人
東京都福祉局	ファミリーサポートアドバイザー研修	７月	１人
東京都食品衛生協会	食品衛生実務講習	９月	１人
東京都福祉局	ファミリーサポートアドバイザー研修	１１月	１人
東京都福祉局	ファミリーサポートアドバイザー研修	１２月	１人
子ども家庭庁	すこやかサポートの実践研修	１１月	１人

〈別表４〉

家庭あんしんセンター防災訓練報告

月	日	想定	状況想定	訓練内容	参加者
４	２６	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員４名、利用者　６名
５	２９	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員３名、利用者１７名
６	２９	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員４名、利用者１４名
７	２５	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員３名、利用者１８名
８	３０	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員４名、利用者１４名
９	２５	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員３名、利用者２１名
１０	２６	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員３名、利用者１０名
１１	２７	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員３名、利用者２５名
１２	１４	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員４名、利用者１２名
１	２０	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員３名、利用者２５名
２	２８	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員４名、利用者１１名
３	１４	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員４名、利用者１０名

※３月に荏原消防署立ち合いの下、避難訓練、及び、初期消火訓練を実施。

〈別表５〉

令和７年度　家庭あんしんセンターヒヤリハット報告・事故報告の発生の状況

	ヒヤリハット報告				
	ひまわり	子育短期	子育支援	ﾌｧﾐｻﾎﾟ	合計
４月	3	0	0	0	3
５月	2	0	0	0	2
６月	2	0	0	0	2
７月	3	0	1	0	4
８月	2	0	1	0	3
９月	3	0	0	0	3
10月	7	0	1	0	8
11月	3	0	0	0	3
12月	4	0	0	0	4
１月	5	0	0	0	5
２月	2	0	0	0	2
３月	3	0	0	0	3
合計	39	0	3	0	42

ひまわり荘入居者：転倒、ぶつけ、指はさみ等が多かった。エレベーターに未就学児が一人で乗ってしまうことなどがあった。
子育て短期：ぶつけ、予約表の紛失など。
家庭あんしんセンター：セコム防犯スイッチの自宅持ち帰り、すこやかサポート依頼者の名前間違え、スイカチャージ紛失後、紛失センターより連絡あり回収の3件。

	事故報告				
	ひまわり	子育短期	子育支援	ﾌｧﾐｻﾎﾟ	合計
４月	0	0	0	0	0
５月	0	0	0	0	0
６月	0	0	0	0	0
７月	0	0	0	0	0
８月	0	0	0	0	0
９月	0	0	0	0	0
10月	0	0	1	0	1
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
１月	0	0	0	0	0
２月	0	0	0	0	0
３月	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	0	1

家庭あんしんセンター：自転車の盗難1件。

品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告

１．基本方針への対応

安全・安心を基本に快適で清潔感あふれる施設、誰もが気軽に立寄れる施設環境の実現を目指すとともに、地域や関係団体等との良好な関係構築を目指しました。１階はゆうゆうプラザ連絡会、２階はオアシスルーム意見交流会や子育て広場事業交流会への積極的な参加をはじめ、区内関係機関との繋がりを大切にし、施設全体の季節イベントでは多世代交流支援ができるよう内容を工夫しました。

２．重点目標への対応

（１）だれもが気軽にすごせる安心・安全な施設づくり

だれもが気軽に安心・安全にすごせる施設づくりを目指し、施設周辺の植栽を整え、周辺にライトを設置し夜間も安心して利用できる環境を整えました。また、フリースペースとして部屋を解放し、開催しているかどうか外からでもわかりやすいようにポスターを掲示しました。

職員間では、連絡ノートを用いてルールの確認、区からの情報など細かなことでも記載し情報共有することでワンチームとして働く意識作りに努めました。

（２）住民が求めるニーズに適したサービスが受けられる施設づくり

１階自主事業について月間予定の作成を開始しました。２階ポップンルームの月間予定もホームページに掲載することで、初めて利用する方へも情報が届きやすいよう工夫しました。

利用者の小さな変化や困り感を見逃さない意識を持ち、必要に応じてプライバシーに配慮しながら関係機関に繋げました。

（３）仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり

地域ミニデイや地域ミニデイの卒業生グループ、また認知症カフェなどを通じて、定期的に仲間と楽しく健康を増進できる機会の提供を継続しました。

（４）子育ち親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり

在宅で子育てをしている方を主体としながら、未就学親子に対し子育てに関する悩みや不安感に寄り添う中で、子どもの成長を共に喜びながら子育ち親育ちをサポートしました。家庭あんしんセンターや児童センター、地域の子育て広場事業との情報共有も積極的に行いながら、地域の子育ち親育ちをサポートしました。

（５）多世代が一体となり「つくり」「そだて」「つづけられる」地域の繋がり

が見える施設づくり

ひらゆうクラブ、ゆうゆうプラザまつりなど多世代の交流を図るためのイベントを開催し、多世代で楽しめるように催し物を工夫しました。

２月に１階自主グループ代表者懇談会を実施し、施設利用方法を共有したり使い勝手についての意見を伺ったりする機会を持ちました。

３．施設及び各事業の報告

＜１階貸出し施設事業報告＞

（１）重点目標への対応

運営等に関するマニュアルの見直しや利用者が安全で快適にすごせる環境づくりを行いました。若い世代の利用者が増えた事で、自主事業の部屋の見直しや、ゆうゆうプラザ連絡会をはじめ区主管課に相談しながら整理しました。１月には、自主グループ代表・区主管課と職員との利用者懇談会で意見交換会も行いました。

＜オアシスルーム（生活支援型一時保育）事業報告＞

（１）重点目標への対応

① 保育室内を区切り、年齢や発達に応じた保育が提供できるようにしました。

② ポップンルームとの間で情報共有し、共通利用している親子の子育ての悩みや疲れに寄り添う姿勢を第一に考え、助言を適宜行っています。必要に応じて家庭あんしんセンターや区などの関係機関とも情報共有し、適切な支援に繋げられるようにしています。

③ 法人本部主催の感染症予防研修への参加に加え、国の基準に沿って消毒方法やマニュアルを見直し、職員間で共有することで利用者が安全に快適な環境で過ごせるよう工夫しました。

＜ポップンルーム（地域交流室）事業報告＞

（１）重点目標への対応

① 『ポップン通信』を毎月発行し、法人ホームページへの掲載や地域の掲示板への貼り出し、施設外から見える場所への貼り出しなど広報活動を積極的に行いました。

② 区報『しながわ』の必要部分を切り抜いて施設内に掲示することで地域のイベントや子育て情報をキャッチできるように工夫しました。また、建物全体のイベントで子ども向けコーナーを企画するなど、地域住民との交流促進に努めました。

③　継続利用者が増加していることから、普段から居心地が良い環境づくりを模索しました。加えて毎月実施している定期イベントにボールプールやトンネルを増やし、以前は予約制だった季節のイベントも自由来館にしたことにより参加人数の拡大に繋がりました。

④　法人本部主催の感染症予防研修への参加に加え、国の基準に沿って消毒方法やマニュアルを見直し、職員間で共有することで利用者が安全に快適な環境で過ごせるよう工夫しました。

４．サービス提供（支援）体制

種別	配置数	担当業務	主な保有資格
常勤	1	施設管理・オアシス施設長	社会福祉士・保育士
常勤	4	オアシス（1）・ポップン（2） 施設管理・受付事務等（1）	保育士
非常勤	１５	オアシス（9）・ポップン（4） 受付事務等（2）	保育士

５．交流支援事業（自主事業）報告

（１）地域ミニデイ（通所型サービスB・区補助金対象事業)『平塚ゆうゆう』

毎回血圧や身体測定を実施し、自身の身体と向き合う時間にもなっています。講師やボランティアとのコミュニケーションを大切にすることで利用者へのフォローや細かな状態変化を把握し、必要に応じてプライバシーに配慮しながら関係機関へ繋ぎました。

（２）地域ミニデイ卒業生グループ『元気ゆうゆう体操クラブ』

地域ミニデイ卒業後も介護予防体操を切れ目なく行える機会として継続しました。

（３）多世代交流塾『ひらゆうクラブ』

講師やボランティアを中心に、毎月第二土曜日は多世代向けに工作を、第四日曜日はポップン事業として子育て世代向けにファミリーダンスを実施しました

（４）開放されたフリースペース『くつろぎスペースゆうゆう』

自主グループが増加したことにより平日日中の空き部屋解消に繋がったため実施回数が前年度と比較して少なくなりました。

（５）おもちゃ図書館『ぽかぽか』

ポップンルームに於いて月２回金曜日に実施しました。月１回、自宅に持ち帰って遊べる貸出日を設定しています。今年度は新たな試みとして施設全体イベントでおもちゃ図書館のコーナーを設定することで、高齢者に

も知っていただくことと、２階子育て世代の利用者が１階に立ち寄る機会を作りました。今年度は、１階でもおもちゃ図書館を実施し、シニアと２階利用の親子が触れ合う機会も作りました。

（６）シニア向けスマートフォン教室『ひらゆうスマホをマナブ会』

スマートフォンやタブレットの使用方法や知識には個人差があるため、毎月２回個別相談を行いました。タブレットはなじみが少ないためか参加者は少数にとどまりました。

（７）ストレッチ教室『とにかく伸ばそうストレッチ教室』

ストレッチに特化した多世代向け体操教室を月２回実施しました。

（８）ボッチャ教室

ボッチャ協会に所属している講師による本格的なボッチャ教室を月１回実施しました。

（９）将棋教室・習字教室

地域の高齢者が講師となり、地域の小学生や大人が参加しています。

（１０）認知症カフェ（区補助金対象事業）

だれもが住み慣れた地域で安心して気軽に集う場として月２回実施しました。地域の栄養士、ほっとサロンのフラワーアレンジメント、鍼灸師会の方々に講師を依頼し開催しました。会で作成した物は、玄関に掲示するようにし、来館される方から好評でした。

（１１）朗読の会・演劇クラブ

多世代を対象に声を出す機会として月１回開始しました。脚本家が講師となって本格的な演劇指導を受けるとともに朗読の機会として実施しています。３月の平塚ゆうゆうプラザまつりでは演劇の発表や体験会を実施し好評でした。

（１２）身体測定器の設置

地域ミニデイで使用している体組成計（体重・体脂肪率・筋肉量等が測定できるヘルスメーター）を、自由に使用できるよう１１月に１階受付横に設置しました。５０名の方に参加していただき好評でした。常設して欲しいとの声も多く、次年度からは玄関に常設するようにします。

（１３）フラダンス教室

多世代を対象として開始しました。小学生と大人が参加しており、３月の平塚ゆうゆうプラザまつりではフラダンスの発表や体験会を実施しました。

（１４）ゆうゆうプラザ主催のイベント

①納涼祭

１階自主グループ（つなぐ会）にお手伝いを依頼し、ワークショップとして軍手人形作りをしました。子どもやシニアにも簡単に作るこ

とができ喜ばれました。リユースコーナーを目当てにされる方もいました。　おもちゃ図書館では木のぬくもりを感じながら遊べる空間や、時期に合せた取り組みとして七夕の短冊に願い事を書いてもらいました。　来館者へはしいのき学園のお菓子を用意し好評でした。

②秋敬老イベント

ア　タブレットで脳トレ

初めてタブレットに触れる方でも、簡単に操作出来るゲームを用意し楽しみました。

イ　スポーツの秋！体を動かそう！

区のうんどう教室のトレーナーに協力いただき、介護予防体操と風船を使用したゲームを行いました。体組成計や握力測定を実施しました。

③おたのしみ会

リユースコーナー、フォトスポット、科学工作講師に依頼した工作コーナー、おもちゃ図書館を実施しました。親子の参加が多く、地域イベントが重なったことにより高齢者の参加が少ない結果となりました。しいのき学園が作ったお菓子のプレゼントは好評でした。

④平塚ゆうゆうプラザまつり

午前の部は、自主事業の紹介として、フラダンスと演劇・朗読劇の発表や体験会をしました。

午後の部は、習字教室の作品展を開催しました。レク１・２の部屋を使用し、おもちゃ図書館や大型遊具、毎回好評のリユースコーナーを行いました。

コミュニティ室では、自主事業の習字や認知症カフェでの作品、『ほっとサロン』、自主グループ参加の方の作品展を行いました。多世代の方の出展となり、利用者の方からは「発表の機会が持てた」と好評でした。しいのき学園が作ったお菓子のプレゼントは好評でした。

６．地域貢献事業・関係機関との連携

（１）施設主催のイベントでは自主グループ（つなぐ会）に協力していただき、体験できるイベントを開催しました。

（２）地域ミニデイ、多世代交流塾の工作、認知症カフェなど、地域のボランティアが活躍できる場として提供し、意欲的に活動できるようサポートしました。

（３）地域ミニデイでは利用者の状態変化を見逃さないよう配慮し、必要に応じてプライバシーに配慮しながら関係機関へ情報提供するなど、支援に繋

げました。

（4）ボランティアセンターと連携し『ほっと・サロン』が利用しやすいよう環境やルールを整えました。施設主催のイベントや自主事業の認知症カフェ講座に『ほっと・サロン』のグループや講師の協力によるワークショップを開催したことにより『ほっと・サロン』を広める機会に繋がりました。

（5）１階では子育て支援センター主催の講座開催や研修のため部屋を提供しました。２階の子育て支援施設では、必要に応じて情報の共有や交換を行いました。

７．事故防止策・防災対策

（1）救急救命講習と防犯研修を受講しました。

（2）事故の発生または再発を防止するため、法人のヒヤリ・ハットリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。

ヒヤリハットが起きた際は、フロア毎に回覧したり話し合いを持ち、再発防止に努めました。

（3）地震や火災に備え毎月自衛消防訓練を実施しました。非常時に速やかに対応できるよう、避難経路や消火器の場所の確認、東京消防庁の電子学習室を使用した知識の充足に加え、実際に利用者に参加していただく避難訓練を実施しました。

８．安全対策

日常的に事務所（１階、２階）の防犯カメラによる監視で不審者対策を行いました。

事故防止のため、設備や玩具などの安全チェックシートを定期的に実施しました。

品川区立平塚ゆうゆうプラザ実績資料

（1）貸出し事業利用状況

令和８年３月３１日現在　単位 ： 人

利用種別	対象者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
目的内利用（登録利用）	高齢者		426	357	376	321	326	380	353	352	405	346	336	371	4,349人
	ほっとサロン		103	96	97	86	78	81	91	93	82	82	77	89	1,055人
目的外利用（一般利用）	全年齢	利用人数	186	241	152	173	185	189	242	194	160	169	198	209	2,298人
		団体数	38	37	38	50	48	44	61	54	42	40	41	51	544人
区事業	高齢者	eスポーツ	0	0	0	0	0	0	24	29	27	0	0	0	80人
		運動教室	51	47	48	44	20	44	41	42	43	40	33	42	495人
自主事業			257	213	292	305	207	235	252	326	248	225	298	225	3,083人
合計利用人数			1,023	954	965	929	816	929	1,003	1,036	965	862	942	936	11,360人

（2）自主事業実施状況

令和８年３月３１日現在

事業名		対象者	延べ回数	延べ人数
イベント	納涼祭（7月）	多世代	1回	54人
	秋敬老イベント（9月地域ミニデイ・認知症カフェ見学会）	多世代	2回	25人
	おたのしみ会（12月）	多世代	1回	52人
	平塚ゆうゆうプラザまつり（3月）	多世代	1回	93人
	ひらつかタイム（工作）	子育て世代	22回	349人
	おもちゃ図書館（ポップンルーム）	子育て世代	24回	399人
	ボールプール	子育て世代	19回	339人
	トンネル	子育て世代	17回	263人
	ポップンルーム年間行事（あきまつり・ハロウィン・クリスマスパーティー）	子育て世代	3回	187人
講座	ひらゆうクラブ	多世代	9回	157人
	ポップンルーム子育て講座（ファミリーダンス）	子育て世代	11回	82人
	ひらゆうスマホをマナブ会	高齢者	23回	67人
	ボッチャ教室	多世代	11回	125人
	習字教室	多世代	19回	110人
	将棋教室	多世代	22回	178人
	フラダンス教室	多世代	12回	139人
	演劇教室	多世代	10回	80人
	おしゃべり会	子育て世代		
	看護師講座	子育て世代		
	手作りおもちゃ講座	子育て世代		
予防	地域ミニデイ	高齢者	44回	331人
	元気ゆうゆう体操（地域ミニデイ卒業生グループ）	高齢者	44回	145人
	ストレッチ教室	多世代	21回	136人
	認知症カフェ	多世代	24回	266人
その他	くつろぎスペースゆうゆう	多世代	97回	200人
	身体測定器体験（11月5日～28日　平日のみ）	高齢者	12回	50人
合計			437回	3,777人

（3）部屋別稼働率

令和８年３月３１日現在　単位 ： %

部屋名／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
レクリエーション室１	67.1	66.7	64.7	66.7	62.4	73.2	73.6	72.3	72.5	63.2	71.8	74.7	69.1
レクリエーション室２	64.7	56.0	63.5	62.5	51.8	56.0	67.8	65.1	68.8	68.4	69.2	64.4	63.2
コミュニティ室	68.2	74.4	70.6	70.5	74.4	73.8	75.6	84.3	70.0	74.4	71.8	73.6	73.5
全部屋	66.7	66.7	66.3	66.5	62.9	67.6	72.3	73.9	70.4	68.7	70.9	70.9	68.7

（4）オアシスルーム利用状況

令和８年３月３１日現在

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0　歳	91	111	111	128	92	139	130	135	156	162	168	203	1,626人
	1　歳	60	41	45	44	41	43	46	40	34	31	30	27	482人
	2　歳	11	11	13	15	10	9	11	8	6	6	7	9	116人
	3　歳	21	16	8	13	21	7	16	8	12	13	5	14	154人
	4　歳	6	5	5	5	4	4	7	1	2	2	5	12	58人
	5　歳	21	4	6	10	8	5	7	6	8	7	6	25	113人
	小　計	210	188	188	215	176	207	217	198	218	221	221	290	2,549人
利用延べ時間	0　歳	332	473	491	539	463	622	590	625	685	738	781	958	7,297時間
	1　歳	289	189	192	210	199	195	258	202	165	151	151	132	2,333時間
	2　歳	76	72	93	100	71	51	51	55	41	45	44	57	756時間
	3　歳	107	80	43	75	103	44	82	34	67	66	23	62	786時間
	4　歳	33	31	33	29	23	32	49	9	13	8	29	84	373時間
	5　歳	128	24	30	58	37	29	44	38	55	34	34	130	641時間
	小　計	965	869	882	1,011	896	973	1,074	963	1,026	1,042	1,062	1,423	12,186時間
保育料		482,500	434,500	441,000	505,500	448,000	486,500	537,000	481,500	513,000	521,000	531,000	711,500	6,093,000円

（5）ポップンルーム利用実績

令和８年３月３１日現在

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者		429	409	488	450	369	446	436	503	425	555	557	539	5,606人
登録人数		104	66	44	45	23	36	27	32	20	23	18	33	471人
相談	食育（母乳・ミルク・断乳・離乳食・咀嚼・マナーなど）	1	3	2	3	1	0	1	1	2	1	2	1	18件
	健康（病気・アレルギー）	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1件
	発達（発達の遅れ・歩行・言葉・行動など）	0	0	3	0	1	1	0	1	1	0	1	0	8件
	遊びや玩具に関すること	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2件
	睡眠・夜泣き	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	4件
	排泄・トイレトレーニング	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3件
	しつけ・片づけ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	その他	1	0	7	8	2	1	5	3	6	4	8	0	45件
小計		3	3	16	12	5	2	7	6	9	5	12	1	81件

（６）研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
区高齢者地域支援課シルバーセンター係	① 4月25日／②7月4日／③9月4日/④10月22日/⑤1月21日	ゆうゆうプラザ連絡会	①②２名 他1名
区子ども育成課在宅子育て支援係	①6月27日／②3月26日	オアシスルーム意見交流会	①２名②１名
区高齢者地域支援課認知症予防施策推進係	3月13日	認知症カフェ連絡会	１名
NPO法人ふれあいの家おばちゃんち	9月5日	ひろば交流会	１名
NPO法人ふれあいの家おばちゃんち	①９月26日/②10月31日	子育てメッセ	各１名
区高齢者地域支援課介護予防推進係	2月6日	地域ミニデイ（通所型サービスB）担当者懇談会	１名

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
平塚ゆうゆうプラザ	5月22日～6月12日	食物アレルギーWEB研修	１５名
法人	7月5日	てんかん基礎講座	４名
平塚ゆうゆうプラザ	7月9日～7月15日	オアシスルーム指導検査動画研修	１４名
法人	7月30日	感染症予防研修	２名
法人	8月18日	感染症予防研修	１名
法人	9月12日	セキュリティー研修	３名

（７）ヒヤリハット・事故状況

①ヒヤリハット報告

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	6
オアシス	2	1	1	2	0	2	1	2	0	0	1	1	１３
ポップン	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	5

②事故報告

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オアシス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポップン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業報告

1．基本方針

安全・安心を基本とし、快適で清潔感あふれる施設、誰もが気軽に立寄れる施設環境の実現を目指すとともに、地域や関係団体等との良好な関係の構築に努めました。また、高齢者の介護予防、健康維持・増進及び生きがいづくりの支援というシルバーセンターの機能に加え、高齢者と子育て世代、多世代の区民との交流支援に対応する各種事業を実施し、地域交流の拠点として機能を発揮しました。

2．重点目標

（１）地域のニーズに適したサービスを誰もが安心・安全に受けられる多世代交流へと繋げられる施設づくり

地域のニーズに応え、入浴サービスの時間および利用人数を含むルールの改正、入館方法の変更等のサービス内容の充実を図り、効率的な運営に努めました。また、設備の点検・調査等を行い、ペーパーホルダーの更新工事や防犯カメラの増設工事等、安全に利用できる環境整備に努めました。

（２）仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり

地域ミニデイやイベント・多世代交流塾等の自主事業を継続して実施しました。利用の多い入浴サービスでは、利用者の健康面等の変化に注意を払いながら、安全に利用できるための環境整備に努めました。

（３）子育ち親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり

親子広場等の事業実施を継続して実施しました。高齢者との交流につながるよう工夫をしています。

3．各事業の計画について

（１）貸出し施設事業

区の指導のもと利用案内、利用券届出受付・発券、グループ利用登録届出受付事務、施設使用料の徴収及び収納事務等の業務を適切に行いました。

貸出し時間（午前９時から午後９時３０分まで）に対応するため、貸出し業務あたる一部の時間帯については品川区シルバー人材センターに委託し、効率的な運営を行いました。

入浴サービスについて節水に努めながら、利用者が安全・快適に利用できる環境づくりを継続して実践しました。

（２）介護予防及び多世代交流を促進する事業

①地域ミニデイ

介護予防事業として地域ミニデイ「東品川ゆうゆう（通所型サービスＢ）」を継続して実施しました。また、利用者がミニデイ利用後も切れ目なく体操等の活動ができる機会をもてるよう、「東品川ゆうゆうプラス（卒業生グループ）」も継続して実施しました。

②ゆうゆうプラザ主催のイベント

七夕・お月見・クリスマス・お正月など季節のイベント、装飾を行ったほか、ゆうゆうプラザ祭りでは利用者の活動の発表の場とするとともに、子供向けの催しを行うことで多世代が集まる機会にもなり、地域に向けて施設のＰＲをしました。

③多世代交流塾

ヨガ教室・着物着付け講座・菜園事業・料理教室等を定期的に開催し、高齢者を中心とした様々な世代との交流を図りました。

④子ども食堂・ふれあい食堂

「こども食堂　はなおか」のサポートとして、簡単なお手伝い役をゆうゆうプラザ利用者（高齢者）から募集し活動してもらいました。子どもたちと食事をともにしながら、緩やかな世代間交流の機会として継続して実施しました。

（３）子ども子育て関連事業

「東品川わくわくキッズルーム」として親子広場と月二回の交流プログラムを継続して実施しました。「交流プログラム」は、親子で楽しむ運動遊び・水遊び等のレクリエーションや菜園体験も行いました。

４．サービス提供（支援）体制

種別	配置数	担当業務	主な保有資格
常勤	1	施設長・施設管理	社会福祉士等
常勤	1	施設管理・受付事務等	介護福祉士等
非常勤	1	受付事務等	

土・日・祝の日中と平日・土の夜間窓口業務、平日浴室等管理業務はシルバー人材センターに委託

５．地域・関係機関との連携

（１）高齢者クラブの活動支援を中心に町会との連携を密にし、地域に根付いた施設づくりに努めました。

（２）地域ミニデイや多世代交流塾等で地域のボランティアの方々が短時間で

も活動しやすい体制を作る等、生きがいづくりの場を提供しました。

（３）地域ミニデイにおいては、利用者の健康状態の変化を常に把握し、一体的な介護予防サービスを提供できるよう各在宅介護支援センターや支援事業所と連携しました。

（４）「ほっと・サロン」の開催場所となることや、様々な事業を行ううえで「ボランティアセンター」からボランティアを募集すること等、品川区社会福祉協議会と連携してサービスの充実を図りました。

６．事故防止策・防災対策

（１）救命講習等を受講したほか、品川警察署の防犯研修を受講しました。

（２）事故の発生又は再発を防止するために法人のヒヤリ・ハットリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。

（３）消防計画及び震災対応事業計画に基づいて消防訓練、避難訓練を併設施設である品川区立東品川文化センターや再委託業者と確認しました。

（４）防災備蓄品倉庫を品川区の指導のもと適切に管理しました。

７．安全対策

法人の各施設で蓄えた知識・経験や施設内でのヒヤリ・ハット報告の活用を積極的に行い、安全点検を定期的に実施して事故防止に努めました。

ヒヤリハット件数・・・０件　　事故報告件数・・・１件

東品川ゆうゆうプラザ実績資料

（1）貸し出し事業利用状況

＜利用状況＞	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
目的内利用者	3,276	2,888	3,303	3,464	3,245	3,236	3,442	3,246	2,924	3,143	3,150	3,505	38,822
（内入浴者）	2,841	2,523	2,890	3,064	2,916	2,782	2,957	2,475	2,570	2,756	2,719	3,026	33,519
（内マッサージ）	31	31	32	30	0	30	32	32	30	0	31	32	311
目的外利用者	522	459	238	205	210	225	339	299	291	266	310	504	3,868
事業利用者	932	900	972	1,113	911	1,150	1,192	1,112	993	1,235	1,118	1,283	12,911
合計利用人数	4,730	4,247	4,513	4,782	4,366	4,611	4,973	4,657	4,208	3,409	3,460	3,530	51,486

（2）部屋別稼働率

部屋名	年間稼働率
ゆうゆうルーム	21.8%
スタジオ1	21.4%
スタジオ2	30.7%
レクリエーション室1	43.6%
レクリエーション室2	47.4%
レクリエーション室3	43.4%
コミュニティ室1	28.1%
コミュニティ室2	37.4%
全部屋	34.2%

令和７年度
品川区立就学前乳幼児教育施設ぷりすくーる西五反田事業報告

１．基本方針、重点目標について（３部門共通）

子どもの最善の利益と子どもの福祉・教育の増進を図り、保護者の育児と仕事の両立と家庭を支援し、また、在宅子育て世帯の支援を通して子どもたちの健やかな成長を育み、安心して預けられる質の高い保育を目指し園運営に取り組みました。

２．重点目標について（3部門共通）

（１）人材の育成

職員研修の柱を「法人主催研修」「品川プロフェッショナルスクール」「東京都福祉保健局」の３本とし、職層や研修テーマに合わせて受講者名入りの研修計画を作成して、積極的に研修に参加できるようにしてきました。受講後の研修報告も滞りなく提出され、職員の保育力向上の一助になりました。

（２）より質の高い保育・教育を展開するために

①今年度は、園内研究の主題を「教材研究をしてみよう！！」とし「園庭の自然遊び」「情操を育む音楽遊び」「０歳からの造形遊び」の３つの分野で、職員がテーマを選択し、全職員で研究に関われるようにしました。研究を通して、子どもが主体的に遊びこめる環境を構築するための「環境の設定」「教材、教具の工夫」「保育者のかかわり方」の３点を検証・考察し、実践につなげました。

②園内公開研究保育を実施しました。終了後は保育を振り返り、明日の保育に活かすことができるよう研究協議会（カンファレンス）を開催して学びに繋げ、継続的な研究に取り組みました。

③年間計画を立て、下記のテーマで全職員を対象に園内研修を実施しました。

ア　保育所等における虐待防止について（講師：園長）
イ　消防機関（１１９番）への通報要領と通報訓練（講師：副園長）
ウ　応急処置とケガの対応（講師：看護師）
エ　排泄物、嘔吐物の処理（講師：看護師）
オ　食物アレルギーをもつ園児への対応、エピペン使用方法（講師：看護師）

園内研修を通して、職員が共通認識をもって専門性を深めたり、実際に現場で現象が起こった際の実践に繋げたりすることができました。

３．施設及び各事業の計画について

＜保育園部門・幼児教育部門＞

（１）カリキュラムマネジメントの実施について

保育及び教育の内容に関する全体的な計画に基づき個別計画を立て実施することで評価・改善ができるように、公開保育やカンファレンス、また保育内容だけに特化した保育会議を通して職員の理解を深め、日頃の保育に取り入れやすいようにしつつ、定期的に見直しを行いました。

（２）学びの連続性

０歳児から５歳児まで継続した学びが行えるように、年齢毎の発達の特性を考慮して環境を構成しました。幼児教育部門と保育園部門との接続を段差なくスムーズに行うために、３歳児と２歳児の交流を意図的に行いました。

（３）食育

①給食委託業者と職員で月１回の給食会議を開催し、資質向上を図りました。食の教育のための意見を交換したり、アレルギーについての意識の向上やチェック体制等を確認しました。

②屋上の畑にキュウリ、トマト、ナス、ピーマン、ゴーヤ、さつまいも等を植え、収穫を楽しみにしながら世話をするとともに、収穫物はクッキング保育の材料とすることで、作物や作ってくださる人に感謝をしながら食べる気持ちを育むことができました。

＜ふれあい交流室部門＞

（１）ポップンルーム（地域交流室）総来室者数３，７３２名（登録数４６７名）

（２）オアシスルーム（生活支援型一時保育）延べ利用者数１，４２１名

（３）相談　５１０件

①事業案内等　３３９件

②育児相談等　１７１件

件数は昨年度より減少しましたが、「親子で遊ぼう」などの事業時やオアシスルームの送迎時に、一人ひとりの利用者とある程度時間をかけてお話しすることができました。

（４）親子であそぼう！（登録数）

①０歳児　さくらんぼぐみ　４１組

②１歳児　ぶどうぐみ　１６組

③２・３歳児　ばななぐみ　９組

今年度も登録者に暑中見舞いと年賀状を出す「ごきげんようプロ

ジェクト」を実施しました。

（５）講演会

事業内容	実績
講演会 「リトミック」 「読み聞かせ」等	実施回数７回 参加者数：６８組１４２名
試食会 「離乳食を知ろう会」	６月３０日（月）実施 参加者数：７組１４名 １月２１日（水）実施 参加者数：４組８名
えんＤＥとーく	「ナースと話そう！」６回実施 参加者数：１２組２５名
読み聞かせ	全１２回開催　金曜日　10:00-10:30 参加者数：５０組１０２名
お外であそぼう！	全１０回開催　火曜日　9:30-11:00 参加者数：１２３組２５１名

①「離乳食を知ろう会」は、昨年度好評だったため、今年度は年２回実施し、実際に園で提供している離乳食を試食してもらいました。

②今年度より品川区の事業として「未就園児定期預かり事業」が開始されたことから、全体的に利用者数は減少しました。

（６）オアシスルーム

延べ１，４２１名（登録数２６４名）

※9月より認可保育園在園児の土曜日利用が可能になりました。

４．サービス提供（支援）体制

職種	人数	職務の内容
園長	1	運営、職員指導、地域との連絡・調整、子育て相談
副園長	1	保育指導、園長代行、研修生対応指導
交流室長	1	ふれあい交流室統括、オアシス・ポップンルーム統括
事務長	1	庶務、経理統括、認定こども園化推進事業（品川区より派遣）
保育士	２３	乳幼児の保育・教育、子育て支援
看護師	1	乳幼児保育、乳幼児の健康管理

事務	1	庶務、経理
事務（非常勤）	1	事務補助
非常勤保育士	7	乳幼児保育、保育補助
一般非常勤	2	保育補助
非常勤用務	1	清掃、環境整備
調理員	㈱アスパウェルネスサービスに調理業務代行委託	
環境整備（清掃）	かもめ第三工房	
嘱託医	1	新入園児事前健康診断、０歳児健診（月１回）、全園児定期健診（年２回）
嘱託歯科医	1	全園児歯科検診（年２回）

５．独自事業について

（１）保護者の保育参加の推進について

０歳から３歳児クラスまでは「保育士体験」事業を実施し、今年度は３０名の保護者に参加していただき好評を得ました。４、５歳児クラスは「公開保育」という形で教育時間内に保育日を設定し、保護者には授業参観形式で参加していただきました。

（２）多文化・伝統文化に触れ様々な体験ができる機会について

①「英語であそぼう」では、外部講師に来ていただき、ゲームや体操を通して楽しみながら英語や他文化に触れることができました。

②年長組は「お茶の会」の新年を祝う「初釜」を経験しました。保育の中でお茶会に向けて取り組んできた成果を立派に見せてくれました。

（３）運動プログラム（専科）について

今年度も「柳沢運動プログラム」を３歳から５歳児クラスの専科として教育時間に取り入れました。運動機能の発達を促進すると共に体幹を鍛えることで、事故怪我の抑止に効果がみられました。

（４）多世代交流事業について

法人内で多世代交流支援施設を運営している特色を活かし、子どもたちが高齢者（利用者）と継続的に交流をすることによって高齢者（利用者）に対する理解を深め、肯定的なイメージを維持できるように交流事業を計画しました。今年度は大崎在宅サービスセンターの高齢者の方々と年長クラスが３回交流をし、親交を深めました。

６．事故防止策・防災対策、安全対策について

（１）月１回さまざまな災害を想定して避難訓練や煙体験・起震車体験、不審者対応、目黒川が氾濫した際の避難の仕方など、非常時対応訓練を行いました。

（２）正規職員全員が上級救命救急認定を取得し、事故やけがに対して救命救急の学びを継続するとともに、緊急時の対応を園内研修や職員会議で学び合いました。また安全点検を実施し事故の予防に努めました。

７．年間行事について

年間を通じて保護者が行事に参加できる機会を設け、子どもの育ちや成長を共に感じる機会としました。

月	主　な　行　事　予　定
４月	入園式・始業式・保護者会
５月	春の親子遠足（３～５歳児）・子どもの日
６月	公開保育・ぷりサマーすくーる（５歳児お泊り保育）
７月	プール開き・七夕・終業式・夕涼み会
８月	プール納め
９月	始業式・保護者会・敬老の日の集い・親子遠足（乳児）
１０月	運動会・秋の遠足（３～５歳児）
１１月	やきいも会
１２月	ぷりすくーるフェスタ・クリスマス会・終業式
１月	始業式・お餅つき・初釜（５歳児）
２月	豆まき・遠足（３、４歳児）・保護者会・作品展
３月	ひなまつり・卒園式・修了式・お別れ遠足（５歳児）

（１）保護者会は年３回、保護者の方に来園してもらい実施しました。クラスの情報を共有すると共に、保護者間の積極的なコミュニケーションを図ることができました。

（２）春は幼児教育部門、秋は保育園部門で親子遠足を実施しました。また、秋には４，５歳児クラスはバス遠足、３歳児クラスは徒歩での遠足を実施することができました。

（３）運動会は、今年度も保育園部門と幼児教育部門ともに第一日野小学校グランドで開催することができました。

（４）昨年までの「おゆうぎ会」を「ぷりすくーるフェスタ」に名称を変

えました。保育園部門と幼児教育部門の２部制とし、園のホールに保護者を招いて実施することができました。

（５）年度末に「作品展」を開催しました。子どもたちの１年間の成長や創造力、努力の成果を保護者の方に伝えると共に、子ども同士、また保育者と子どもで喜び合ったり称えあったりすることで自己肯定感を向上させる貴重な場となりました。

８．事故発生状況・ヒヤリハット（Ｒ７年度）について

（１） 事故発生状況

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
件数	４３	５５	３３	３４	３７	４２
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
件数	４７	３３	３２	３９	３４	４２

衝突・接触：２１０件　　年間合計　４７１件

ひっかき・噛みつき：８５件　　※病院受診　３件

転倒：１７３件

転落：３件

（２） ヒヤリハット

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
件数	4	2	9	3	5	9
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
件数	4	5	6	0	5	9

年間合計　６１件

１）小さな事故・ケガの件数は、令和６年度と比較すると増加しましたが、病院受診が必要なけがは３件（令和６年度は７件）と減少しています。令和６年度から幼児教育部門は運動プログラムを取り入れていますが、２年間を通して体幹が強化されてきたことや、職員が運動プログラムのフィードバックを日々の保育に取り入れてきたことが、病院受診が必要なケガの減少に繋がっている一つの要因と考えます。来年度も大きな事故等を防いでいけるよう、事故防止に努めてまいります。

２）ヒヤリハット件数は前年度と比較し大幅な増減はありませんでした。４半期毎の会議で検証を行い、職員全体で環境の見直しするなど、発生前に防げるケガを防止していけるよう今後も努めてまいります。

障害児者総合支援施設事業報告　目次

品川区立障害児者総合支援施設事業報告 …… ２１９

児童発達支援センター課事業報告 …… ２２１

相談支援課事業報告 …… ２３２

生活支援課事業報告 …… ２４５

品川区立障害児者総合支援施設

１．基本方針

品川区の子どもの療育拠点及び障害児者の地域生活支援拠点として、区内の関係機関との連携し、障害児者とそのご家族の成長や生活等で起こる様々な課題について切れ目のない支援に努めました。

２．重点目標

（１）品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぽ」の安全で安心かつ円滑な運営に努め、区と連携してサービス内容の充実と稼働率の向上に努めました。

（２）障害者総合支援施設として一体的な運営体制を整え、各事業所の連携・連絡体制を構築しました。また品川区をはじめ区内事業所、関係機関、近隣町会及び住民との良好な関係作りに努めました。

（３）施設全体及び各事業の課題を整理すると同時に、障害児者とそのご家族の生活や成長等で起こる様々な課題と地域における課題を的確に把握し、事業内容の見直しを図りました。

３．具体的な取り組み

（１）障害児者総合支援施設として一体的な運営体制を整え、地域の障害者福祉の拠点として区民の期待に応えられるようそれぞれの事業分野において、相互の連携体制を整えるよう努めました。

（２）利用者を中心とした支援を行うため各事業所間の風通しを良好に保ち、緊急支援時等には総合施設として一体的に支援できる体制を構築するよう努めました。

（３）各事業の利用相談や問合せに適切に対応させて頂くと共に、円滑なサービス提供に努めました。また、品川区や区内事業所と連携し、利用者・ご家族の状況に応じた支援に努めました。

４．各事業の稼働状況

事　業　名	定　　員	稼働率
児童発達支援センター		
児童発達支援	４０名	６４．７％
放課後等デイサービス	１０名	５７．２％
保育所等訪問支援	—	
子ども発達相談室	—	
日中一時支援	２０名	７７．０％
南品川障害児者相談支援センター（特定相談支援、障害児相談支援）	—	
地域活動支援センター	２０名	延４，０９６人
訪問系サービス（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援）	—	
生活介護	４０名	６５．６％
就労継続支援Ｂ型	１０名	６６．４％
短期入所	１２名	９６．３％

※利用率は、実開園日数に対しての利用率です。

児童発達支援センター課事業報告

１．基本方針

発達支援を必要とする幼児から学齢期の児童に対して、日常生活における基本的動作や知識技能（生活技能等を含む）を修得できるよう、子どもとその家族への専門的一体的な支援を行ないました。

２．重点目標

（１）区民ニーズに照らし合わせた利用定員の拡大及び重度障害児の受け入れに伴う単独通園が困難な親子通園クラスの設置に取り組みました。

（２）家庭支援として、支援時間の延長及び保育園への送迎に向けた取り組みへの環境設定をしました。

（３）人材育成の促進による安定した事業運営を実施しました。

保育士　１名　社会福祉主事　１名

３．具体的な取り組み

（１）品川児童学園（児童発達支援センター）の機能を活かすことにより、学園全体で協力し対応することで、ひとりひとりの子どもの持つ課題に取り組み、障害のある子どもやその家族への支援の質の向上を目指しました。

（２）子どもが充実した日常生活や社会生活を過ごせるよう家庭の生活状況やニーズにあわせた家族支援とともに、保育園・幼稚園を含めた地域支援を行い、安心して地域で暮らすことを目指しました。

（３）品川区内の障害児の中核的役割として、区の障害者支援課・保健センター・子ども家庭支援センター及び区内相談支援事業所や障害児通所事業所に対し、相談、連携等の必要な支援や援助を行いました。また、引き続き適切な情報共有等ができる体制を確立していきます。

４．事故・虐待防止対策

（１）事故防止について

①施設内委員会を設置し、サービスの質の向上・事故防止（リスクマネージメント）への取り組みを行い、事故防止のリスクマネジメントを推進し、事故予防に努めました。

②使用する遊具・器具類を定期点検する体制作りに取り組みました。

③マニュアルの点検と改善を継続して取り組みました。

（２）虐待防止について

①研修・チェックリストを活用した人権意識の向上を図りました。

②施設内委員会を設置し、虐待防止・サービスの向上に向けた委員会を定期的に開催しました。
③準職員との意見交換、保護者会の開催等を実施し、風通しの良い施設運営を心がけています。
④労働環境の点検と改善を行い、職場環境の健全化を図り、職員のストレス軽減に努めました。

5．家族・支援者との協力体制

懇談会や個別面談等を通じて、保護者との信頼関係を築き、子どもの理解を深め、共有しました。また、懇談会や学習会を通じ、家族間の交流を深めると同時に地域全体の理解促進と子育て環境の向上に働きかけました。

6．地域交流及び貢献活動

（1）保育所・幼稚園・学校との連携

学園から保育所等へ移行先や、学齢児の所属する学校、または保育所等訪問支援を通じ、地域の保育所・幼稚園・学校との交流の回数を増やし、子どもの発達支援、遊びや生活について情報共有及び連携を高めました。

（2）学習会の開催

保育所・幼稚園・学校・すまいるスクール等、子どもと関わる関係者向けの学習会を開催し、地域全体の特別な配慮が必要な子どもたちへの理解を促進しました。

7．防災対策

利用者の安全確保と発災時の事業継続を担保するため、防災計画及び震災対策事業継続計画等に基づく防災避難訓練を実施し防災対策を強化しました。

8．会議計画

会議名	参加職員	開催日
法人運営会議	施設長	月２回
法人係長・主任会議	係長・主任	月１回
総合支援施設係長・主任会議	係長・主任	月１回
学園連絡会	学園役職者・リーダー	概ね月１回
事故防止委員会	施設長・児童発達支援管理	月１回

身体拘束廃止委員会 虐待防止委員会	責任者・管理栄養士・看護師・担当職員・その他	
安全衛生・感染症対策委員会	施設長・看護師	月１回
サービス担当者会議	個別事例に応じて必要人数	随時開催
支援会議	相談室職員 スーパーバイザー	週１回
事例検討会議	施設長・児童発達支援管理責任者・支援員・その他 スーパーバイザー	概ね月１回

９．　ヒヤリハット・事故発生状況（児童支援課全体）

（１）ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	12	12	4	6	14	12	9	13	12	5	10	7	116

・他傷/他害行為（25 件）・職員への暴力（18 件）・器物破損（7 件）
・転倒事故（2 件）・怪我/傷（33 件）・自傷行為（4 件）・誤飲/誤食（3 件）
・情報漏洩（1 件）・作業ミス（21 件）・所在不明（2 件）

（２）事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		1	5		1						2		9

・職員への暴力(6 件）・怪我/傷（2 件）・器物破損（1 件）

児童発達支援事業報告

１．基本方針

発達に支援が必要な児に対して、日常生活における基本的動作や知識技能（ソーシャルスキル等を含む）を修得できるよう、子どもとその家族への専門的発達支援を行ないました。

２．重点目標

（１）一人ひとりの発達にあわせた、健やかな成長を目指しています。

（２）子どもの成長・発達に関して丁寧な説明及び支援を継続しています。

（３）仲間と生活する上でのルール遊びや活動を通して適応能力を身につける支援を継続しています。

（４）家庭や保育園、学校等と連携、協働による子育支援に努めました。

３．具体的な取り組み

（１）　適切な発達支援を行うなかで、子どもの自立度を高めていくことを目標としました。日常生活における基本的な知識技能（ソーシャルスキル）を最大限に引き出し習得できるよう、とりわけトイレや食事、着替え等の身辺自立を目指し、子ども本人の発達支援に取り組みました。

（２）　日中活動の中で保育、心理、看護、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師及び歯科医師等のチームスタッフにより、子どもへの支援を行うとともに、個別専門相談にて家族に対して専門的なアドバイスを行いました。

（３）　所属している機関（保育園・幼稚園・学校等）の中で、その子らしさを表現でき、仲間との活動にも参加するようになることで、将来的に、子どもと家族が地域の中で安心して暮らすことができるよう、関連機関や保育所等訪問支援との連携に努めました。

（４）　児童発達支援事業終了後の保育園利用の家庭に向けて、保育園送りの環境設定を行い、次年度の本格実施を目指しています。

（５）　南品川相談支援センター、子ども発達相談室（のびのびグループ）、保育所等訪問支援、放課後等デイサービスとの連携を密に行うことで品川児童学園（児童発達支援）の入園前から卒園後の一体的な支援を目指しました。

（６）新規利用希望の受け入れを通年で実施することや、年度末等準備期間として利用児受け入れを実施しない年間予定を撤廃し、家庭にとって利用しやすい事業所運営を実施する事に努めました。

４．サービス提供内容

（１）個別専門支援

医師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師等による個々の相談や支援を実施し、クラス・グループ職員と連携を図りながら、個々の発達を促す支援を実施しました。

（２）グループ活動

グループ活動場面では、子どもに対し行事等を通して、ひとりでは十分に発揮できない能力を引き出し、よりきめ細やかな対応を行いました。また、保護者に向けて勉強会や学園体験を通して発達を助言するための支援を行いました。保育園・幼稚園の適応等の状況により、必要に応じて基礎集団との連携を図り個別支援も行いました。

（３）保護者支援

子どもの日常生活を保護者から伺い、お子さんへの対応について相談、助言することで、良好な家庭生活が送れるよう支援しました。

放課後等デイサービス事業報告

１．基本方針

学校在学中の発達に支援が必要な児に対して、生活能力向上のための必要な訓練、友だちや社会との交流の場を提供する等、自立の促進と放課後等における支援を行いました。

２．重点目標

（１）所属している機関でのルール遊びや活動を基としたプログラム適応能力を身につけられる様、支援を行いました。

（２）友だちとのコミュニケーションや社会的スキルを身につけられる様、支援を行いました。

（３）学校と連携、協働による支援を行いました。

（４）幅広い障害に対応した支援を検討しました。

３．具体的な取り組み

（１）自立した日常生活が送れるように、友だちとの創作的活動や作業活動を通じて、本人の意欲向上に結び付け、生活能力をのばすことができるよう支援を行いました。

（２）日常の挨拶などのソーシャルスキルトレーニングを通して、対人関係や学校や地域社会との交流に活かせるよう、スタッフからの具体的なアドバイスを受けながら学習する能力を身につけられる様、支援を行いました。

（３）学校での生活状況の確認や双方の情報交換により、学校と放課後等デイサービスでの学習支援に一貫性を持たせることに努めました。

（４）保護者からの質問やお子さんへの対応について相談、助言を行いました。

４．サービス提供内容

（１）ＳＳＴクラス

学齢に合わせたグループにおいて、設定遊びや自由遊びを通して、ソーシャルスキルトレーニングを身につけるための活動を行いました。

（２）ＡＤＬクラス

特別支援学校、特別支援学級在籍の子どもを対象とした、基本的生活習慣の獲得を中心に、遊びを通して友達とのコミュニケーションや友達との生活を身に着けることを目指し支援を行いました。

（３）保護者支援

子どもの日常生活を保護者から伺い、お子さんへの対応について相談、助言することで、良好な家庭生活が送れるよう支援を行いました。

保育所等訪問支援事業報告

１．基本方針

訪問支援員が保育所や幼稚園、学校等を訪問し、利用しているこどもに関わることや、所属機関の先生等と情報を共有しながら環境や対応の検討を行うことで、こどもが集団生活をよりよく過ごせるよう支援を行いました。

２．重点目標

（１）保育所や幼稚園、学校等を訪問し、観察を通して支援を行いました。

（２）こどもや所属機関の職員、保護者への支援も含めて行いました。

（３）こどもが所属機関での生活をよりよく過ごせるように支援を行いました。

３．具体的な取り組み

（１）こどもが通っている保育所や幼稚園、学校等に訪問することにより、学園の卒園児や利用しているこどもの様子を観察し、園や学校の先生とともに、今後の方針や取り組みなどを確認することで、適切な支援を継続できるよう目指しました。

（２）こどもの観察を通して、こどもへの支援について、本人を取り囲んでいる人物や物などの環境についても、楽しく、安心、安全に過ごせるよう、保護者や関連機関に助言を行いました。

（３）こどもが所属機関で必要とされる基本的ルールやコミュニケーションについて、実際の活動場面を把握することにより、獲得状況について確認しました。将来にわたりより良い人間関係が築けるようサポートしていきました。

４．サービス提供内容

（１）訪問支援

訪問した際は、こども本人に働きかけるだけでなく、環境設備・園や学校の先生への関わりや活動の組み立て等を一緒に考えました。

（２）保護者支援

支援計画及び説明を行い、支援計画の内容、訪問の際の内容を伝え、家庭と園や学校との連携が円滑に出来るよう支援を行いました。

日中一時支援事業報告

１．基本方針

保護者の就労支援やレスパイトを目的として、特別支援学校等に通学する障害の学齢児に対して、放課後または長期休暇中に、遊びや余暇活動、地域との交流を支援しました。

２．重点目標

（１）日中において監護する者がいないため、一時的に見守り等の支援が必要な障害児等の日中における活動の場を確保しました。

（２）障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図りました。

（３）友だちや職員とのコミュニケーションを図りました。

（４）幅広い障害に対応した支援に努めました。

３．具体的な取り組み

（１）特別支援学校等では授業が早く終了し、両親が就労されている家庭おいては、放課後の居場所の確保が困難なため、学校終了時間から保護者の就業時間までの子どもの預かりを行いました。

（２）保護者の通院やレスパイト等の理由で子どもの支援が必要な場合に適時、日時調整を行い、預かることで保護者の負担軽減に繋げていきました。

（３）放課後デイサービスが定員等の理由で利用できない、終了時間に引き受けができなく迎えに行けない等の相談に柔軟に応じ、日中一時支援で対応しました。

４．サービス提供内容

（１）グループ支援

安心、安全、豊かに過ごせる子どもの居場所を提供する事に努めました。様々な遊びや活動を通して、自分自身を発見し、新たなことにチャレンジできる様、環境整備に努めました。

（２）個別対応

必要に応じて個々の障害や特性に合わせて個別対応を行いました。

（３）保護者支援

保護者と子どもが適切に関われるよう、子どもの理解や日々の子どもとの接し方について助言を行いました。保護者の相談に応じて情報提供を行い、必要に応じて相談支援事業、学校その他の関係機関と連携を図り、困りごとの解決につなげていく事に努めました。

子ども発達相談室事業報告

１．基本方針

子どもの成長・発達について、保護者と確認をとりながら、必要な情報提供や相談・助言を行い、住み慣れた地域で安心した日常生活および社会生活を継続できるように総合的に支援を行いました。

２．重点目標

（１）子どもの発達状況や特性、環境と相互に作用することにより生じる症状などについて、子どもへの理解を深め早期に必要な支援につながる支援を目指しました。

（２）子どもにとって必要な助言及び家族への支援を行いました。

（３）区内関係機関との連携を密に行い、南品川障害児者相談支援センター等区内の計画相談支援事業所と共に、円滑に療育機関へ繋ぐことに努めました。

（４）児童発達支援事業・放課後等デイサービス等、品川児童学園としての一体的な運営を推進しました。

３．具体的な取り組み

（１）言葉が遅い、落ち着きがない等の発達が気になる未就学の子どもへの面接、行動観察及び保護者からの聞き取りを行うなかで、子どもの現状を把握し、発達上の課題等を共有しました。

（２）必要に応じて、公認心理師（臨床心理士等の心理職）、社会福祉士、作業療法士、言語聴覚士、医師等のチームスタッフが連携し、家族に対して状況に応じた適切な助言・支援を行いました。

（３）発達障害の特性がもたらす困難は、生活のあらゆる場面に現れることから、「児童が日常生活する園や学校」、「多様な相談・支援機関」などと有機的な連携が行えるよう、連携体制の構築を推進しました。

（４）障害児相談支援事業との協働により、相談から療育開始までの手続きを効率的に進め、障害児支援利用援助等の支援の過程を活用し、見守りやアフターケアの機能を付加する事に努めました。

（５）品川児童学園から保育園、幼稚園に移行した児童に対する支援を通園担当者と協働して行う体制の構築に努めました。

４．サービス提供内容

（１）心身の発達に遅れや障害のある子どもの、自立に向けた支援を行い、家庭・保健・福祉・教育と連携をとりながら、早期に適切な療育を受けられるよう切れ目のない支援を行いました。

（２）総合支援施設内の各事業所と繋がりながら、専門職による支援とともに

区内の各機関との連絡調整をもとに、福祉サービスの情報提供や適切なコーディネートを行い、保育園、学校などへの巡回相談支援も実施していく事に努めました。

（３）保護者支援、保護者の孤立化を防ぐ等を目的として、親子のびのびグループ、ペアレントトレーニング、プレ療育としての親子グループ（３歳児）（仮称）を児童発達支援と協働して実施や構築に努めました。最大の理解者、支援者として必要な、知識や対応などについて保護者向け学習会の開催などを行いました。

（４）発達障害に関わる困難事例などについて、関係機関からの相談に応じるとともに、必要に応じて訪問を行い、助言等を行いました。

令和7年度　利用実績年間利用実績

【子ども発達相談】　(件)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
新規電話相談（一般相談）	保護者	65	58	59	54	72	45	53	46	56	42	46	43	639
	関係機関	8	8	8	11	0	13	6	14	14	13	5	20	120
登録ケース電話相談数		306	321	265	370	337	183	380	332	371	378	316	375	3934
地域支援 関係機関連携	電話	57	69	41	50	54	122	35	26	55	64	78	102	753
	訪問（巡回相談等）	0	0	0	2	0	20	1	2	0	2	0	0	27
地域支援 保護者支援*	親子グループ	0	8	8	10	13	11	15	0	37	26	29	29	186
	ペアレントトレーニング	0	0	0	0	0	10	3	3	0	0	4	0	20
	語る会	0	0	0	0	0	3	0	5	0	0	4	0	12
外部会議		1	0	2	0	0	3	1	1	1	1	1	2	13
見学対応他		1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7
支援会議		30	29	28	23	26	27	31	26	28	28	27	52	355
面接相談ケース		94	99	100	126	82	103	112	73	98	100	94	99	1180
内訳	親子面接	27	24	32	25	28	27	36	33	35	37	35	35	374
内訳	発達相談	36	48	42	59	35	41	46	29	40	35	37	41	489
内訳	検査FB面接	27	24	24	34	17	33	29	10	21	28	22	23	292
内訳	個別検査	4	3	2	8	2	2	1	1	2	0	0	0	25
言語療法相談		25	23	28	23	24	28	5	12	14	15	14	11	222
作業療法		26	32	27	30	29	25	26	26	31	28	27	30	337
理学療法		1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	10
摂食相談		1	1	0	1	1	1	3	1	0	1	1	0	11
医療相談		2	3	5	5	5	9	6	5	8	5	4	5	62
保育所等訪問支援		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
小　計		617	654	574	706	645	604	677	573	714	705	652	769	7890

※保護者支援の令和6年度親子グループは5月開始。月に概ね3回（11月は除く）。
ペアトレ(未就学児童の保護者対象)は6年度後期に試行する。学齢期児童対象のペアトレは放デイでカウント。語る会は概ね年3回程度実施予定。

※親子面接は親と子どもそれぞれに対応するので実際のケース数は【ケース】×２となる。FB面接、個別検査についても相談員2名（子ども、親担当）で対応している。

【児童発達支援センター(クラス通園・グループ通園)】　(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
面談	42	44	48	54	38	44	52	59	57	58	53	55	604
電話対応	133	119	108	116	150	125	97	137	156	159	175	151	1626
稼働日数	21	22	21	22	20	20	22	19	20	19	18	21	245
稼働実数	555	605	581	682	557	609	694	619	661	655	620	687	7525
登録児数（合計）	53	54	55	56	56	58	63	63	63	63	63	63	64
									卒園１名	入園１名			

【保育所等訪問支援】　(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
保護者面接（終了児アフター含む）	0	3	6	2	3	2	2	0	5	5	1	3	32
事前打ち合わせ訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保護者メール電話対応（終了児アフター含む）	27	27	33	26	10	32	28	19	32	18	20	23	295
所属園等関係機関メール電話対応（終了児アフター含む）	32	30	28	28	13	24	30	36	38	25	22	15	321
サービス担当者会議	1	2	1	2	0	2	0	3	2	2	0	2	17
アフターケア（終了後支援訪問）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問回数	9	17	16	18	6	19	20	16	19	22	21	24	207
登録児数	15	16	17	18	18	19	18	19	20	23	23	23	25

【放課後等デイサービス】　(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
面談	7	0	1	5	4	2	15	10	2	4	4	10	64
電話対応	58	53	29	52	48	57	74	75	78	56	87	110	777
インテーク	6	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	1	13
モニタリング	7	4	0	7	0	4	12	7	7	11	11	3	73
アフターケア（終了後支援訪問）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数	25	24	24	26	25	20	26	26	24	23	22	25	290
稼働実数	128	144	157	135	98	121	153	117	144	129	115	106	1547
地域・家庭連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関連携加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録児数	47	50	50	50	50	50	51	52	52	52	52	52	54

【日中一時支援】　(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
稼働日数	25	24	25	26	25	24	26	26	26	23	22	25	297
登録児数	45	45	45	45	45	61	61	57	57	57	57	57	61
利用合計数（月）	367	361	387	426	387	383	384	325	357	346	324	392	4439

相談支援課事業報告

１．基本方針

利用者の自立と社会参加の促進を基本とし、幼年期から少年期、青年期、壮年期へとそれぞれの支援が途切れることなく地域生活が継続できるように、適切な相談支援と必要なサービス提供を行いました。また、品川区および関係機関と連携し、総合支援施設のもつ施設機能を発揮し、障害者の重度・高齢化、「親なき後」等に備えた、一体的なサービス提供体制の構築に努めました。

２．　重点目標

（１）在宅生活を支える「地域生活支援拠点等」としての機能発揮について

品川区地域生活支援拠点事業実施要綱に基づき、地域における課題の解決を目指し、地域で生活する障害児者などが、安心して日常生活及び、社会生活が営めるよう支援を行いました。

①品川区南品川障害児者相談支援センター

区内拠点相談事業所連絡会にて、「地域生活支援拠点等の好事例集」等を参考に、その役割や機能について検討を重ねました。拠点ごとに「緊急対応・ハイリスク家庭」をピックアップし、年度内に現状での名簿が完成しました。次年度は、名簿を活用した対応を検討し、名簿は定期的に更新する予定です。

②訪問系サービス

・重度障害への対応力を強化する為、職員１名が「令和７年度東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（不特定多数）」を受講しました。

・高次脳機能障害者の方などは、会話の内容を忘れてしまったり、段取りを理解する事が難しい場合があります。伝える情報単位を小さくしたり、必要に応じて繰り返し確認する等、情報を整理すること等で対応を行いました。また、同居のご家族のストレスに寄り添い、時に症状が性格の問題ではなく、障害からくるものであることを丁寧にお伝えする等で対応しました。

・稼働合計時間

令和６年度（２，８８６時間）→令和７年度（２，９２５時間）

③地域活動支援センター

利用者の興味や、関心の高い活動を積極的に提供し、利用者が社会と

の交流が促進されるよう支援しました。

・９月より利用者の興味・関心の高い「調理クラブ」を、月４回程度から月６回～７回程度　へプログラムを増回しました。職員が密に関わり、参加者にはすべての工程を体験していただくことで達成感を感じていただけるよう対応をしました。

・９月より土曜日のプログラムも月１回程度より２回と増回しました。関係事業所へも周知し、土曜日の利用者が増えました。年度内、土曜プログラム最終開催（３／２１）の利用人数は、午後のカラオケで利用者２４名と盛況でした。

・６／２施設見学（かもめ第一工房・しいのき学園）

・ドライブ利用者３名参加

・９/２９外出プログラム（プラレール展示会準備）利用者３名参加

・１１/１１～１１/１３プラレール展示会

来場者数５６０名（３日間)。鉄道好きサロンの利用者も、企画段階より携わってもらい、終了後の達成感も感じてもらえるよう対応しました。

・入浴利用　９月より男性利用者１名開始（週１回定期利用）

年度内の延べ利用回数　２７回

・実績合計数（日中活動及び、イベント来場者数などを含む）

令和６年度（３，５６５名）→令和７年度（４，０９６名）

前年度より延べ利用人数／年が、５３１名増えました。

② 専門的人材の養成等（各事業所共通）

職員の専門性向上を目的に、積極的に研修を受講（法人全体研修含む）しました。

ア）南品川障害児者相談支援センター

・相談支援専門員初任者研修　２名受講（修了）

・相談支援専門員現任研修　１名受講（修了）

・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）　１名受講（修了）

・保育士　１名受験（合格）

イ）訪問系サービス

・東京都介護職員等によるたんの吸引等の研修（不特定多数)」　１名受講（修了）

ウ）地域活動支援センター

・精神保健福祉士　１名受験（合格）　　等

（２）施設全体の地域貢献活動として、「みんな食堂（こども食堂)」を年６

回開催しました。また、「高次脳機能障害者等交流サロン」を、年２回開催しました。

３．　具体的な取り組み

（１）各事業の取り組み

①品川区南品川障害児者相談支援センター

ア　地域の相談に即応できるよう相談支援専門員を手厚く配置し、質の高いケアマネジメントの実施に努めました。相談支援専門員初任者研修２名の受講修了を経て配置基準を満たしたため、令和８年１月より「機能強化型（Ⅰ）」を算定しました。また、「子ども発達相談室」との連携を密に行い個別ケースの移行、移行後の必要な情報共有等を行いました。

【当年度実績　児の計画数】

令和７年３月末時点　１７４件→令和８年３月末時点　１８９件

イ　障害児者の地域生活支援拠点として「地域生活支援拠点マネージャー」を配置し、障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」も見据えつつ、地域生活支援を推進する為に地域における課題の解決を目指しました。区内拠点相談事業所連絡会にて、「地域生活支援拠点等コーディネーターガイドブック」等を参考に、その役割や機能について検討を行いました。

ウ　緊急時の対応を迅速に行いました。総合支援施設としての強みを活かし、虐待ケースの緊急短期入所への調整等を施設内で対応しました。その際の対応として、訪問系サービス・施設内事業所等と連携し利用者の移動を支援しました。また、短期入所事業の生活体験室利用により、日中の居場所づくり及び、介護者の休息機会を提供できるような調整を行いました。

① 訪問系サービス

ア　資格取得・研修参加する等で、職員の専門性向上（重度障害への対応・障害特性に応じたサービス提供等）を図りました。「東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（不特定多数）」へ、１名が受講し修了しております。

イ　訪問系サービスの利用者・家族を対象とする「交流サロン」を年１回開催しました。

令和８年２月１４日（土）13：30～16：00

内容：「映画観賞会および茶話会」（参加者３名）

※地域活動支援センターと、協働開催

ウ 利用者が安心して在宅での生活が継続できるよう、日頃より担当相談支援専門員等へ報告を密に行いながら対応しました。

② 地域活動支援センター

ア 体験利用等を通して利用へ繋がるよう近隣の関係機関（相談支援事業所等）へ働きかけました。相談支援事業所等よりのご紹介により土曜日を中心に利用者も増えています。1件、アウトリーチしての見学説明等を打診した方がおりましたが、キャンセルとなり実施には至りませんでした。

イ Ⅰ型類型の事業所として、「地域との交流・連携強化」・「地域住民ボランティア育成」・「普及啓発等の活動」を展開しました。

ⅰ「地域との交流・連携強化」について

・７／２９町会婦人部等によるウクレレ演奏会　ボラ１２名来所
・８／１６夏休み子供向け楽器作り＆ミニコンサート
　小学生２０名参加
　※（共催）公益財団法人　品川文化振興事業団
　※同日開催　午後から「子ども食堂」
・１０／１１アンサンブルコンサート　８４名参加
・１０／２６第３回ぐるっぽ祭り　３５０名来所
・１０／３１❶近隣保育園との地域交流行事
　（ハロウィン行事）１３５名参加
　❷近隣の子供を対象（ハロウィン行事）８８名参加
・２／７お囃子演奏会　９４名参加

ⅱ「地域住民ボランティア育成」について

（地域住民ボランティア受け入れ）
・活動ボランティア（創作・ダンス・手話クラブ）　４名（活動中）
・こども食堂町会婦人部よりのボランティア　毎回５名～１０名程度（本年度より）

（企業ボランティアの受け入れ
・７月より毎月１回（第三金曜日）　展示室及び遊具の清掃
　毎回５名程度参加
　※三菱電機システム株式会社
・１１／１４プラレール展示会片付け及び、展示室清掃
　１１名参加
　※ネットワンシステムズ株式会社

・８／２６手話講座（子ども向け）　２２名参加
・９／１２、１９、２６手話講座（大人向け）
１３名参加（３日間共通）

④ 専門的人材の養成等（各事業所共通）

下記等の研修を積極的に受講し、職員の専門性向上に努めました。

・法人全体研修　・施設全体研修　・品川福祉カレッジ
・相談支援専門員研修（初任者・現任・主任）
・医療的ケア児コーディネーター養成研修
・喀痰吸引従事者　・同行援護従事者　・社会福祉士
・精神保健福祉士　等

（２）「こども食堂」・「交流サロン」の開催

施設全体の地域貢献活動として、年６回の「みんな食堂」を計画的に開催しました。対象を貧困家庭の子どもや親子と限定せず、誰もが利用しやすい多世代・地域交流の場としての開催を目指しました。また、利用者・ご家族、地域の方などを対象とした「高次脳機能障害者等交流サロン」を、年２回開催しました。

① 「みんな食堂（こども食堂）」

ア ５／２３（金）チキンカツ弁当７０食販売（来場９６名）
※初の平日開催
※三睦町会ボランティア初参加（５名）

イ ６／７（土）焼きそば・お好み焼き
３５０食無料配布（来場３００名）
※天王祭

ウ ７／２５（金）ハンバーグ弁当７０食販売（来場５６名）
※小学校夏休み期間
※同日開催　午前「夏休みこども向け楽器作り体験＆ミニコンサート」

エ ８／１６（土）唐揚げ弁当１５０食販売（来場１５３名）
※小学生夏休み期間

オ １２／２０（土）豚汁３００食　※含災害時の職員炊き出し訓練
おにぎり２個５００食販売（来場２５０名）
※多世代の方を対象とすることを、より明確にするため、「子ども食堂」より、「みんな食堂」へ行事名を変更
※笠原将弘さん（料理人）来所

カ ２／２７（金）唐揚げ弁当７０食販売（来場７４名）

② 「高次脳機能障害者等交流サロン」

ア 令和７年１２月２７日（土）１０：００～１１：３０
内容：「フラワーアレンジメント」（参加者１５名）
※外部講師依頼
イ 令和８年２月１４日（土）１３：３０～１６：００
内容：「映画観賞会および茶話会」（参加者３名）
※参加者の希望により、「カラオケ大会」から「映画鑑賞会」へ内容を変更

４．事故・虐待防止等

（１）事故防止策

ヒヤリハット報告書・事故報告書の再発防止策を周知徹底させることでサービスの安全性を高めていけるよう努めました。また、決定した対応については随時、手順書を更新しその内容を反映しました。

（２）虐待防止策

①職員は年に２回行う虐待チェック表を用いて各自点検と振り返り行い、自らが虐待の加害者とならないよう、各自が日頃の振り返りを行い虐待防止への意識を高めました。

②虐待を発見した際は、速やかに法人本部を含めた上層部への報告を徹底すること及び、品川区への通報を迅速に行うことを確認しました。

（３）感染症予防

法人感染症マニュアルに基づき、予防策を徹底しています。また、感染症委員会の内容をその都度、職員へ周知し注意喚起等を行いました。また、令和７年１２月に、法人感染症研修を実施し、職員全員が参加しました。

（４）防災対策

施設内の防災訓練に月１回参加する事で、職員の防災意識向上及び、非常時の対応を訓練しました。また、令和７年１２月に職員の炊き出し訓練を、三睦町会と協働し実施しました。職員１３名、町会のボランティア１２名総勢２５名で、豚汁３００食・アルファ米のおにぎりを６００個作りました。

５．家族・支援者との協力体制

利用者・家族との信頼関係を構築するため、積極的にコミュニケーションを図りました。また、関係機関等との連携を密に図りました。

６．　利用者の意見・要望の収集

（１）　日頃の訪問・サービス提供時などで、利用者・ご家族とのコミュニケーションを積極的に図り、必要な情報収集に努めました。

（２）アンケートの意見を参考に、今年度より「みんな食堂（子ども食堂）」の平日開催を実施し、平日３日間で２１０食のお弁当を販売いたしました。

７．サービス提供内容

＜品川区障害児者相談支援センター＞

指定特定相談支援事業	相談支援	特定相談（サービス等利用計画を含む）	（１）対象者 ①居宅介護利用者（既利用者・新規利用者） ・知的障害児者・身体障害児者、難病など ・精神障害者で知的障害のある方 ② 通所系 ・就労移行・就労継続支援Ａ、Ｂ・自立訓練 ・生活介護 ③ グループホーム利用者、施設入所者等 （２）内　容 ①アセスメント・サービス利用計画作成 ②サービス担当者会議 ③モニタリング（月１回～年４回・必要に応じて実施） ④関係機関調整 家族、基幹相談支援センター、サービス提供事業所、医療関係者、施設関係など（開始時、変化のある時、課題発生時等実施） ⑤障害支援区分調査　など
地域拠点相談支援センタ	相談支援	一般相談	（１）対象者 特定相談対象者を除く、就労や福祉サービスの利用等で相談を希望する者等 （２）内　容 ①アセスメント・ケアプラン作成 ②ケア会議（適宜実施） ③面接・訪問等による相談継続及び同行支援 ④その他

	地域連携	各種会議・検討会	（１）自立支援協議会への出席 （２）各部会への出席 （３）地域生活支援拠点整備のための検討会への出席 （４）品川区東品川障害者相談支援センター・品川区東品川障害者計画相談支援事業所への連携・支援 （５）新規の計画事業所への連携・支援 （６）その他
地域生活支援拠点		地域生活拠点業務	（１）体制 地域生活支援拠点マネージャーの配置 （２）業務 品川区地域生活支援拠点事業実施要綱の業務内容について適宜基幹型支援と連携、検討のもと実施する

＜訪問系サービス＞

・居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援
・同居家族への各種相談、介護の仕方などの助言等

＜地域活動支援センター＞

・園芸教室　・社会体験や外出活動　・創作　・ダンス教室
・料理教室　・季節に合わせたイベント　・手話サロン
・音楽プログラム　・ボランティア育成、受け入れ
・地域との交流イベント（コンサート、プラレール展示会、夏休み子ども向けワークショップなど）
・こども食堂　・他事業所等との交流（運動会）
・手話講座（大人向け講座・子ども向け講座）
・ピアサポート活動（高次脳機能障害者交流サロン等）
・障害理解啓発基礎講座　など

８．ヒヤリハット・事故発生状況（相談支援課全体）

（１）ヒヤリハット報告状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
	０	１	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０	１

・個人情報（１件）

（２）事故報告状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０	０

９．「相談支援課」実績報告（令和７年４月～令和８年３月）

（１）南品川障害児者相談支援センター

＜相談支援を利用している障害児者等の実人数＞　（人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
障害者	４２	３２	４２	３８	４１	４６	３５	３３	４０	４０	４３	３８	４７０
障害児	２０	２２	２３	３１	１５	１９	２９	１８	１９	２４	１７	２７	２６４
合計	６２	５４	６５	６９	５６	６５	３４	５１	５９	６４	６０	６５	７３４

＜支援方法＞　（件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
電話相談	８６	７３	７８	８０	８２	７９	１０９	７４	１０９	８０	８６	７０	１００６
来所相談	１３	２４	２８	３１	１８	１５	２７	１９	２６	２１	２０	２５	２６７
訪問	５４	４８	３８	７５	４４	５１	５５	３１	５６	４４	３４	５４	５８４
同行支援	7	2	5	5	4	4	6	3	3	9	6	3	５７
文書等	２４	8	6	3	3	8	２５	6	8	5	4	7	１０４
支援会議	5	3	3	3	1	3	3	3	2	2	4	3	３５
関係機関	１０１	１０４	１３１	１４２	１２５	１３１	１７４	１５５	１４８	１５２	１４５	１５２	１６６０
その他	1	0	1	1	1	2	1	0	0	0	1	2	１０
合計	２９１	２６２	２９０	３４０	２７８	２９３	４００	２９１	３５２	３１３	３００	３１６	３７２６

＜支援内容＞※項目重複あり

（件）

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	243	215	243	308	224	252	342	228	301	280	250	277	3163
障害や症状の理解に関する支援	21	17	18	13	22	18	15	16	16	7	11	15	189
健康・医療に関する支援	2	6	4	5	6	6	9	9	11	4	3	3	68
不安の解消・情緒安定に関する支援	2	3	5	4	4	3	8	7	5	3	3	6	53
保育・教育に関する支援	0	1	0	4	1	2	4	4	4	0	6	0	26
家族関係・人間関係に関する支援	4	1	7	6	6	1	7	6	5	1	7	3	54
家計・経済に関する支援	2	0	2	1	0	2	1	2	0	0	1	1	12
生活技術に関する支援	1	0	1	0	1	2	1	0	0	0	1	1	8
就労に関する支援	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4
社会参加・余暇活動に関する支援	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	6
権利擁護に関する支援	2	1	2	2	4	1	19	10	3	2	1	0	47
その他	2	1	1	2	11	5	9	7	1	1	3	0	43
合計	281	245	283	346	281	293	416	289	347	298	287	307	3673

（２）訪問系サービス

＜介護給付＞

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
居宅介護	132	130	149	158	135	146	158	115	126	118	125	139	1631
重度訪問	14	16	14	12	17	13	16	13	13	17	24	19	188
同行援護	0	0	2	2	3	2	2	2	1	2	0	1	17
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	146	146	165	172	155	161	176	130	140	137	149	159	1836

＜地域生活支援事業＞

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
移動支援	91	81	85	61	49	70	71	63	67	60	58	59	815

（３）地域活動支援センター

＜利用実績＞

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	83	201	471	307	391	177	792	704	406	151	257	156	4096

10.「研修参加状況報告」（令和７年４月～令和８年３月）

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
品川区	奇数月	スキルアップ研修(年間延べ)	12
東京都	5/7	障害認定区分調査	3
東京都福祉保健財団	6/～（講義・実地）	介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（不特定の者対象）	1
東京都社会福祉協議会	8/1	労働基準法に関する研修	1
東北福祉カレッジ	8/1～(全7日)	相談支援初任者研修	2
東京都	10/21～(全5日間)	相談支援初任者研修	1
東京都福祉保健財団	10/30	強度行動障害支援者養成研修	1
東北福祉カレッジ	1/10～(全3日間)	相談支援従事者現任者	1
東京都社会福祉協議会	1/22～(web配信)	高齢知的障害者の認知症とその支援	1
品川福祉カレッジ	1/30	子ども支援実践研修	4
東京都心身障害者福祉センター	2/16～(web配信)	障害児支援	6

②施設研修（法人研修含む）

主催	日程	内容	参加人数
施設・法人	6/25	てんかん基礎講座	3
施設・法人	7/9	施設で求められる接遇とマナー講座	3
法人	7/30・8/18	感染症予防	13
施設・法人	8/29・9/10	情報セキュリティ研修	13
法人	12/15	虐待・身体拘束防止研修	13
法人	2/2・2/6	上級救命再講習(対象：更新者)	3
施設・法人	3/8	ＳＳＴ研修	3
施設・法人	3/30	文書研修	3

生活支援課　事業報告

１．基本方針

障害者の地域生活支援拠点の事業所として日中活動事業と短期入所事業の安定した運営を行いました。また、利用者の成長過程や日常生活等で起こる様々な課題や健康状態に一体的に対応できる支援体制を整えるよう努めました。

２．重点目標への対応

（１）地域生活支援拠点として各事業を適切に運営しました。

①生活介護

利用者の障害特性に合わせてフロアや作業室を分けて支援を提供しました。具体的には強度行動障害の特性がある利用者を含め活発に活動ができる利用者を中心としたグループと車椅子を使用する身体障害を伴う利用者を中心としたグループに編成し、それぞれの特性やニーズに応じた支援の提供に努めました。

②就労継続支援Ｂ型

利用者個々の特性・能力を活かした作業工程を、カフェ運営の様々な場面で切り出す取り組みと同時に、集客と売り上げにつながる魅力あるカフェメニューの開発を継続して取り組みました。また、館内清掃等新たな作業を取り入れ、利用者が生き生きと働けるように努めました。

③短期入所

短期入所中の生活が安心して送れるよう、利用者の障害特性やＡＤＬに応じた介護、支援を提供しました。特に利用開始時は利用者・保護者・相談支援事業所と適切な情報交換を取り、円滑な利用に繋げるよう努めました。

（２）施設機能の発揮に向けた取り組み

強度行動障害者や引きこもりがちな障害者、医療的配慮を必要とする障害者等、多様なニーズに対応する為、ＡＢＡ（行動療法）講師による月例の指導、看護師（有指導資格者）による感染症対応研修やエピペン（アナフィラキシーショック対応）研修等内部研修の実施、各種外部研修への参加、国家資格の取得等、職員の専門的・科学的な支援の為の知識・技術の向上に努めました。

また、利用時間延長については、ご家族からのその都度の要請に対し、受け入れを実施しました。

※令和７年度資格等取得状況

社会福祉士	１名合格	介護初任者研修	３名受講
精神保健福祉士	１名合格	介護実務者研修	１名受講
介護福祉士	１名合格	サービス管理者研修	３名受講
保育士	１名合格		

（３）余暇活動の充実

調理活動やプール活動の他、日中活動の更なる充実の為、流しそうめん大会やスイカ割大会等の季節行事や日帰り旅行（小田原、横浜中華街千葉ドイツ村、マザー牧場、八景島シーパラダイス）を実施しました。

３．事故防止

事故防止のために、職員の共通認識となるよう研修会を開催し職員全体で意見交換や事例の分析を行う等、リスクマネジメントに取り組みました。また、それに基づくマニュアルの点検と改善にも取り組みました。

４．虐待防止

年２回の虐待防止チェックリストを用いて分析し自らが虐待の加害者とならないよう啓発を行いました。また、２ヶ月に毎に事業所独自の各自業務チェックリストと振り返り行い、各自が日頃の振り返りを行い虐待防止への意識を高めました。研修では虐待を発見した際は、速やかに法人本部を含めた上司への報告を徹底すると共に、品川区への通報を迅速に行うことを確認しました。

〔障害児者総合支援施設　生活支援課　実績資料〕

（令和８年３月３１日現在）

１．利用者人員と入退所状況

（１）生活介護人員

定員(人)	現員(人)	内訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
４０	３２	２２	６８．８%	１０	３１．２%

注）内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

※令和６年度より定員変更　生活１０増　就労１０減

（２）生活介護入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	２１	5	4	２２
女	8	2	0	１０
計	２９	7	4	３２

（３）就労継続支援人員

定員(人)	現員(人)	内訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
１０	9	2	２２．２%	7	７７．８%

注）内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

（４）就労継続支援入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	2	1	1	2
女	6	2	1	7
計	8	3	2	9

（５）平均年齢

区　　分	男	女	平均
生活介護平均年齢	２６歳	２８歳	２７歳
就労継続支援平均年齢	２４歳	２７歳	２６歳

注）内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

３．障害状況

（１）愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	１度	２度	３度	４度	非該当	合　計
生活	2	２６	3	1		３２
就労		1	5	2	1	9

（２）身体障害者帳による利用者の障害状況

身障手帳	１級	２級	３級	４級	非該当	合　計
生活	6	2	2			１０
就労	1					1

（３）障害支援区分の状況

障害区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	非該当	計
生活		1	5	8	１０	8		３２
就労	1		1	4			3	9

以下　赤字　修正必要

４．支援概要

（１）外部講師編成

	題名	内容	開催日
外部講師	音楽療法	リトミック	第２・第４水曜日
	ワークショップ	ダンス	第３月曜日
	応用行動分析	ＡＢＡ	第４水曜日

（２）主な余暇活動の実施状況

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
生活	ダンス・個別作業	ダンス・個別作業	ダンス・個別作業	ダンス・個別作業	ダンス・個別作業
	軽作業・ドライブ	音楽活動・ドライブ	室内活動・動画鑑賞	軽作業・ドライブ	音楽活動・ドライブ
就労	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業

	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業	喫茶・清掃作業

（３）生産作業内容

作業種目	内　　容
喫茶作業 製菓製造等	・喫茶みんなのテーブルでの生産作業（接客・販売・掃除等） ・製菓製造作業、総菜製造作業、飲料提供作業
清掃作業	・建物館内の清掃作業（共有用階段）
リサイクル	・古紙回収 ・空き缶の回収

（４）工賃支給状況

年間総支給額	２，５４０，４５１円
支給対象利用者延べ人数	１０５名
月平均工賃（１人）小数点以下四捨五入	２４，１９５円

５．地域・家族とのかかわり

（１）学園連絡会の開催状況

区　分	実施日	内　　容
第１回家族連絡会	５月２８日（水）	１）令和６年度　事業報告について ２）施設からの連絡事項 ３）その他　質疑応答
町内祭礼	６月　７日（土）	子ども神輿等の来訪
第３回 ぐるっぽまつり	１０月２６日（日）	施設紹介・地域交流の為の模擬店
第２回家族連絡会	１１月２７日（木）	１）令和６年度　事業報告について 令和７年度　上半期行事報告について ２）施設からの連絡事項 ３）その他　質疑応答
第３回家族連絡会	３月１６日（月）	１）令和８年度　事業計画について ２）施設からの連絡事項 ３）その他　質疑応答

（２）園報　発行内容

発行月	編集内容
４月	新年度の職員紹介
５月	活動報告　新利用者を迎える会報告　調理クラブ
６月	活動報告
７月	活動報告　流しそうめん大会　調理クラブ
８月	活動報告　プール活動・すいか割り大会報告
９月	活動報告
１０月	活動報告　日帰り旅行報告
１１月	おでん大会・日帰り旅行報告　調理クラブ
１２月	活動報告　日帰り旅行報告
１月	活動報告　もちつき大会・二十歳を祝う会　クリスマス会
２月	活動報告　節分
３月	活動報告

６．実習・研修生の受け入れ状況（年間受け入れ人数）

区　分	人数	備　　考
専門学校・大学等	１１人	保育、社会福祉援助技術等の実習

７．職員外部研修参加状況

（１）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日　　程	参加人数
三幸福祉カレッジ	介護福祉士実務者研修	７月１７日	１人
東北福祉カレッジ	サービス管理責任者基礎研修	７月２６日	１人
一般社団法人東京都食品衛生協会	食品衛生責任者養成講習会	８月　１日	１人
三幸福祉カレッジ	介護職員初任者研修	９月　８日	１人
公益財団法人東京防災救急協会	東京消防庁　応急手当普及員講習	１０月２４日	１人
三幸福祉カレッジ	介護福祉士実務者研修	１１月１４日	１人
三幸福祉カレッジ	介護職員初任者研修	１１月２３日	１人
総合健康推進財団	サービス管理責任者基礎研修	１２月　１日	１人
総合健康推進財団	サービス管理責任者基礎研修	１２月　３日	１人
総合健康推進財団	サービス管理責任者基礎研修	１２月１０日	２人

総合健康推進財団	サービス管理責任者基礎研修	１２月１７日	１人
東京都福祉局障害者施策推進部	医療的ケア児等受入促進研修	１２月２２日	１人
総合健康推進財団	サービス管理責任者実践研修	２月１６日	１人
フレンズ株式会社	強度行動障害支援者養成研修	２月１６日	１人

８．　ヒヤリハット・事故発生状況（生活支援課全体）

（１）ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	54	44	23	25	17	16	17	35	20	23	22	30	326

主な報告原因

・転倒/落下（2件）・パニック（4件）・自傷行為（2件）・所在不明（2件）
・器物破損（2件）・怪我/傷（2件）・職員への暴言/暴力（2件）・
・他傷/他害行為（7件）・誤嚥（1件）・作業ミス（9件）

（２）事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	4	5	1	3	1	1	3	4	8	2	6	39

主な事故原因

・転倒/落下（2件）
・器物破損（1件）・怪我/傷（2件）・職員への暴言/暴力（1件）
・他傷/他害行為（1件）・誤薬/落薬（1件）

社会福祉法人　福　栄　会

令和７年度事業報告書

発行者　西　村　信　一
発行日　令和８年４月１日

〒140-0002　東京都品川区東品川３丁目１番８号
TEL　０３（５４７９）２９８１